

津市サンヒルズ安濃ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事

図 面 目 録							
建 築 工 事				電 気 設 備 工 事		機 械 設 備 工 事	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-01	改修特記仕様書(1)	A-26	展示ギャラリー・リハーサル室 展開図 (改修前)	E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	M-01	機械設備工事特記仕様書 1
A-02	改修特記仕様書(2)	A-27	展示ギャラリー・リハーサル室 展開図 (改修後)	E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	M-02	機械設備工事特記仕様書 2
A-03	改修特記仕様書(3)	A-28	1階便所平面詳細図 (改修前後)	E-03	電気設備工事特記仕様書(3)	M-03	凡例・機器表・衛生器具表
A-04	改修特記仕様書(4)	A-29	2階女子便所平面詳細図 (改修前後)	E-04	電灯・ITVホール 1階平面図	M-04	給排水衛生設備 ハーモニーホール 1階便所平面詳細図 (改修前後)
A-05	改修特記仕様書(5)	A-30	建具表 (改修前後)	E-05	ITV設備ホール 2階平面図	M-05	給排水衛生設備 ハーモニーホール 2階便所平面詳細図 (改修前後)
A-06	付近見取図・配置図兼仮設計図	A-31	各部詳細図(1)	E-06	電灯設備ホール 塔屋1階・2階平面図	M-06	給排水衛生設備 シャワー室・給湯室平面詳細図 ハーモニーホール 屋上平面図
A-07	仕上表	A-32	各部詳細図(2)	E-07	ハーモニーホール コンセント・弱電・自火報設備 1階2階便所平面詳細図 (改修前後)	M-07	消火設備 ハーモニーホール・展示ギャラリー・楽屋事務室平面図(改修前後)
A-08	1階全体平面図兼仮設計図	A-33	落下防止ネット 平面図	E-08	ハーモニーホール 電灯設備 展示ギャラリー (改修前後)	M-08	空調設備 ハーモニーホール・展示ギャラリー・楽屋事務室平面図(改修前後)
A-09	2階全体平面図兼仮設計図	A-34	落下防止ネット 断面図	E-09	ハーモニーホール コンセント・弱電設備 展示ギャラリー (改修前後)	M-09	空調設備 ハーモニーホール 塔屋2階平面図(ダクト補強)
A-10	3階及び屋階全体平面図	A-35	落下防止ネット 割付図	E-10	ハーモニーホール 非常照明・誘導灯・自動火災報知設備 展示ギャラリー (改修前後)		
A-11	塔屋1階及び屋階全体平面図	A-36	落下防止ネット 各部詳細図	E-11	ハーモニーホール 電灯設備 1階楽屋事務室平面詳細図 (改修前後)		
A-12	塔屋2階全体平面図	A-37	舞台装置 改修前仕様表	E-12	ハーモニーホール コンセント・弱電設備 1階楽屋事務室平面詳細図 (改修前後)		
A-13	ハーモニーホール 1階平面図	A-38	舞台装置 改修後仕様表	E-13	ハーモニーホール 非常照明・誘導灯・自動火災報知設備 1階楽屋事務室平面詳細図 (改修前後)		
A-14	ハーモニーホール 2階平面図	A-39	舞台装置 スノコ上機器配置図 (改修前)				
A-15	ハーモニーホール 3階平面図	A-40	舞台装置 スノコ上機器配置図 (改修後)				
A-16	ハーモニーホール 塔屋1階平面図	A-41	舞台平面図				
A-17	ハーモニーホール 塔屋2階平面図	A-42	舞台断面図				
A-18	断面図(1)	A-43	舞台機構 電気系統図・外形図				
A-19	断面詳細図(1)						
A-20	断面詳細図(2)						
A-21	断面詳細図(3)						
A-22	楽屋事務室 平面詳細図・断面詳細図・展開図・天井伏図 (改修前)						
A-23	楽屋事務室 平面詳細図・断面詳細図・展開図・天井伏図 (改修後)						
A-24	展示ギャラリー・リハーサル室 平面詳細図・天井伏図 (改修前)						
A-25	展示ギャラリー・リハーサル室 平面詳細図・天井伏図 (改修後)						

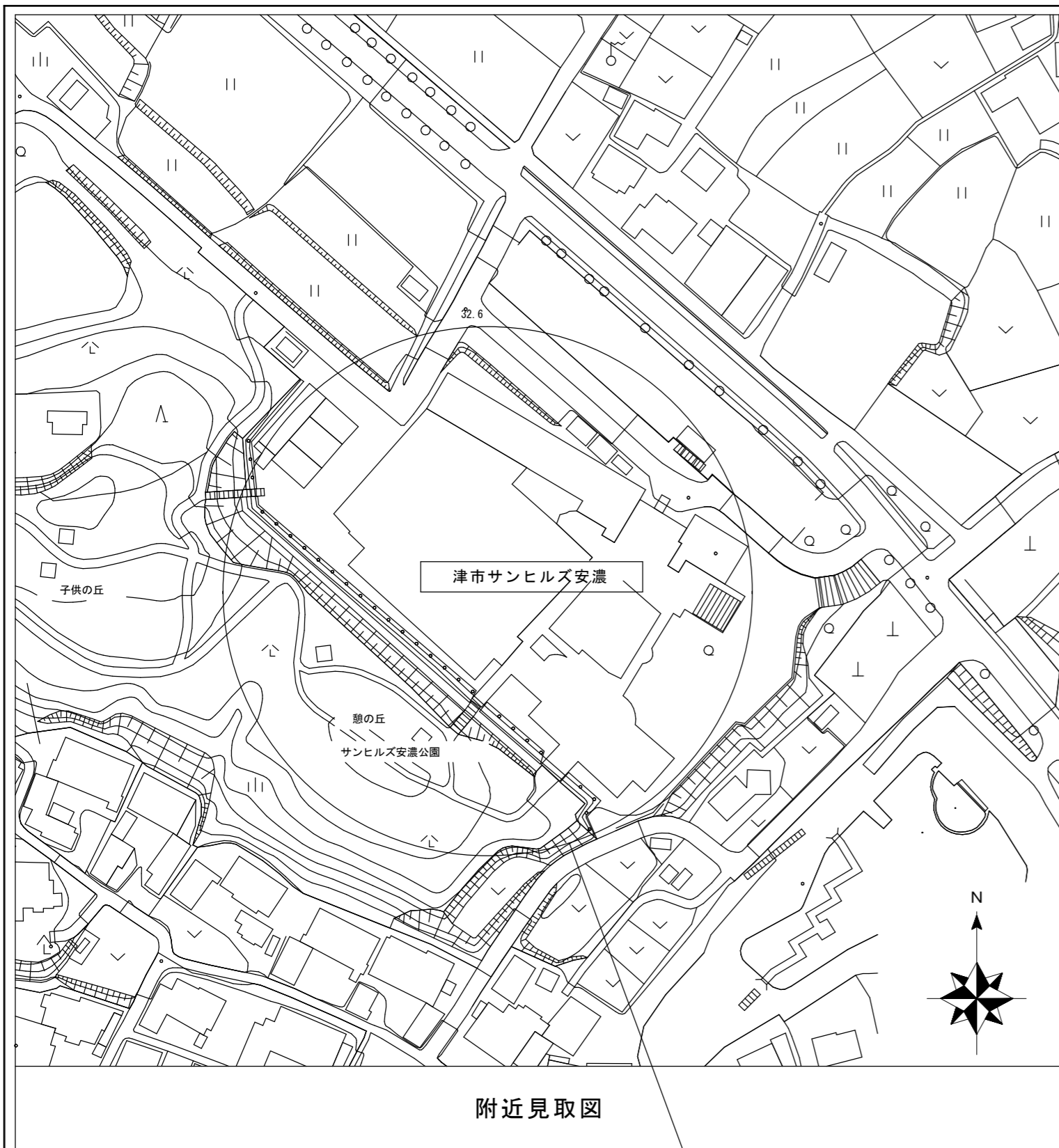
⑤ 建具 改修 工事	① 改修工法 (5.1.3)	<ul style="list-style-type: none"> かぶせ工法 カバー工法 持出し工法 ノンシール工法 	⑥ 内装 改修 工事	① 一般事項 (6.1.3) (b)	<p>既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲</p> <table border="1"> <tr><th>改修部分</th><th>改修範囲</th></tr> <tr><td><input type="radio"/> 天井</td><td><input type="radio"/> 図示</td></tr> <tr><td><input type="radio"/> 壁</td><td><input type="radio"/> 図示</td></tr> <tr><td><input type="radio"/> 床</td><td><input type="radio"/> 図示</td></tr> </table>	改修部分	改修範囲	<input type="radio"/> 天井	<input type="radio"/> 図示	<input type="radio"/> 壁	<input type="radio"/> 図示	<input type="radio"/> 床	<input type="radio"/> 図示		(6.5.2) (c) (ii)	「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質、含水率、図示 (図面番号:)
	改修部分	改修範囲														
<input type="radio"/> 天井	<input type="radio"/> 図示															
<input type="radio"/> 壁	<input type="radio"/> 図示															
<input type="radio"/> 床	<input type="radio"/> 図示															
2 防火戸 (5.1.4)	<ul style="list-style-type: none"> 例示仕様 個別認定 (認定番号:) 自動閉鎖機構 図示 (図面番号:) 	(6.1.3) (c)	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 <input type="radio"/> 図示 ()	(6.5.2) (d) (i)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材											
3 見本の製作 (5.1.5)	<ul style="list-style-type: none"> 製作する 製作しない 	(6.1.3) (f)	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 <input type="radio"/> 図示 ()	(6.5.2) (d) (ii)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 厚さ、表面の品質、防虫処理、含水率、図示 (図面番号:)											
4 防犯建物部品 (5.1.7)	<ul style="list-style-type: none"> 図示 (図面番号:) 	(6.2.2) (a) (1)	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 <input type="radio"/> 行う <input type="radio"/> 行わない	(6.5.2) (e)	床張り用合板等											
5 ブラインドボックス等 (5.1.6) (c)	<ul style="list-style-type: none"> 再使用する 再使用しない 	(6.2.2) (a) (2)	合成樹脂塗膜床材の除去等 機械的除去工法、目荒し工法	(6.5.5) (a)	防蟻、防蟻処理 通用部位、図示 (図面番号:) 保存処理性能区分 () 薬剤の塗布等の処理方法 () ボード原料接着剤への防蟻・防蟻処理 ()											
6 アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.2.4) (表5.2.1) (表5.2.2)	<p>性能等級等</p> <ul style="list-style-type: none"> A種 B種 C種 <ul style="list-style-type: none"> 防音ドアセット、防音サッシ (等級) 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) 耐震ドアセット (等級) 結露水の処理方法、図示 (図面番号:) <p>アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部に面する建具 <ul style="list-style-type: none"> B-1 B-2 内部に面する建具 <ul style="list-style-type: none"> C-1 C-2 	(6.2.2) (c)	改修後の床の清掃範囲 <input type="radio"/> 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ()	(6.5.5) (b)	防虫処理 図示 (図面番号:)											
7 網戸 (5.2.3) (e)	<ul style="list-style-type: none"> 可動式 固定式 <p>防虫網の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス (SUS316) 製網目 16メッシュ 18メッシュ 	(6.5.1) (c) (表6.5.1)	表面仕上げ A種 B種 C種	(6.5.2) (a) (2) (表6.5.2)	木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)											
8 樹脂製建具 (5.3.2)~(5.3.5) (表5.3.1)~(表5.3.3)	<p>性能等級等</p> <ul style="list-style-type: none"> A種 B種 C種 <ul style="list-style-type: none"> 防音ドアセット、防音サッシ (等級) 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ガラス、複層ガラス () 建具枠見込寸法、図示 (図面番号:) 水切り、図示 (図面番号:) せん板、図示 (図面番号:) 丁番、改修標準仕様書 (表5.7.3) による、図示 (図面番号:) 	(6.5.2) (b) (1)	製材 「製材の日本農林規格」による製材	(6.5.2) (b) (2) (表6.5.2)	野縁等の種類 <input type="radio"/> 屋内 <input type="radio"/> 19形 () <input type="radio"/> 屋外 <input type="radio"/> 25形 ()											
⑨ 鋼製建具 (5.4.2)	<p>鋼製建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡易気密性ドアセット 外部に面する建具の耐風圧 <ul style="list-style-type: none"> S-4 S-5 S-6 防音ドアセット、防音サッシ (等級 T3) 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) 耐震ドアセット (等級) めっき付着量 JIS G 3302 Z12 F12 () JIS G 3317 Y08 () 	(6.5.2) (b) (3) (表6.5.2)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率、図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 A種 ()	(6.5.2) (b) (1)	製材 「製材の日本農林規格」による製材											
10 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2) (b) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3) (a) (5.2.3) (a)	<p>鋼製軽量建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡易気密性ドアセット 防音ドアセット、防音サッシ (等級) 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) 耐震ドアセット (等級) H2400又はW950の建具 鋼板類の厚さ、図示 (図面番号:) <p>表面仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> 塗装 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 ステンレス鋼板 (HL 鏡面) 	(6.5.2) (c) (i)	造作材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材	(6.5.2) (b) (2) (表6.5.2)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率、図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 A種 ()											
11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2)	<p>ステンレス製建具の性能等級</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡易気密性ドアセット 外部に面する建具の耐風圧 <ul style="list-style-type: none"> S-4 S-5 S-6 防音ドアセット、防音サッシ (等級) 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) 耐震ドアセット (等級) 	(6.5.2) (c) (i)	代用樹種の使用 禁止する 禁止しない	(6.5.2) (b) (3) (表6.5.2)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率、図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 A種 ()											
(5.6.3)	材料 SUS304 ()	(6.5.2) (c) (i)	造作用集成材	(6.5.2) (b) (3) (表6.5.2)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率、図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 A種 ()											
(5.6.4)	表面仕上げ HL仕上げ ()	(6.5.2) (c) (i)	造作用集成材	(6.5.2) (b) (3) (表6.5.2)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率、図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 A種 ()											
(5.6.5)	曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	(6.5.2) (c) (i)	造作用集成材	(6.5.2) (b) (3) (表6.5.2)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率、図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 A種 ()											
⑩ 建具用金物 (5.7.2)	<p>金物の見え掛かり部等の材質等</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修標準仕様書 (表5.7.1) による 図示 (図面番号:) 	(6.5.2) (c) (i)	造作用集成材	(6.5.2) (b) (3) (表6.5.2)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率、図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 A種 ()											
(5.7.4)	マスターキー <input type="radio"/> 製作する <input type="radio"/> 製作しない 引渡用鍵箱 必要 <input type="radio"/> 不要	(6.5.2) (c) (i)	造作用集成材	(6.5.2) (b) (3) (表6.5.2)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率、図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 A種 ()											
13 自動ドア開閉装置 (5.8.2)	開閉装置の性能値 図示 (図面番号:)	(6.5.2) (c) (i)	造作用集成材	(6.5.2) (b) (3) (表6.5.2)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率、図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 A種 ()											

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事	NO. A-02 43
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897		設計				
			一級建築士事務所 一級建築士第248160号						原図: A2
			登録番号 (1) 第2118号 内田 貴之						

<p>⑧ カーペット敷き (6.9.3)(a) (表6.9.1)</p> <p>(6.9.3)(b) (表6.9.2)</p> <p>(6.9.3)(c)</p> <p>(6.9.3)(d) (表6.9.2)</p> <p>(6.9.3)(e) (6.9.3)(f)</p> <p>(6.9.4)(e)</p> <p>9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(b)(1) (表6.10.4)</p> <p>(6.10.3)(b)(2) (6.10.3)(c) (表6.10.5)~ (表6.10.8)</p> <p>10 フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)</p> <p>(6.11.5) (表6.11.3) (表6.11.5)</p> <p>(6.11.6)(2)</p> <p>11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)</p> <p>⑫ セッコウボード、 その他ボード 及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)</p> <p>(6.13.2)(h)</p> <p>(6.13.3)(e)(3)</p> <p>(6.13.3)(g)(1) (表6.13.5)</p> <p>⑬ 壁紙張り (6.14.2)</p>	<p>・ 織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>パイルの形状</th> <th>帯電性</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ カットパイル</td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ ループパイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>・ カット、ループ併用</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </table> <p>品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)</p> <p>・ タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>パイルの形状</th> <th>パイル長(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>工法</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td>・ カットパイル</td> <td></td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td> <td>・ 全面接着工法</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ループパイル</td> <td></td> <td></td> <td>・ グリッパー工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td></td> <td>・ ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ ニードルパンチカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>パイルの形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>品質の程度</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ カットパイル</td> <td>○ 500×500</td> <td>○ 6.5</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ループパイル</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ()</p> <p>見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、種類及び形状 ・ 図示(図面番号:))</p> <p>敷き方</p> <table border="1"> <tr> <th>平場</th> <th>市松敷き</th> <th>模様流し</th> <th>()</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>階段部分</th> <th>市松敷き</th> <th>模様流し</th> <th>()</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程</p> <p>・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</p> <p>エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類</p> <p>・ 薄膜流し展べ仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑) ・ 厚膜流し展べ仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑)</p> <p>・ 樹脂モルタル仕上げ(・ 平滑 ・ 防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ(・ 平滑)</p> <p>・ 釘留め工法</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種類</th> <th>樹種</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード (根太張用)</td> <td></td> <td>・ なら</td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (根太張用)</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>防湿処理 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>・ 接着工法</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>樹種</th> <th>厚さ</th> <th>大きさ</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード(直張用)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フローリングブロック(直張用)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合1種フローリング (直張用)</td> <td>・ A種</td> <td>・ なら</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合2種フローリング (直張用)</td> <td>・ B種</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合3種フローリング (直張用)</td> <td>・ C種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ モザイクパーケット(直張用)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示(図面番号:)</p> <p>塗装</p> <p>・ ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種)</p> <p>・ オイルステイン塗りのうすワックス塗り</p> <p>・ 生地そのままワックス塗り</p> <p>・ ()</p> <p>種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ セッコウボード</td> <td>壁</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 化粧セッコウボード</td> <td>・ トラバーチン模様</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 木目模様</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ ロックウール化粧吸音板</td> <td>・ 普通</td> <td>・ 9 ○ 12</td> </tr> <tr> <td>・ 立体模様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ けい酸カルシウム板</td> <td>・ タイプII 0.8FK</td> <td>○ 8</td> </tr> <tr> <td>・ あなあきセッコウボード</td> <td></td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td>○ 6</td> </tr> </table> <p>遮音シール材</p> <p>・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド</p> <p>合板類の張付け</p> <p>・ A種 ○ B種</p> <p>セッコウボードの目地工法</p> <p>・ 継目処理 ○ 突付け ・ 目透し</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品質</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>展示ギャラリー</td> <td>中級品</td> <td>○ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> </table>	種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	・ A種	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ()	・ B種	・ ループパイル			・ C種	・ カット、ループ併用	・ ()		パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ()	・ ループパイル			・ グリッパー工法		・ カット、ループ併用		・ ()			厚さ(mm)	帯電性	備考		・ 人体帯電圧 3KV以下			・ ()		種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・ カットパイル	○ 500×500	○ 6.5	・ ()		・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ ()	平場	市松敷き	模様流し	()					階段部分	市松敷き	模様流し	()					材料	種類	樹種	・ フローリングボード (根太張用)		・ なら	・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ()	材種	樹種	厚さ	大きさ	・ フローリングボード(直張用)				・ フローリングブロック(直張用)				・ 複合1種フローリング (直張用)	・ A種	・ なら		・ 複合2種フローリング (直張用)	・ B種	・ ()		・ 複合3種フローリング (直張用)	・ C種			・ モザイクパーケット(直張用)	・ ()	・ ()	・ ()	材種	種類	厚さ(mm)	○ セッコウボード	壁	・ 9.5(準不燃)	天井	・ 9.5(準不燃)	・ 化粧セッコウボード	・ トラバーチン模様	・ 9.5(準不燃)	・ 木目模様	・ 9.5(準不燃)	○ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9 ○ 12	・ 立体模様		・ けい酸カルシウム板	・ タイプII 0.8FK	○ 8	・ あなあきセッコウボード		・ 9.5(準不燃)	・ 化粧けい酸カルシウム板		○ 6	施工箇所	品質	防火性能	展示ギャラリー	中級品	○ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃	<p>⑭ モルタル塗り (6.15.3)</p> <p>15 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)</p> <p>(6.16.3)(b)(1)</p> <p>16 セルフレベル ング材塗り (6.17.2) (6.17.3)</p> <p>⑰ 断熱材 (9.5.2)</p> <p>(9.5.3)</p> <p>⑦ 塗装 改修 工事</p> <p>① 材料 (7.1.3)(b)</p> <p>2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7)</p> <p>3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3)~ (表7.3.3)~ (表7.3.4)</p> <p>④ 合成樹脂調合ベ イント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~ (表7.4.3)</p> <p>5 クリヤラッカー 塗り(CL) (7.5.2) (表7.5.1)</p> <p>6 アクリル樹脂系 非水分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1)</p> <p>7 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3)</p> <p>既製目地材 ・ 使用する(形状:) 床の目地 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>伸縮調整目地 位置 ・ 図示(図面番号:)</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">用途による区分</th> <th rowspan="2">すべり抵抗性</th> <th colspan="3">区分</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">標準・特注色</th> <th rowspan="2">耐凍害性有無</th> </tr> <tr> <th>I類(磁器)</th> <th>II類(せつ器)</th> <th>III類(陶器)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない</p> <p>・ セッコウ系 ・ セメント系 塗厚() mm</p> <p>断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>A種</th> <th>B種</th> </tr> <tr> <td>種類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ A種硬質ウレタンフォーム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ グラスウール</td> <td>24kg/m2</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>○ グラスウールボード</td> <td>32kg/m2</td> <td>50</td> </tr> </table> <p>断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ[mm]</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A種1</td> <td></td> <td>・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ床版 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</td> </tr> <tr> <td>・ A種2</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ A種3</td> <td></td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>○ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)</p> <p>既存塗膜の除去範囲(塗り替えてRB種の場合) ・ 図示(図面番号:)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>下地</th> <th>種類</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>・ 木部</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ モルタル、プaster面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td>・ 行う</td> </tr> <tr> <td>・ セッコウボード、その他ボード面</td> <td></td> <td>・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</td> <td></td> </tr> </table> <p>錆止め塗料種類</p> <p>・ 亜鉛めっき鋼面</p> <p>・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>錆止め塗料塗り種類</p> <p>鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>塗料種類 ○ 1種 ・ ()</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>下地</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>○ 木部</td> <td></td> <td>・ A種 ○ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </table> <p>種類</p> <p>木部 ・ A種 ・ B種</p> <p>種類</p> <p>・ A種 ・ B種</p> <p>上塗り等級</p> <p>・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系)</p> <table border="1"> <tr> <th>下地</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び 押出成形セメント板面</td> <td>・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種</td> </tr> </table>	施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無	I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)												種類	A種	B種	種類			・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			・ 押出法ポリスチレンフォーム			・ A種硬質ウレタンフォーム			○ グラスウール	24kg/m2	50	○ グラスウールボード	32kg/m2	50	種類	厚さ[mm]	施工箇所	・ A種1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ床版 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所	・ A種2	・ ()		・ A種3		・ ()	種類	下地	種類	ひび割れ部の補修	・ 木部		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		・ 鉄鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		・ 亜鉛めっき鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		・ モルタル、プaster面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、ALCパネル面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う	・ セッコウボード、その他ボード面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種		種類	下地	種類	○ 木部		・ A種 ○ B種 ・ C種	・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種	下地	種類	鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種	<p>8 つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (EP-G) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)</p> <p>⑨ 合成樹脂エマ ルジョンペイン ト塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)</p> <p>10 合成樹脂エマ ルジョン模様塗 料塗り(EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)</p> <p>11 ウレタン樹脂 ワニス塗り(UC) (7.12.2) (表7.12.1)</p> <p>12 ラッカーエナ メル塗り(LE) (7.13.2) (表7.13.1)</p> <p>13 木造保護塗料 塗り(WP) (7.15.2) (表7.15.1)</p> <p>⑧の1 耐震改修工事 共通事項</p> <p>⑧の2 耐震改修工事 撤去工事</p> <p>(一般事項)</p> <p>① 適用範囲</p> <p>(8.1.1) (8.1.2)</p> <p>工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 鉄骨プレースの設置工事 柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) 柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) 柱補強工事(連続繊維補強工法) 耐震スリット新設工事 免震改修・制震改修工事 <p>工事種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄筋工事 ○ あと施工アンカー工事 ○ コンクリート工事 ・ 鉄骨工事 ・ グラウト工事 ・ 連続繊維補強工事 ・ スリット新設工事 ・ 免震改修・制震改修工事 ・ 基礎工事 <p>撤去の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図示 ・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分 ・ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分 ・ () <p>既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置</p> <p>本工事の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分 ・ 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。 ・ () <p>撤去範囲 ○ 図示</p> <p>既存構造体の撤去</p> <p>撤去範囲 ○ 図示</p> <p>はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置</p> <p>既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断</p> <table border="1"> <tr> <th>鉄筋の切断</th> <th>範囲</th> <th>適用</th> </tr> <tr> <td>・ 既存鉄筋は切断せず残す</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する</td> <td>・ 図示(図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する</td> <td>○ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()</td> <td></td> </tr> </table> <p>はつりだした鉄筋の処置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。 ・ () <p>はつりだした鉄骨の処置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリート等を除去し鉄面を表す。 ・ () <p>既存構造体コンクリート面の表層目荒らし</p> <p>目荒らし程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す ・ 図示(図面番号:) <p>(既存部分の処理)</p> <p>3 既存構造体コン クリートの表層 目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)</p> <p>設計番号 年月日 縮尺</p> <p>津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事</p> <p>改修特記仕様書(3)</p> <p>NO. A-03 43 原図: A2</p>	鉄筋の切断	範囲	適用	・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示(図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし		・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示(図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし		○ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	○ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()	
種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ A種	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ B種	・ ループパイル																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ C種	・ カット、ループ併用	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																			
パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ ループパイル			・ グリッパー工法																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ カット、ループ併用		・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																			
厚さ(mm)	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ 人体帯電圧 3KV以下																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・ カットパイル	○ 500×500	○ 6.5	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																	
平場	市松敷き	模様流し	()																																																																																																																																																																																																																																																																																		
階段部分	市松敷き	模様流し	()																																																																																																																																																																																																																																																																																		
材料	種類	樹種																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																			
材種	樹種	厚さ	大きさ																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ フローリングボード(直張用)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ フローリングブロック(直張用)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ 複合1種フローリング (直張用)	・ A種	・ なら																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 複合2種フローリング (直張用)	・ B種	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 複合3種フローリング (直張用)	・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ モザイクパーケット(直張用)	・ ()	・ ()	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																		
材種	種類	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○ セッコウボード	壁	・ 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	天井	・ 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 化粧セッコウボード	・ トラバーチン模様	・ 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ 木目模様	・ 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9 ○ 12																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・ 立体模様																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ けい酸カルシウム板	・ タイプII 0.8FK	○ 8																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ あなあきセッコウボード		・ 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 化粧けい酸カルシウム板		○ 6																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	品質	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																			
展示ギャラリー	中級品	○ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		・ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		・ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無																																																																																																																																																																																																																																																																											
					I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)																																																																																																																																																																																																																																																																														
種類	A種	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ 押出法ポリスチレンフォーム																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ A種硬質ウレタンフォーム																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ グラスウール	24kg/m2	50																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○ グラスウールボード	32kg/m2	50																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	厚さ[mm]	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ A種1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ床版 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ A種2	・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ A種3		・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	下地	種類	ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ 木部		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 鉄鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 亜鉛めっき鋼面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ モルタル、プaster面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ コンクリート、ALCパネル面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ コンクリート、押出成形セメント板面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ セッコウボード、その他ボード面		・ RA種 ・ RB種 ・ RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	下地	種類																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○ 木部		・ A種 ○ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 鉄鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																			
下地	種類																																																																																																																																																																																																																																																																																				
鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																				
亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																				
コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																				
鉄筋の切断	範囲	適用																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示(図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示(図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	○ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()																																																																																																																																																																																																																																																																																				

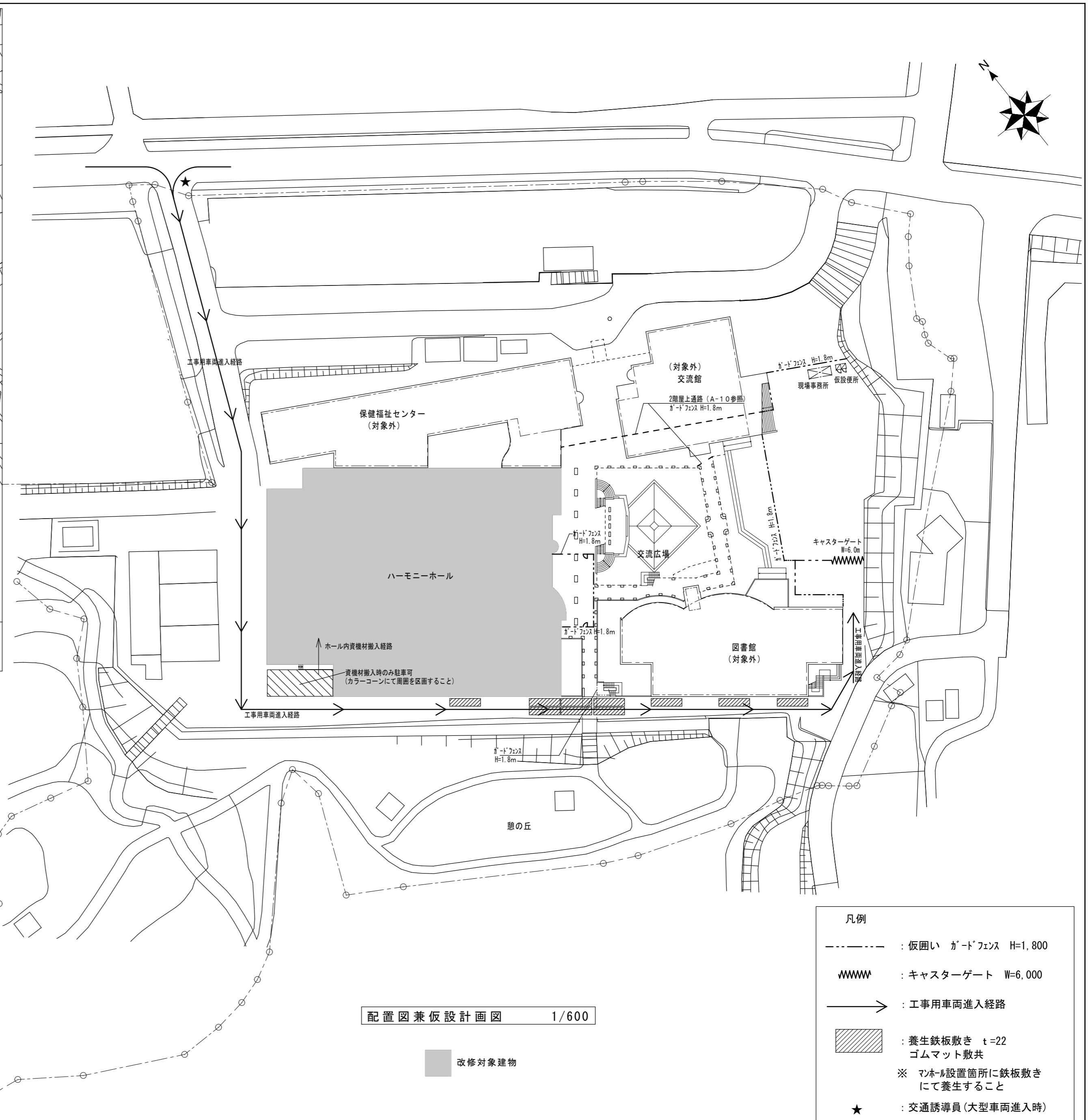
⑧の3 耐震改修工事 鉄筋工事	① 鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1)	材料 改修標準仕様書(表8.2.1)による <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>径(mm)</th> </tr> <tr> <td>・ SD295A</td> <td>・ D10 () ・ D13 ・ D16</td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD390</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </table>	種類	径(mm)	・ SD295A	・ D10 () ・ D13 ・ D16	・ SD345		・ SD390		・ ()		4 混和材料 (8.2.5)	骨材 アルカリシリカ反応性による区分 ・ A L (コンクリート中のアルカリ総量を規制) ・ A (安全と認められる骨材を使用) なお、A Lで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。 ・ 特殊な骨材の使用 ・ フェロニッケルスラグ細骨材 ・ 鋼スラグ細骨材 ・ 電気炉酸化スラグ骨材 ・ 再生骨材H	⑧の5 耐震改修工事 あと施工アンカー工事	(あと施工アンカー) ① あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 <input checked="" type="checkbox"/> 金属系 セットの方式 <input checked="" type="checkbox"/> 本体打込み式 (<input type="checkbox"/> 改良型 <input type="checkbox"/> 従来型) 径及び埋込み深さ <input checked="" type="checkbox"/> 図示 (図面番号:) 引張耐力 <input type="checkbox"/> 図示 (図面番号:) せん断耐力 <input type="checkbox"/> 図示 (図面番号:) 接合筋の種類・径・長さ <input type="checkbox"/> 図示 (図面番号:) ・ 接着系 カプセル型回転 <input type="checkbox"/> 打撃式 <input type="checkbox"/> 有機系 <input type="checkbox"/> 無機系 径及び埋込み深さ <input type="checkbox"/> 図示 (図面番号:) 引張耐力 <input type="checkbox"/> 図示 (図面番号:) せん断耐力 <input type="checkbox"/> 図示 (図面番号:) アンカー筋の種類 <input type="checkbox"/> 図示 (図面番号:) アンカー筋の新設壁内への定着長さ <input type="checkbox"/> 図示 (図面番号:) あと施工アンカーの性能確認試験 <input type="checkbox"/> 行う <input checked="" type="checkbox"/> 行わない																		
	種類	径(mm)																																	
・ SD295A	・ D10 () ・ D13 ・ D16																																		
・ SD345																																			
・ SD390																																			
・ ()																																			
2 溶接金網 (8.2.2)	網目の形状、寸法及び鉄線の径 <table border="1"> <tr> <th>網目の形状、寸法</th> <th>鉄線の径(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)			混和剤 混和剤の種類 ・ 改修標準仕様書(8.2.5)(d)(1)による ・ 図示(図面番号:)	② あと施工アンカーの施工 (8.12.2) (8.12.4) (8.12.5)	穿孔 埋込み配管等の探査の方法 ・ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 <input type="checkbox"/> 実施する <input checked="" type="checkbox"/> 実施しない 確認試験方法 ・ 改修標準仕様書(8.11.5)による <input type="checkbox"/> () 確認強度 ・ ()																											
網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)																																		
3 加工 (8.3.2)	90°未満の折曲げの内法直径 <input type="checkbox"/> 図示(図面番号:)	5 調合管理強度 (8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)	6 型枠 (8.2.7) (8.7.8)	③ シアコネクタ (場所打ちコンクリート壁の増設工事)	(場所打ちコンクリート壁の増設工事) 種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径[mm] <input type="checkbox"/> D10 長さ[mm] <input type="checkbox"/> 増付壁厚-40 () 影込み深さ[mm] <input type="checkbox"/> 5d (d: シアコネクタの径)以上 () 間隔[mm] <input type="checkbox"/> 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 <input type="checkbox"/> 兼用してもよい <input type="checkbox"/> 兼用しない ()																														
4 鉄筋の継手及び定着 (8.3.4)	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>径</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>重ね継手</td> <td>※ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス圧接</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> </table>		径	部位	重ね継手	※ D16以下		ガス圧接	※ D19以上		7 暑中コンクリート (8.10.2)	8 無筋コンクリート (8.11.1)	④ 鋼材 (8.2.8)	① 鉄骨製作工場 (8.1.5)	鋼日本鉄骨評価センター又は鋼全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J <input checked="" type="checkbox"/> R <input type="checkbox"/> M <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> S																				
	径	部位																																	
重ね継手	※ D16以下																																		
ガス圧接	※ D19以上																																		
5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5)	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ・ 改修標準仕様書(8.3.4)(c)(1)による ・ 図示(図面番号:) 継手位置 ・ 各部配筋参考図による ・ 図示(図面番号:) 先組み工法等 ・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける 鉄筋の定着長さ ・ 改修標準仕様書(表8.3.4)による ・ 図示(図面番号:) 帯筋組立の形 ・ 図示(図面番号:) 軽量コンクリートで土に接する部分 <input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り 適用箇所 () 最小かぶり厚さ () mm 耐久性上不利な部分(塩害を受けるおそれのある部分等) ・ 無し <input type="checkbox"/> 有り 適用箇所 () 最小かぶり厚さ () mm	9 コンクリートの打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)	(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	② 施工管理技術者 (8.1.5)	施工管理技術者(鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等)の適用 <input type="checkbox"/> しない <input type="checkbox"/> する																														
6 各部配筋	<input checked="" type="checkbox"/> 図示	10 増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	③ 鋼材 (8.2.8)	鋼材・形状及び寸法 <input checked="" type="checkbox"/> 図示																														
7 ガス圧接 (8.3.8)	圧接完了後の試験 超音波探傷試験 <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	④ 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	高力ボルトの適用 ・ トルシア形高力ボルト 2種 (S10T) <input checked="" type="checkbox"/> JIS形高力ボルト 2種 (F10T) <input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき高力ボルト 1種 (F8T相当) 高力ボルトの径 <input checked="" type="checkbox"/> 図示 すべり係数試験 <input type="checkbox"/> 行う 試験方法等 <input type="checkbox"/> 図示(図面番号:) JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの5倍を超える場合の回転量 ・ ()																														
(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)	割製補強筋の適用 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>材種</th> <th>径</th> <th>本数・ピッチ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ スパイラル筋</td> <td>・ 鉄筋コンクリート用</td> <td>・ R235</td> <td>・ 6φ</td> <td>スパイラルの径(mm) ()</td> <td>・ 図示(図面番号:)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 棒鋼</td> <td>・ ()</td> <td>・ 9φ</td> <td>スパイラルのピッチ(mm) ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ はしご筋</td> <td>・ 鉄筋コンクリート用</td> <td>・ 295A</td> <td>・ 10</td> <td>壁内方向筋 ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 棒鋼(異形鉄筋)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>壁面外方向筋 ()</td> <td></td> </tr> </table>	種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所	・ スパイラル筋	・ 鉄筋コンクリート用	・ R235	・ 6φ	スパイラルの径(mm) ()	・ 図示(図面番号:)		・ 棒鋼	・ ()	・ 9φ	スパイラルのピッチ(mm) ()		・ はしご筋	・ 鉄筋コンクリート用	・ 295A	・ 10	壁内方向筋 ()			・ 棒鋼(異形鉄筋)	・ ()	・ ()	壁面外方向筋 ()		増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	⑤ 仮組 (8.13.10)	仮組の実施 <input type="checkbox"/> 実施する () <input type="checkbox"/> 実施しない
種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所																														
・ スパイラル筋	・ 鉄筋コンクリート用	・ R235	・ 6φ	スパイラルの径(mm) ()	・ 図示(図面番号:)																														
	・ 棒鋼	・ ()	・ 9φ	スパイラルのピッチ(mm) ()																															
・ はしご筋	・ 鉄筋コンクリート用	・ 295A	・ 10	壁内方向筋 ()																															
	・ 棒鋼(異形鉄筋)	・ ()	・ ()	壁面外方向筋 ()																															
8 割製補強筋 (8.21.6) (8.22.7)	9 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3)	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	⑥ 技能資格者 (8.15.3)	溶接作業における技能資格者の技量付加試験 <input type="checkbox"/> 実施する () <input type="checkbox"/> 実施しない																														
9 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3)	溶接継手 工法 () 修正方法 () 品質の確認方法 () 鉄筋相互のあき () mm	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	⑦ 溶接部の試験 (8.15.11)	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 工場溶接の場合 <input type="checkbox"/> 全数試験とする <input type="checkbox"/> 公共建築工事標準仕様書(平成28年版)(7.6.11)(b)による。 平均出検品質限界(AOQL) <input type="checkbox"/> 4.0% <input type="checkbox"/> 2.5% () 検査水準 <input type="checkbox"/> 第6水準 () ロットの構成 () 工事現場溶接の場合 <input type="checkbox"/> 全数試験とする <input type="checkbox"/> 公共建築工事標準仕様書(平成28年版)(7.6.11)(b)による。 平均出検品質限界(AOQL) <input type="checkbox"/> 4.0% ()																														
⑧の4 耐震改修工事 コンクリート工事	(コンクリート工事一般事項) ① コンクリートの種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4)	コンクリートの種類 <input checked="" type="checkbox"/> I類 <input type="checkbox"/> II類 普通コンクリートの設計基準強度 <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度Fc [N/mm2]</th> <th>適用範囲</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>スランプ</th> </tr> <tr> <td>・ 21+S</td> <td>便所床スラブ</td> <td>・ 2.3t/m3程度</td> <td>18</td> </tr> </table>	設計基準強度Fc [N/mm2]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ	・ 21+S	便所床スラブ	・ 2.3t/m3程度	18	柱頭柱脚の隙間部間の型枠 <input type="checkbox"/> 発泡プラスチック保温材等を埋込む () 柱頭柱脚の隙間寸法 <input type="checkbox"/> 図示(図面番号:) 打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ <input type="checkbox"/> 図示(図面番号:) <input type="checkbox"/> 60mm () <input type="checkbox"/> 図示(図面番号:)	⑧ 溶接材料 (8.21.10)	<input checked="" type="checkbox"/> 改修標準仕様書(8.2.10)(a)(b)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 <input checked="" type="checkbox"/> 図示																						
設計基準強度Fc [N/mm2]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ																																
・ 21+S	便所床スラブ	・ 2.3t/m3程度	18																																
(8.9.1) (8.9.2) (表8.9.1)	軽量コンクリートの設計基準強度 <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度Fc [N/mm2]</th> <th>種類</th> <th>適用範囲</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>所要気乾単位容積質量</th> <th>スランプ</th> </tr> <tr> <td>・ 36</td> <td>・ 1類</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ 2類</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ 1類</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	設計基準強度Fc [N/mm2]	種類	適用範囲	気乾単位容積質量	所要気乾単位容積質量	スランプ	・ 36	・ 1類					・ ()	・ 2類					・ ()	・ 1類					柱頭柱脚の隙間寸法 <input type="checkbox"/> 図示(図面番号:)	打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ <input type="checkbox"/> 図示(図面番号:) <input type="checkbox"/> 60mm ()	⑨ 溶接接合 (8.15.4) (8.15.7)	開先の形状 <input checked="" type="checkbox"/> 図示 スカールアップの形状 <input checked="" type="checkbox"/> 図示						
設計基準強度Fc [N/mm2]	種類	適用範囲	気乾単位容積質量	所要気乾単位容積質量	スランプ																														
・ 36	・ 1類																																		
・ ()	・ 2類																																		
・ ()	・ 1類																																		
2 構造体コンクリートの仕上り (8.1.4)	合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別 ・ A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	⑩ 錆止め塗装 (8.17.3)	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) <input checked="" type="checkbox"/> 改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1) (B)種 耐火被覆材の接着する面への塗装 <input type="checkbox"/> 行う <input checked="" type="checkbox"/> 行わない 適用箇所 図示(図面番号:) 種類 <input type="checkbox"/> 改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1) ()種																														
③ コンクリートの材料 (8.2.5) (表8.2.3)	セメントの種類 <input checked="" type="checkbox"/> 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 () <input type="checkbox"/> 高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種 適用箇所 ()	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)																														
特記	月 日	月 日	月 日	設計番号	年 月 日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 改修特記仕様書(4)	NO. A-04 43 原図:A2																											

<p>1 1 耐火被覆材の種類及び性能 (8.18.2) (8.18.3)</p> <p>1 2 プレース設置工事後の仕上げ</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>種類</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 図示 (図面番号:)</p>	部位	種類	仕様							<p>(9.1.5)</p>	<p>○ アスベスト含有成形板の除去 除去対象範囲 ・ 図示 (図面番号:) ・ (天井: 有孔石綿セメントケイカル板)</p> <p>・ アスベスト含有せつこうボードを除くアスベスト含有成形板 ○ 埋立処分 (管理型最終処分場) ○ 中間処理 (熔融施設)</p> <p>改修特記仕様書3章による</p> <p>2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.1)~ (9.2.3)</p> <p>3 外断熱改修工事 (9.3.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ [mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキンなし)</td> <td>・ 保温板 (2種b) ・ 保温板 (3種b)</td> </tr> <tr> <td>・ A種硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール</td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ・ 規制対象外 ・ ()</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.3.3) 既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修標準仕様書(4.1.4)による ・ ()</p> <p>(9.3.4) 工法 通気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ () 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ () 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない</p> <p>4 断熱・防露改修工事 (9.5.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ [mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキンなし)</td> <td>・ 保温板 (2種b) ・ 25 ・ () ・ 保温板 (3種b) ・ 25 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ A種硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)</td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</p> <p>(9.5.3) ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種1 ・ B種1 厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ () 施工箇所 ・ 図示 (図面番号:)</p> <p>・ 現場発泡断熱材 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p> <p>(9.5.4) 断熱材のホルムアルデヒド放散量 ・ 規制対象外 ・ () ・ 断熱材後張り工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>せつこうボード等の張り付け</th> <th>厚さ [mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム保温材</td> <td>・ 有</td> <td>・ 無</td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</p>	種類	厚さ [mm]	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)		・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		・ フェノールフォーム断熱材		・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材		・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキンなし)	・ 保温板 (2種b) ・ 保温板 (3種b)	・ A種硬質ウレタンフォーム保温材		・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)		・ ロックウール		・ グラスウール		種類	防火性能	備考				種類	厚さ [mm]	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)		・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		・ フェノールフォーム断熱材		・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材		・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキンなし)	・ 保温板 (2種b) ・ 25 ・ () ・ 保温板 (3種b) ・ 25 ・ ()	・ A種硬質ウレタンフォーム保温材		・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)		種類	せつこうボード等の張り付け	厚さ [mm]	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ フェノールフォーム断熱材	・ 有	・ 無	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・ 有	・ 無	・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材	・ 有	・ 無	・ 硬質ウレタンフォーム保温材	・ 有	・ 無	・ フェノールフォーム保温材	・ 有	・ 無	<p>5 屋上緑化改修工事 (9.6.1) (9.6.2) (9.6.3)</p> <p>6 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.7.2)~ (9.7.7) (9.7.9)</p>	<p>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示 (図面番号:) ・ () 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・ 適用しない</p> <p>かん水装置 ・ 設置する (種類 ・) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</p> <p>路床 路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ [mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7µmふるい通過量10%以下) ・ ()</td> <td>・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 砂 ・ ()</td> <td>・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理 ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・特号 ・ 1号) 添加量 (kg/m2) (目標CBR ・ 5以上 ・)</p> <p>・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m2以上 ・ () 厚さ [mm] ・ 0.5~1.0 ・ () 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ () 透水係数 ・ 1.5×10⁻¹cm/sec 以上 ・ ()</p> <p>試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固めの試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ () 路盤材料 ・ 再生材のクラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン鉄鋼スラグ ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</p> <p>試験 路盤締固めの試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>厚さ [mm]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ストレートアスファルト</td> <td>・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ・ 著しい不陸がないもの ・ ()</p>	種別	材料	厚さ [mm]	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7µmふるい通過量10%以下) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ フィルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	材料	厚さ [mm]	ストレートアスファルト	・ 図示 (図面番号:) ・ ()
部位	種類	仕様																																																																																																					
種類	厚さ [mm]																																																																																																						
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																																																																							
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)																																																																																																							
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材																																																																																																							
・ フェノールフォーム断熱材																																																																																																							
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材																																																																																																							
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキンなし)	・ 保温板 (2種b) ・ 保温板 (3種b)																																																																																																						
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材																																																																																																							
・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)																																																																																																							
・ ロックウール																																																																																																							
・ グラスウール																																																																																																							
種類	防火性能	備考																																																																																																					
種類	厚さ [mm]																																																																																																						
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																																																																							
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)																																																																																																							
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材																																																																																																							
・ フェノールフォーム断熱材																																																																																																							
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材																																																																																																							
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキンなし)	・ 保温板 (2種b) ・ 25 ・ () ・ 保温板 (3種b) ・ 25 ・ ()																																																																																																						
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材																																																																																																							
・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く)																																																																																																							
種類	せつこうボード等の張り付け	厚さ [mm]																																																																																																					
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																					
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																					
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																					
・ フェノールフォーム断熱材	・ 有	・ 無																																																																																																					
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・ 有	・ 無																																																																																																					
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材	・ 有	・ 無																																																																																																					
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	・ 有	・ 無																																																																																																					
・ フェノールフォーム保温材	・ 有	・ 無																																																																																																					
種別	材料	厚さ [mm]																																																																																																					
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示 (図面番号:) ・ ()																																																																																																					
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュヤラン ・ クラッシュヤラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7µmふるい通過量10%以下) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()																																																																																																					
・ フィルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()																																																																																																					
材料	厚さ [mm]																																																																																																						
ストレートアスファルト	・ 図示 (図面番号:) ・ ()																																																																																																						
<p>⑨ 環境配慮改修工事</p> <p>① アスベスト含有材の処理工事 (9.1.1)</p>	<p>施工調査 ・ アスベスト含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貨与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。</p> <p>調査範囲 ・ 図示 (図面番号: 改修範囲) ・ () 貨与資料 ()</p> <p>・ 分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トモライト</p> <p>分析方法 ・ JIS A 1481-1 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法) による ・ JIS A 1481-2 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法) による ・ JIS A 1481-3 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法) による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td>・ 箇所数 ()</td> <td>・ 箇所数 ()</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>・ 箇所数 ()</td> <td>・ 箇所数 ()</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>・ 箇所数 ()</td> <td>・ 箇所数 ()</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>・ 箇所数 ()</td> <td>・ 箇所数 ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()</p> <p>・ アスベスト粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>測定 2</td> <td> </td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>測定 3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>測定 4</td> <td> </td> <td>負圧・除じん装置の排気出し口 出口吹出し風速1m/s 以下の位置</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>測定 5</td> <td> </td> <td>処理作業室外 (敷地境界)</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>測定 6</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>測定 7</td> <td>処理作業後シート撤去後 1週間</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>測定 8</td> <td>以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定 3</th> <th>測定 1, 2, 4, 6, 7, 8</th> <th>測定 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンブレンフィルタ直径 (mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量 (L/min)</td> <td>・ 1 ・ ()</td> <td>・ 5 ・ ()</td> <td>・ 10 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間 (min)</td> <td>・ 5 ・ ()</td> <td>・ 120 ・ ()</td> <td>・ 240 ・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>(9.1.3) アスベスト含有建材の処理 ・ アスベスト含有吹き付け材の除去 除去対象範囲 ・ 図示 (図面番号:) ・ () 除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(b)(1)による 除去したアスベスト含有吹き付け材等の飛散防止 ・ 密封処理 ・ 湿潤化 ・ セメント固化 除去したアスベスト含有吹き付け材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (熔融施設)</p> <p>(9.1.4) ・ アスベスト含有保温材の除去 除去対象範囲 ・ 図示 (図面番号:) ・ () 除去したアスベスト含有保温材の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (熔融施設)</p>	材料名	定性分析	定量分析		・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()		・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()		・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()		・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)		測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点		測定 2		調査対象室外部の付近	計 点		測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点		測定 4		負圧・除じん装置の排気出し口 出口吹出し風速1m/s 以下の位置	計 点		測定 5		処理作業室外 (敷地境界)	計 点		測定 6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点		測定 7	処理作業後シート撤去後 1週間	処理作業室内	計 点		測定 8	以降	調査対象室外部の付近	計 点		測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5	メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	25	47	試料の吸引流量 (L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()	試料の吸引時間 (min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()	<p>月 日</p>	<p>U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号 (第) 2118号 内田 貴之</p>	<p>設計番号</p> <p>年 月 日</p> <p>縮尺</p>	<p>津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事</p> <p>改修特記仕様書 (5)</p> <p>NO. A-05 43 原図: A2</p>																						
材料名	定性分析	定量分析																																																																																																					
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()																																																																																																					
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()																																																																																																					
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()																																																																																																					
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()																																																																																																					
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)																																																																																																			
	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点																																																																																																			
	測定 2		調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																			
	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点																																																																																																			
	測定 4		負圧・除じん装置の排気出し口 出口吹出し風速1m/s 以下の位置	計 点																																																																																																			
	測定 5		処理作業室外 (敷地境界)	計 点																																																																																																			
	測定 6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点																																																																																																			
	測定 7	処理作業後シート撤去後 1週間	処理作業室内	計 点																																																																																																			
	測定 8	以降	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																			
	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5																																																																																																				
メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	25	47																																																																																																				
試料の吸引流量 (L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()																																																																																																				
試料の吸引時間 (min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()																																																																																																				



附近見取図

工事場所



配置図兼仮設計画図 1/600

改修対象建物

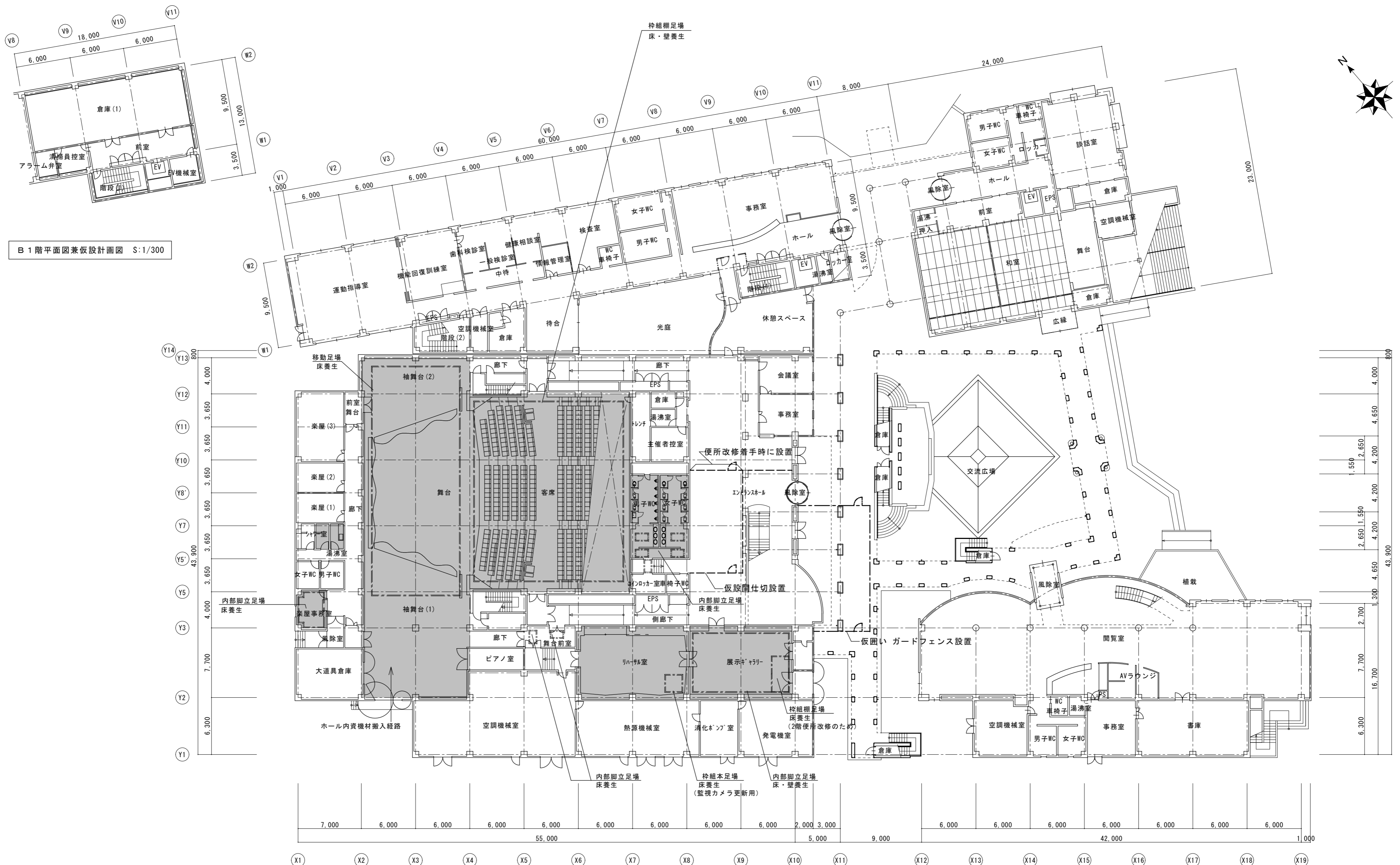
- 凡例
- : 仮囲い ガートフェンス H=1,800
 - ~~~~~ : キャスターゲート W=6,000
 - : 工事用車両進入経路
 - ▨ : 養生鉄板敷き t=22
ゴムマット敷共
 - ※ : マンホール設置箇所に鉄板敷きにて養生すること
 - ★ : 交通誘導員(大型車両進入時)

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 付近見取図・配置図兼仮設計画図	No. A-06 43 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/600		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					

内 部 仕 上 表

位置	部位	改 修 前		位置	部位	改 修 後	
		改 修 前	現 状			改 修 後	現 状
舞台	床・巾木	木床組 松積層材 t=30 モルタル金鍍 H=100	既存のまま	舞台	床・巾木	木床組 松積層材 t=30 モルタル金鍍 H=100	既存のまま
	壁	コンクリート打ち放し H=2100まで ロックウール吸音材	既存のまま		壁	コンクリート打ち放し H=2100まで ロックウール吸音材	既存のまま
	天井	鉄骨下地 スノコSOP塗り	既存のまま		天井	鉄骨下地 スノコSOP塗り	既存のまま
	その他	舞台装置更新(舞台装置詳細図参照)	一部撤去		その他	舞台装置更新(舞台装置詳細図参照)	一部新設 新設
客席	床・巾木	モルタル下地 ナラフローリング t=13 張り	既存のまま	客席	床・巾木	モルタル下地 ナラフローリング t=13 張り	既存のまま
	壁	コンクリート、LGS 下部：花崗岩 t=70 上部：繊維強化石膏ボード t=12+12 寒冷紗貼りEP 斜壁：グラスウール(32k)t=50+有孔石綿t=8 EP	既存のまま		壁	コンクリート 下部：花崗岩 t=70 上部：繊維強化石膏ボード t=12+12 寒冷紗貼りEP 斜壁：グラスウール(32k)t=50+有孔石綿t=8 EP	既存のまま
	天井	LGS下地 繊維強化石膏ボードt=12 寒冷紗貼りEP	既存のまま		天井	LGS下地 繊維強化石膏ボードt=12 寒冷紗貼りEP	既存のまま
	その他	客席椅子(移動席176席、固定席420席)			その他	客席椅子(移動席188席) DMXコンセント(設備工事) 落下防止ネット新設(天井裏：吊ボルト箇所につきクワガタφ32k t=50 500角敷き込み) ネット固定用鉄骨新設	復旧 新設
展示ギャラリー	床・巾木	モルタル下地 タイルカーペットt=5 300角 ビニル巾木H=60	既存のまま	アートスペース	床・巾木	モルタル下地 タイルカーペットt=5 300角 ビニル巾木H=60	既存のまま
	壁	コンクリート、LGS下地 石膏ボードt=12+ケイカル板t=8 クロス貼り	既存のまま 一部撤去		壁	コンクリート、LGS下地 石膏ボードt=12.5+ケイカル板t=8 クロス貼り	既存のまま 一部新設
	天井	LGS下地 ロックウール化粧吸音板 t=12	既存のまま 撤去		天井	LGS下地 岩綿吸音板 t=12 塩ビ天井廻縁	既存のまま 新設
	その他	アルミビクチャーレール(四方)、アルミ天井点検口(5カ所)	撤去		その他	カーテンボックス(SOP塗り)、Sushaテンレール(重ね300)、カーテン(四方)、アルミ天井点検口(5カ所) 電気、機械器具撤去又は一時取り外し(設備図参照)	新設
リハーサル室	床・巾木	シングルコンクリートt=122+グラスウール吸音材(96k) t=50 ナラフローリング t=13 張り 木製縁付巾木H=60 CL(既存のまま)	既存のまま	ミュージック ルームA	床・巾木	シングルコンクリートt=122+グラスウール吸音材(96k) t=50 ナラフローリング t=13 張り 木製縁付巾木H=60 CL(既存のまま)	既存のまま
	壁	LGS下地 下部：石膏ボードt=12+天然木縁付合板 上部：石膏ボードt=12+ケイカル板t=8 EP(既存のまま)	既存のまま 一部取り外し		壁	LGS下地 下部：石膏ボードt=12+天然木縁付合板 上部：石膏ボードt=12+ケイカル板t=8 EP(既存のまま)	既存のまま 復旧
	天井	LGS下地 ロックウール化粧吸音板 t=12 塩ビ天井廻縁	既存のまま		天井	LGS下地 ロックウール化粧吸音板 t=12 塩ビ天井廻縁	既存のまま
	その他	2枚引き込みハンガードア動作不良調整	調整		その他	2枚引き込みハンガードア動作不良調整	調整
楽屋事務室	床・巾木	モルタル下地 ビニル床タイル300角 ビニル巾木H=60	既存のまま 撤去	ミュージック ルームB	床・巾木	モルタル下地 タイルカーペット500角t=6.5 ビニル巾木H=60	既存のまま 新設
	壁	コンクリート 石膏ボードt=12 GL工法 ビニールクロス貼り	撤去		壁	遮音シートt=1.0+LGS(50)+ガラスM吸音材(32k)t=50 石膏ボードt=12.5+吸音用有孔石膏ボード t=9.5 EP塗り	新設
	天井	LGS下地+石膏ボードt=9.5 化粧石膏ボードt=9 塩ビ天井廻縁	撤去		天井	LGS下地 岩綿吸音板 t=12 躯体面：遮音シートt=1.0+ガラスM吸音材+ガラス化粧ビニル押え(32k)t=50 塩ビ天井廻縁	新設
	その他	アルミ天井点検口、鋼製ドア、ステンレス引き違い窓	撤去		その他	アルミ天井点検口、鋼製防音ドア、化粧ケイカル板t=6 1300×1320(AW1裏あて) 電気、機械器具新設又は再取り付け(設備図参照)	新設
便所(男女)	床・巾木	コンクリートスラブ+モルタル下地 長尺シートt=2.0張り	一部撤去	便所(男女)	床・巾木	コンクリートスラブ+モルタル下地 長尺シートt=2.0張り	一部新設
	壁	モルタル下地 磁器質タイル(100×200)張り	既存のまま		壁	モルタル下地 磁器質タイル(100×200)張り	既存のまま
	天井	LGS下地+石膏ボードt=9.5 化粧石膏ボードt=9 塩ビ天井廻縁	既存のまま		天井	LGS下地+石膏ボードt=9.5 化粧石膏ボードt=9 塩ビ天井廻縁	既存のまま
	その他	トイレブース扉開き勝手変更 男子-1、女子-4 和風便器 男子-1、女子-4(設備工事)	付替え 撤去		その他	トイレブース扉開き勝手変更 男子-1、女子-4 暖房便座 男子-1、女子-4(設備工事) 洋風便器、コンセント 男子-1、女子-4(設備工事)	付替え 新設
給湯室	床・巾木	モルタル下地 長尺シートt=2.0張り ビニル巾木H=60	既存のまま	給湯室	床・巾木	モルタル下地 長尺シートt=2.0張り ビニル巾木H=60	既存のまま
	壁	モルタル下地、LGS下地 石膏ボードt=9+12の上クロス貼り 流し台側磁器質100角タイル張り	既存のまま		壁	モルタル下地、LGS下地 石膏ボードt=9+12の上クロス貼り 流し台側磁器質100角タイル張り	既存のまま
	天井	LGS下地+石膏ボードt=9.5 化粧石膏ボードt=9 塩ビ天井廻縁	既存のまま		天井	LGS下地+石膏ボードt=9.5 化粧石膏ボードt=9 塩ビ天井廻縁	既存のまま
	その他	給湯室給湯器(コントローラー共)設備工事 シャワー室用給湯器(屋上)設備工事 シャワー室用コントローラー(廊下)設備工事	撤去		その他	給湯室給湯器(コントローラー共)設備工事 シャワー室用給湯器(屋上)設備工事 シャワー室用コントローラー(廊下)設備工事	新設
調光室	床・巾木	木床組 ニードルパンチカーペット張り ビニル巾木H=60	既存のまま	調光室	床・巾木	木床組 ニードルパンチカーペット張り ビニル巾木H=60	既存のまま
	壁	グラスウール(32k) t=25寒冷紗押え 石綿セメントケイカル板t=8 EP	既存のまま		壁	グラスウール(32k) t=25寒冷紗押え 石綿セメントケイカル板t=8 EP	既存のまま
	天井	LGS下地 ロックウール化粧吸音板t=12 塩ビ天井廻縁	既存のまま		天井	LGS下地 ロックウール化粧吸音板t=12 塩ビ天井廻縁	既存のまま
	その他	調光卓(設備工事)	撤去		その他	調光卓、DMXコンセント(設備工事)	新設
舞台前室	床・巾木	モルタル下地 ビニル床タイル ビニル巾木H=60	既存のまま	舞台前室	床・巾木	モルタル下地 ビニル床タイル ビニル巾木H=60	既存のまま
	壁	コンクリート 石膏ボードt=12 EP	既存のまま		壁	コンクリート 石膏ボードt=12 EP	既存のまま
	天井	LGS下地 ロックウール化粧吸音板t=12 塩ビ天井廻縁	一部撤去		天井	LGS下地 ロックウール化粧吸音板t=12 塩ビ天井廻縁	既存のまま
	その他				その他	アルミ天井点検口(2カ所)	新設
備考	※有孔石綿セメントケイカル板は、アスベスト含有成形板処理(吊金具設置箇所穴あけ部の成形板(1'×1/3))						

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事	NO.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	設計					
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号				仕上表	43
			登録番号(第)2118号	内田 貴之					原図:A2

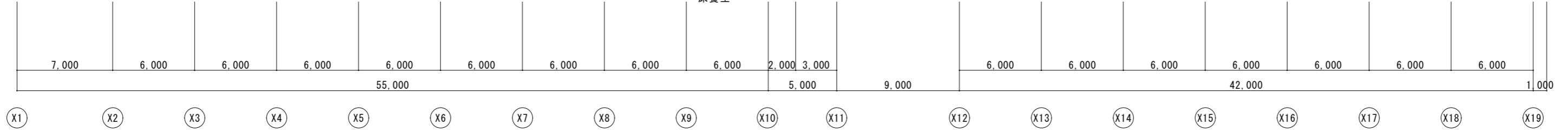
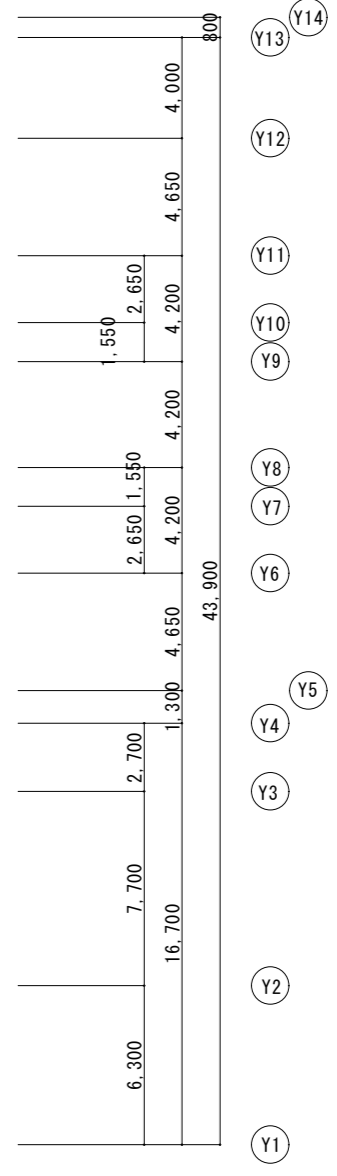
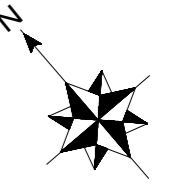


B 1階平面図兼仮設計画図 S:1/300

1階平面図兼仮設計画図 S:1/300

- : 内部足場設置範囲を示す
- : 仮設間仕切 (LGS65下地t=12.5片面張、アルミ製片開戸W=800 南京錠共)
- : 仮囲い ガードフェンス H=1,800
- : 工事対象範囲を示す

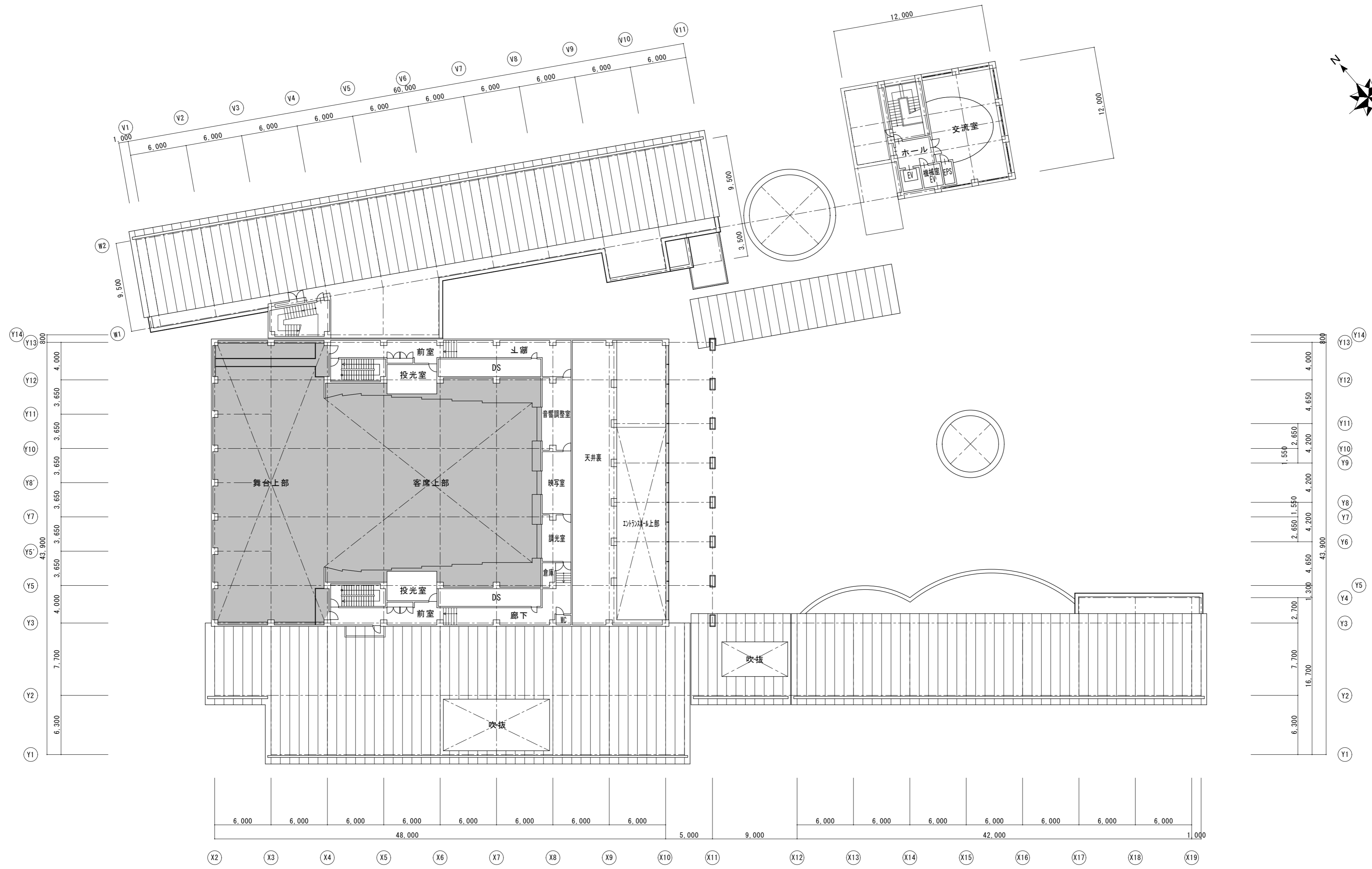
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事	N0. A-08 43 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/300		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					



- : 仮囲いガードフェンス H=1,800
- ← : 作業員の動線を示す
- : 内部足場設置範囲を示す
- : 工事対象範囲を示す

2階平面図兼仮設計計画図 S:1/300

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事	N0. A-09 43
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/300		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					

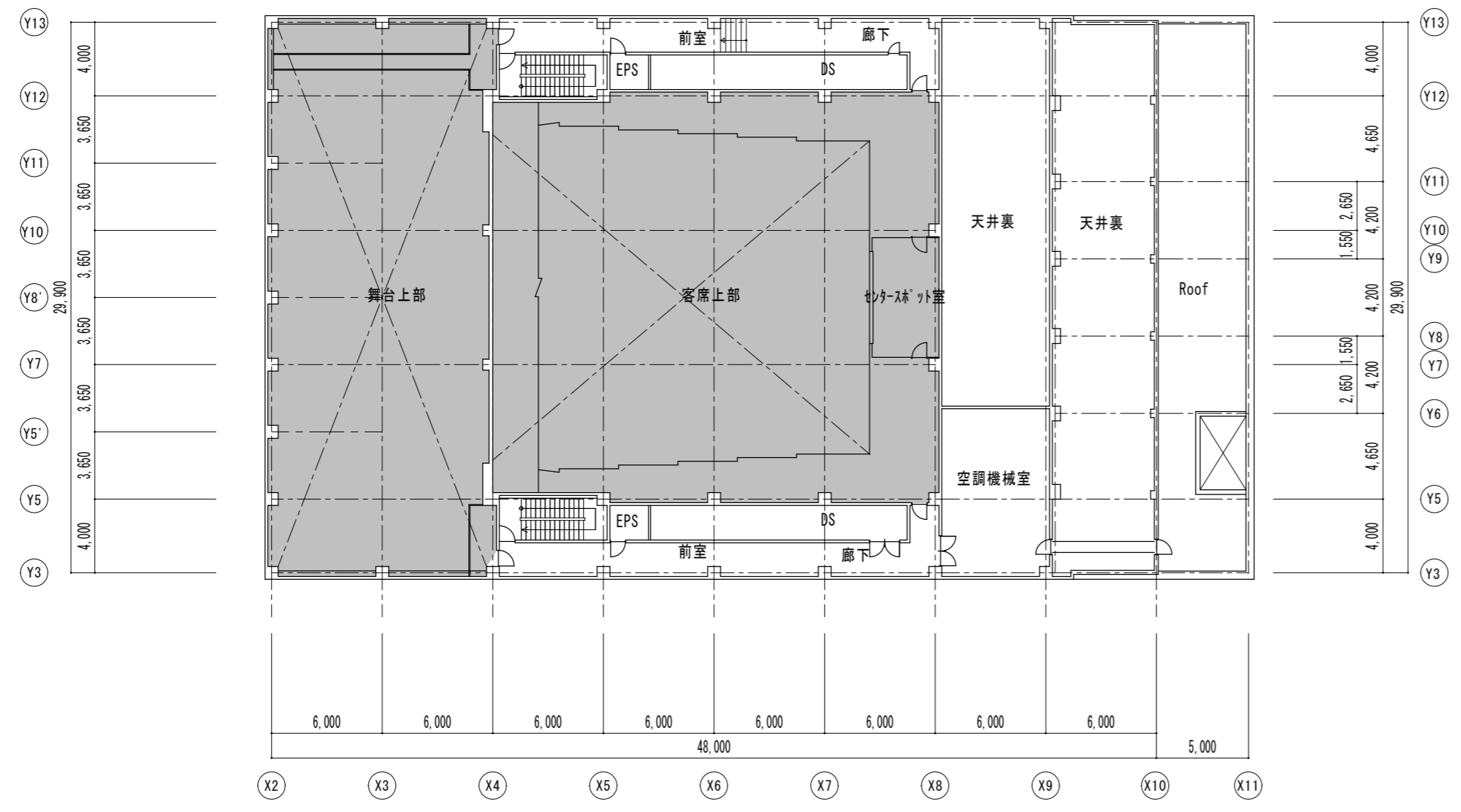
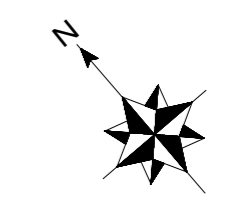
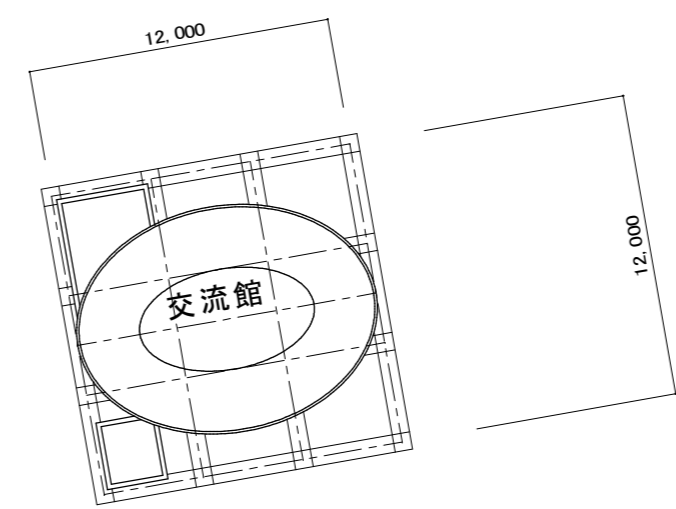


3階及び屋階平面図 S:1/300

工事対象範囲を示す

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事	N0. A-10 43 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/300		
			一級建築士事務所 一級建築士第248160号		設計				
			登録番号(1)第2118号 内田 貴之						

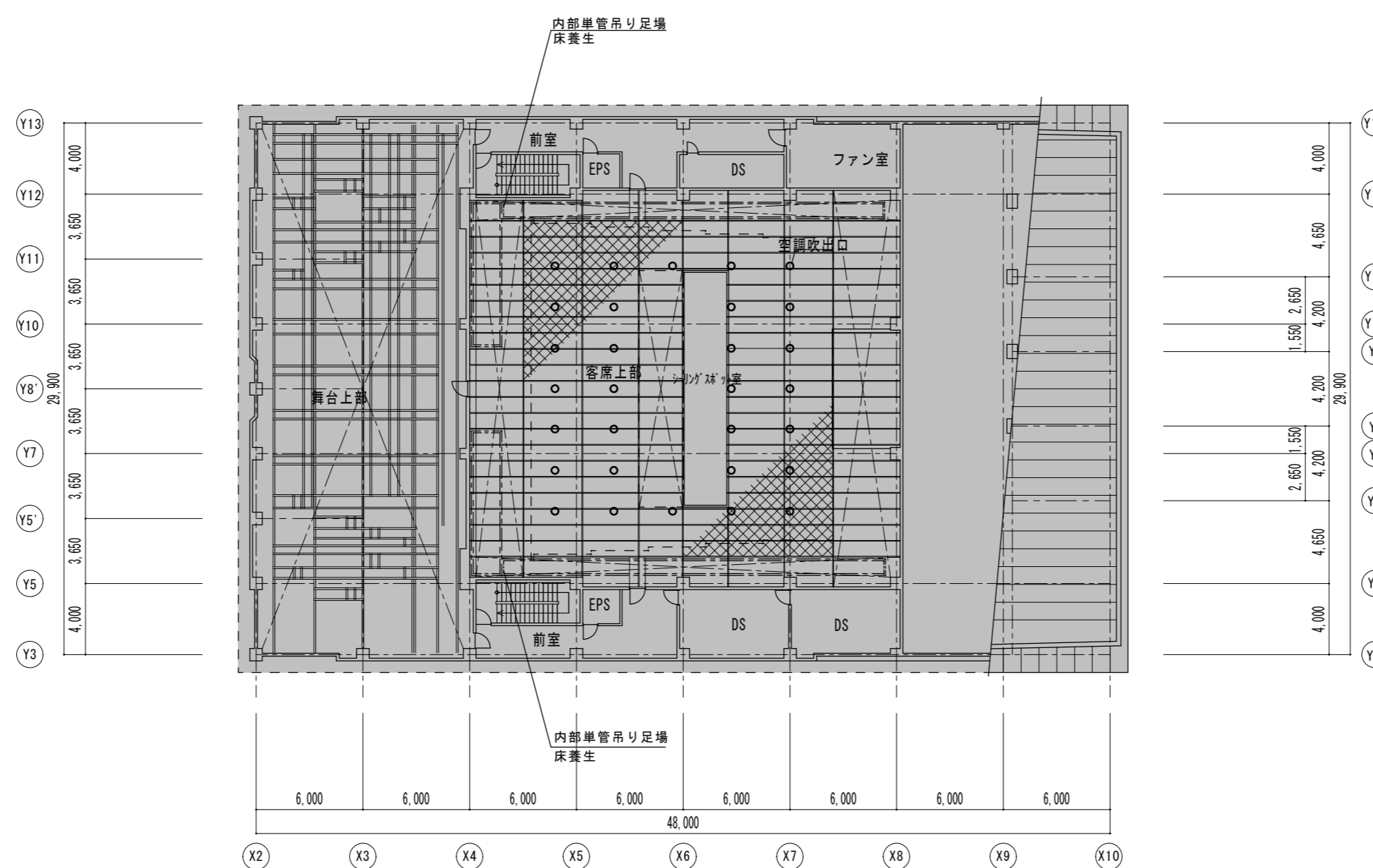
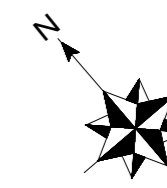
3階及び屋階全体平面図



塔屋1階及び屋階平面図 S:1/300

工事対象範囲を示す

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事	N0. A-11 43 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/300		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					

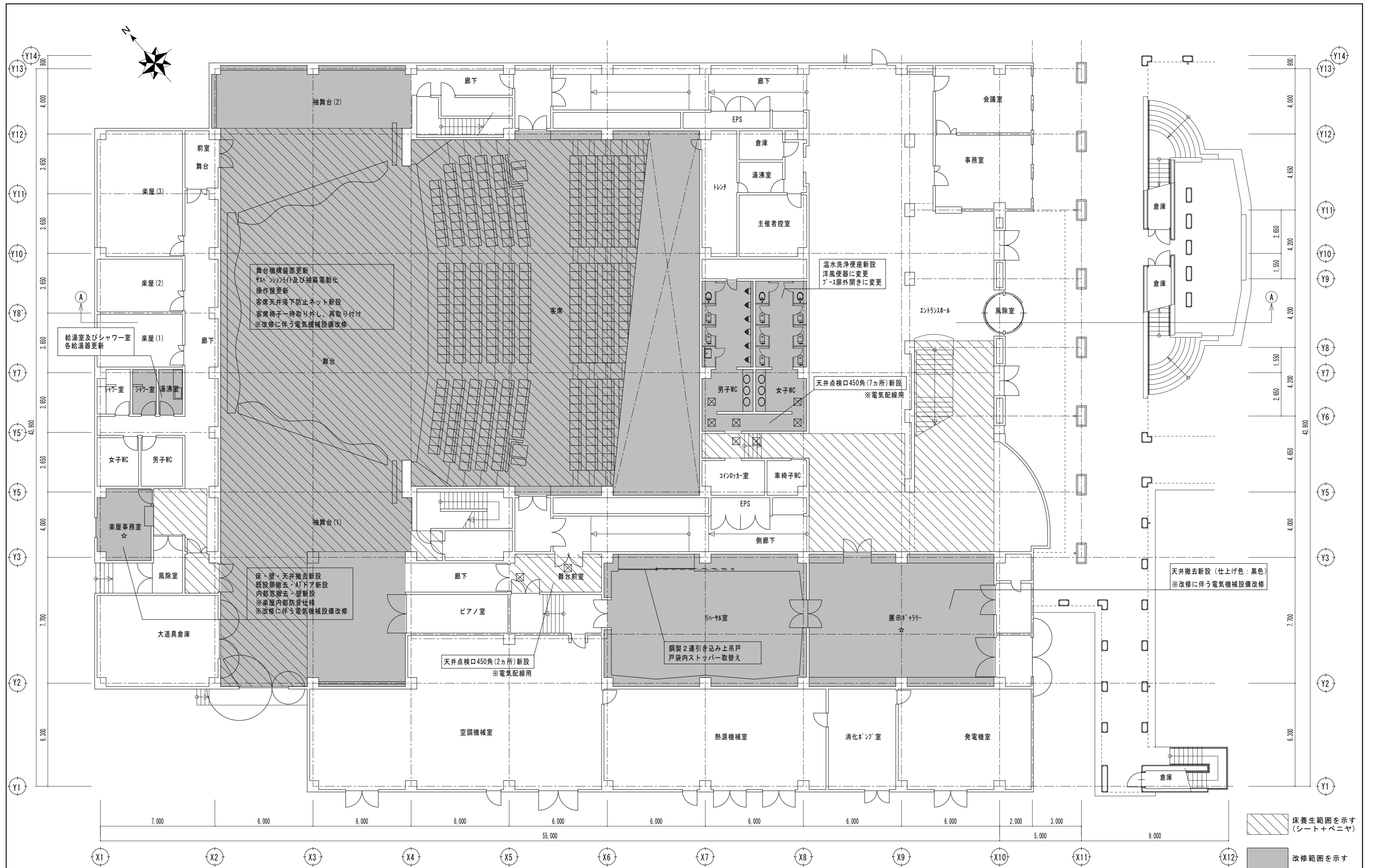


塔屋 2 階平面図 S:1/300

内部足場設置範囲を示す

工事対象範囲を示す

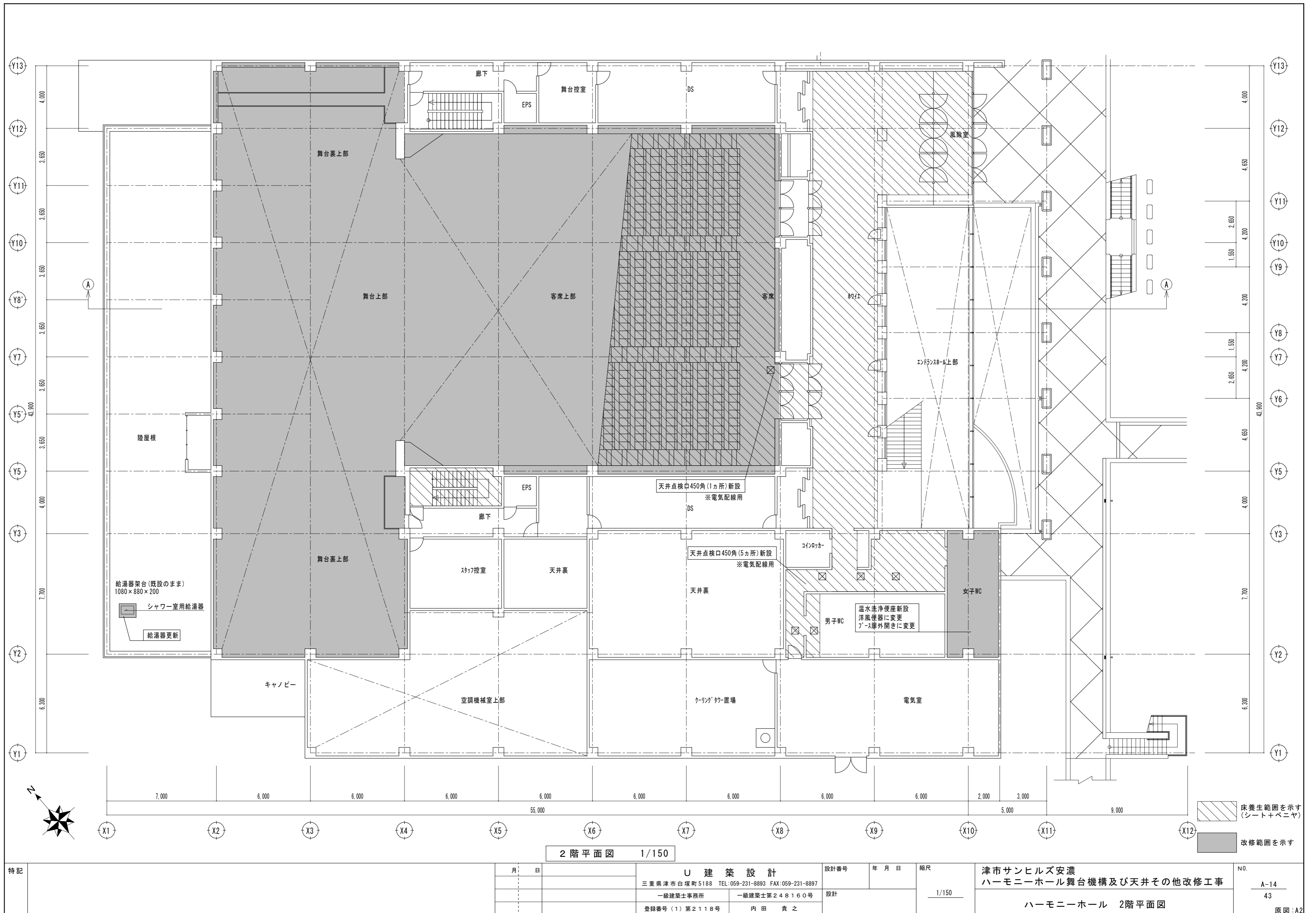
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事	NO. A-12 43 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計	1/300		
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之			塔屋 2 階全体平面図		

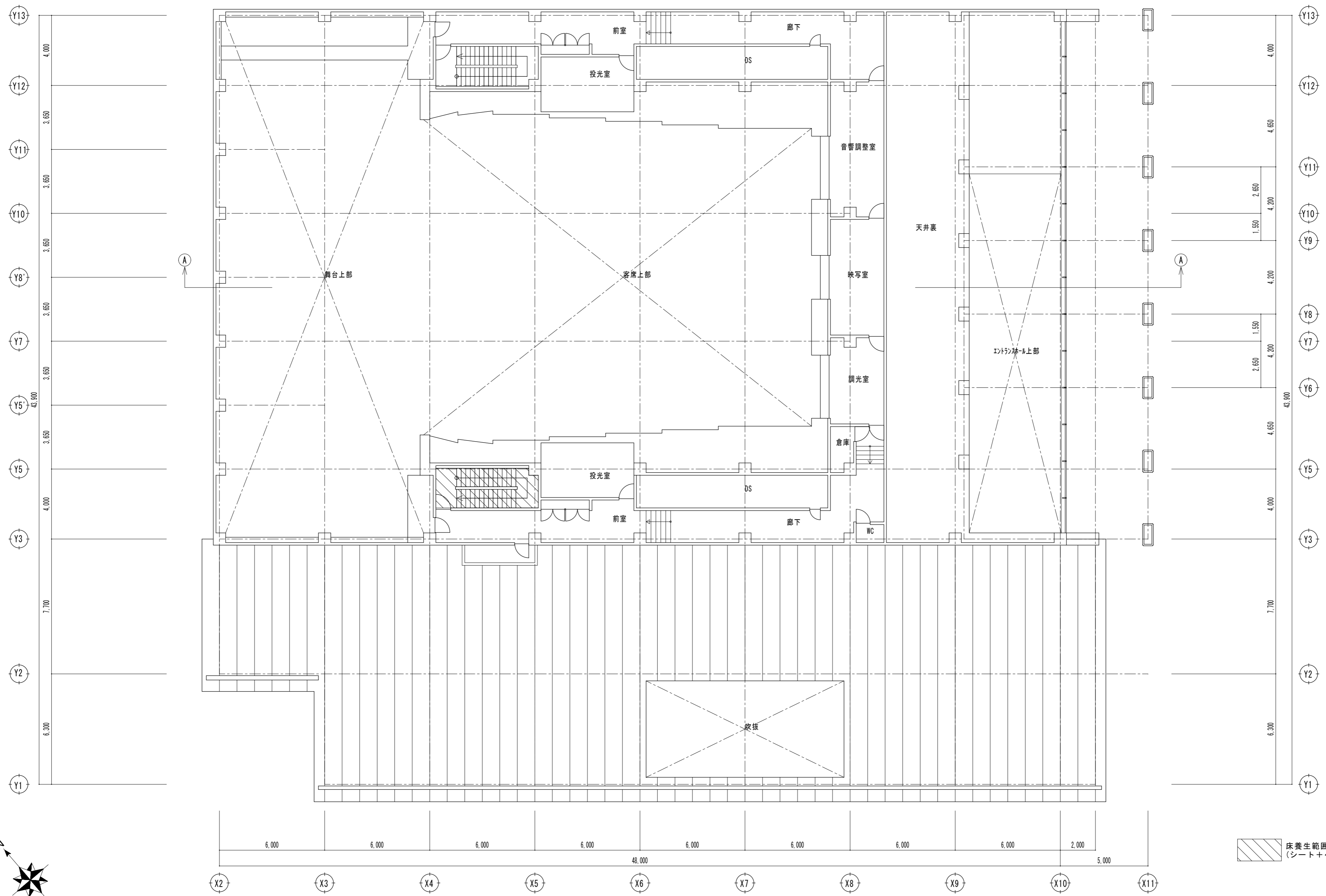


1階平面図 1/150

☆：化学物質の濃度測定箇所を示す
(施工前1回、施工後1回)

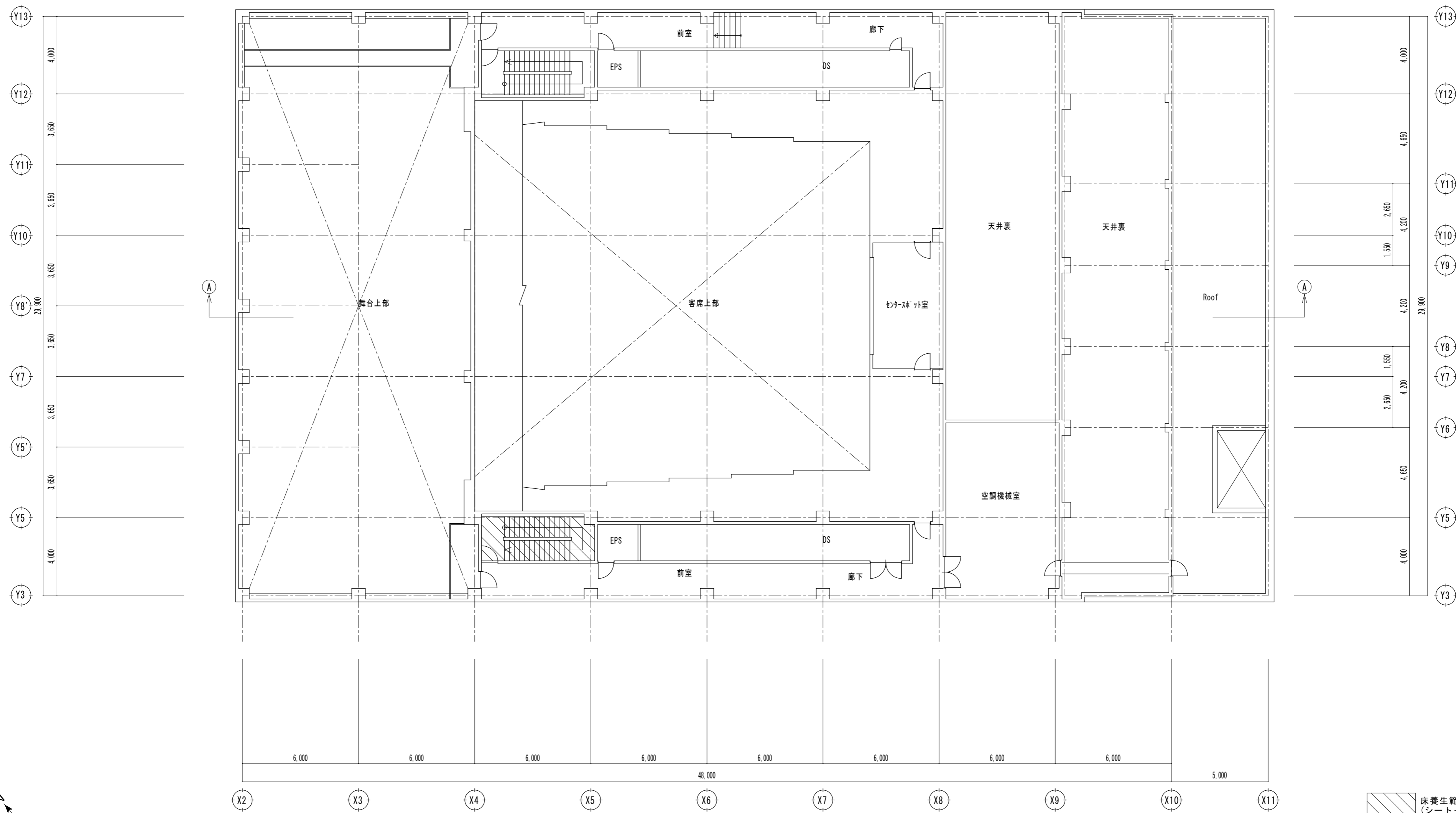
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事	No. A-13 43
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計	1/150		
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					原図:A2





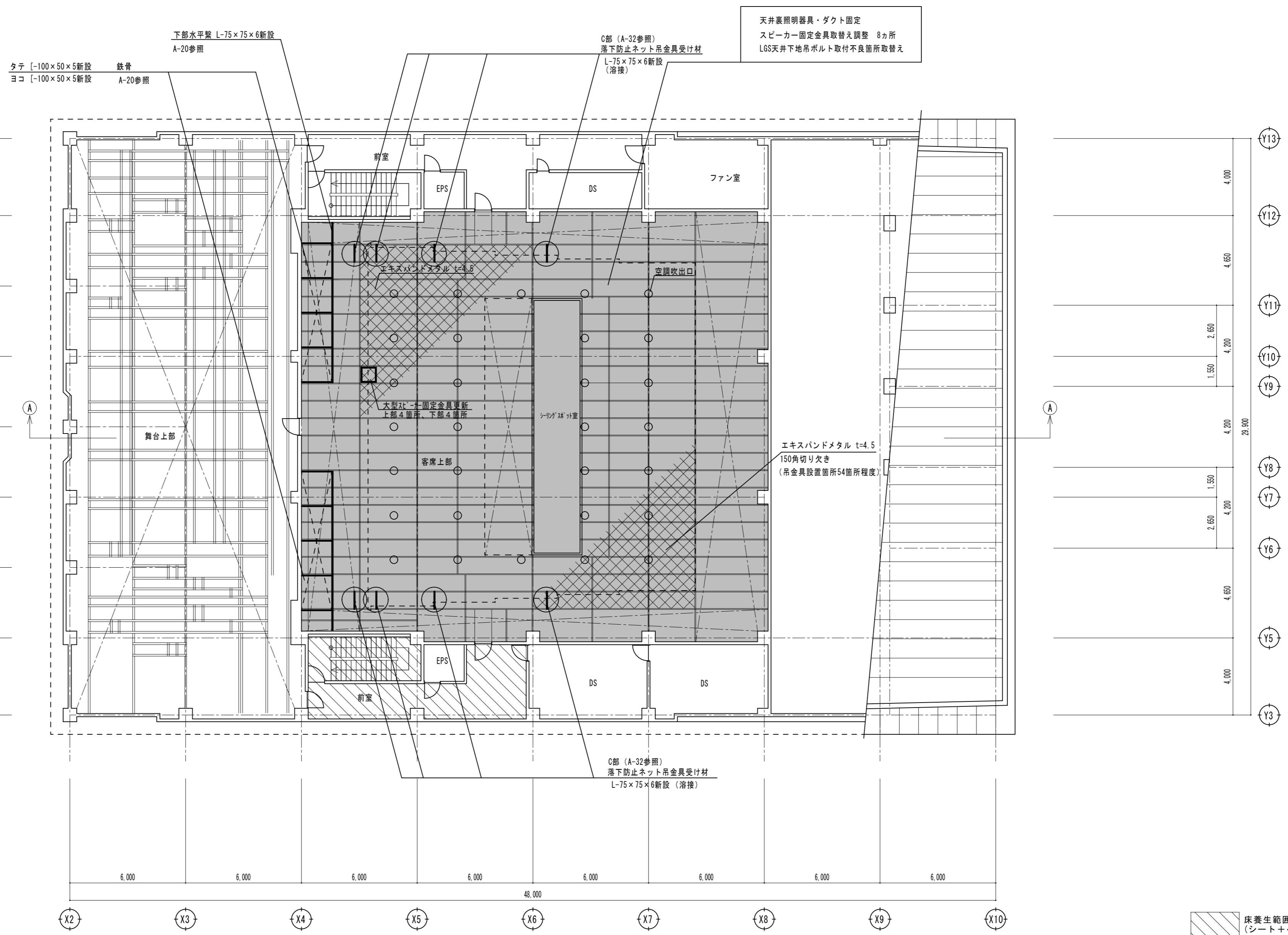
3階平面図 1/150

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 ハーモニーホール 3階平面図	N0. A-15 43 原図: A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/150		
			一級建築士事務所		一級建築士第248160号				
			登録番号(1)第2118号		内田 貴之				





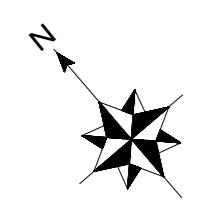
塔屋1階平面図 1/150

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 ハーモニーホール 塔屋1階平面図	N0. A-16 43 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/150		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					

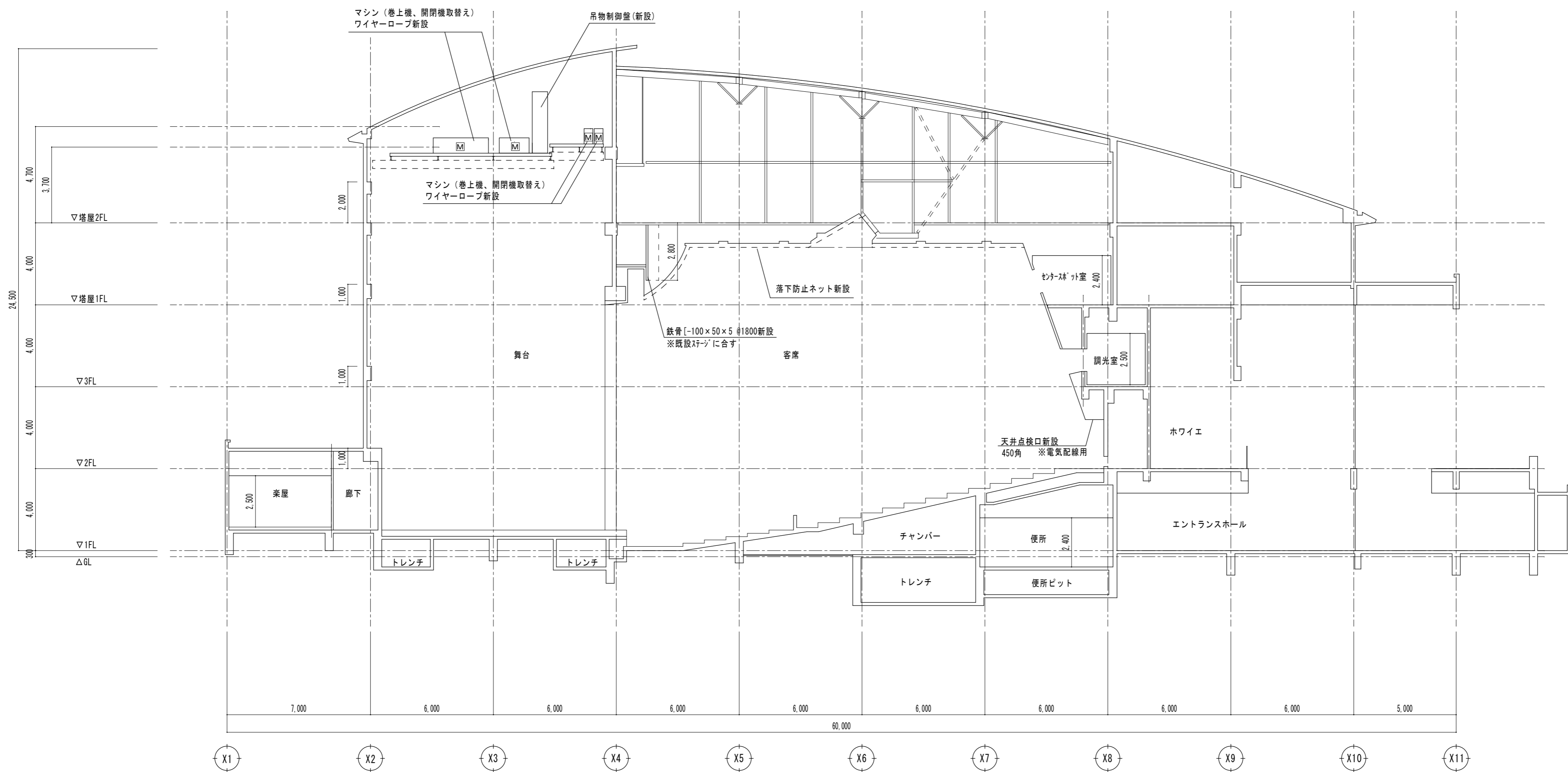


塔屋2階平面図 1/150

 床養生範囲を示す (シート+ベニヤ)
 改修範囲を示す

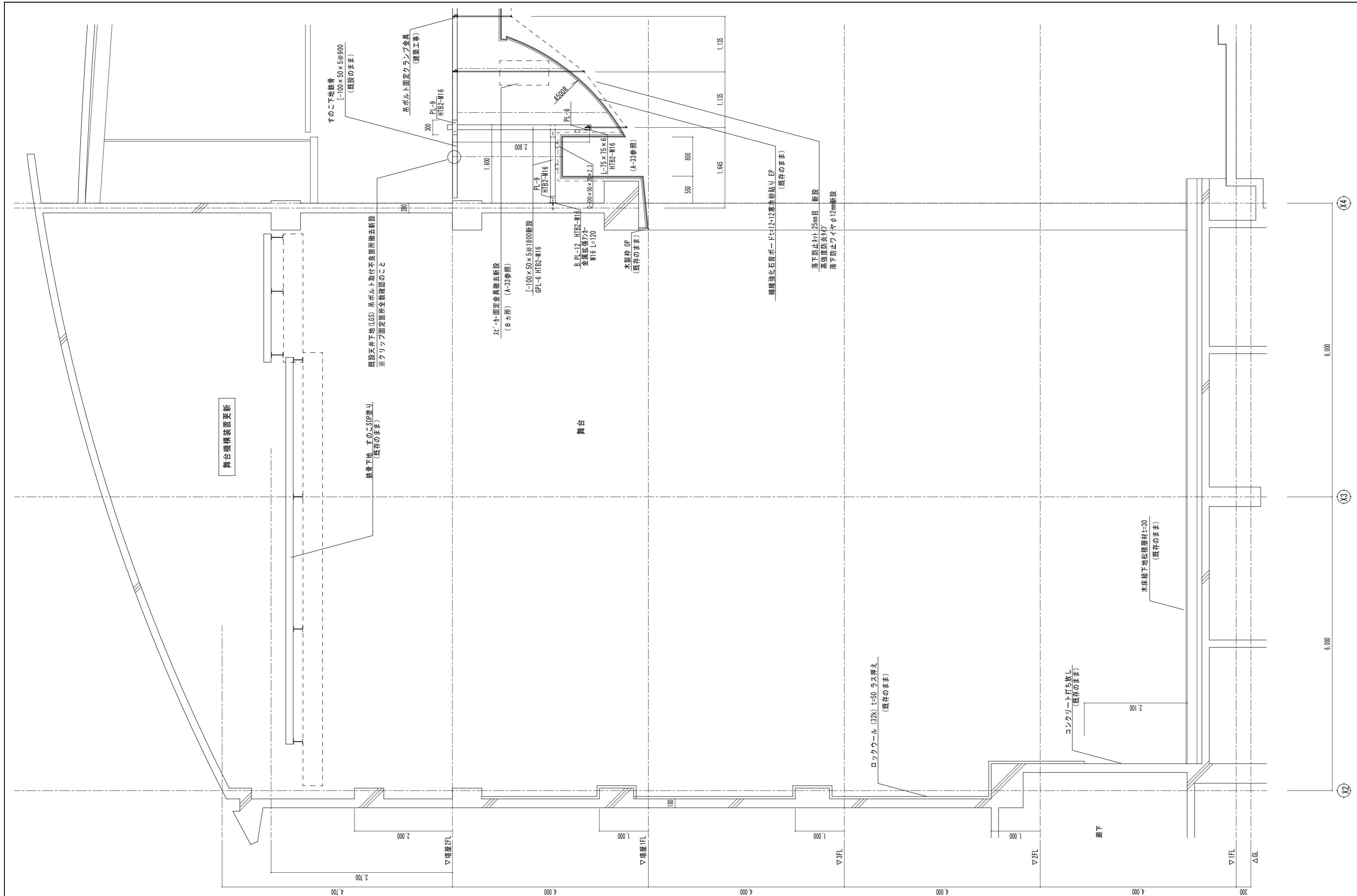


特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 ハーモニーホール 塔屋2階平面図	N0. A-17 43 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/150		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					

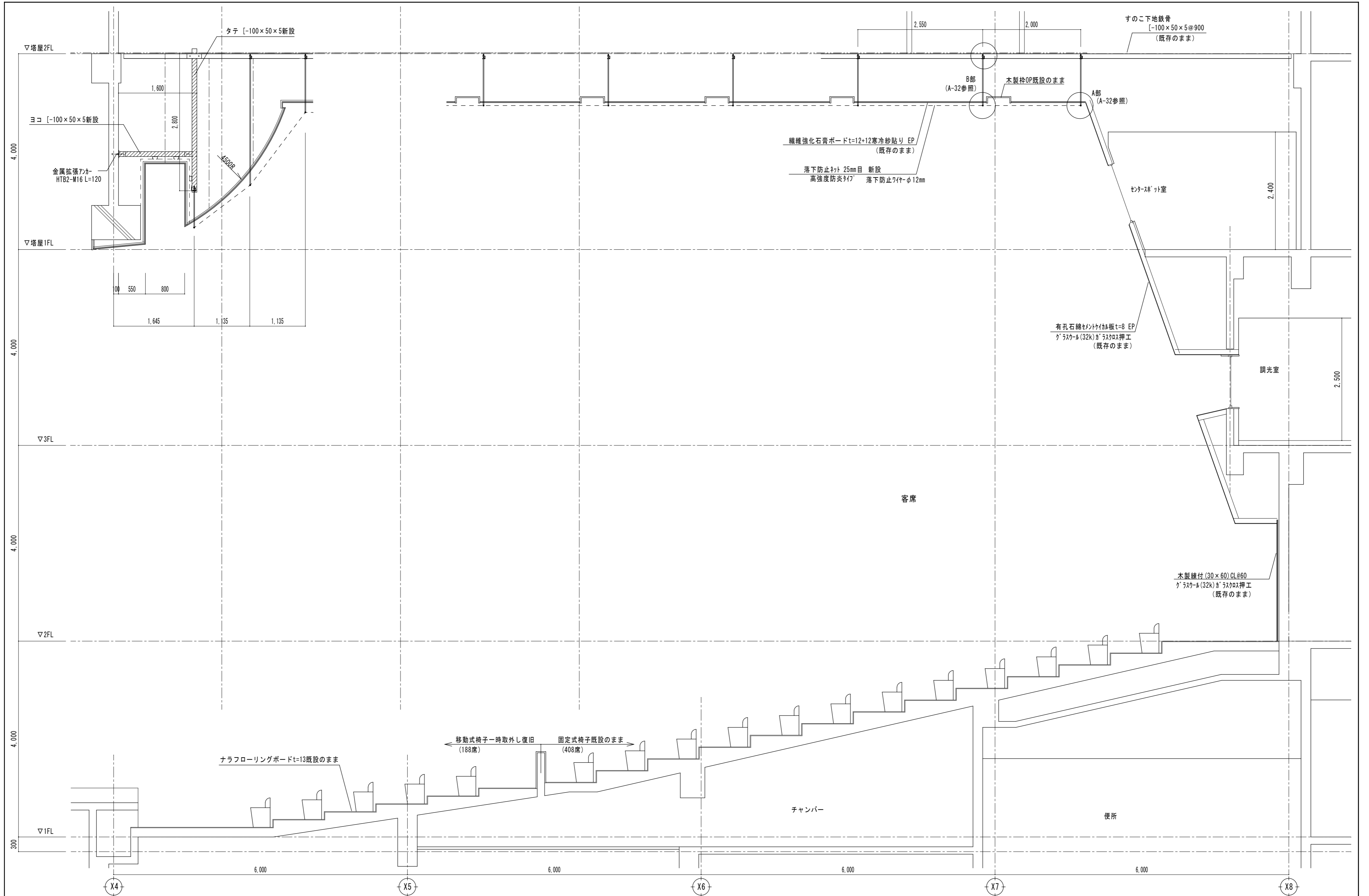


ハーモニーホール A-A 断面図 1/150

特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 断面図(1)	N0.
				設計		1/150		A-18
								43

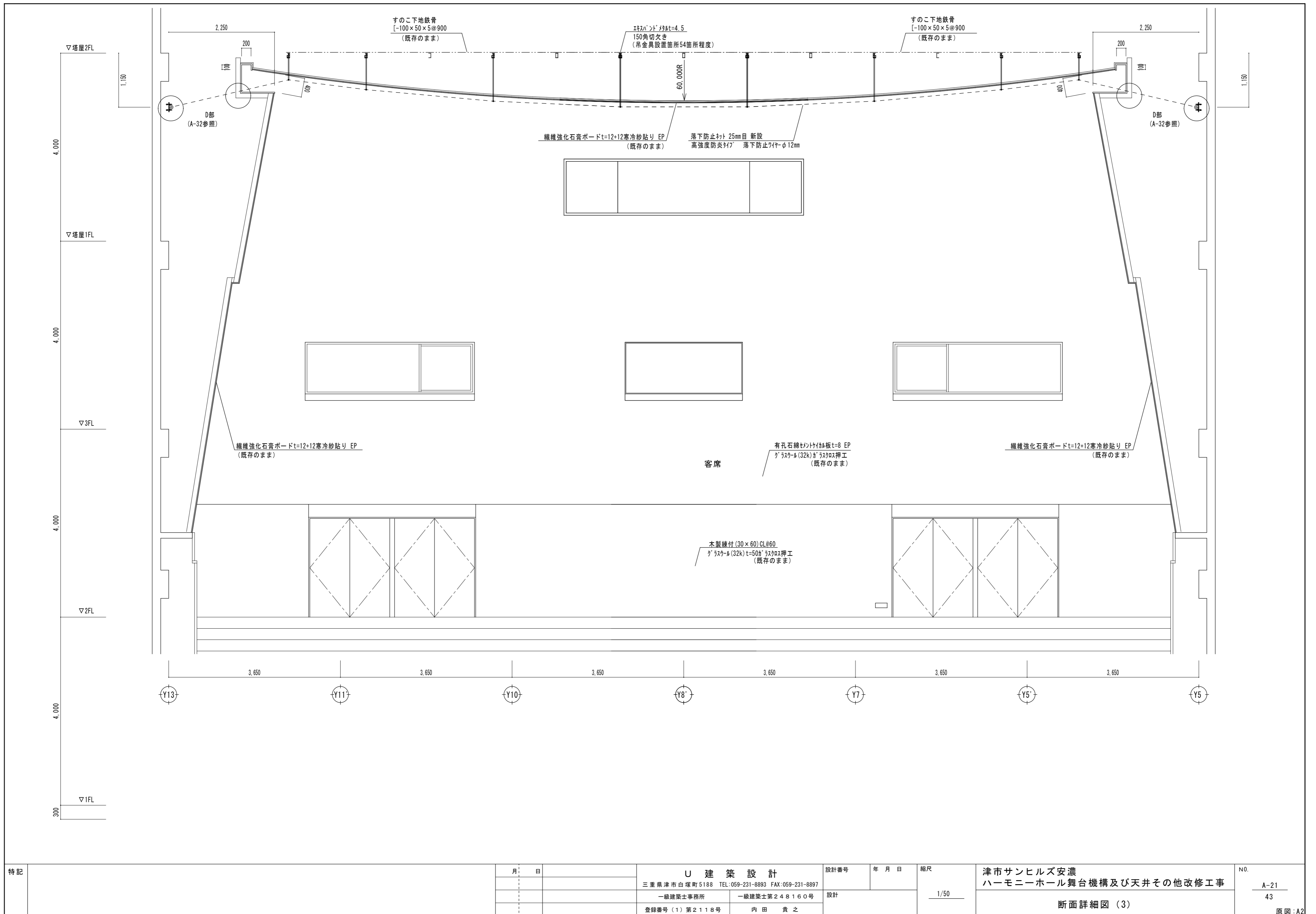


特記	月		日		設計番号		年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事	NO. A-19 43
	U 建築設計		三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897		設計		1/50	断面詳細図(1)		
登録番号(1)第2118号			内田 貴之			一級建築士事務所		一級建築士第248160号		原図:A2



特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事	No. A-20 43
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/50		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					

断面詳細図(2)



特記

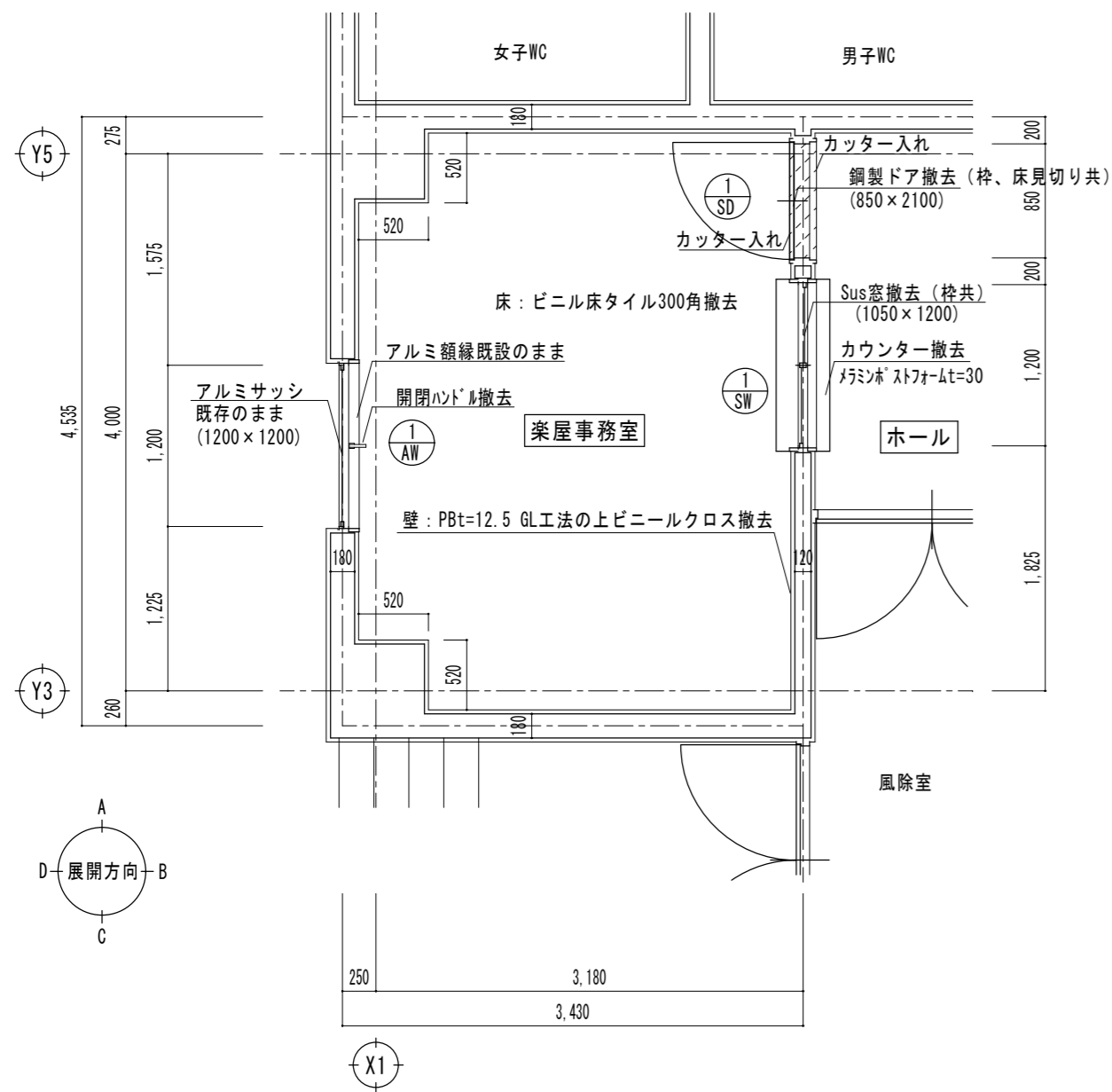
月	日

U 建築設計
 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897
 一級建築士事務所 一級建築士第248160号
 登録番号(1)第2118号 内田 貴之

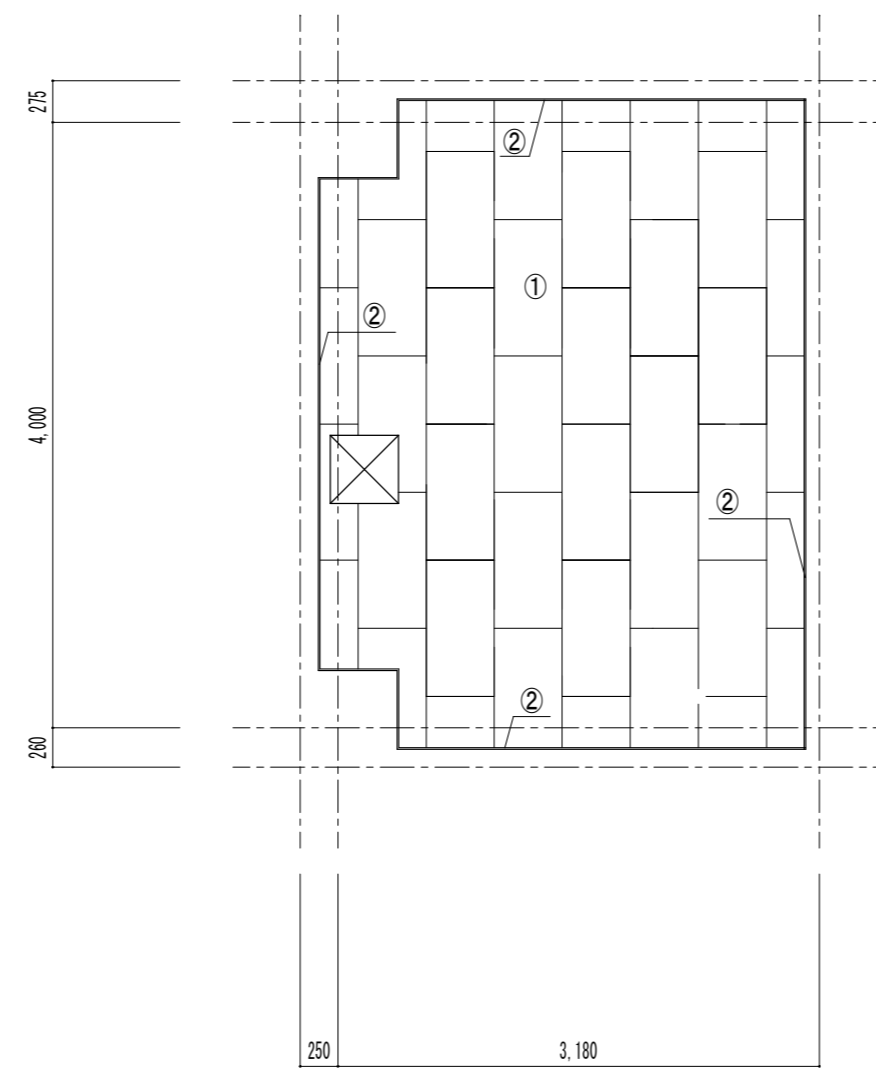
設計番号	年月日	縮尺
		1/50
設計		

津市サンヒルズ安濃
 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事
 断面詳細図 (3)

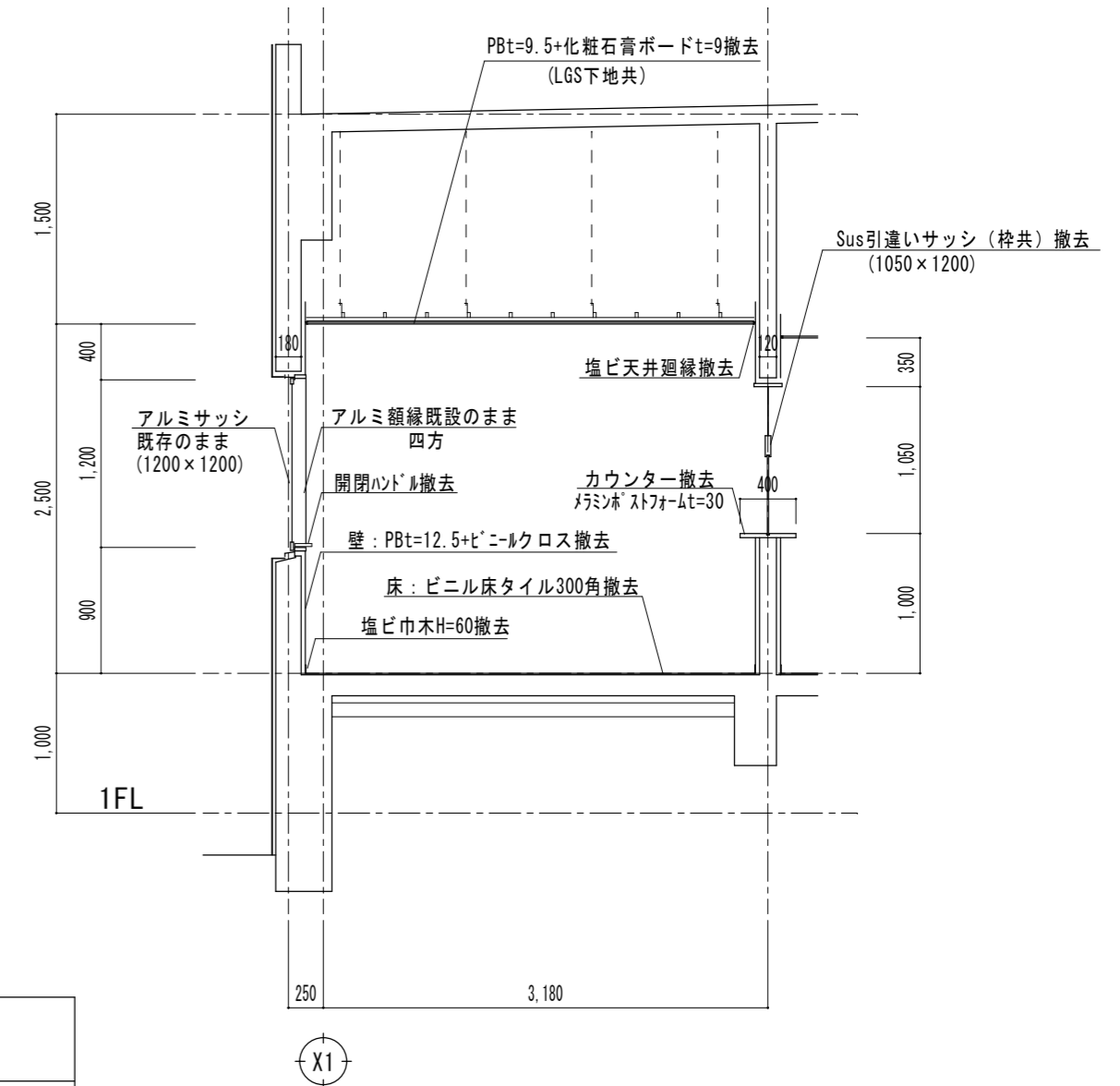
N0.	A-21
	43
	原図:A2



平面詳細図 1/50



天井伏図 1/50

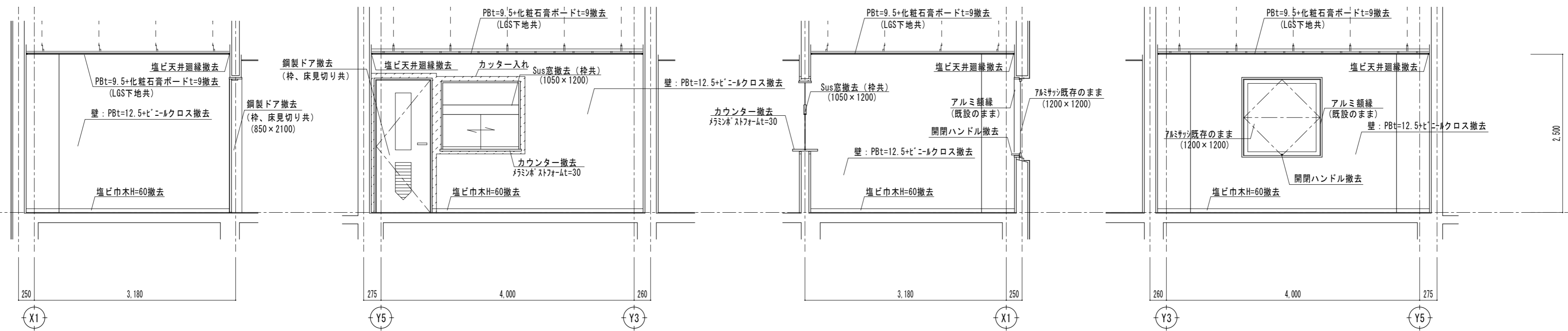


断面詳細図 1/50

凡例

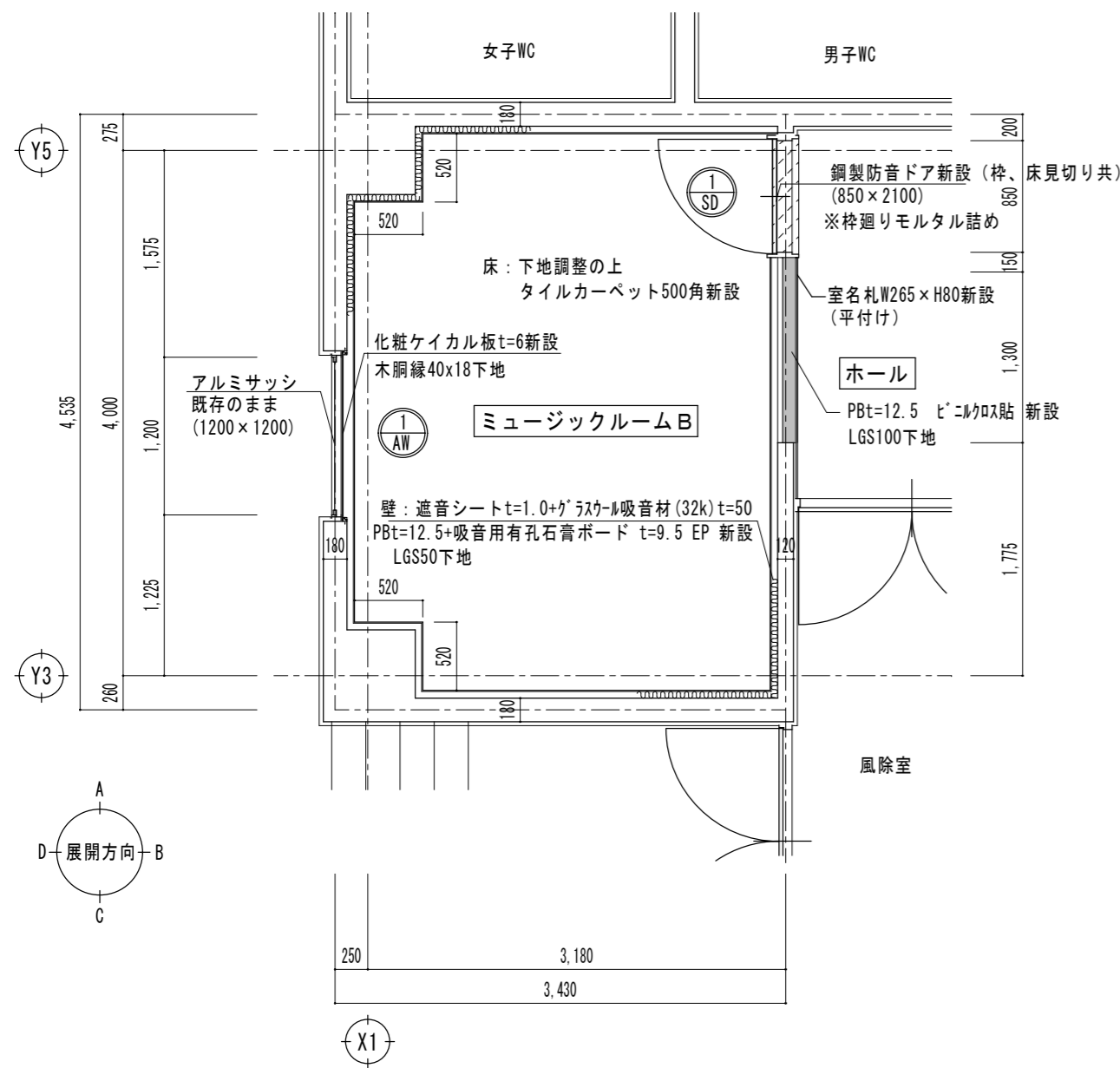
①	下地石膏ボードt=9.5+化粧石膏ボードt=9 LGS下地共	撤去
②	塩ビ天井廻縁	撤去
設備器具	電気・機械器具 ※設備図参照	撤去又は一時取り外し
⊗	天井点検口450角(アルミ枠)	撤去

展開図 1/50

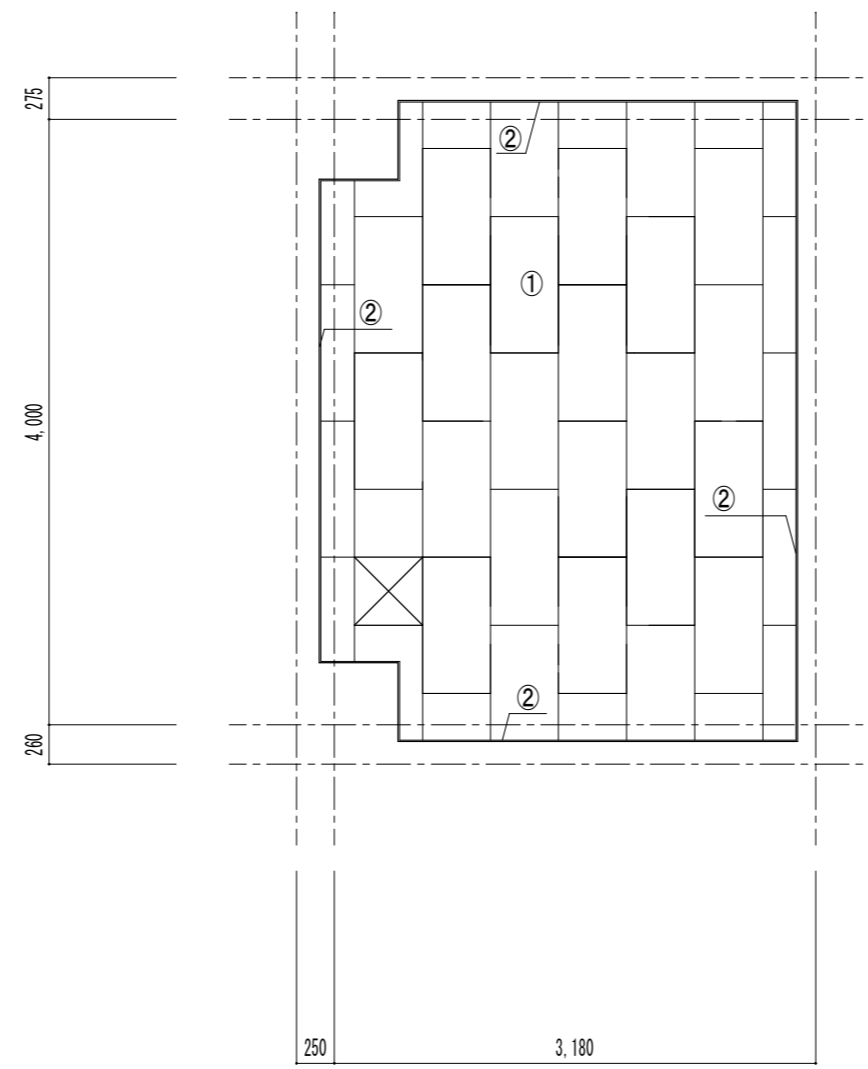


建具周囲折り範囲を示す

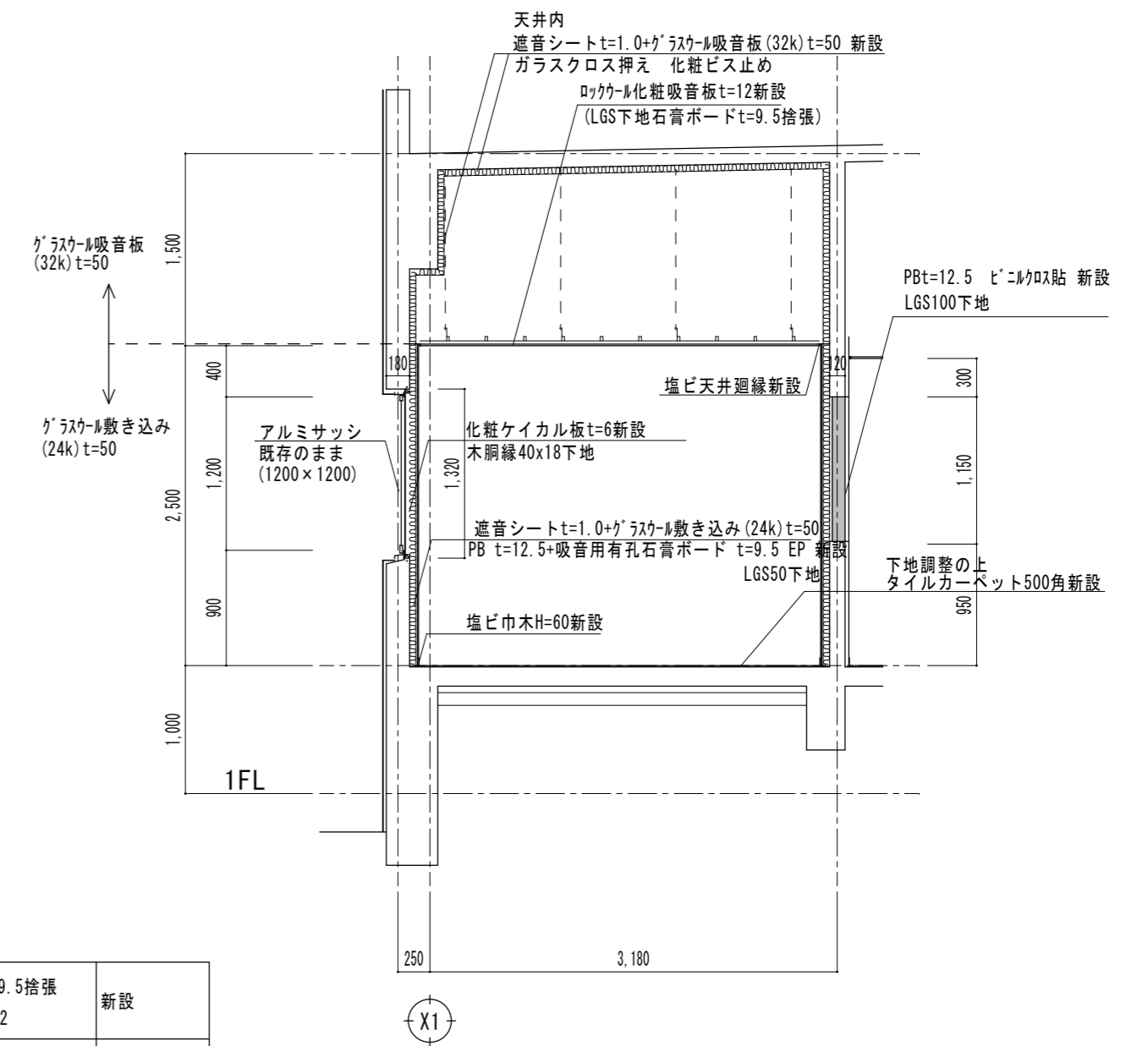
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺 1/50	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 楽屋事務室 平面詳細図・断面詳細図・展開図・天井伏図(改修前)	N0. A-22 43 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					



平面詳細図 1/50



天井伏図 1/50

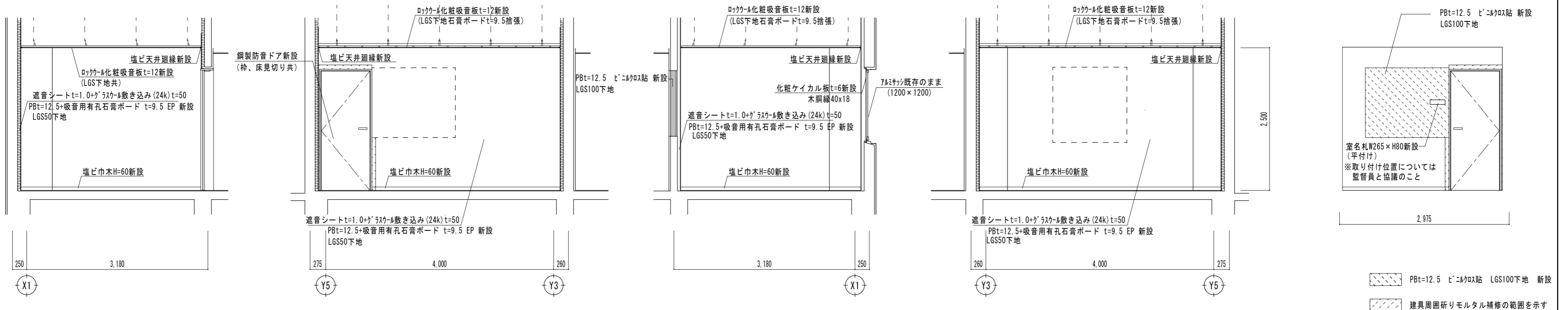


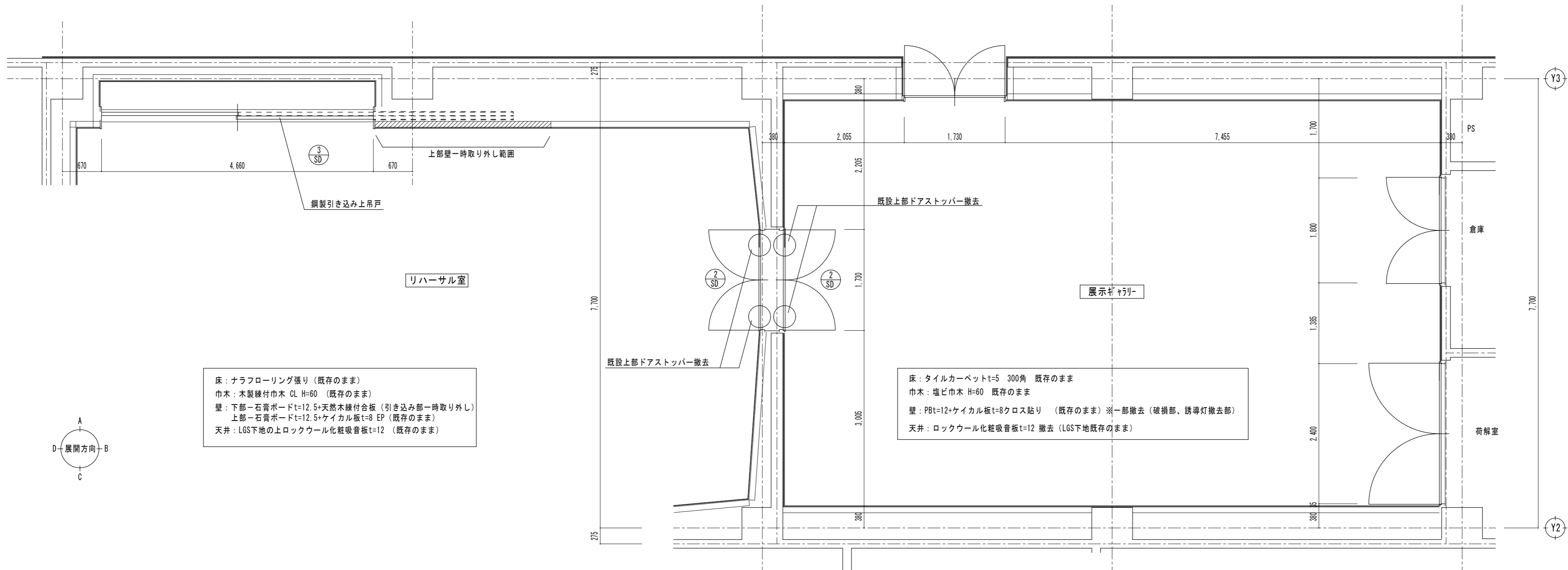
断面詳細図 1/50

凡例

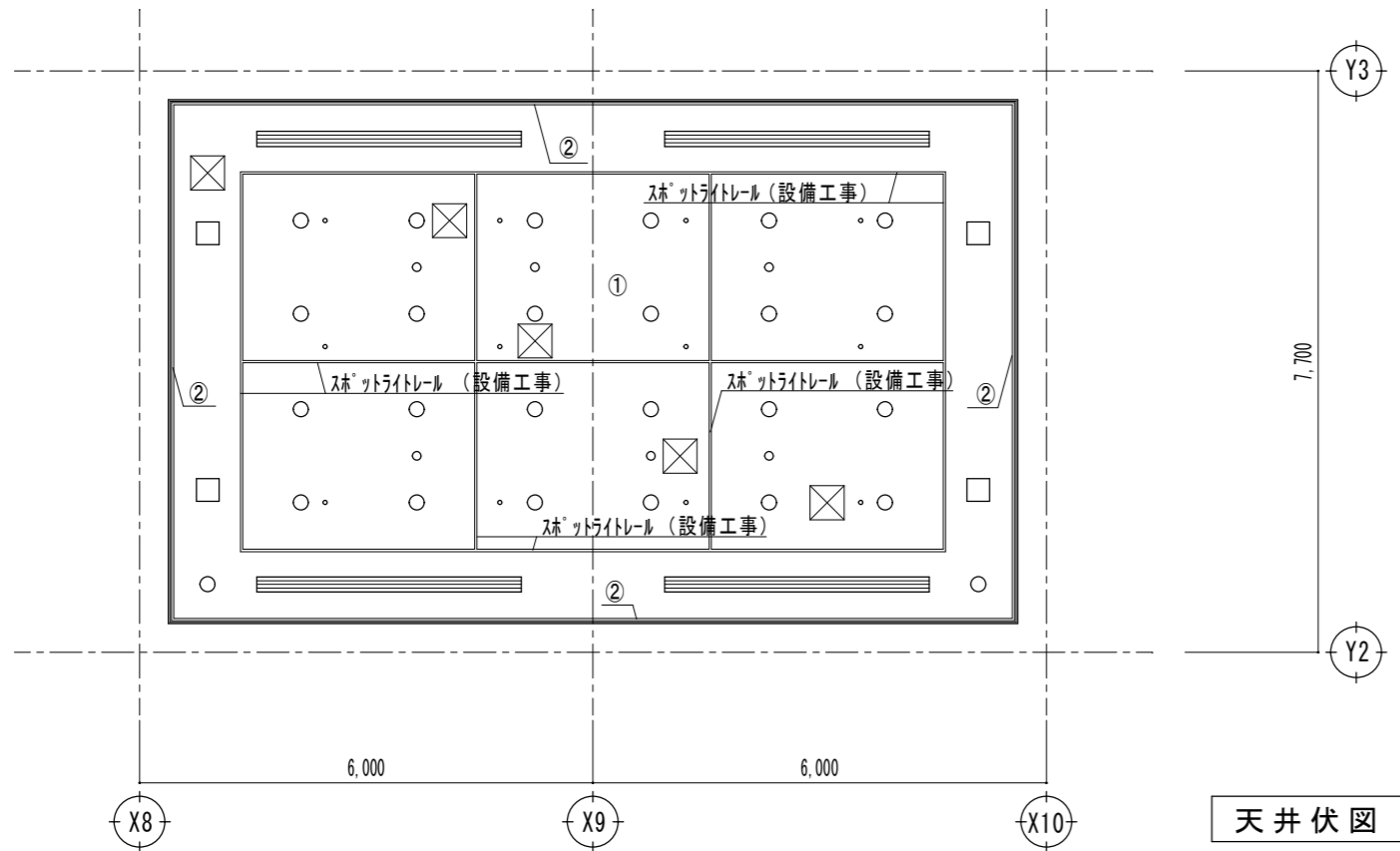
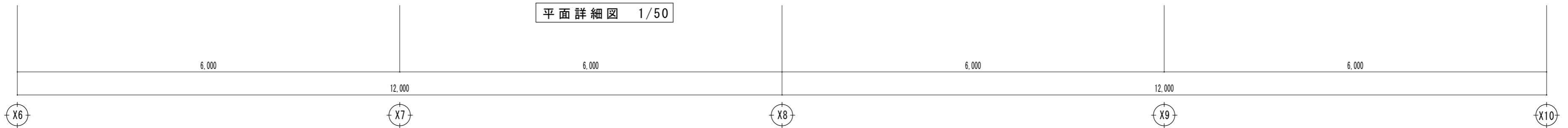
①	LGS下地石膏ボードt=9.5捨張 ロック-ル化粧吸音板t=12	新設
②	塩ビ天井廻縁	新設
設備器具	電気・機械器具 ※設備図参照	新設又は 再取り付け
☒	天井点検口450角(アルミ枠)	新設

展開図 1/50 A B C D D ホール側





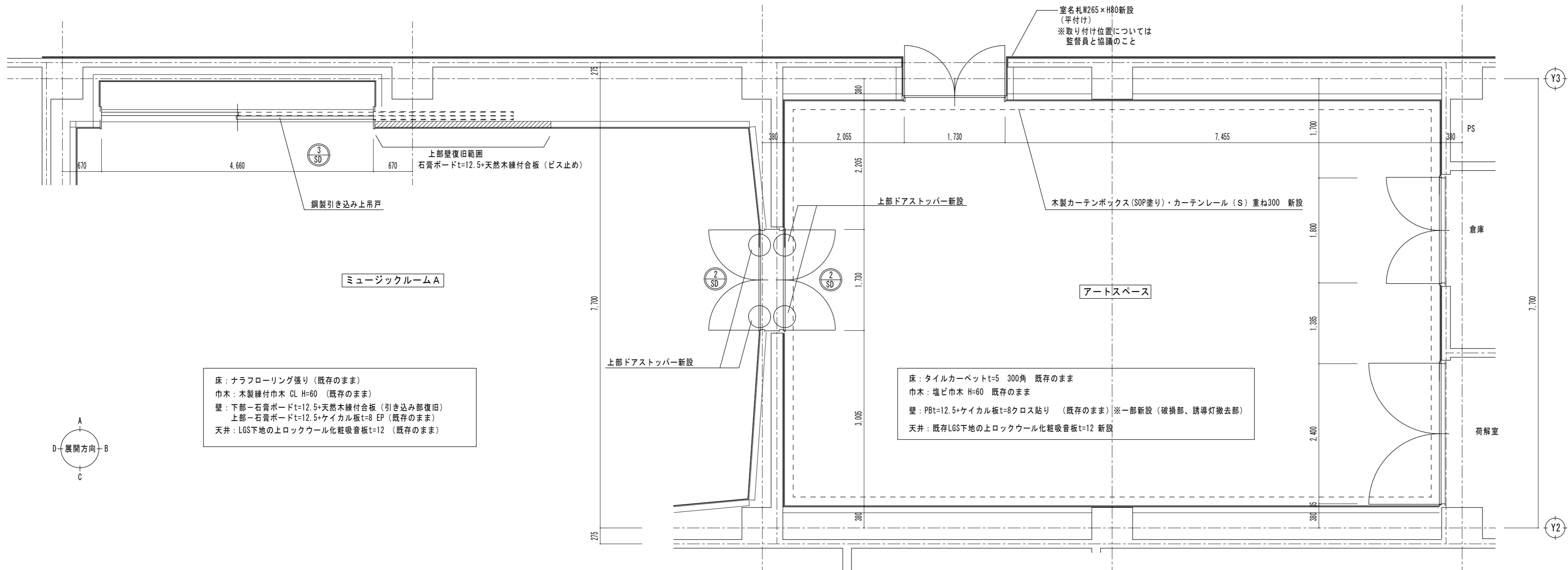
平面詳細図 1/50



天井伏図 1/100

凡例

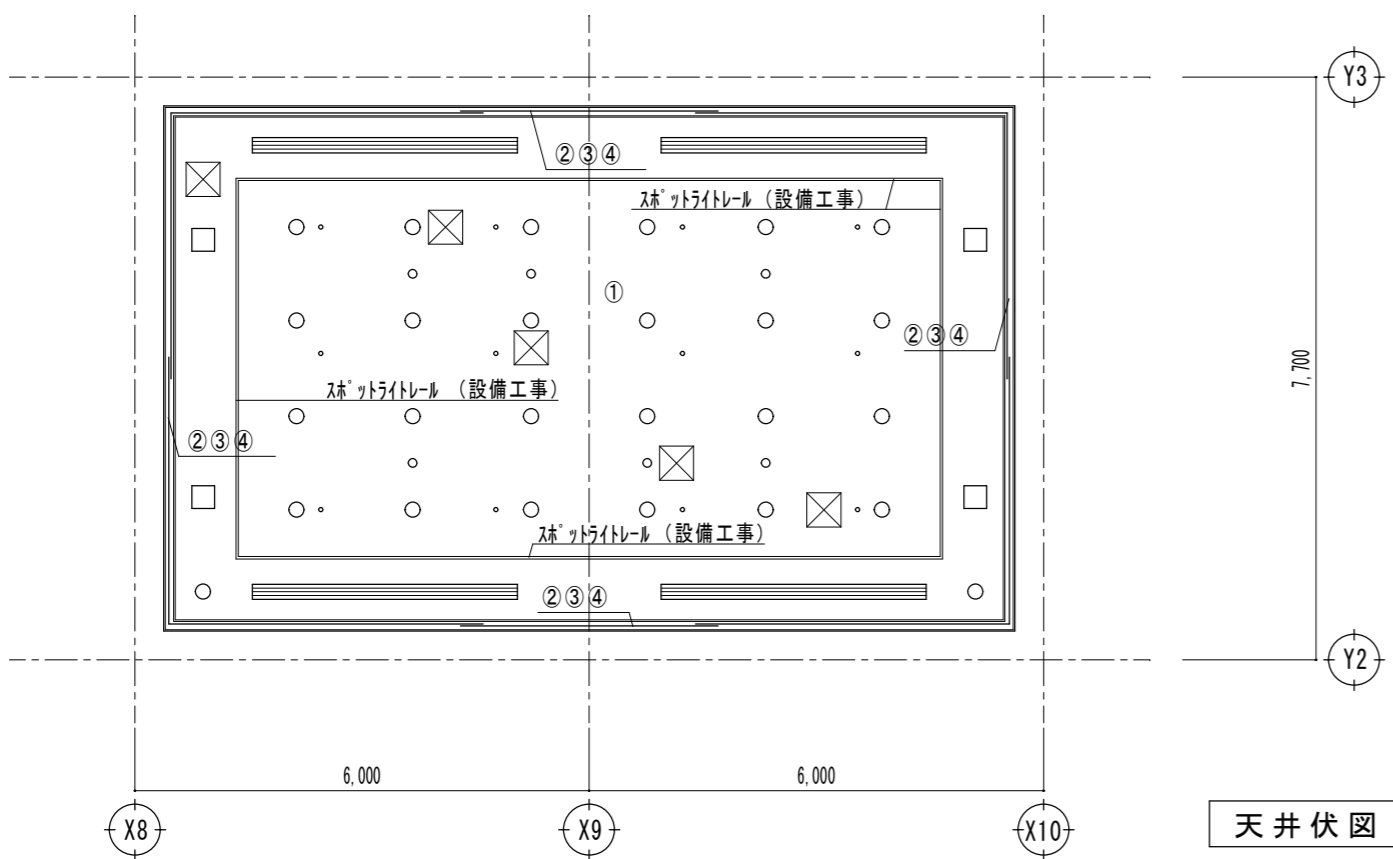
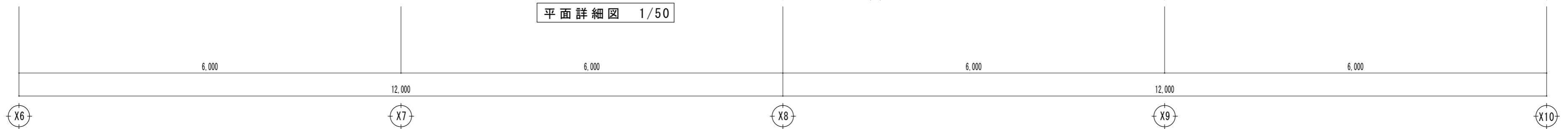
①	ロックウール化粧吸音板 t=12	撤去
②	ピクチャーレール	撤去
設備器具	電気・機械器具	撤去又は一時取り外し
	※設備図参照	
⊗	天井点検口450角（アルミ枠）	撤去



床：ナラフローリング張り（既存のまま）
 巾木：木製縁付巾木 CL H=60（既存のまま）
 壁：下部-石膏ボードt=12.5+天然木練付合板（引き込み部復旧）
 上部-石膏ボードt=12.5+ケイカル板t=8 EP（既存のまま）
 天井：LGS下地の上ロックウール化粧吸音板t=12（既存のまま）

床：タイルカーペットt=5 300角 既存のまま
 巾木：塩ビ巾木 H=60 既存のまま
 壁：PBt=12.5+ケイカル板t=8クロス貼り（既存のまま）※一部新設（破損部、誘導灯撤去部）
 天井：既存LGS下地の上ロックウール化粧吸音板t=12 新設

平面詳細図 1/50

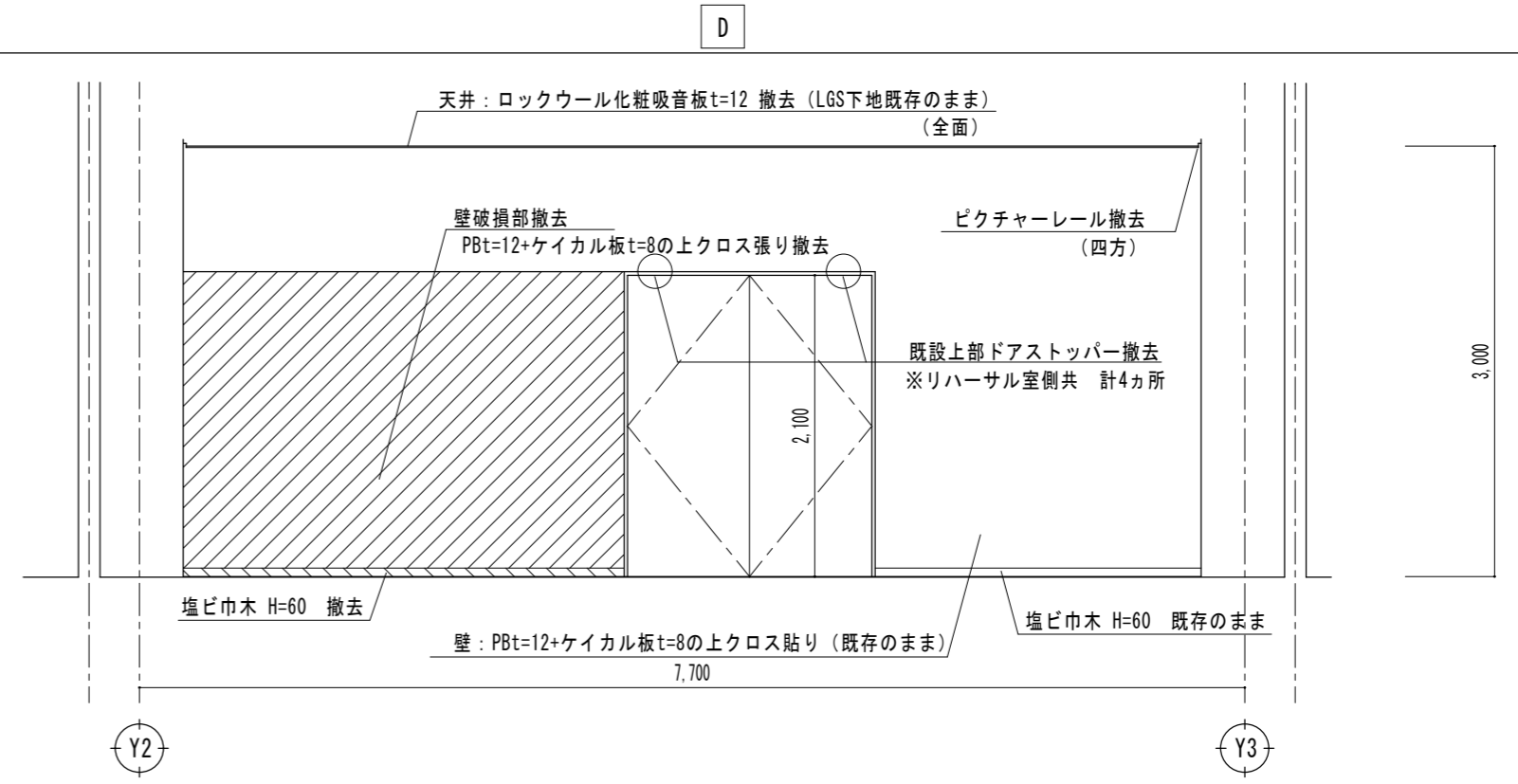
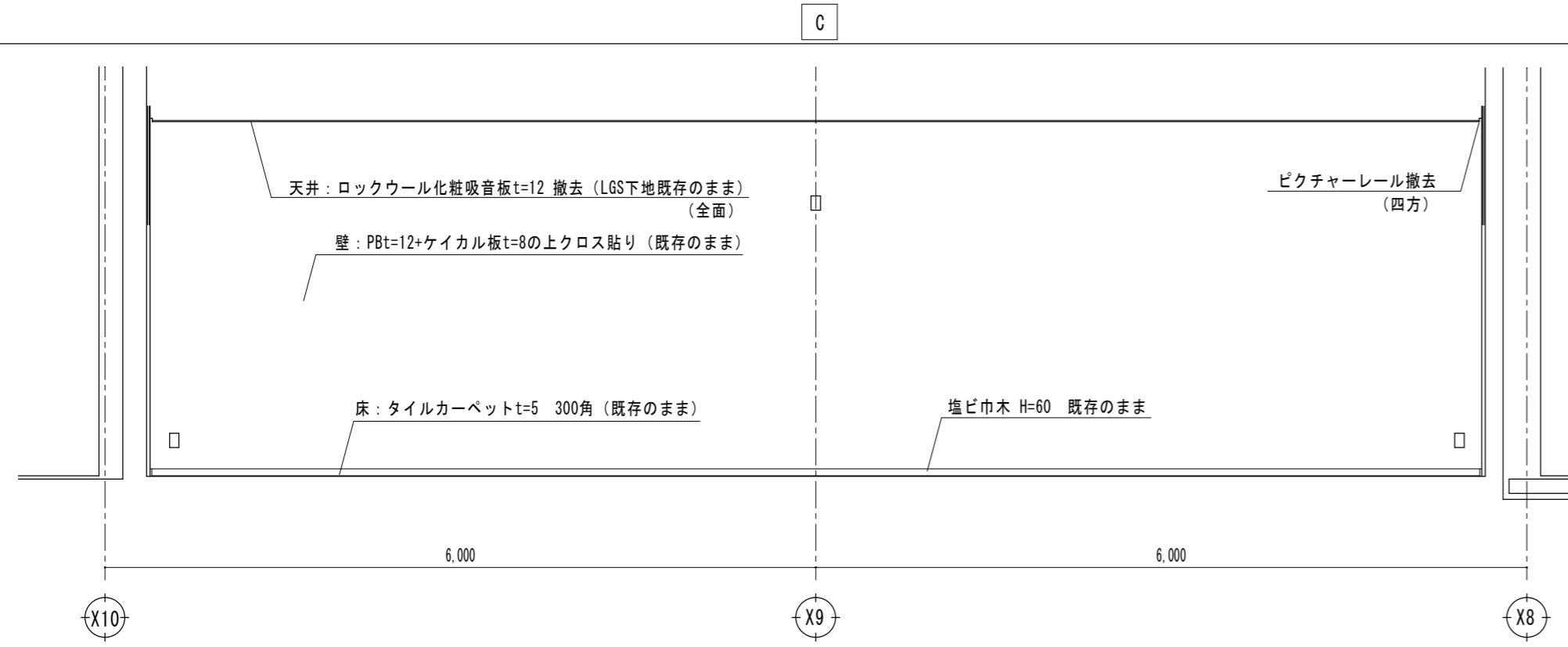
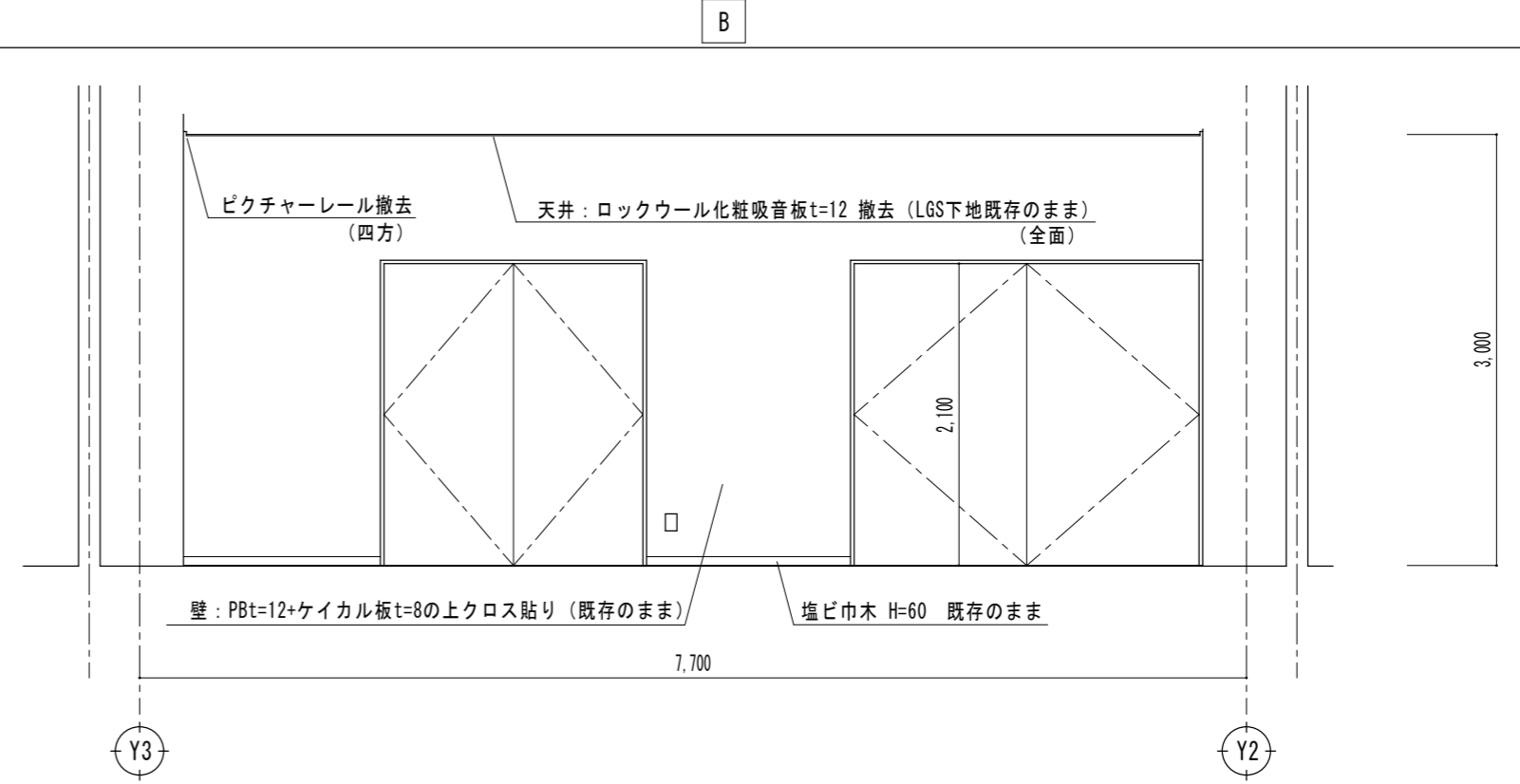
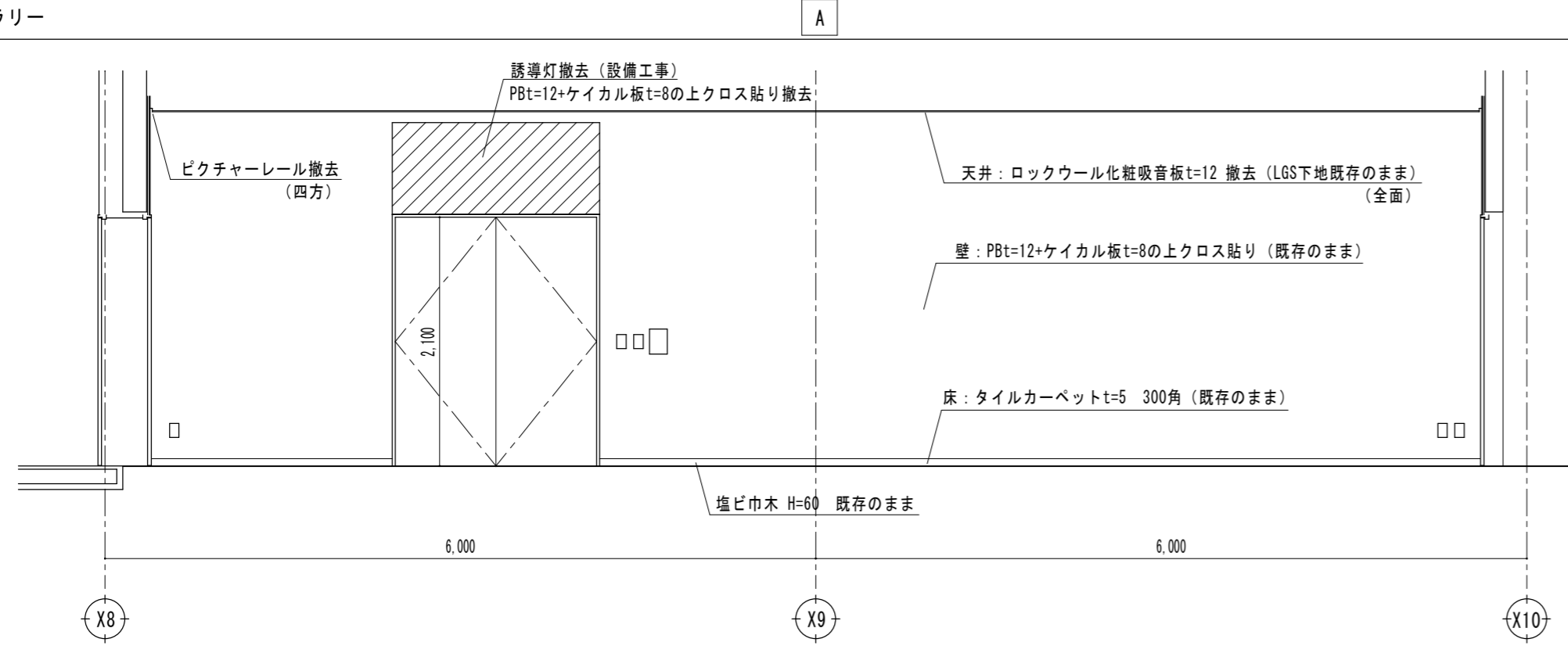


天井伏図 1/100

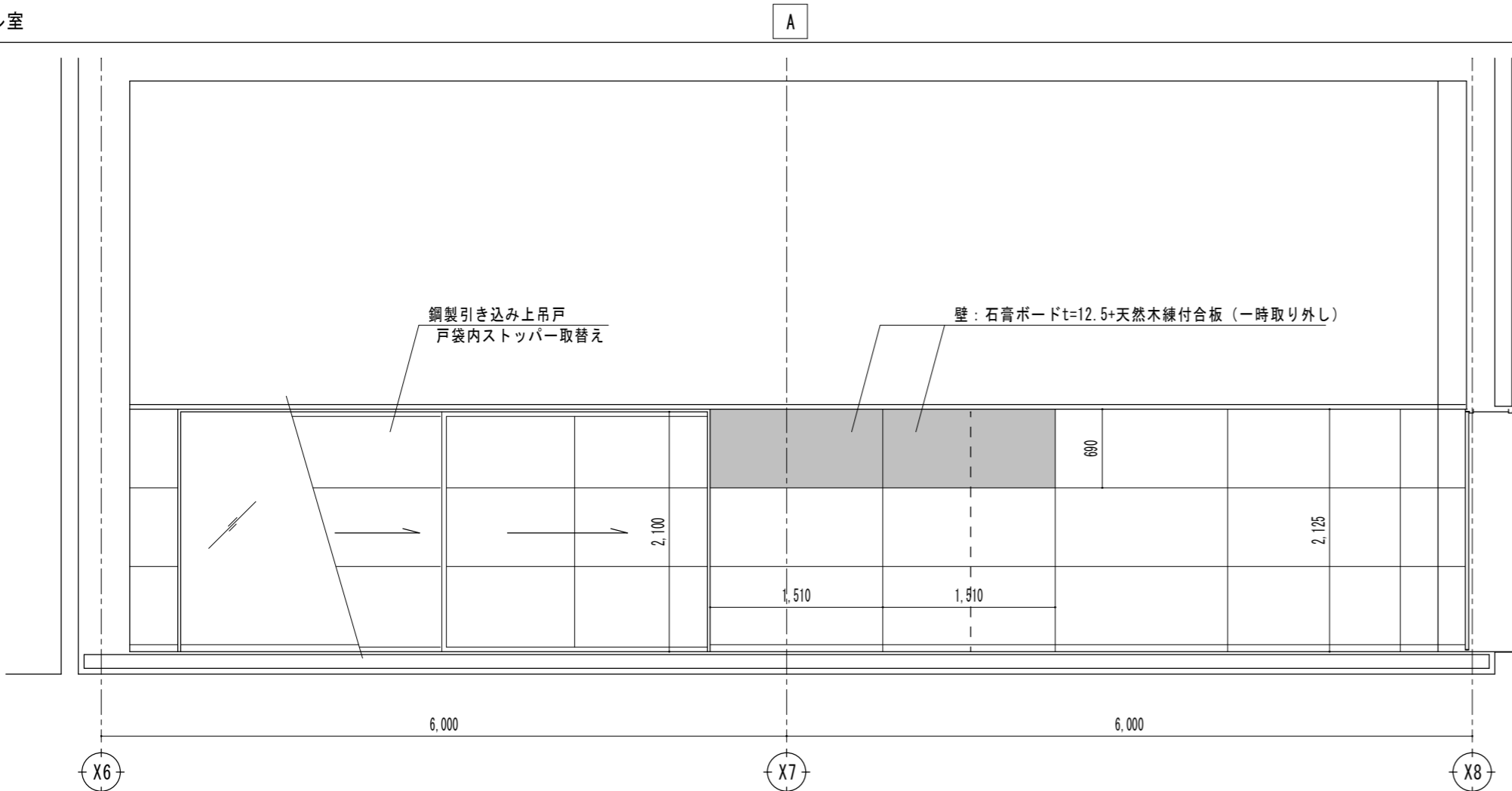
凡例

①	ロックウール化粧吸音板 t=12	新設
②	木製カーテンボックス SOP塗り	新設
③	カーテンレール (S) 重ね300	新設
④	塩ビ天井廻り縁	新設
設備器具	電気・機械器具 ※設備図参照	撤去又は 一時取り外し
⊠	天井点検口450角 (アルミ枠)	新設

展示ギャラリー



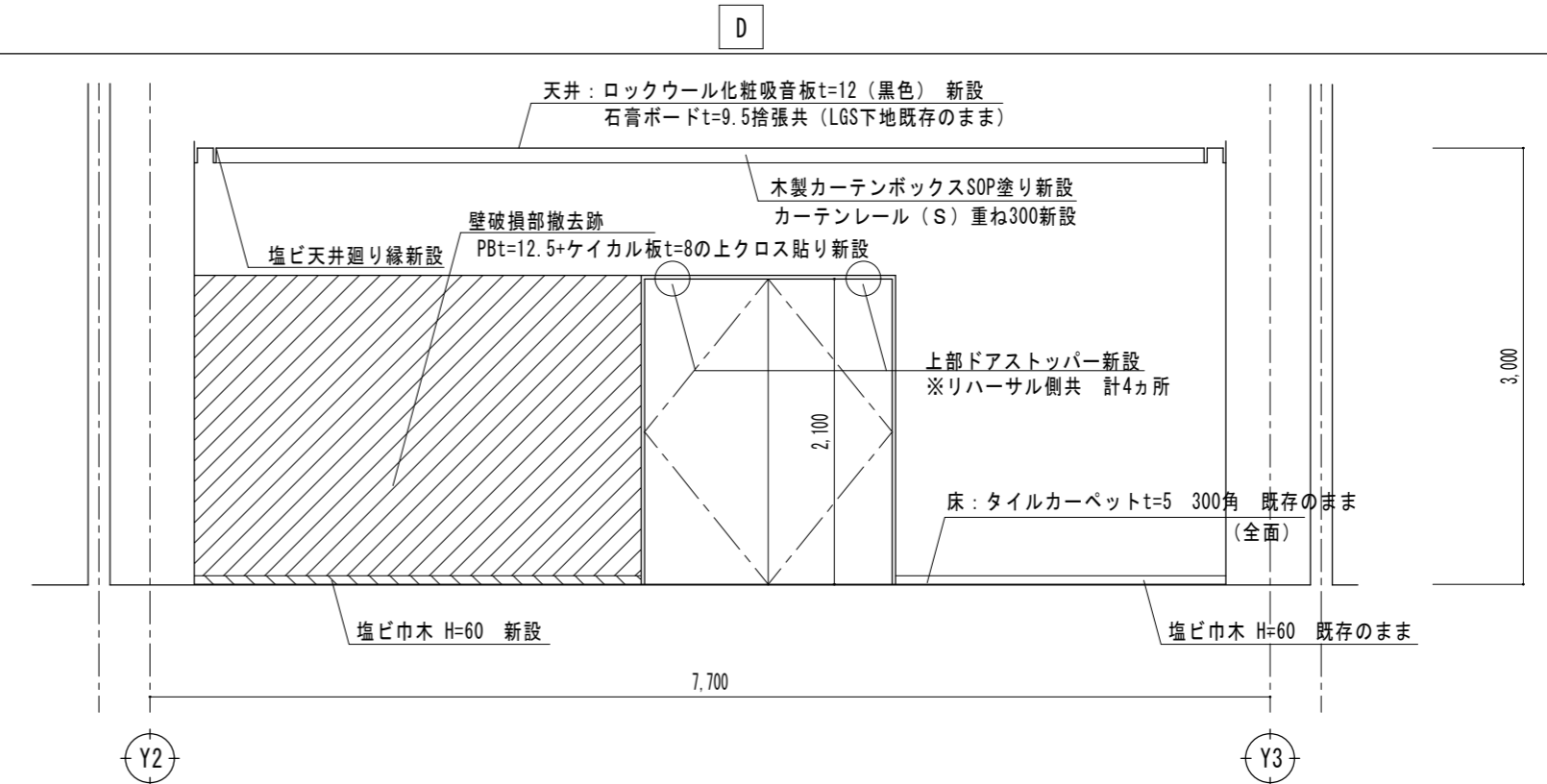
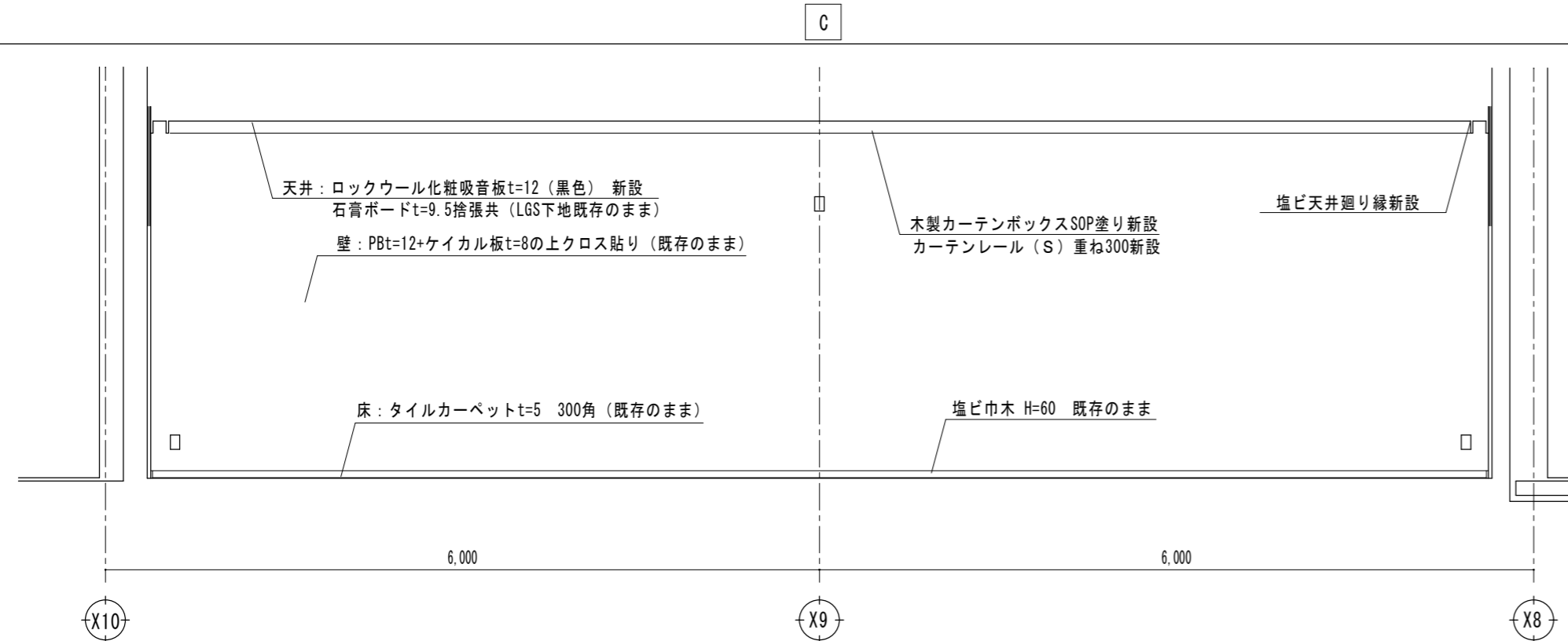
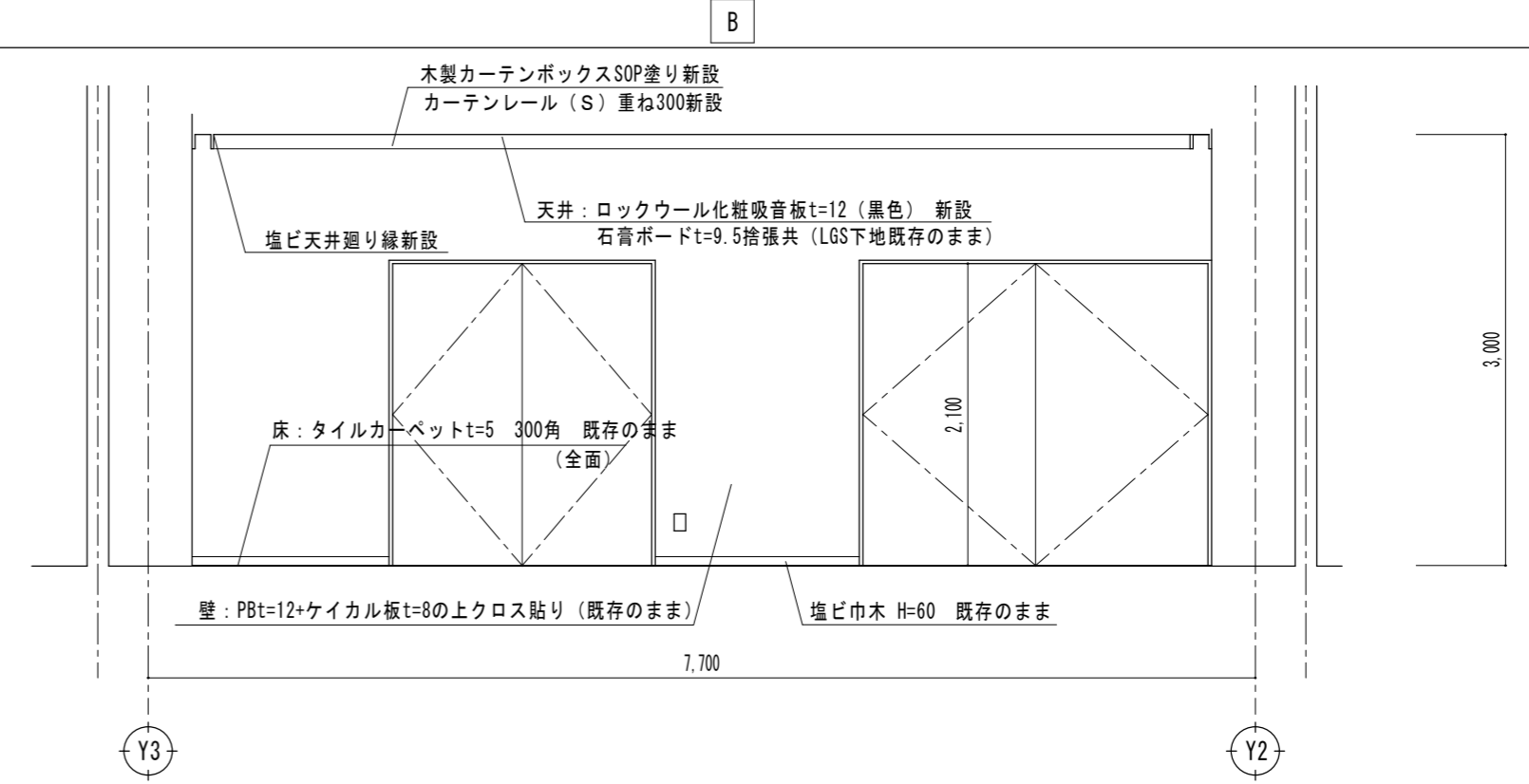
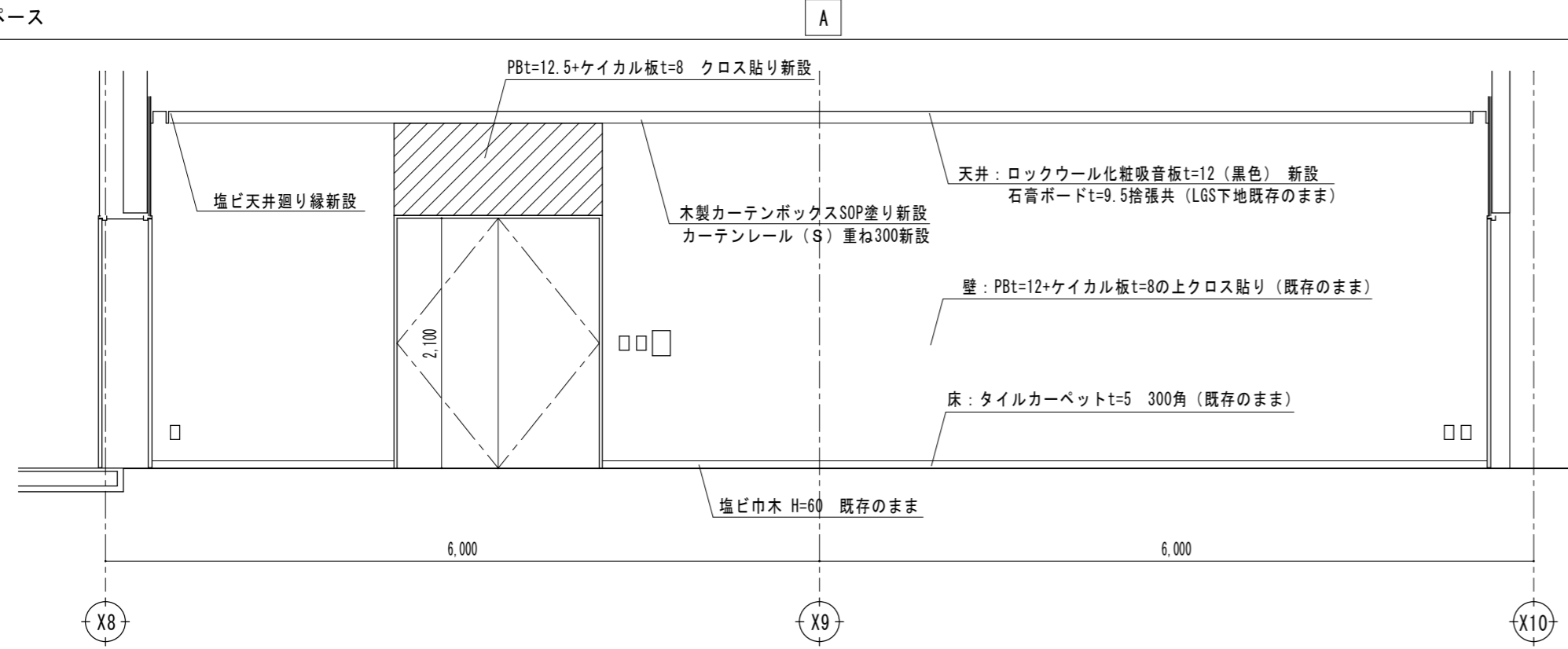
リハーサル室



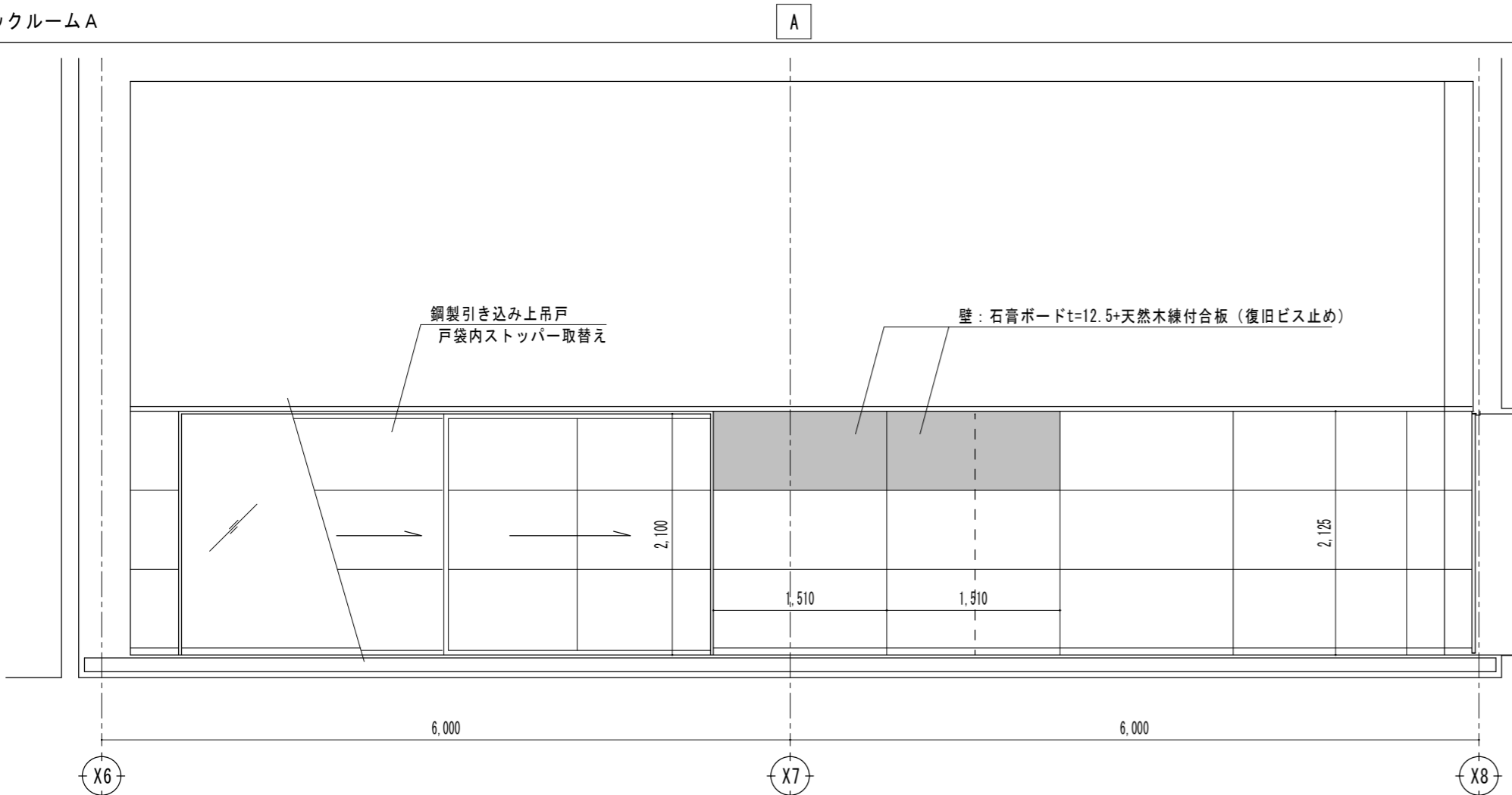
- : Pbt=12+ケイカル板t=8の上クロス張り撤去範囲を示す
- : 塩ビ巾木 H=60撤去範囲を示す
- : 石膏ボードt=12+天然木練付合板一時取り外し範囲を示す

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 展示ギャラリー・リハーサル室 展開図 (改修前)	N0.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/50		A-26
			一級建築士事務所 一級建築士第248160号		設計				43
			登録番号(1)第2118号 内田 貴之						原図:A2

アートスペース



ミュージックルームA

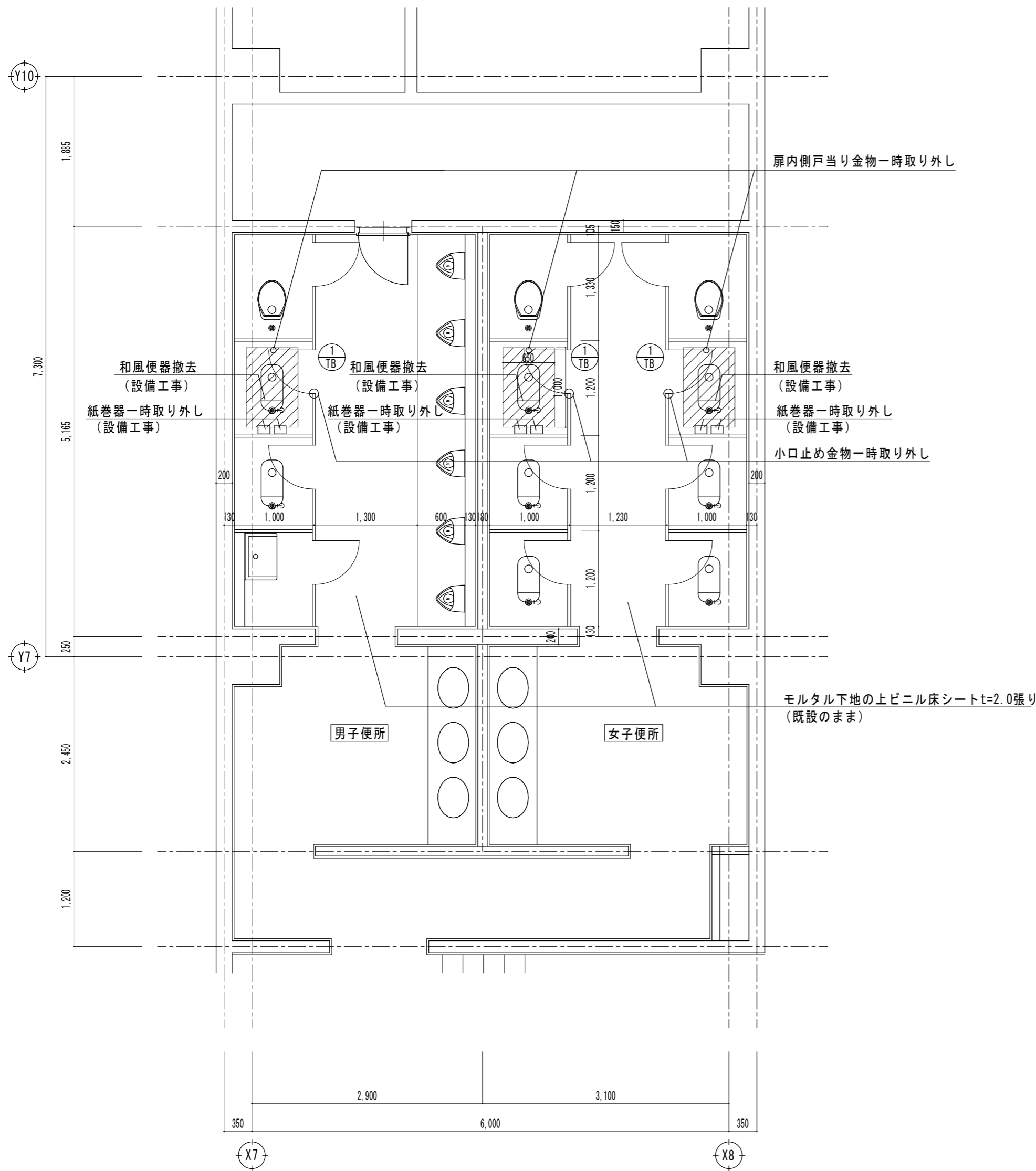


- : PBT=12.5+ケイカル板t=8の上クロス張り新設範囲を示す
- : 塩ビ巾木H=60新設範囲を示す
- : 石膏ボードt=12+天然木練付合板(復旧ビス止め)復旧範囲を示す

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 展示ギャラリー・リハーサル室 展開図 (改修後)	N0. A-27 43 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/50		
			一級建築士事務所		一級建築士第248160号				
			登録番号(1)第2118号		内田 貴之				

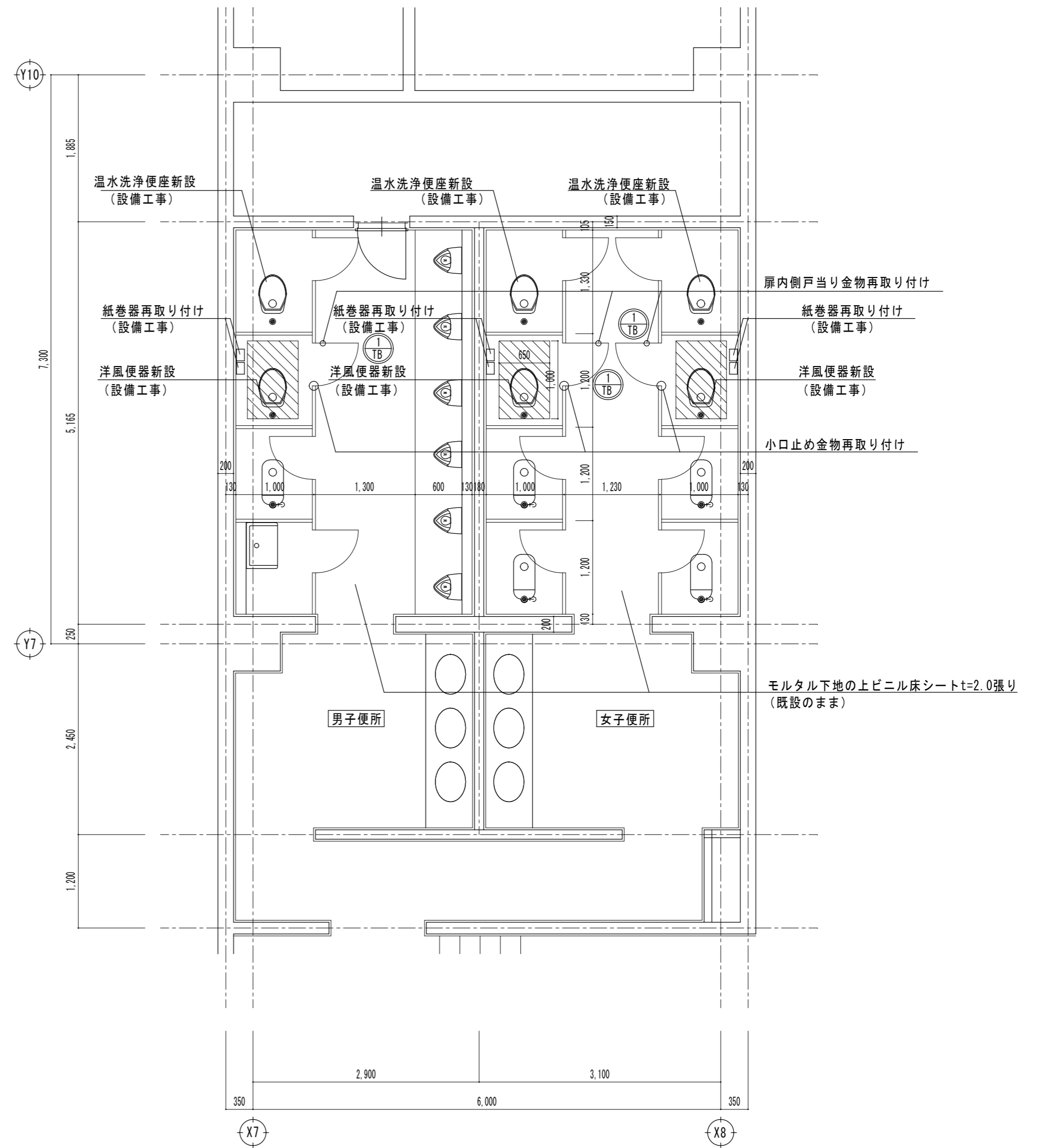
改修前

改修後



平面詳細図 (改修前) 1/50

床撤去部分を示す (A-31参照)
 コンクリートスラブt=150の上
 モルタルt=80+長尺シートt=2.0 撤去
 ※長尺シートはブース内撤去



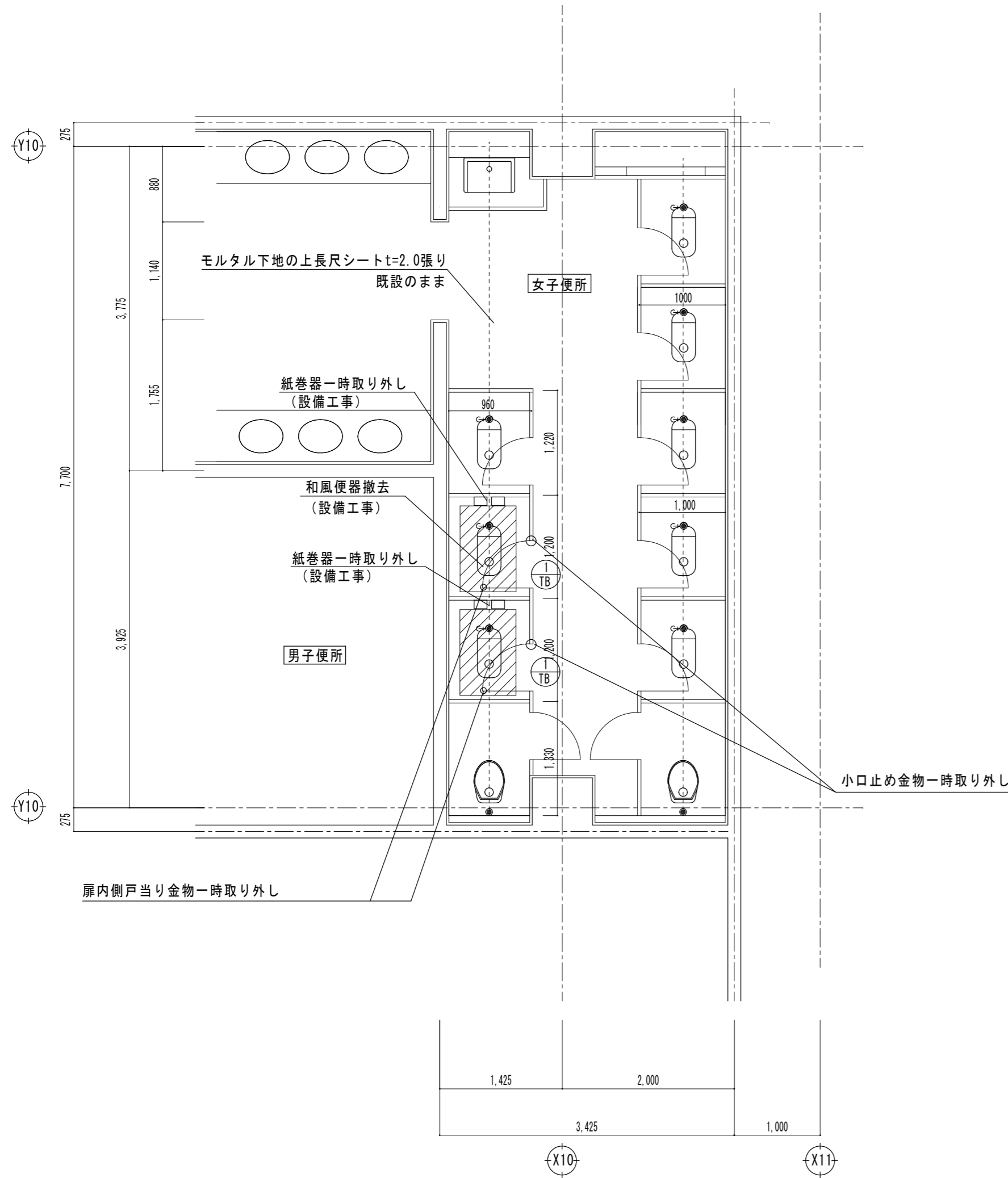
平面詳細図 (改修後) 1/50

床開口閉鎖部分を示す (A-31参照)
 コンクリートスラブt=200の上
 モルタルt=30+長尺シートt=2.0 新設
 ※長尺シートはブース内新設 (溶接継ぎ)

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 1階便所平面詳細図 (改修前後)	NO. A-28 43 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/50		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					

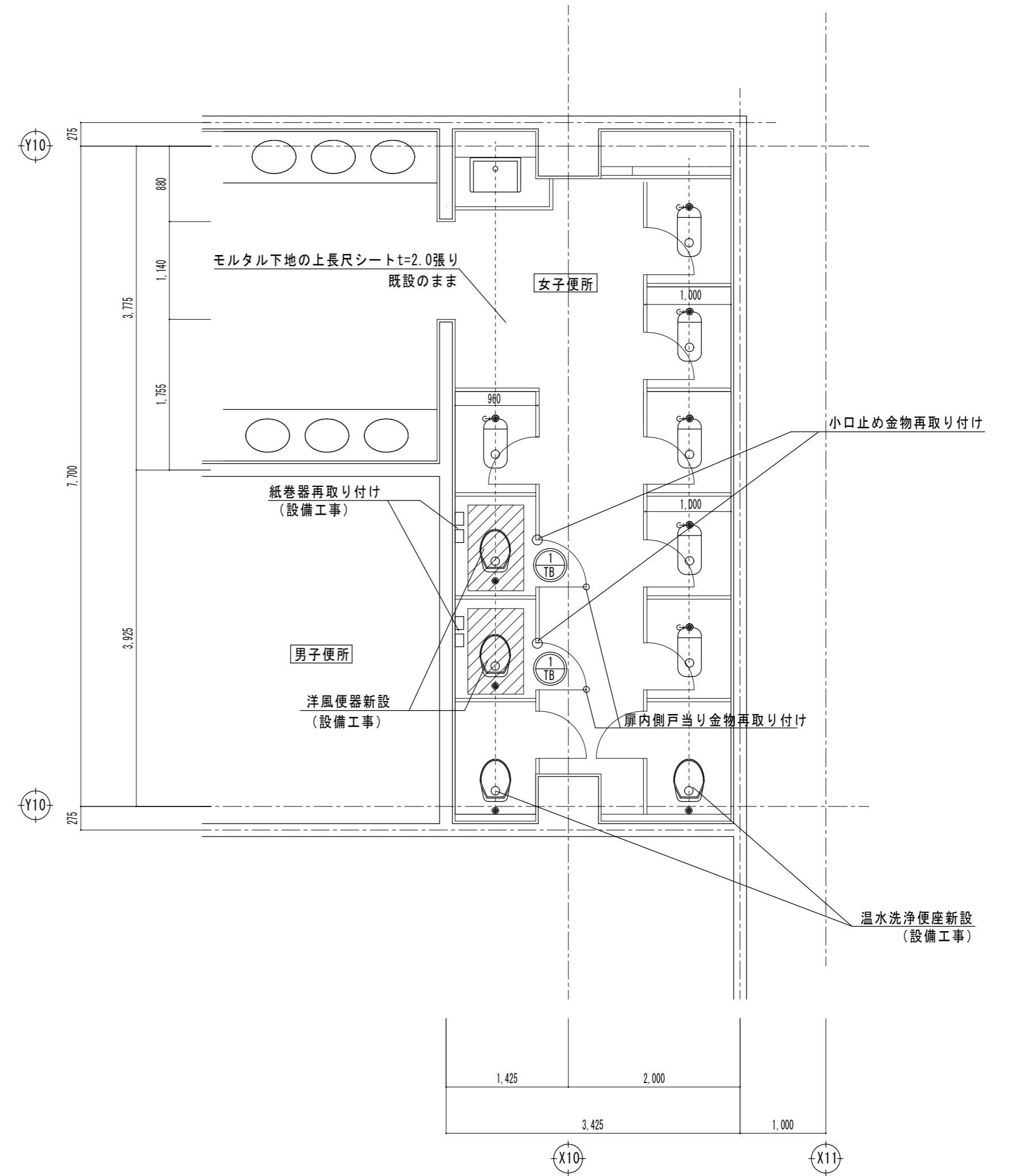
改修前

改修後



平面詳細図 (改修前) 1/50

床撤去部分を示す (A-31参照)
 コンクリートスラブt=150の上
 モルタルt=80+長尺シートt=2.0 撤去
 ※長尺シートはブース内撤去

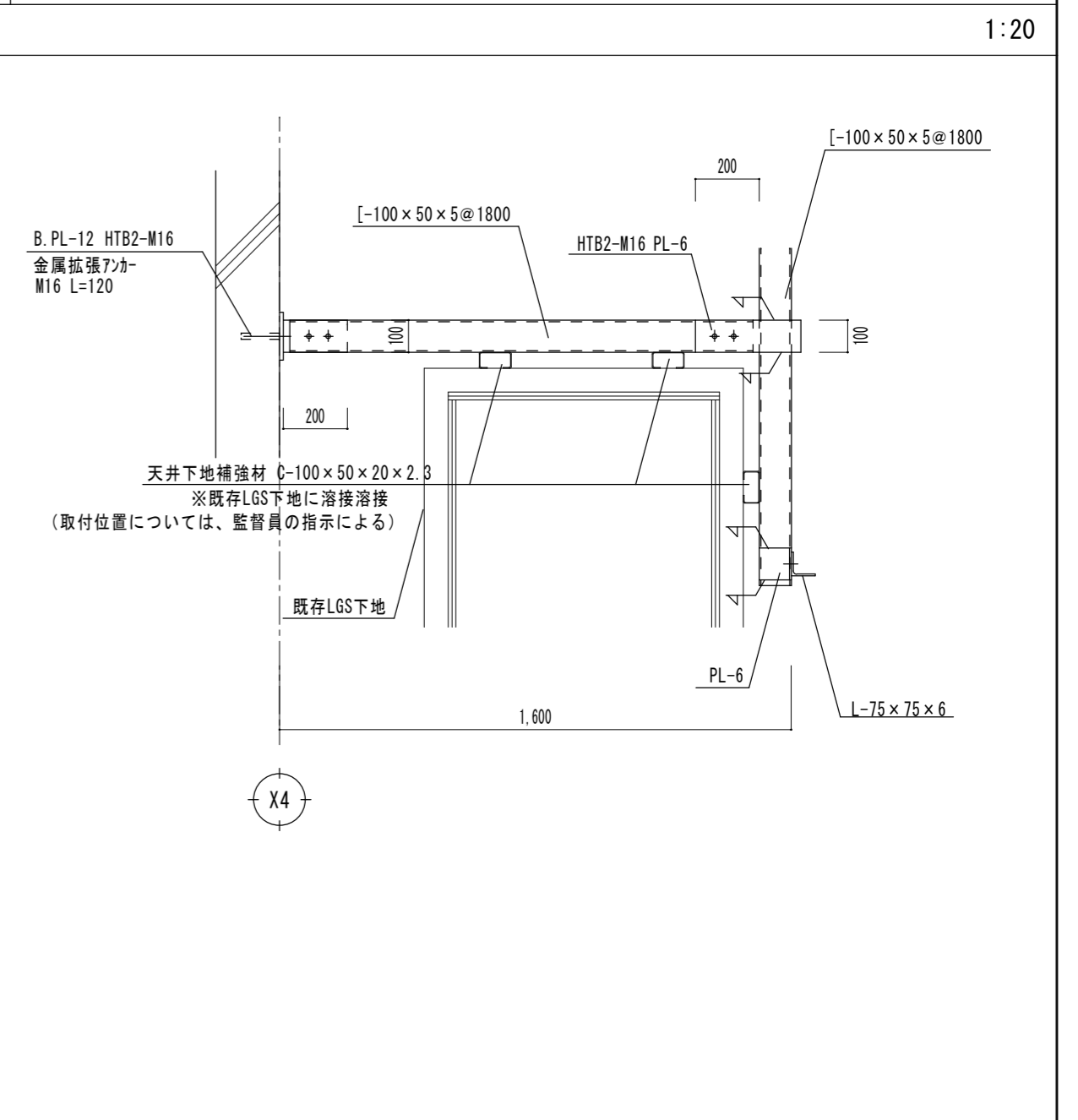
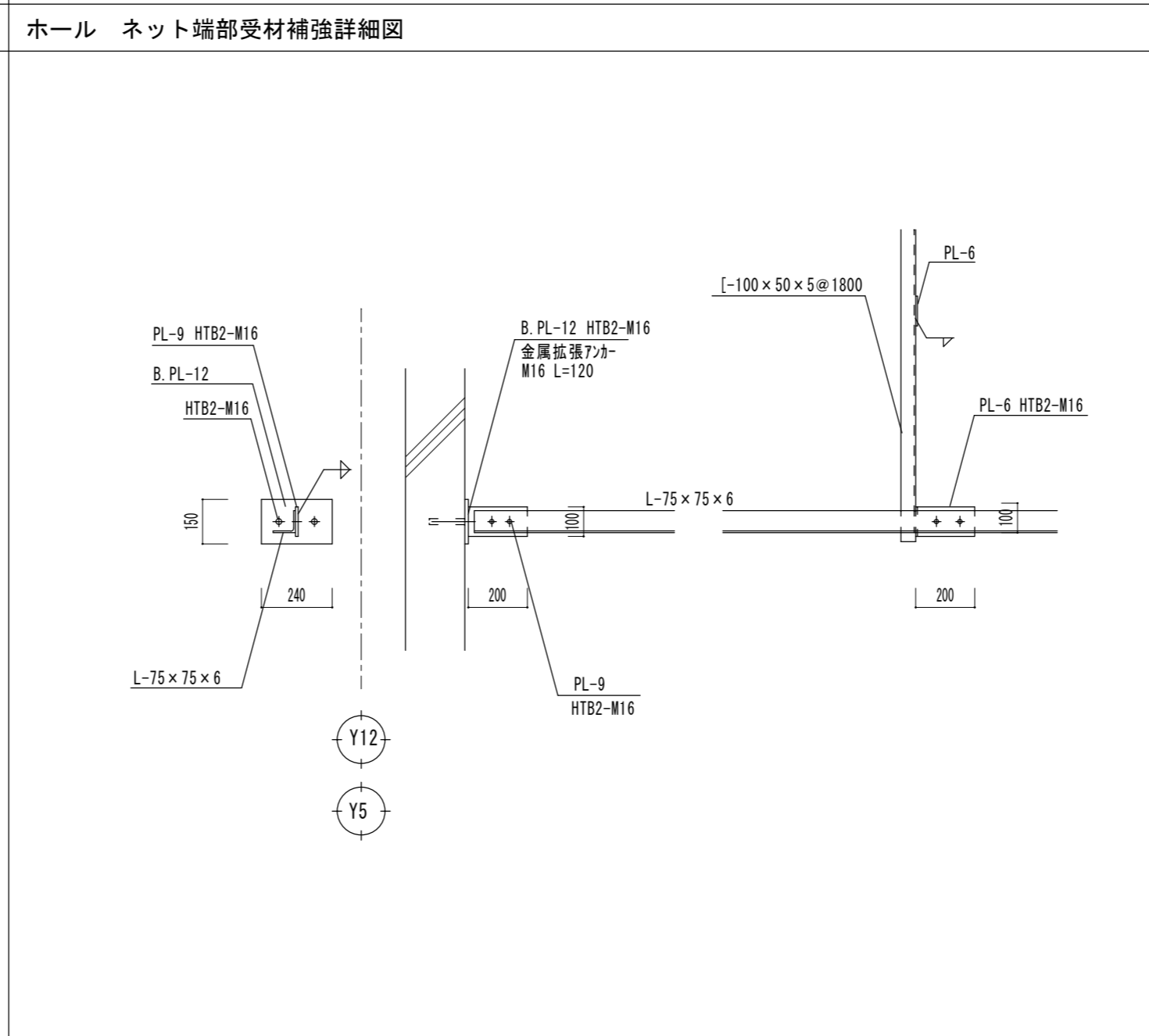
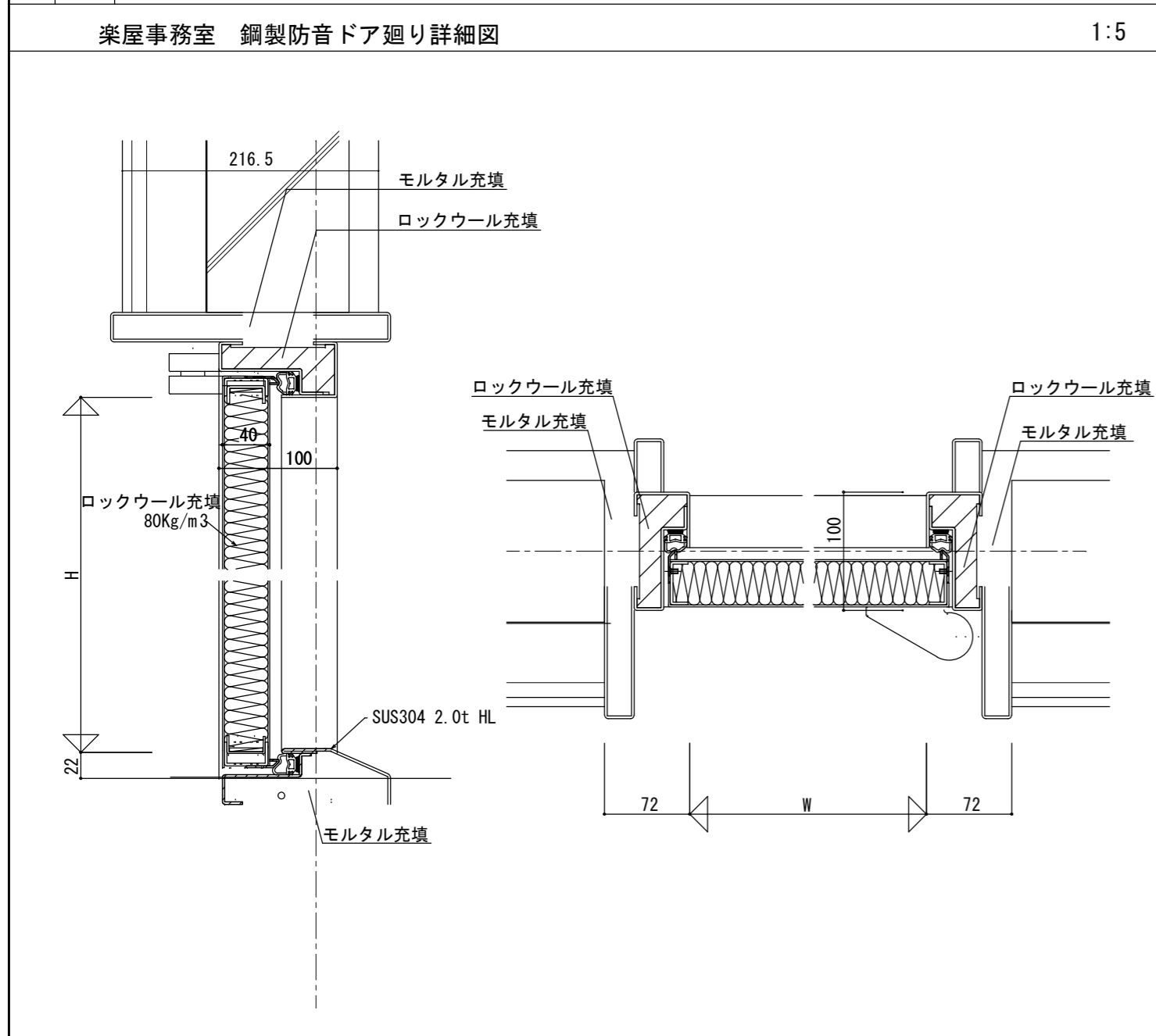
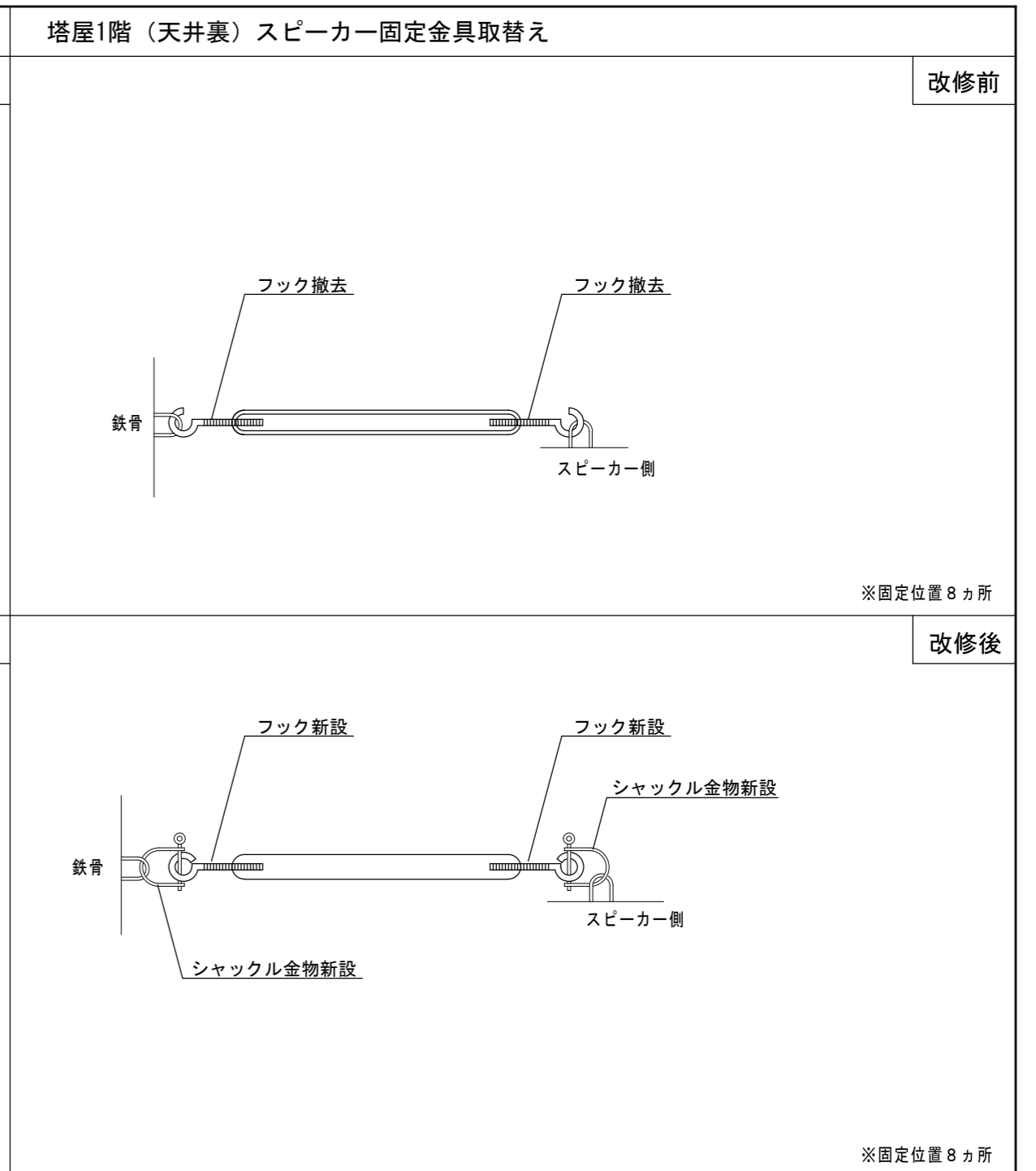
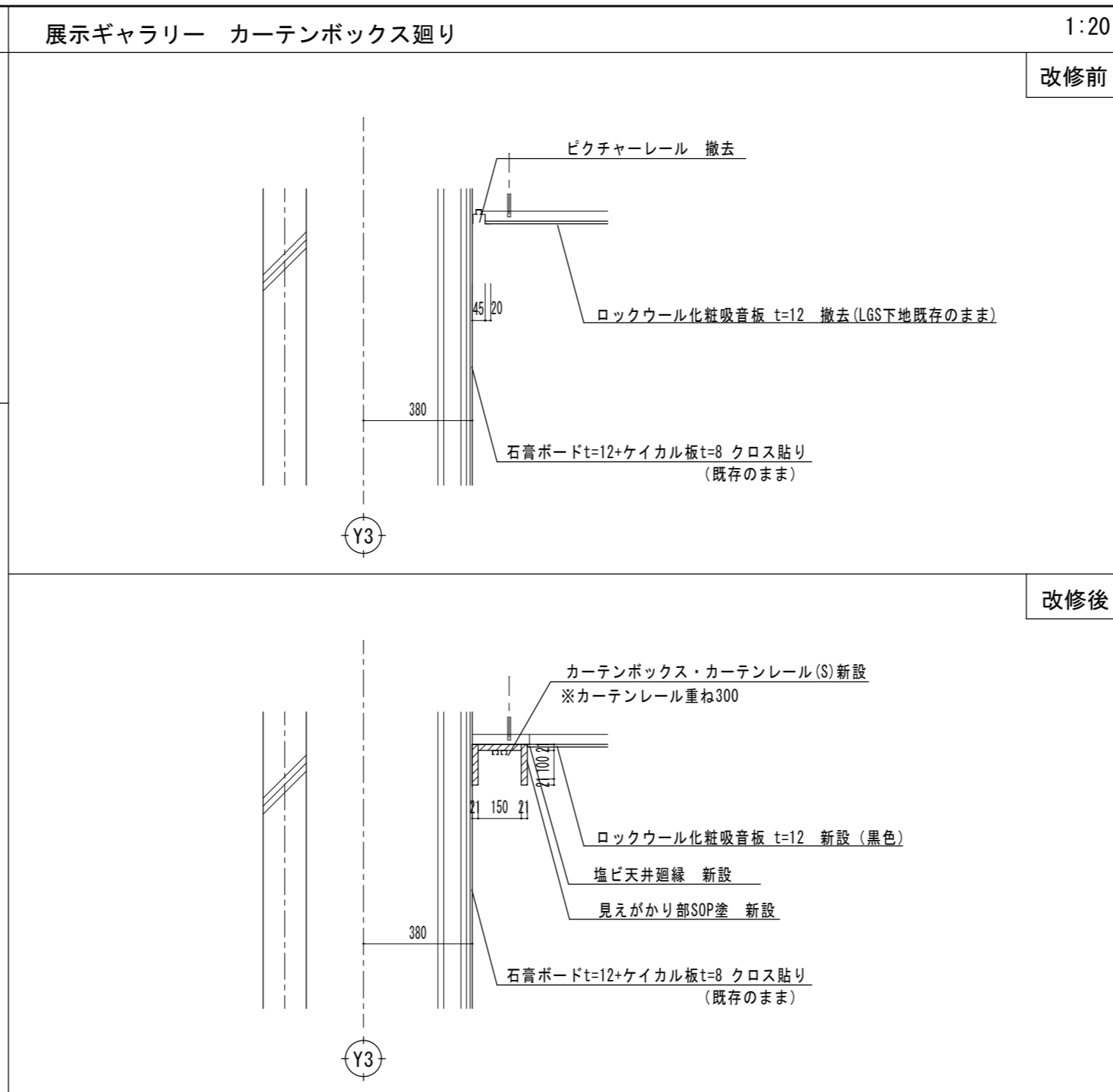
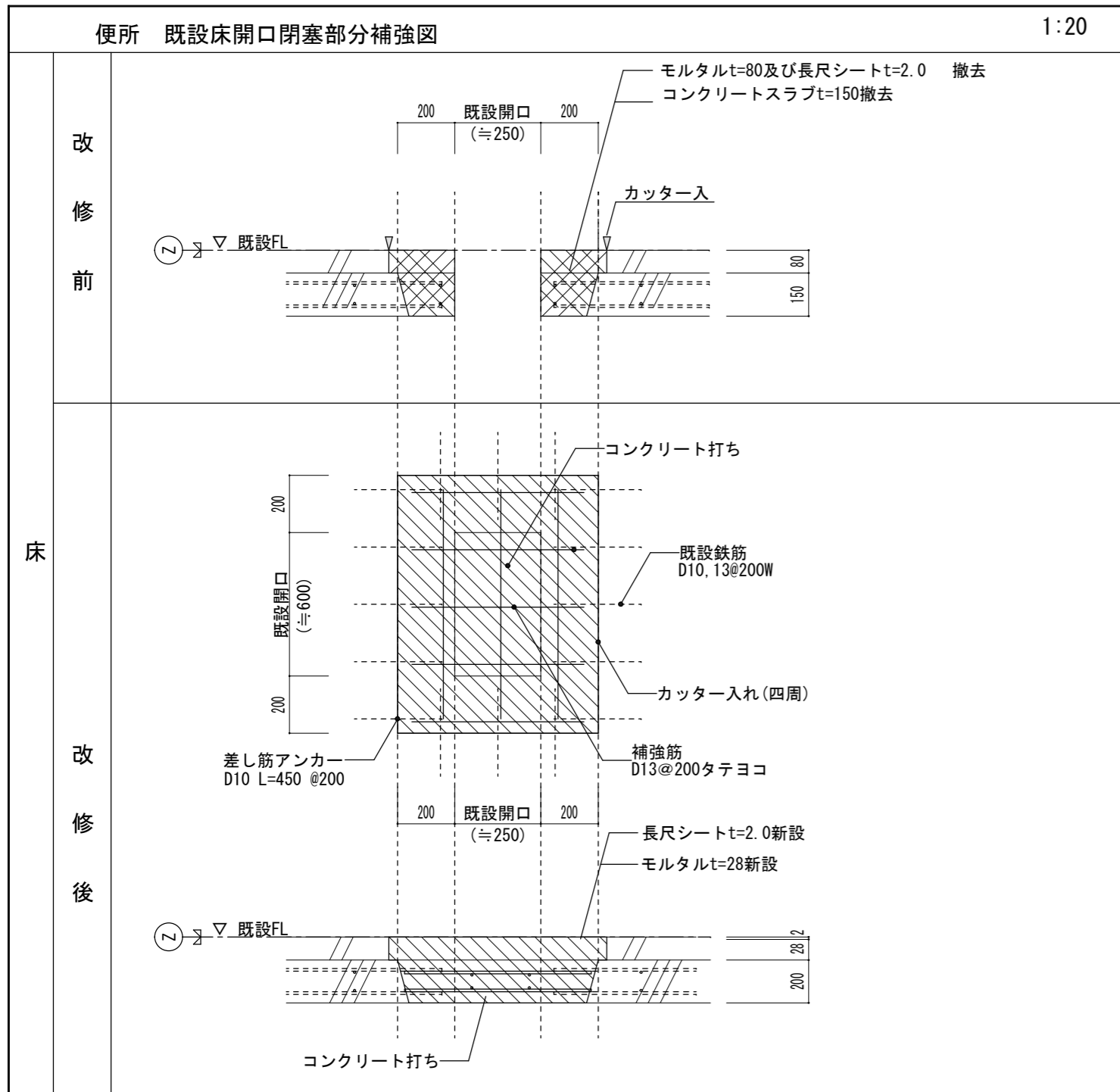


平面詳細図 (改修後) 1/50

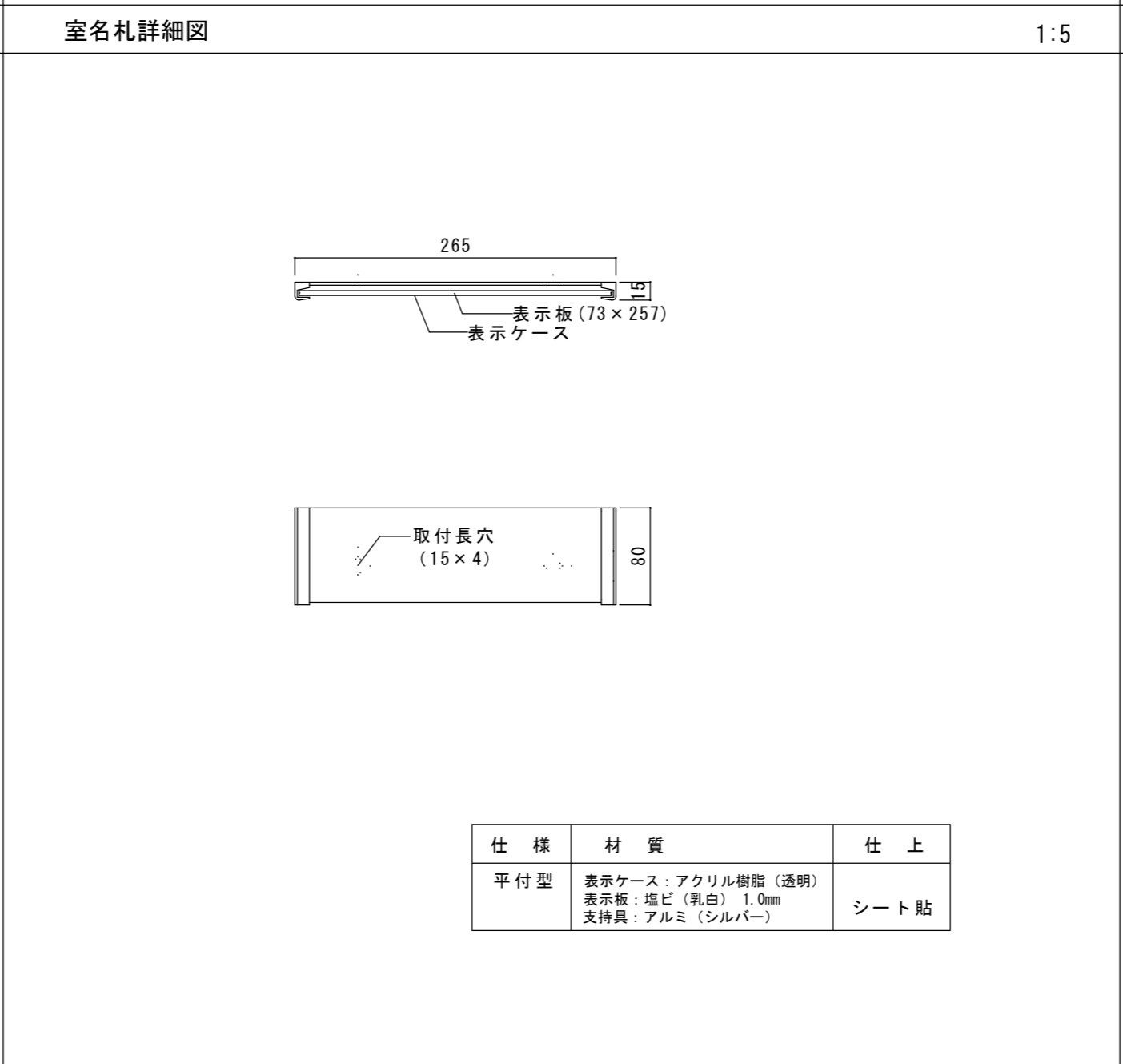
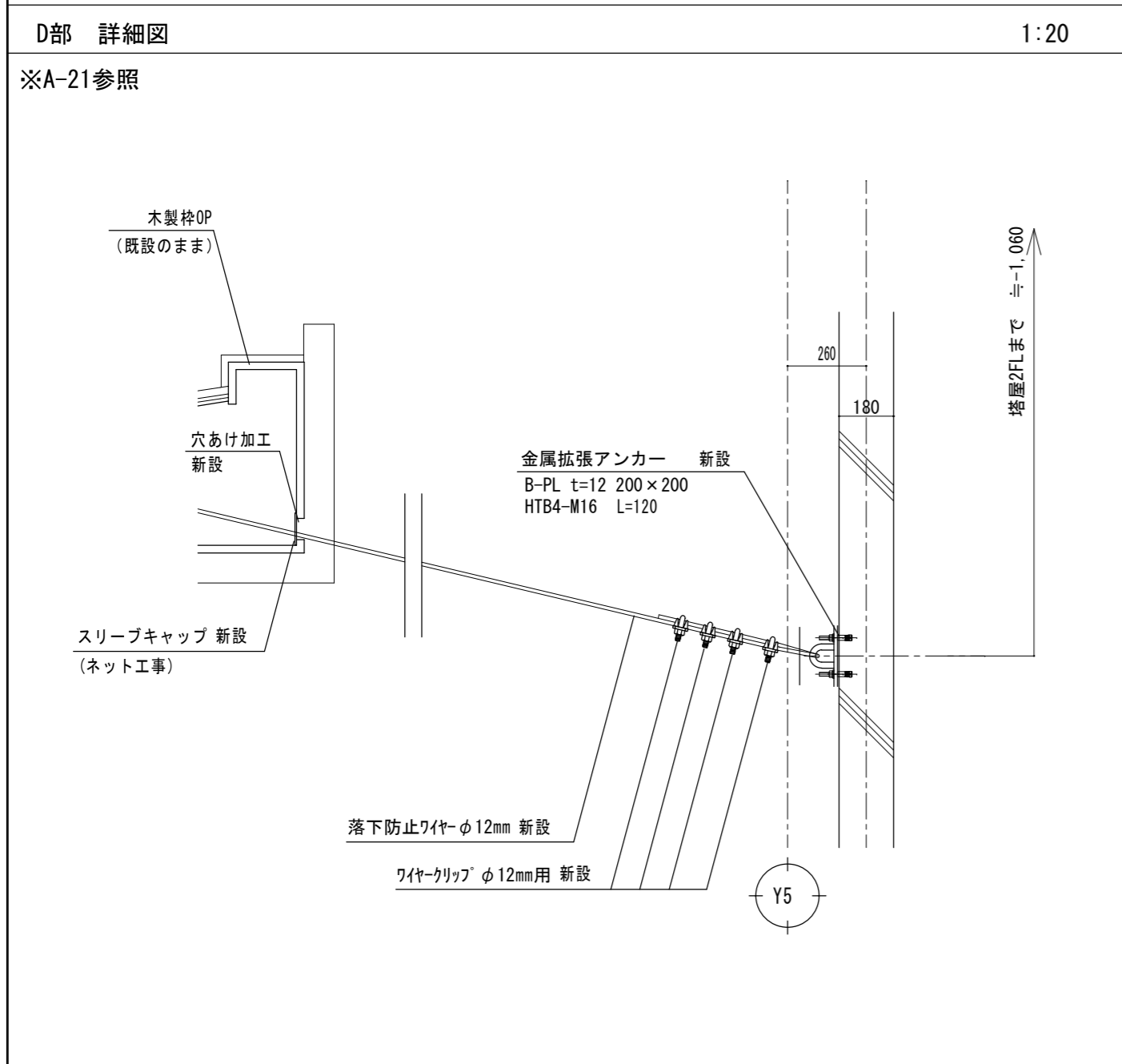
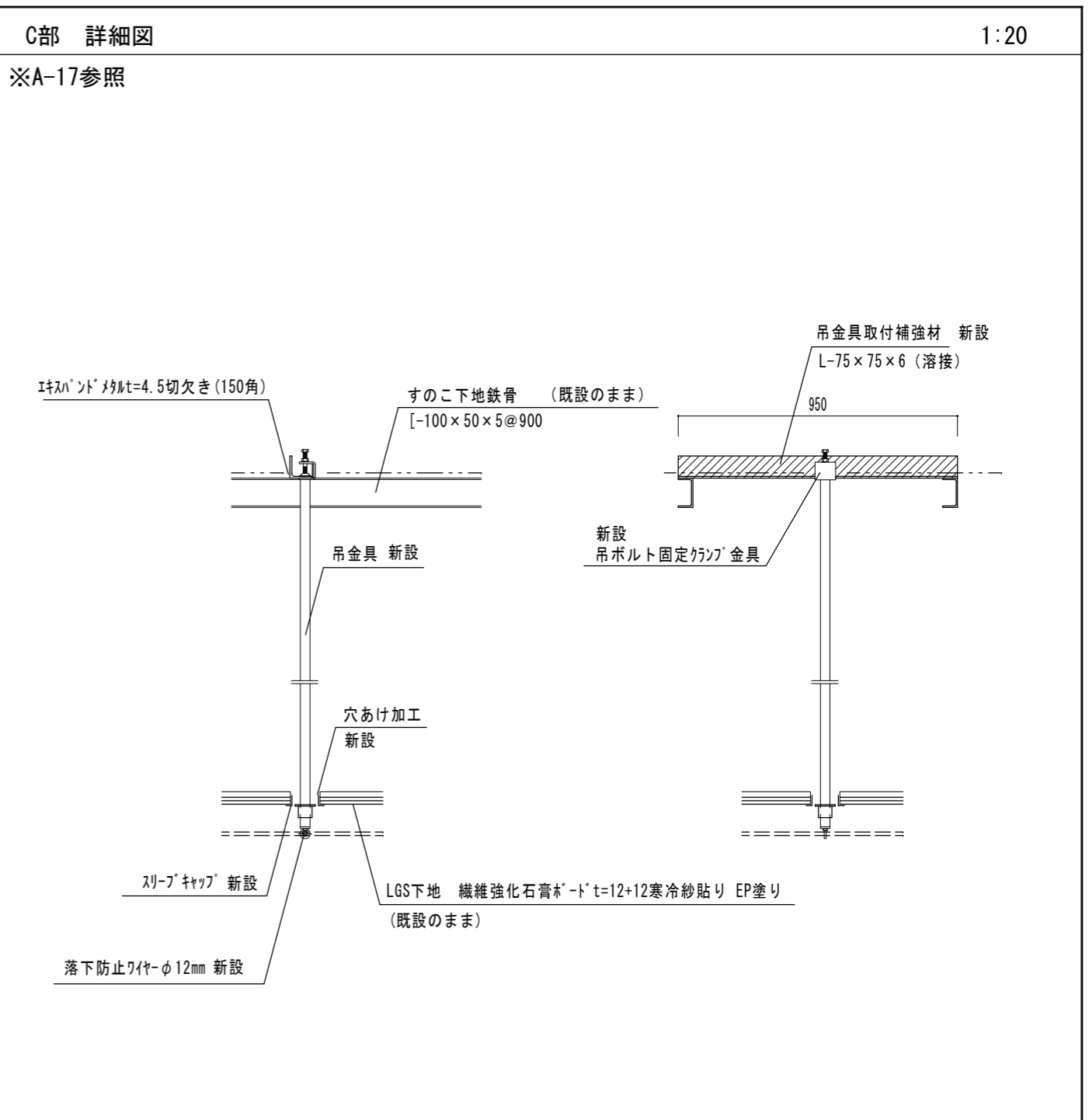
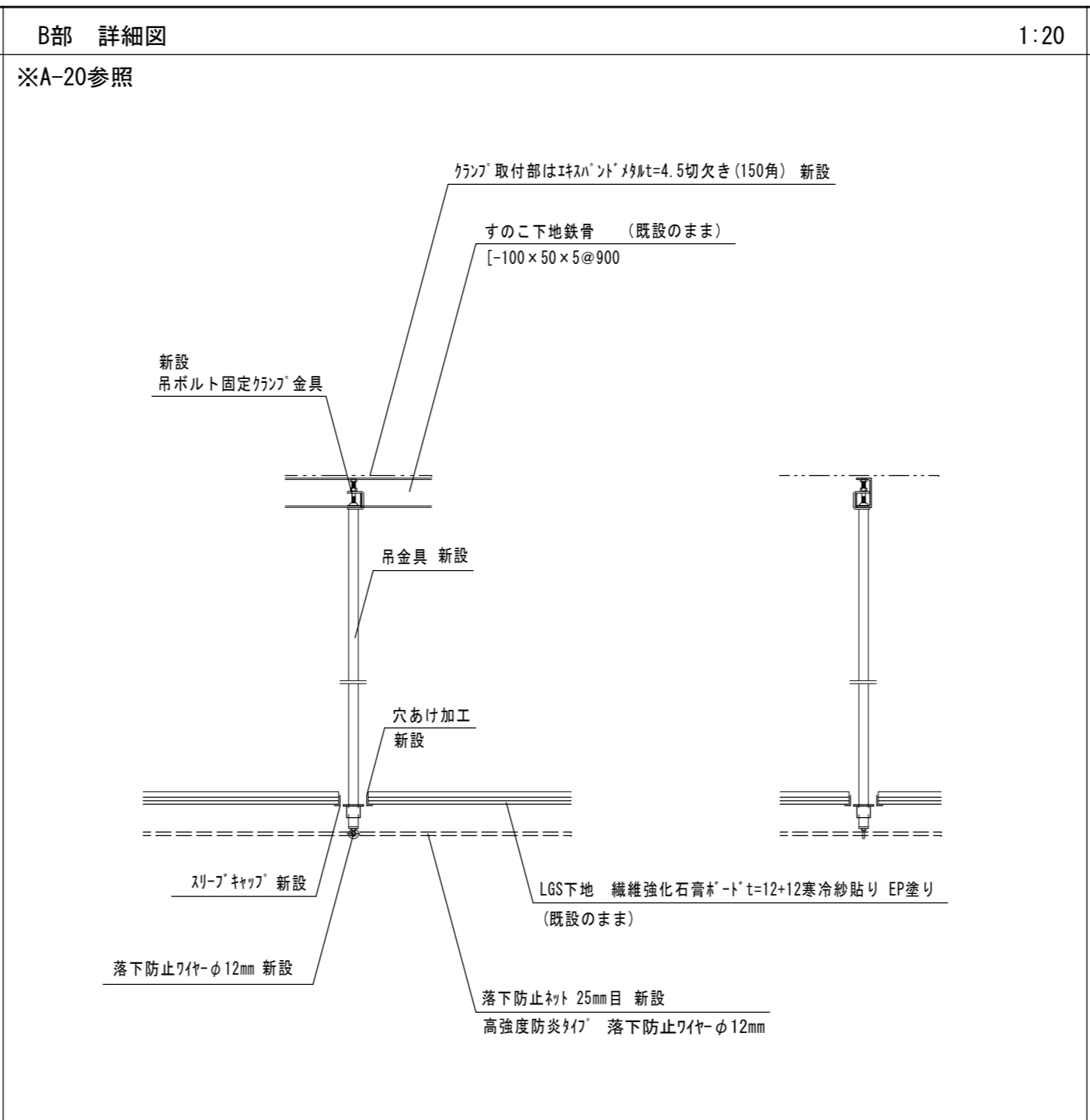
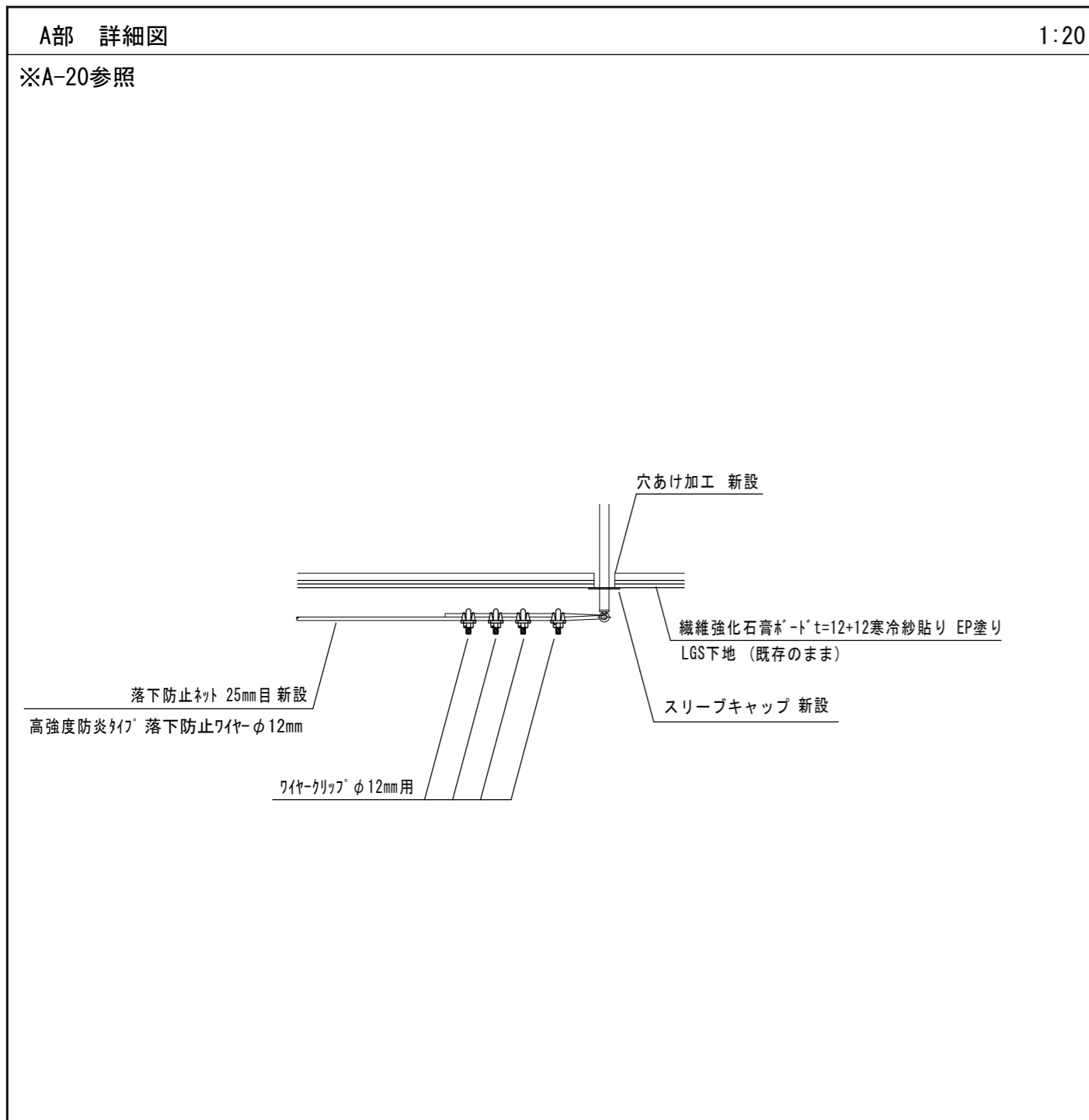
床開口閉鎖部分を示す (A-31参照)
 コンクリートスラブt=200の上
 モルタルt=28+長尺シートt=2.0 新設
 ※長尺シートはブース内新設 (溶接継ぎ)

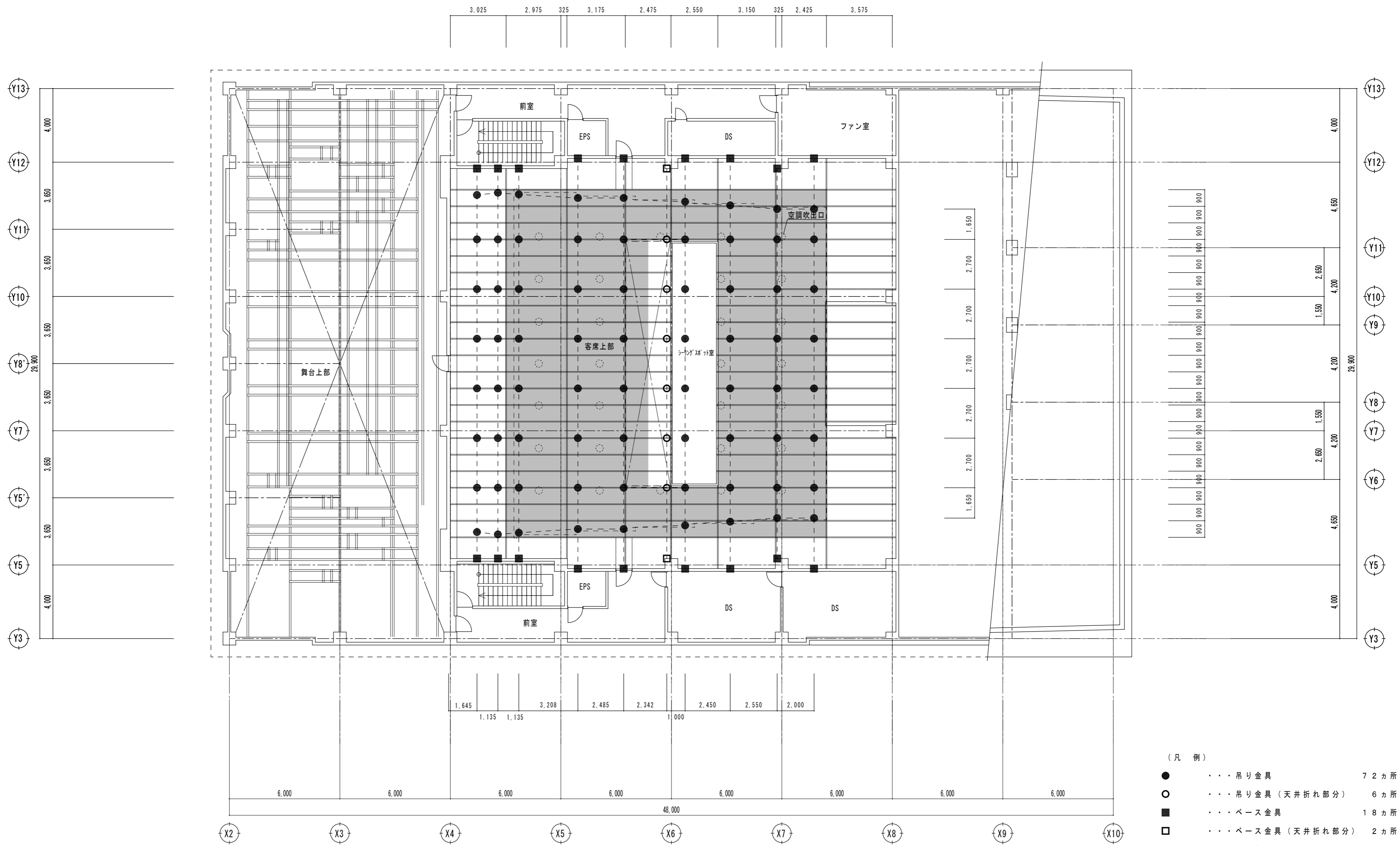
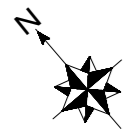
特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 2階女子便所平面詳細図 (改修前後)	NO. A-29 43 原図:A2
				設計	1/50			

改修前		改修後	
記号・数量	① AW 部分撤去 1	① SW 撤去 1	① SD 撤去 1
形状			
位置	楽屋事務室	楽屋事務室	楽屋事務室
形式	内外倒しアルミサッシ (ブラインド付) アルミ額縁	引き違いステンレスサッシ (FIX付) ステンレス枠	片開き鋼製ドア スチール枠
見込	70	100	70
材質・仕上	カラーアルミ	ステンレスHL	化粧鋼板
ガラス	透明ガラス t=5	透明ガラス t=3	透明ガラス t=5
金物	施錠レバー、開閉レバー、水切り、ブラインド内蔵 その他必要金物一式	ハカマレール、シリンダー錠 その他必要金物一式	レバーハンドル、シリンダー錠、ドアクローザー、ガラリ、下枠Sus その他必要金物一式
改修内容	開閉ハンドル撤去	撤去	撤去
記号・数量	② SD 部分撤去 2	③ SD 部分撤去 1	② SD 部分改修 2
形状			
位置	展示ギャラリー→リハーサル室	リハーサル室	展示ギャラリー→リハーサル室
形式	両開き鋼製ドア スチール枠	2連引き込み鋼製上吊戸 ステンレス枠	両開き鋼製ドア スチール枠
見込	100	140	100
材質・仕上	化粧鋼板	鋼製下地+天然木縁付合板張り	化粧鋼板
ガラス			
金物	引き棒、シリンダー錠、ドアストッパー、ガラリ、下枠Sus その他必要金物一式	引き手、上吊金物一式、Susレール その他必要金物一式	引き棒、シリンダー錠、ドアストッパー、ガラリ、下枠Sus その他必要金物一式
改修内容	ドアストッパー撤去	戸袋内ストッパー撤去	ドアストッパー新設 扉面付露出タイプ
記号・数量	① TB 部分改修 男-1 女-4		① TB 部分改修 男-1 女-4
形状			
位置	男子、女子便所		男子、女子便所
形式	トイレブース		トイレブース
見込	40		40
材質・仕上	メラミン化粧板		メラミン化粧板
ガラス			
金物	SUS取手 中心吊「レビティン」戸当り ステンレス頭ツナギ その他必要金物一式		SUS取手 中心吊「レビティン」戸当り ステンレス頭ツナギ その他必要金物一式
改修内容	内開き→外開き ドア上部戸当り金物、引き手側小口止め金物一時取り外し		内開き→外開き ドア上部戸当り金物、引き手側小口止め金物再取り付け



特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事	N0.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/5		A-31
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		1/20		43
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					各部詳細図(1)





特記

月 日

U 建築設計

設計番号

年 月 日

縮尺

津市サンヒルズ安濃
ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事

N0.

三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897

1/150

A-33

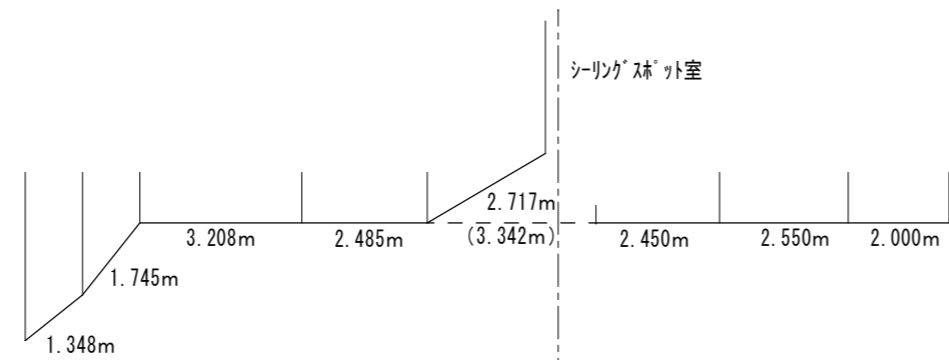
一級建築士事務所 一級建築士第248160号

43

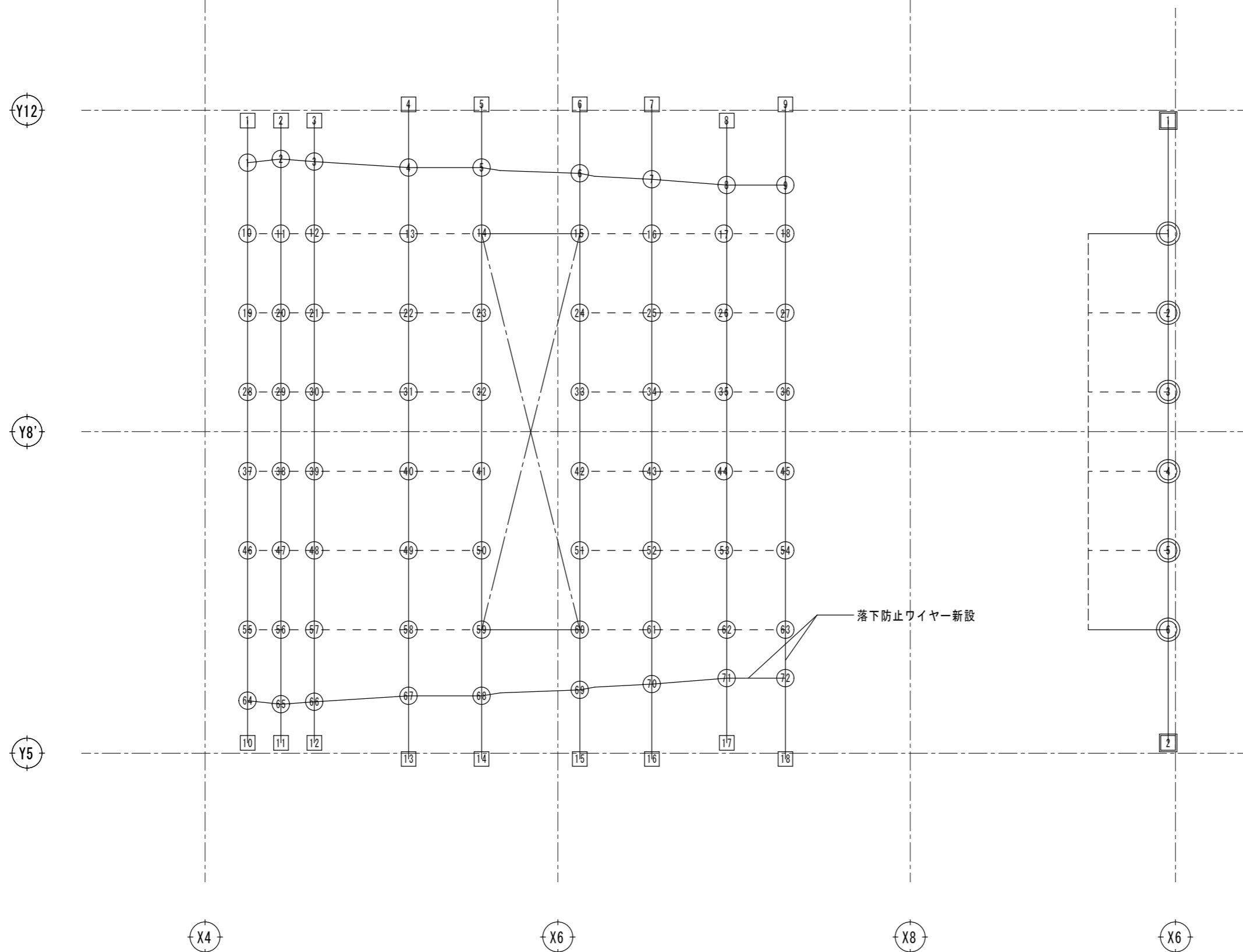
登録番号(1)第2118号 内田 貴之

落下防止ネット平面図

原図:A2



割付断面図 1/150



割付平面図 1/150

折上部割付平面図 1/150

- (凡例)
- …… 吊金具 72カ所
 - …… 吊金具 (天井折れ部分) 6カ所
 - …… ベース金具 18カ所
 - …… ベース金具 (天井折れ部分) 2カ所

特記

月 日

U 建築設計

設計番号

年 月 日

縮尺

津市サンヒルズ安濃
ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事

N0.

三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897

設計

1/150

A-35

一級建築士事務所 一級建築士第248160号

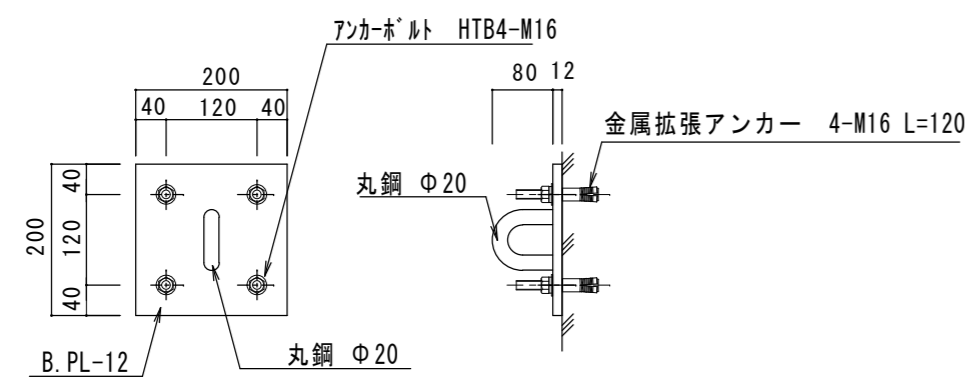
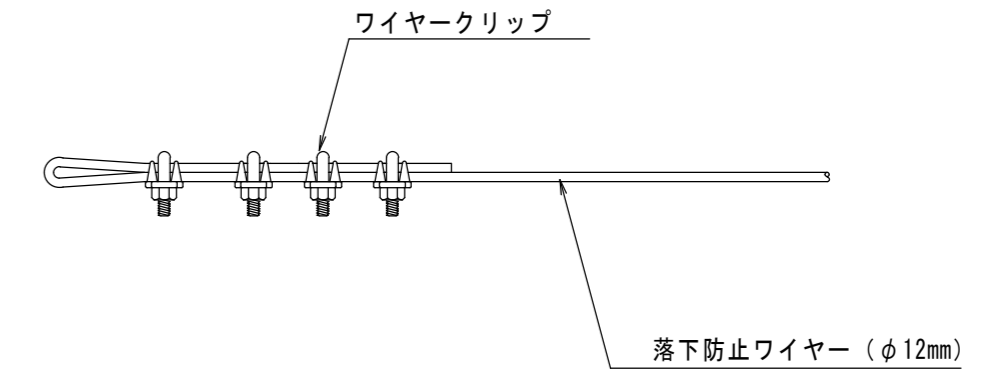
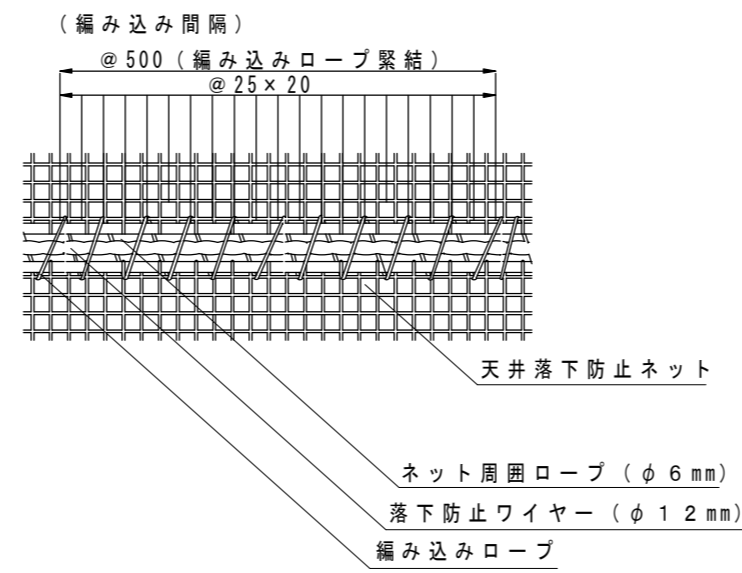
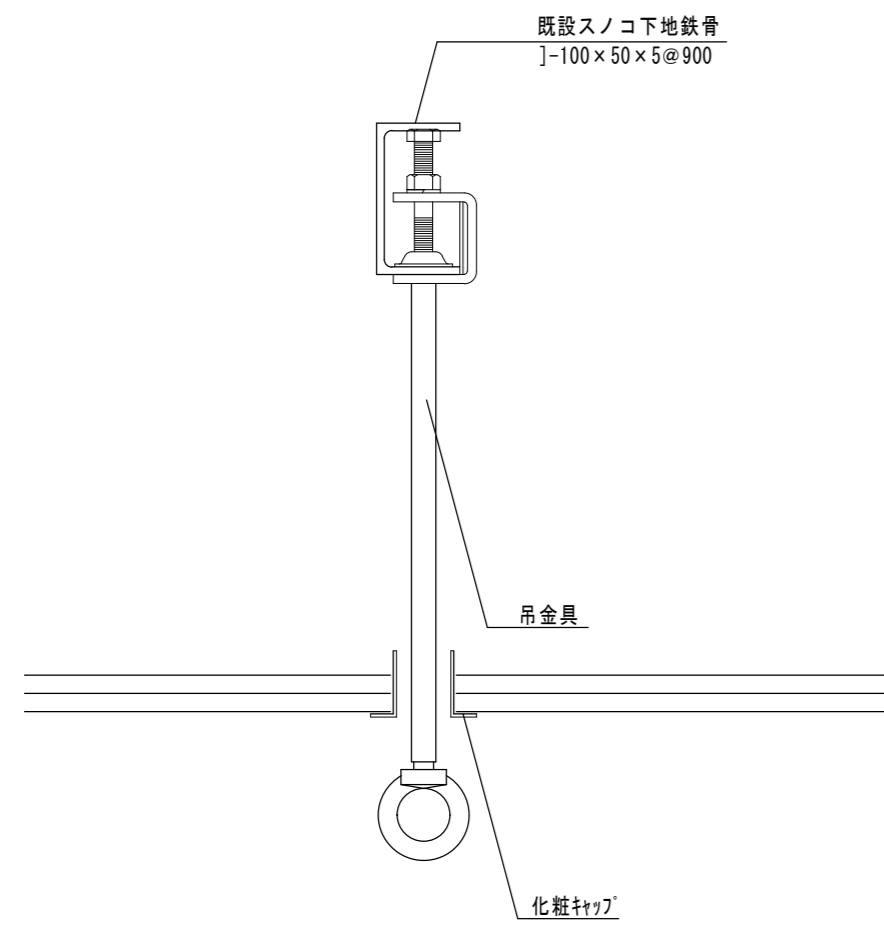
43

登録番号(1)第2118号

内田 貴之

落下防止ネット割付図

原図:A2



仕様表

- ・吊金具…SS400 HDZ55 引張強度 900kg/本 以上（振動試験済品）
- ・天井落下防止保護ネット…25mm目 ラッセル網（高強度防災タイプ）
引張強度 500kg/本 以上
- ・ネット周囲編み込みロープ…φ6mm ナイロン製
- ・落下防止ワイヤー…φ12mm 線材SS材メッキ仕上げ

特記

月 日

U 建築設計

設計番号

年 月 日

縮尺

津市サンヒルズ安濃
ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事

N0.

三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897

1/5
1/10

A-36

一級建築士事務所 一級建築士第248160号

設計

落下防止ネット各部詳細図

43

登録番号(1)第2118号 内田 貴之

原図:A2

※バトンパイプは全て取外し、清掃、再取付
※撤去内容については、取替工事リスト参照

舞台吊物装置改修前仕様表

No.	名 称	操作方式	バトン パイプ径 (mm)	バトン 寸法 (mm)	速度 (m/min)	自重 (kg)	荷重 (kg)	動力 (kW)	吊点	ワイヤ ロープ 径(mm)	方 式	備 考
1	可動プロセニウムアーチ	電動昇降			3			2.2	7	φ10	電動トラクション式	
2	可動袖壁（上手・下手）	電動スライド			3	1800		0.75	-	-	電動スライド式	
3	絞り緞帳	電動昇降	φ48.6	19,000	40	900		0.75×7	13	φ6	電動トラクション式	架台
4	前引幕	手動昇降	φ48.6	20,000	-	250		-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	レール
				ハコレール 20,000	-			-	-	-		
5	バトン1	手動昇降	φ48.6	18,500	-	120	300	-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	
6	ボーダーライト1	手動昇降	φ48.6	18,500	-	120	350	-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	カスミ幕1共吊
7	サスペンションライト1	手動昇降	φ48.6	18,500	-	120	400	-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	
8	中袖幕1（上手・下手）	手動昇降	φ42.7	2,000×2	-	80		-	4	φ4	手動カウンターウェイト式	
				カーテンレール 2,000	-			-	-	-		
9	カスミ幕2	手動昇降	φ42.7	18,500	-	100		-	9	φ4	手動カウンターウェイト式	
10	天井反射板1（昇降）	電動昇降			3	4200		2.2	7	φ12	電動トラクション式	
	天井反射板1（傾斜）	電動変角			-			0.75	-	-	チェーン駆動式傾斜	
11	中引幕1	手動昇降	φ48.6		-	250		-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	
					-			-	-	-		
12	ボーダーライト2	手動昇降	φ48.6	18,500	-	120	350	-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	カスミ幕3共吊
13	スクリーン	電動昇降			6	600		2.2	5	φ10	電動トラクション式	直吊り
	スクリーンカーテン	電動開閉			20			0.2	-	φ6	電動巻戻開閉	
14	サスペンションライト2	手動昇降	φ48.6	18,500	-	120	400	-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	
15	バトン2	手動昇降	φ48.6	18,500	-	120	300	-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	
16	中引幕2	手動昇降	φ48.6	21,000	-	250		-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	
				ハコレール 21,000	-			-	-	-		
17	サスペンションライト3	手動昇降	φ48.6	18,500	-	120	400	-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	
18	バトン3	手動昇降	φ48.6	18,500	-	120	300	-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	
19	中袖幕2（上手・下手）	手動昇降	φ42.7	2,000×2	-	80		-	4	φ4	手動カウンターウェイト式	
				カーテンレール 2,000	-			-	-	-		
20	水平ライト	手動昇降	φ48.6	18,500	-	120	350	-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	カスミ幕4共吊
21	天井反射板2（昇降）	電動昇降			3	3200		2.2	5	φ12	電動トラクション式	
	天井反射板2（傾斜）	電動変角			-			0.75	-	-	チェーン駆動式傾斜	
22	バトン4	手動昇降	φ48.6	18,500	-	120	300	-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	
23	バトン5	手動昇降	φ48.6	18,500	-	120	300	-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	
24	バトン6	手動昇降	φ48.6	18,500	-	120	300	-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	
25	大黒幕	手動昇降	φ48.6	20,000	-	250		-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	
26	水平幕	手動昇降	φ48.6	18,500	-	180		-	9	φ6	手動カウンターウェイト式	
27	正面反射板	固 定			-	3500		-	-	-		既設のまま
28	側面反射板1 上手	電動昇降			3	3500		2.2	2	φ12	電動巻取式	
29	側面反射板1 下手	電動昇降			3	3500		2.2	2	φ12	電動巻取式	
30	側面反射板2 上手	電動昇降			3	3200		2.2	2	φ12	電動巻取式	
31	側面反射板2 下手	電動昇降			3	3200		2.2	2	φ12	電動巻取式	
32	客席ライト	電動昇降	φ48.6	18,500	6	150	400	2.2	9	φ6	電動巻取式	

幕地仕様表（既存のまま）

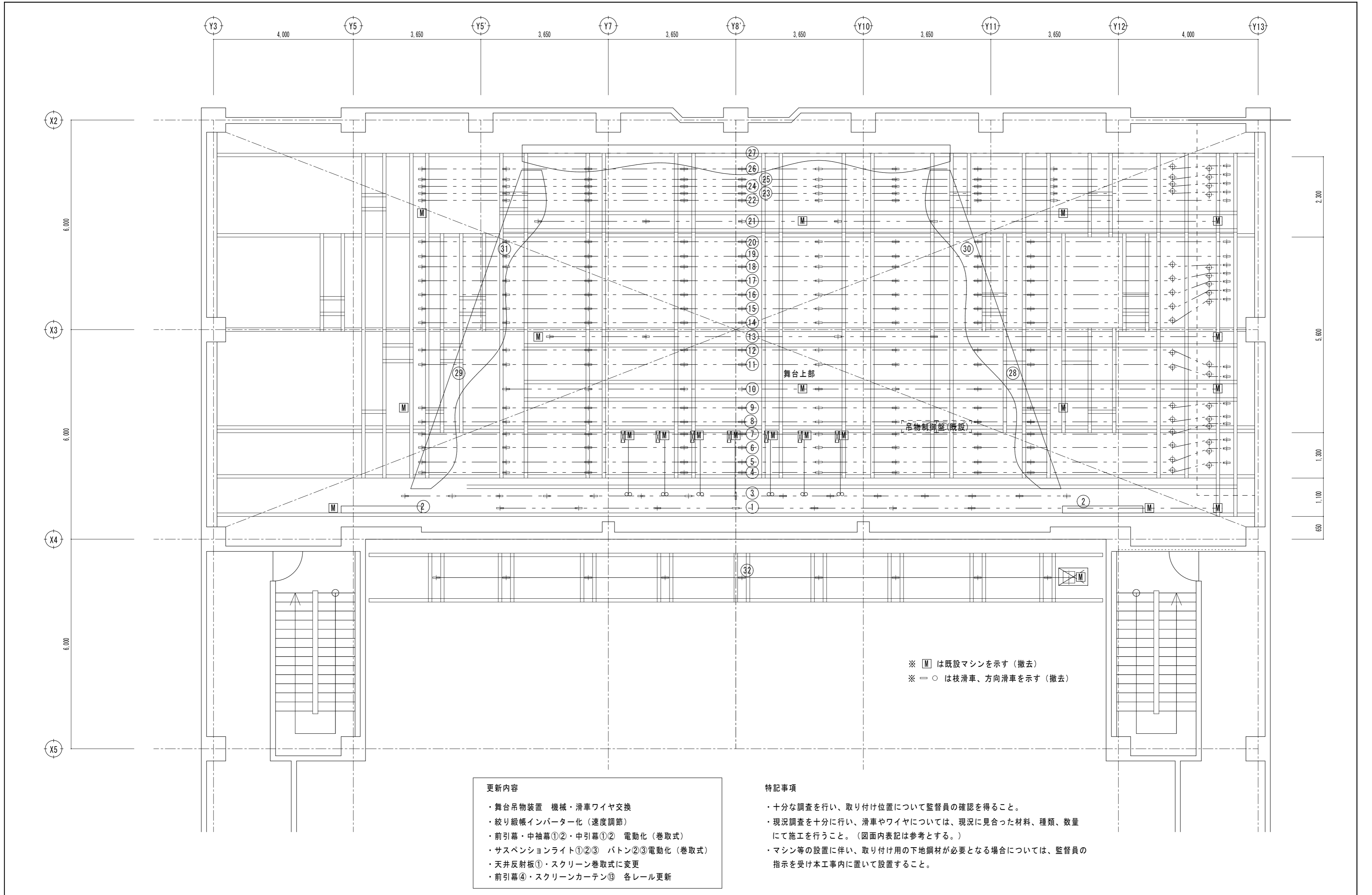
※幕地は全て取外し、清掃、再取付

No.	名 称	幕 地 仕 様	寸法 (W×H)	数量
3	絞り緞帳	龍村三釜彩雲 3倍・7倍ヒダ	18200×18000	1
4	前引幕	貫八別珍 2倍ヒダ	10500×9000×2	1
6	カスミ幕1	貫八別珍 2倍ヒダ	18500×3000	1
8	中袖幕1	貫八別珍 2倍ヒダ	2000×9000	1
9	カスミ幕2	貫八別珍 2倍ヒダ	18500×3000	1
11	中引幕1	貫八別珍 2倍ヒダ	10500×9000×2	1
12	カスミ幕3	貫八別珍 2倍ヒダ	18500×3000	1
13	スクリーン地	サントスクリン 穴あき	11000×4600	1
	天カットマスク	貫八別珍 ヒダなし	12000×800	1
	地カットマスク	貫八別珍 ヒダなし	12000×800	1
	袖カットマスク	貫八別珍 2倍ヒダ	1650×5900	2
	スクリーンカーテン	貫八別珍 ヒダなし	7100×6500	2
16	中引幕2	貫八別珍 2倍ヒダ	10500×9000×2	1
19	中袖幕2	貫八別珍 2倍ヒダ	2000×9000	1
20	カスミ幕4	貫八別珍 2倍ヒダ	18500×3000	1
25	大黒幕	貫八別珍 2倍ヒダ	10500×9000×2	1
26	水平幕	11号帆布 ヒダなし	18500×9000	1

舞台吊物装置改修仕様表											取替工事リスト							○：改修対象
No.	名 称	吊点	受滑車	元滑車	折返し滑車	方向変車	速度 (m/min)	動力 kW (3相200V)	ワイヤロープ径 (mm)	方 式	マシン (巻上機・開閉機)	元滑車	枝滑車	方向変車	ワイヤーロープ	突上スイッチ	手動吊物上限スイッチ	備 考
1	可動プロセニウムアーチ	7					3	2.2	10	電動トラクション式	○	—	○	—	○	○×2	—	配線、留金具一式取替え
2	可動袖壁 (上手)	—					3	0.75	—	電動スライド式	○	—	—	—	○	—		
	可動袖壁 (下手)	—					3	0.75	—	電動スライド式	○	—	—	—	○	—		
3	絞り緞帳	13	6		2		25	3.7	4	電動トラクション式⇒電動巻取式 (INV)	○	—	○	折返し2・受け6	○	○	—	定型・速度調整、架台 バトン・幕地取外し、清掃、再取付
4	前引幕	9		1		2	6	1.5	6	手動カウンターウェイト式⇒電動巻取式	○	○	○	○	○	—	—	前引幕用レール取替え (付属金物共) バトン・幕地取外し、清掃、再取付
5	バトン1	9		1		2	—	—	6	手動カウンターウェイト式	—	○	○	○	○	○	○	バトン・幕地取外し、清掃、再取付
6	ボーダーライト1	9		1		2	—	—	6	手動カウンターウェイト式	—	○	○	○	○	—	○	バトン・幕地取外し、清掃、再取付
7	サスペンションライト1	9				2	6	1.5	6	手動カウンターウェイト式⇒電動巻取式	○	—	○	○	○	○	—	バトン取外し再取付
8	中袖幕1 (上手・下手)	4					10	1.5	4	手動カウンターウェイト式⇒電動巻取式	○	—	○	—	○	○	—	バトン・幕地取外し、清掃、再取付
9	カスミ幕2	9		1		2	—	—	4	手動カウンターウェイト式	—	○	○	○	○	—	○	バトン・幕地取外し、清掃、再取付
10	天井反射板1 (昇降)	7					3	5.5	12	電動トラクション式⇒電動巻取式	○	—	○	—	○	○	—	
	天井反射板1 (傾斜)	—					—	0.75	—	電動フェーン駆動式傾斜	○	—	—	—	—	○	—	
11	中引幕1	9				2	10	1.5	6	手動カウンターウェイト式⇒電動巻取式	○	—	○	○	○	○	—	バトン・幕地取外し、清掃、再取付
12	ボーダーライト2	9		1		2	—	—	6	手動カウンターウェイト式	—	○	○	○	○	—	○	バトン・幕地取外し、清掃、再取付
13	スクリーン	5					6	2.2	10	電動トラクション式⇒電動巻取式	○	—	○	—	○	○	—	幕地取外し、清掃、再取付
	スクリーンカーテン	—					20	0.2	4	電動巻戻開閉	○	—	—	—	○	—	—	幕地取外し、清掃、再取付
14	サスペンションライト2	9				2	6	1.5	6	手動カウンターウェイト式⇒電動巻取式	○	—	○	○	○	○	—	バトン取外し再取付
15	バトン2	9				2	10	1.5	6	手動カウンターウェイト式⇒電動巻取式	○	—	○	○	○	○	—	バトン取外し再取付
16	中引幕2	9				2	10	1.5	6	手動カウンターウェイト式⇒電動巻取式	○	—	○	○	○	○	—	バトン・幕地取外し、清掃、再取付
17	サスペンションライト3	9				2	6	1.5	6	手動カウンターウェイト式⇒電動巻取式	○	—	○	○	○	○	—	バトン取外し再取付
18	バトン3	9					10	1.5	6	手動カウンターウェイト式⇒電動巻取式	○	—	○	—	○	○	—	バトン取外し再取付
19	中袖幕2 (上手・下手)	4					10	1.5	4	手動カウンターウェイト式⇒電動巻取式	○	—	○	—	○	○	—	バトン・幕地取外し、清掃、再取付
20	水平ライト	9		1			—	—	6	手動カウンターウェイト式	—	○	○	—	○	—	○	バトン・幕地取外し、清掃、再取付
21	天井反射板2 (昇降)	5					3	3.7	12	電動トラクション式⇒電動巻取式	○	—	○	—	○	○	—	
	天井反射板2 (傾斜)	—					—	0.75	—	電動フェーン駆動式傾斜	○	—	—	—	—	○	—	
22	バトン4	9		1			—	—	6	手動カウンターウェイト式	—	○	○	—	○	—	○	バトン取外し再取付
23	バトン5	9		1			—	—	6	手動カウンターウェイト式	—	○	○	—	○	—	○	バトン取外し再取付
24	バトン6	9		1		2	—	—	6	手動カウンターウェイト式	—	○	○	○	○	—	○	バトン取外し再取付
25	大黒幕	9		1		2	—	—	6	手動カウンターウェイト式	—	○	○	○	○	—	○	バトン・幕地取外し、清掃、再取付
26	水平幕	9		1		2	—	—	6	手動カウンターウェイト式	—	○	○	○	○	—	○	バトン・幕地取外し、清掃、再取付
27	正面反射板	—					—	—	—	固定	—	—	—	—	—	—	—	既設のまま
28	側面反射板1 上手	2					3	2.2	12	電動巻取式	○	—	○	—	○	○	—	
29	側面反射板1 下手	2					3	2.2	12	電動巻取式	○	—	○	—	○	○	—	
30	側面反射板2 上手	2					3	2.2	12	電動巻取式	○	—	○	—	○	○	—	
31	側面反射板2 下手	2					3	2.2	12	電動巻取式	○	—	○	—	○	○	—	
32	客席ライト	9			1	1	6	2.2	6	電動巻取式	○	—	○	○+折返し	○	○	—	バトン取外し再取付

吊物制御盤 (中板2面・増設盤1面)	3面1式
舞台袖操作盤 (操作パネル・中板)	1面
映写室操作盤 (操作パネル・中板)	1面
下手操作盤 (操作パネル)	1面

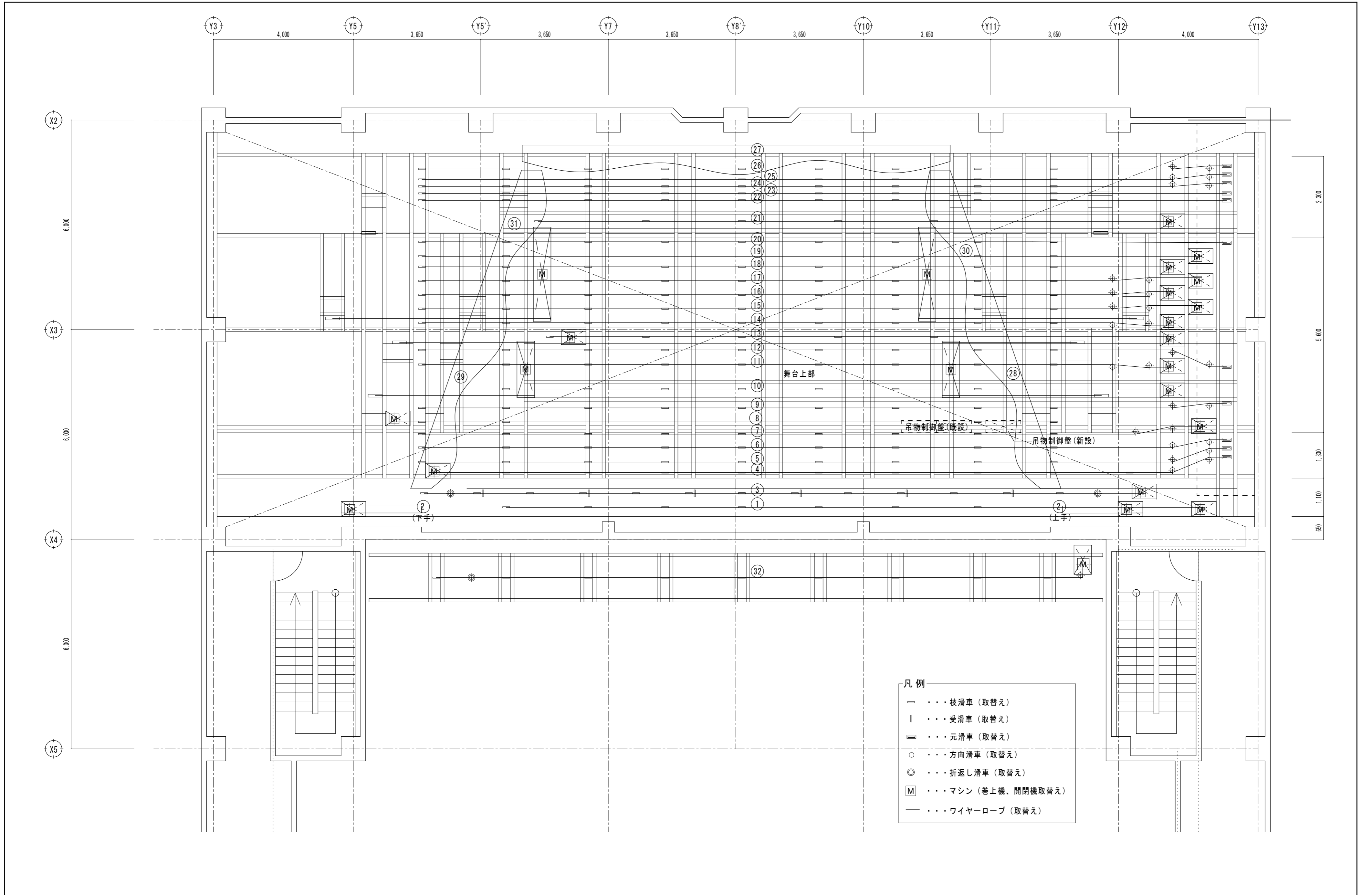
特記	月 日	U 建築設計	設計番号	年 月 日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 舞台装置 改修後仕様表	No. A-38 43
		三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計				



- 更新内容**
- ・舞台吊物装置 機械・滑車ワイヤ交換
 - ・絞り縦帳インター化 (速度調節)
 - ・前引幕・中袖幕①②・中引幕①② 電動化 (巻取式)
 - ・サスペンションライト①②③ バトン②③電動化 (巻取式)
 - ・天井反射板①・スクリーン巻取式に変更
 - ・前引幕④・スクリーンカーテン⑬ 各レール更新

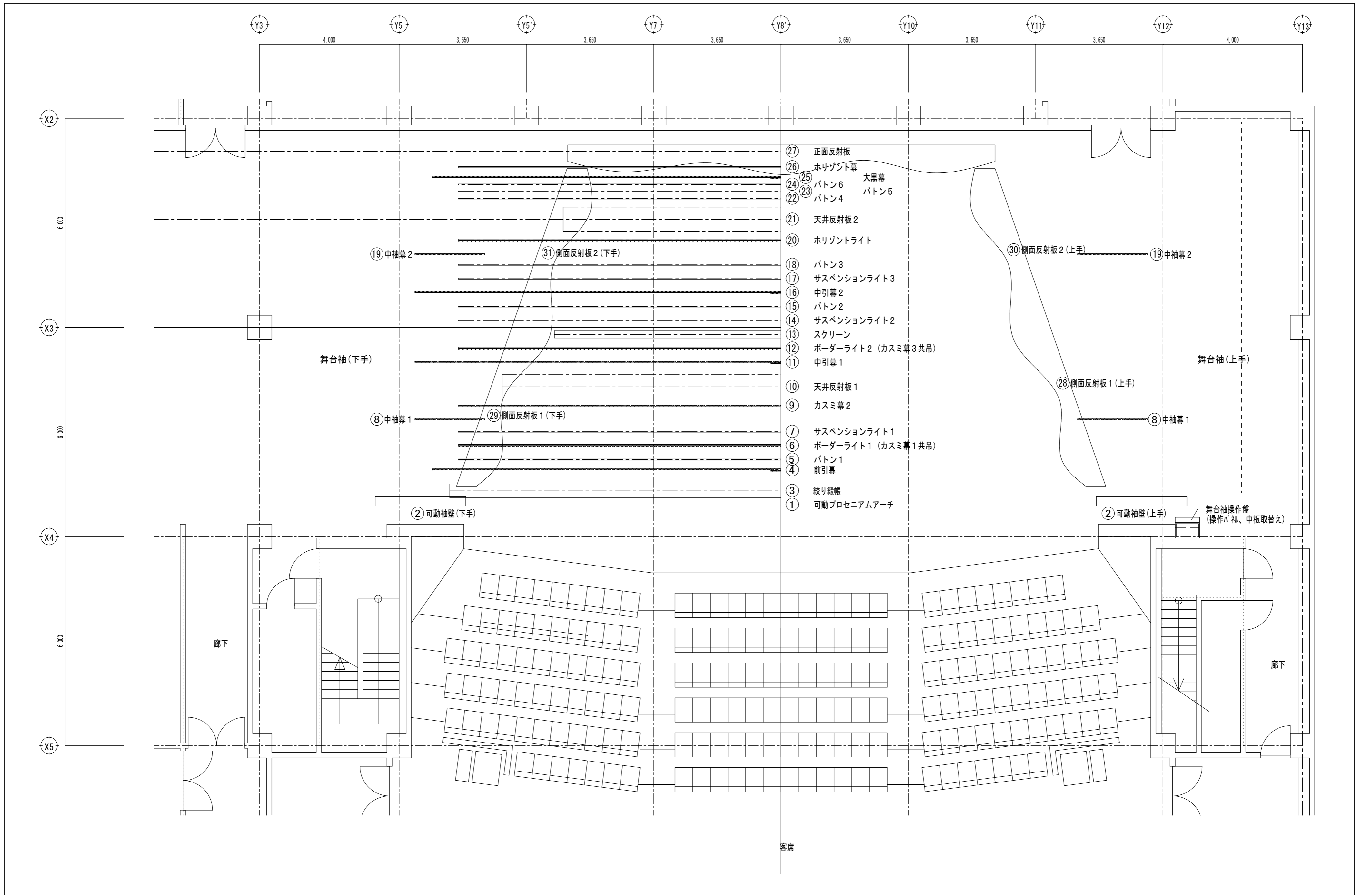
- 特記事項**
- ・十分な調査を行い、取り付け位置について監督員の確認を得ること。
 - ・現況調査を十分に行い、滑車やワイヤについては、現況に見合った材料、種類、数量にて施工を行うこと。(図面内表記は参考とする。)
 - ・マシン等の設置に伴い、取り付け用の下地鋼材が必要となる場合については、監督員の指示を受け本工事に置いて設置すること。

特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 舞台装置 スノコ上機器配置図 (改修前)	NO. A-39 43 原図:A2
				設計		1/70		

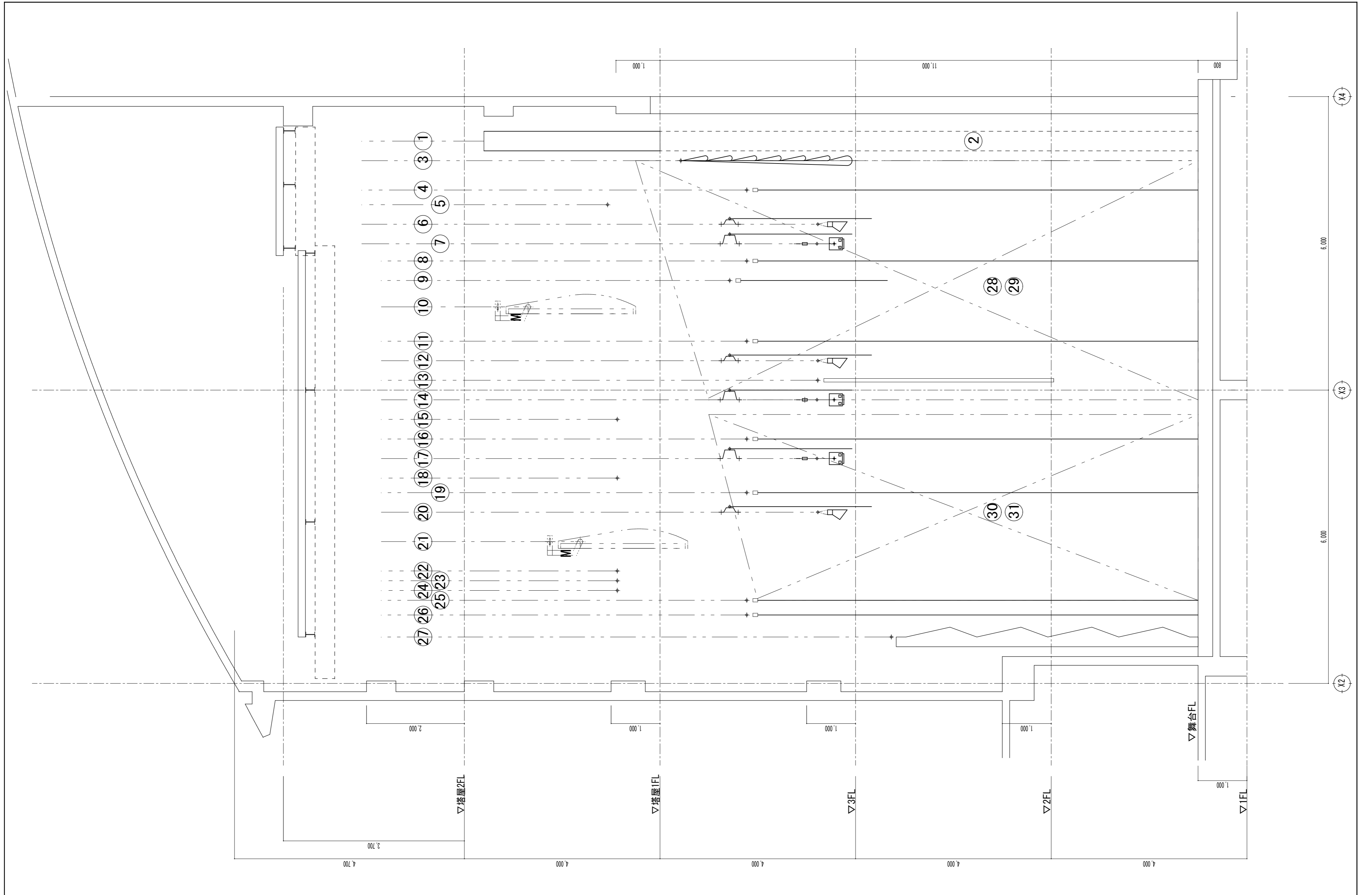


- 凡例
- …… 枝滑車 (取替え)
 - || …… 受滑車 (取替え)
 - ≡ …… 元滑車 (取替え)
 - …… 方向滑車 (取替え)
 - ⊙ …… 折返し滑車 (取替え)
 - [M] …… マシン (巻上機、開閉機取替え)
 - …… ワイヤロープ (取替え)

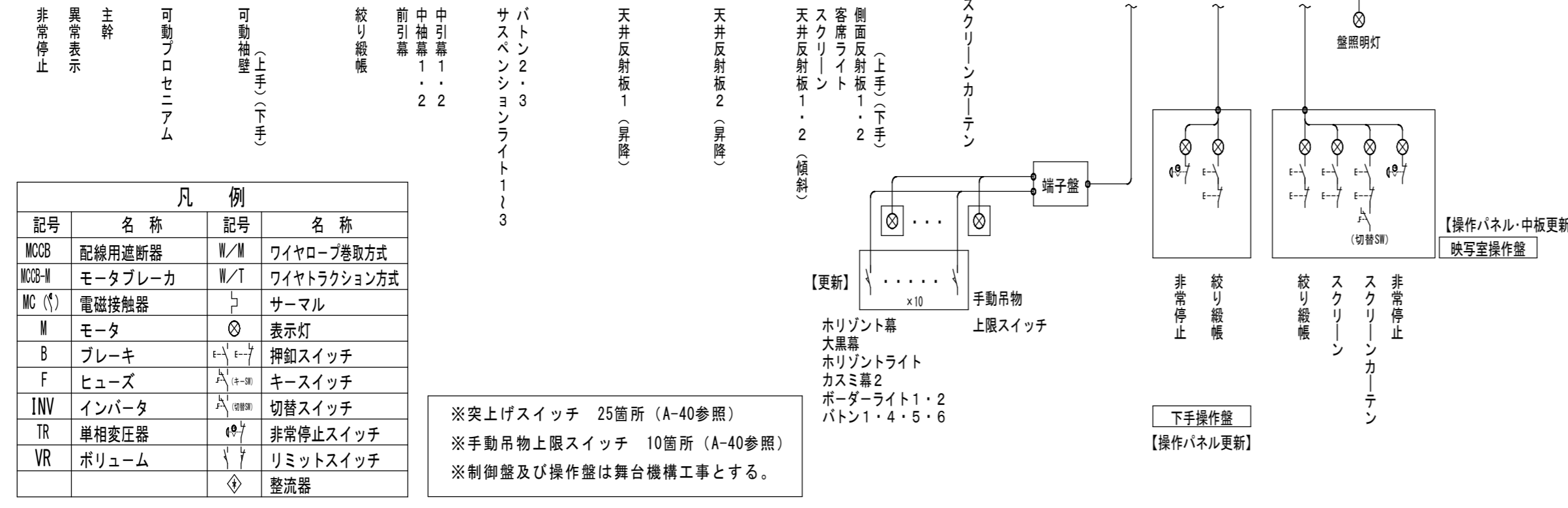
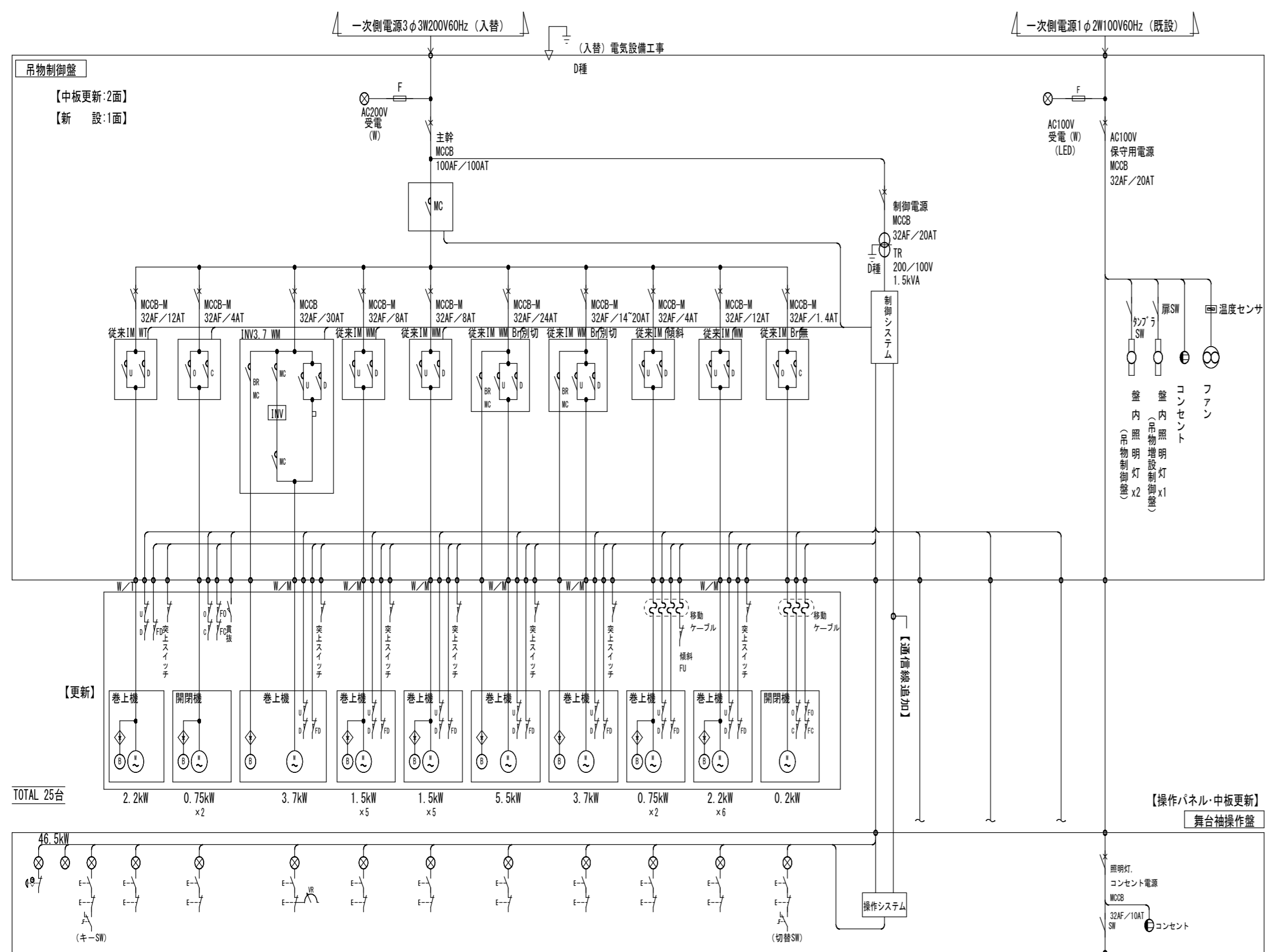
特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 舞台装置 スノコ上機器配置図 (改修後)	N0.
				設計	1/70	A-40 43 原図:A2		



特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 舞台平面図	NO. A-41 43 原図:A2
				設計		1/70		



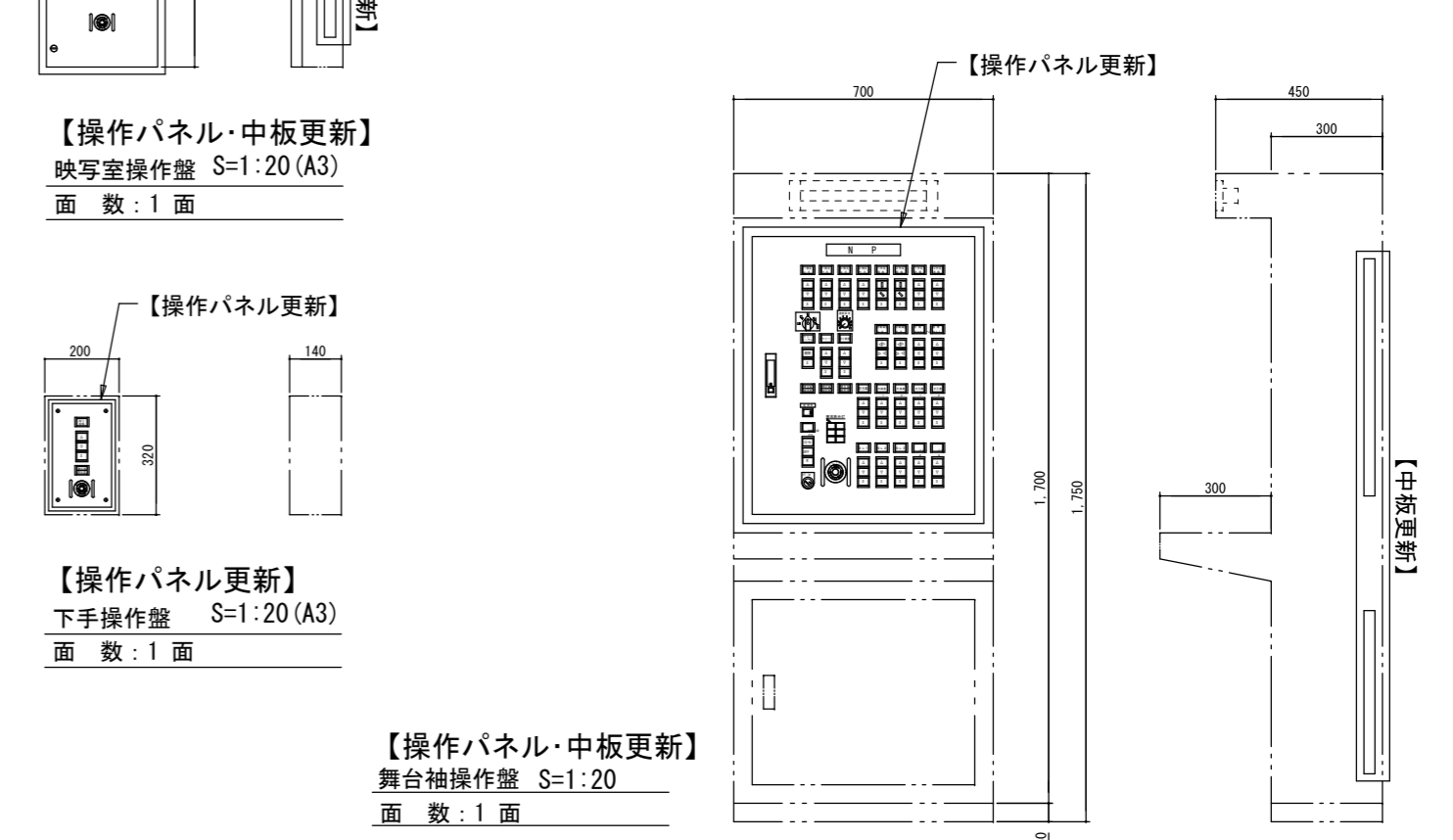
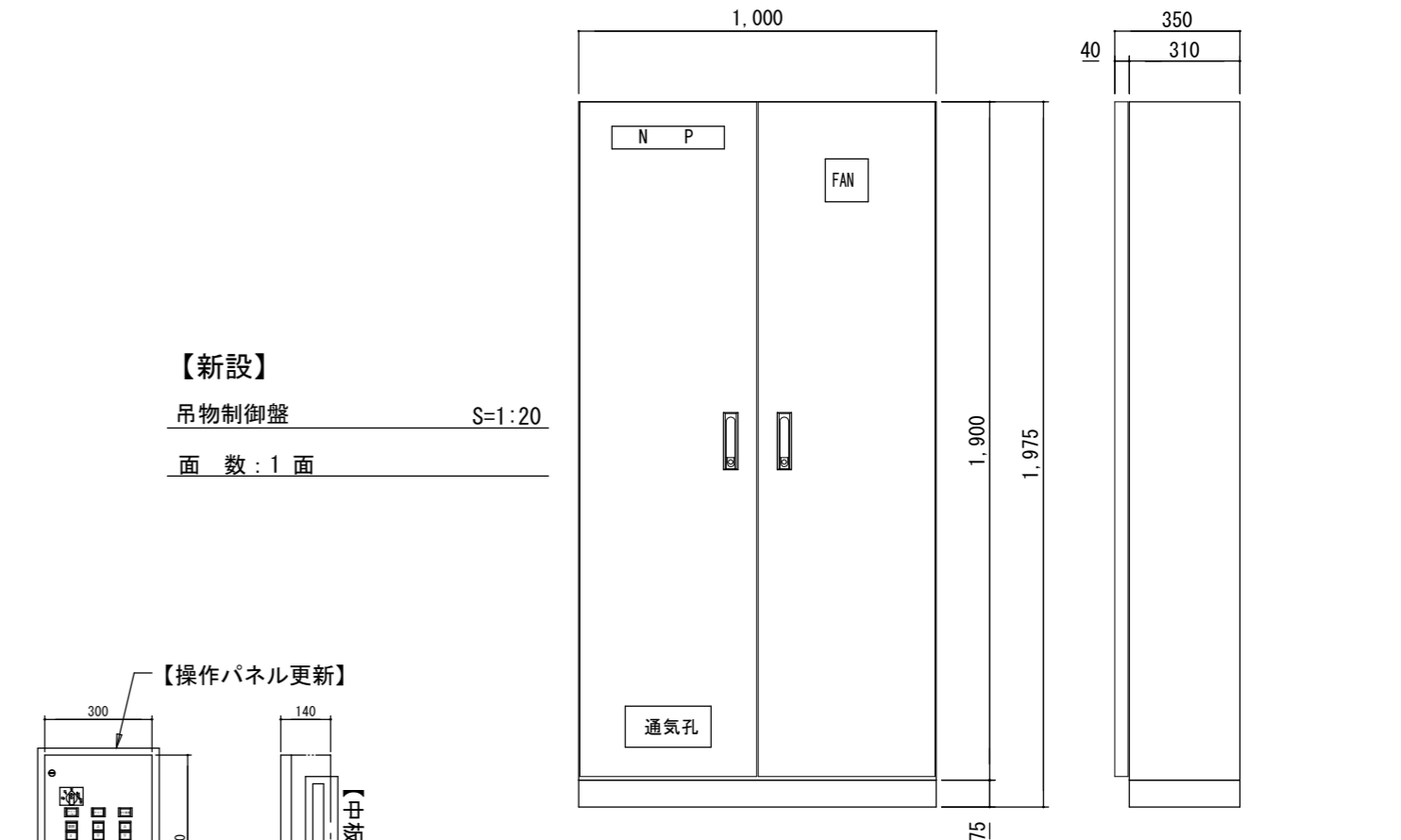
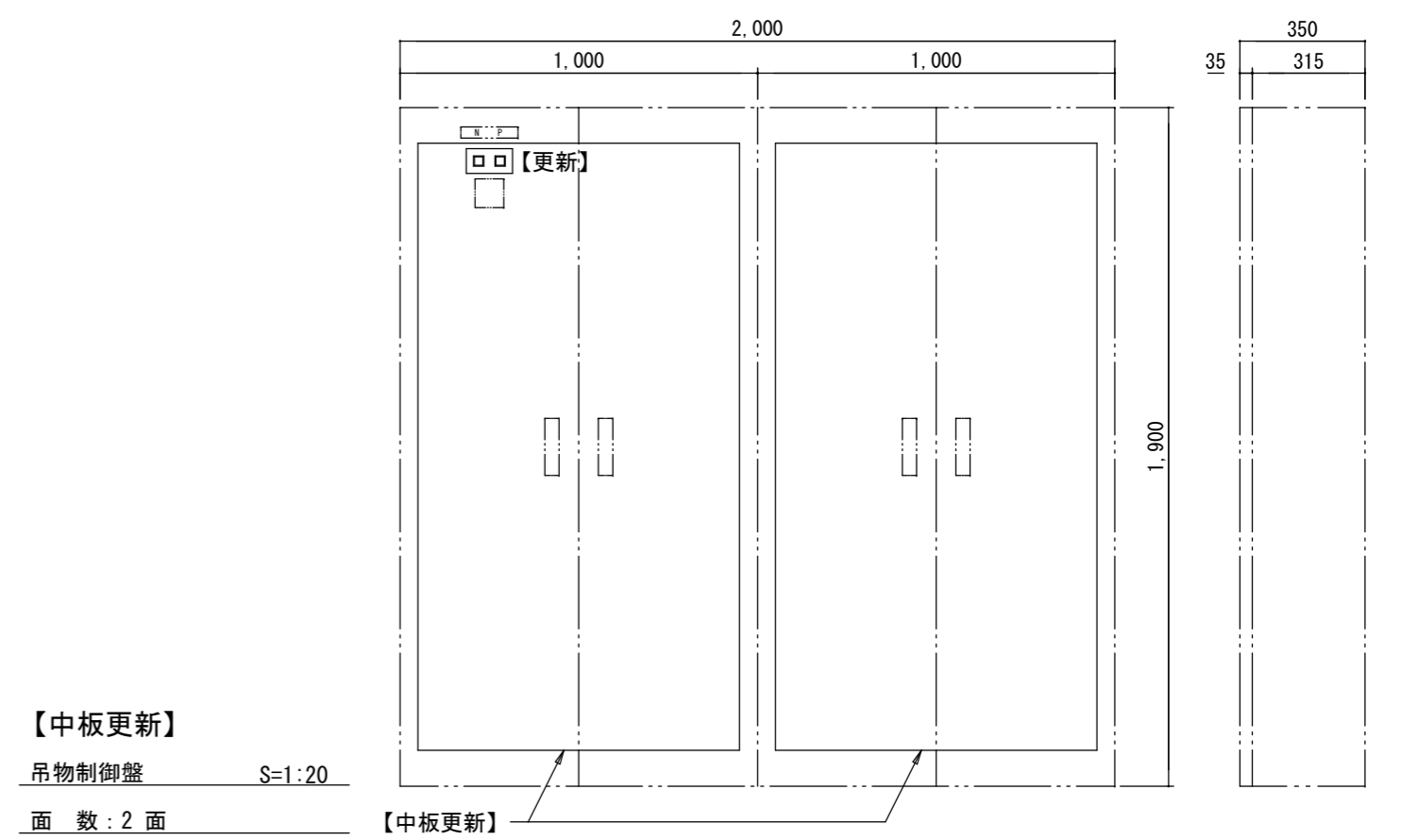
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺 1/50	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事	N0.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						A-42
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				43
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				舞台断面図	原図:A2



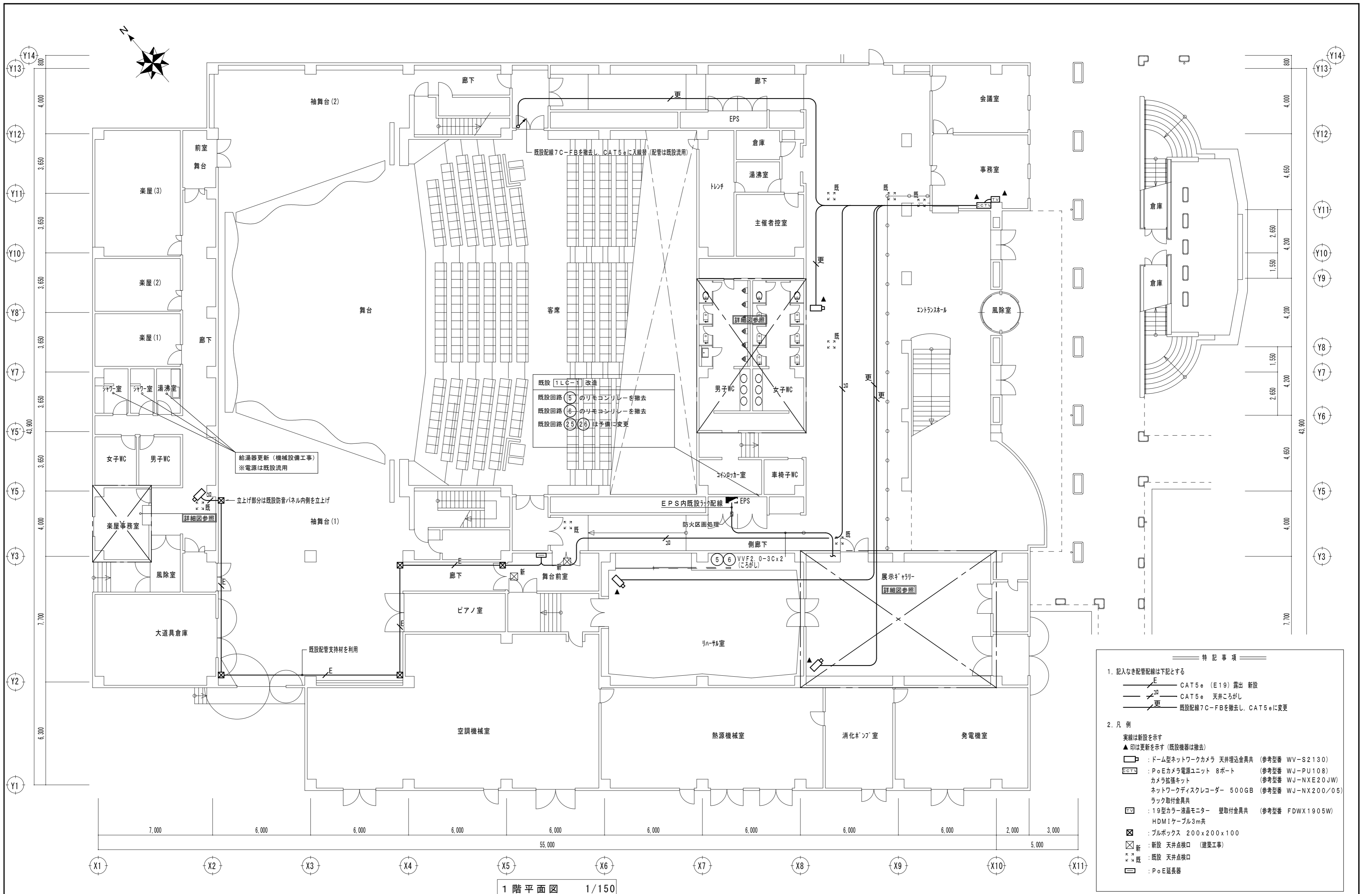
凡例

記号	名称	記号	名称
MCCB	配線用遮断器	W/M	ワイヤロップ巻取方式
MCCB-M	モータブレーカ	W/T	ワイヤトラクション方式
MC (△)	電磁接触器		サーマル
M	モータ	⊗	表示灯
B	ブレーキ	E-1	押釦スイッチ
F	ヒューズ	(キ-SW)	キースイッチ
INV	インバータ	(切替SW)	切替スイッチ
TR	単相変圧器	⊕	非常停止スイッチ
VR	ボリューム	◇	リミットスイッチ
			整流器

※突上げスイッチ 25箇所 (A-40参照)
 ※手動吊物上限スイッチ 10箇所 (A-40参照)
 ※制御盤及び操作盤は舞台機構工事とする。

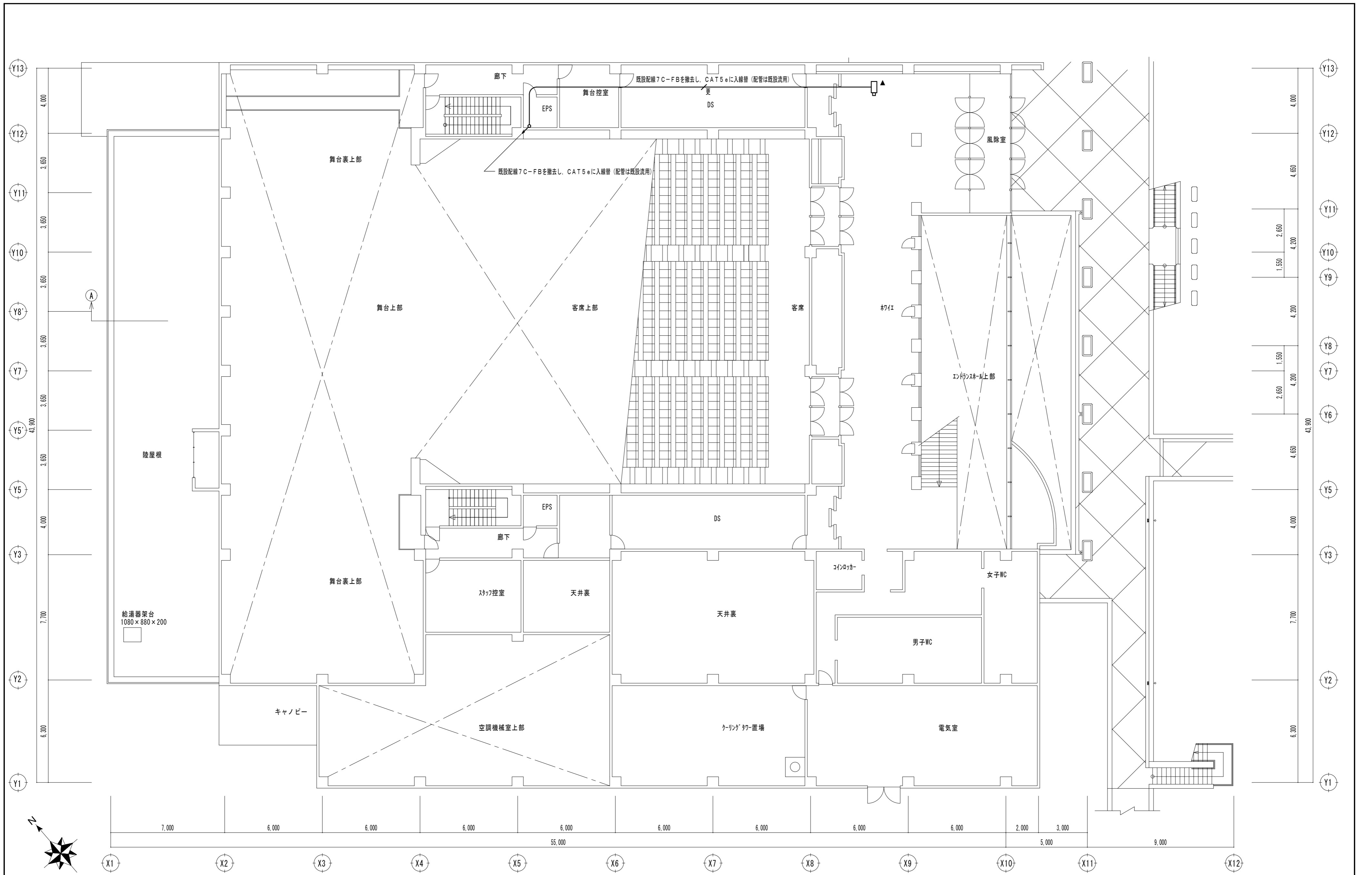


<p>17. 映像・音響設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 映像機器</p> <p>(3) 音響機器</p> <p>(4) 操作装置</p> <p>18. 拡声設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 増幅器</p> <p>(3) 付属機器</p> <p>(4) 操作装置</p> <p>(5) スピーカー</p> <p>19. 誘導支援設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 音声誘導装置</p> <p>(3) インターホン</p> <p>(4) トイレ等呼出装置</p> <p>20. テレビ共同受信設備</p> <p>(1) 受信放送</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p> <p>21. テレビ電波障害防除設備</p> <p>(1) 対象戸数</p> <p>(2) 機器</p> <p>(3) アンテナ</p> <p>22. 監視カメラ設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 伝送方式</p> <p>(3) カメラ</p> <p>(4) モニタ装置</p> <p>(5) 録画装置</p>	<p>23. 駐車場管理設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 管制盤</p> <p>(3) 検知器</p> <p>(4) 信号灯・警報灯</p> <p>(5) 発券機</p> <p>(6) カーゲート</p> <p>24. 防犯・入退室管理設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 防犯装置</p> <p>(3) 入退室管理装置</p> <p>25. 自動火災報知設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <p>(3) 副受信機 (表示装置)</p> <p>(4) 中継器</p> <p>(5) 発信機</p> <p>(6) 感知器</p> <p>26. 自動閉鎖設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 運動制御器</p> <p>(3) 感知器</p> <p>(4) 自動閉鎖装置</p> <p>(5) 自動閉鎖装置</p> <p>27. 非常警報設備</p> <p>(1) 設備</p> <p>(2) 非常放送装置</p> <p>28. ガス漏れ火災警報設備</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 受信機</p> <p>(3) 副受信機</p> <p>(4) 検知器</p>	<p>【中央監視制御設備】</p> <p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1) 監視制御対象設備</p> <p>(2) 既設との取り合い</p> <p>(3) 機器</p> <p>(4) 機能</p> <p>(5) 監視操作装置</p> <p>(6) 信号処理装置</p> <p>(7) 記録装置</p> <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1) 機器</p> <p>(2) 仕様詳細</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1) 形式</p> <p>(2) 仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>32. 構内配電線路</p> <p>(1) 配線方式</p> <p>(2) 建柱</p> <p>(3) 装柱機器 (高圧用)</p> <p>(4) 装柱機器 (低圧用)</p> <p>(5) ハンドホール、マンホール</p> <p>(6) 錆鉄蓋</p> <p>(7) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【構内通信線路】</p> <p>33. 構内通信線路</p> <p>(1) 用途</p> <p>(2) 配線方式</p> <p>(3) 建柱</p> <p>(4) ハンドホール、マンホール</p> <p>(5) 錆鉄蓋</p> <p>(6) 地中ケーブル保護材料</p> <p>【その他】</p> <p>34. 清火器</p>	<p>III. 機器標準取付高さ</p> <p>標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。(O印はバリアフリー対応)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>側 点</th> <th>取付高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">電力</td> <td>接地端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取引用計器</td> <td>地上～窓中心</td> <td>1,800～2,000</td> </tr> <tr> <td>引込開閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800～2,000</td> </tr> <tr> <td>分電盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500 上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電灯</td> <td>スイッチ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300 O1,000mm</td> </tr> <tr> <td>コンセント (一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000 O400mm</td> </tr> <tr> <td>コンセント (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>コンセント (台上)</td> <td>床下～中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>コンセント (WP)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>コンセント (地下)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>コンセント (土間)</td> <td>床下～中心</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>ブラケット (一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,100～2,300</td> </tr> <tr> <td>ブラケット (鏡上)</td> <td>鏡上端～中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>ブラケット (処理場)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">動力</td> <td>壁掛型制御盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500 上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>手元開閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電話</td> <td>端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>保安器盤</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">時計・拡声</td> <td>壁掛型時計</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500 上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>時計</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>壁掛型スピーカー</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300 2,500mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">表示</td> <td>アッペネータ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>表示器</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">インターホン</td> <td>壁付発信機</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>ベル・ブザー・チャイム</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>壁付インターホン</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">テレビ</td> <td>位置 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>呼出しボタン (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>800～950 座座先端から後方へ100～200mm 2個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)</td> </tr> <tr> <td>表示灯 (身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">火災報知</td> <td>機器収容箱</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>直列ユニット</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>直列ユニット (和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他】</p> <p>34. 清火器</p> <p>1) 設置 ・本工事 (・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事) ・別途工事</p> <p>2) 清火器 種別 ()、数量 ()、本</p> <p>3) 消火器収納箱 材質 ()、数量 ()、面</p>	名 称	側 点	取付高さ (mm)	備 考	電力	接地端子盤	床下～下端		取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000	引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000	分電盤	床下～中心	1,500 上端1,900mm	電灯	スイッチ	床下～中心	1,300 O1,000mm	コンセント (一般)	床下～中心	2,000 O400mm	コンセント (和室)	床下～中心	300	コンセント (台上)	床下～中心	150	コンセント (WP)	床下～中心	1,000	コンセント (地下)	床下～中心	1,000	コンセント (土間)	床下～中心	500	ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300	ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150	ブラケット (処理場)	床下～中心	2,500	動力	壁掛型制御盤	床下～中心	1,500 上端1,900mm	手元開閉器	床下～中心	1,500	電話	端子盤	床下～下端	300	保安器盤	床下～中心	2,000	壁位置ボックス	床下～中心	300	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200	時計・拡声	壁掛型時計	床下～中心	1,500 上端1,900mm	時計	床下～中心	2,300	壁掛型スピーカー	床下～中心	2,300 2,500mm	表示	アッペネータ	床下～中心	1,300	表示器	床下～中心	2,300	インターホン	壁付発信機	床下～中心	1,300	ベル・ブザー・チャイム	床下～中心	2,300	壁付インターホン	床下～中心	1,300	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200	テレビ	位置 (身障者用)	床下～中心	1,100	呼出しボタン (身障者用)	床下～中心	800～950 座座先端から後方へ100～200mm 2個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)	表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800	火災報知	機器収容箱	床下～中心	2,000	直列ユニット	床下～中心	300	直列ユニット (和室)	床下～中心	200
名 称	側 点	取付高さ (mm)	備 考																																																																																																																						
電力	接地端子盤	床下～下端																																																																																																																							
	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000																																																																																																																						
	引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000																																																																																																																						
	分電盤	床下～中心	1,500 上端1,900mm																																																																																																																						
電灯	スイッチ	床下～中心	1,300 O1,000mm																																																																																																																						
	コンセント (一般)	床下～中心	2,000 O400mm																																																																																																																						
	コンセント (和室)	床下～中心	300																																																																																																																						
	コンセント (台上)	床下～中心	150																																																																																																																						
	コンセント (WP)	床下～中心	1,000																																																																																																																						
	コンセント (地下)	床下～中心	1,000																																																																																																																						
	コンセント (土間)	床下～中心	500																																																																																																																						
	ブラケット (一般)	床下～中心	2,100～2,300																																																																																																																						
	ブラケット (鏡上)	鏡上端～中心	150																																																																																																																						
	ブラケット (処理場)	床下～中心	2,500																																																																																																																						
動力	壁掛型制御盤	床下～中心	1,500 上端1,900mm																																																																																																																						
	手元開閉器	床下～中心	1,500																																																																																																																						
電話	端子盤	床下～下端	300																																																																																																																						
	保安器盤	床下～中心	2,000																																																																																																																						
	壁位置ボックス	床下～中心	300																																																																																																																						
	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																						
時計・拡声	壁掛型時計	床下～中心	1,500 上端1,900mm																																																																																																																						
	時計	床下～中心	2,300																																																																																																																						
	壁掛型スピーカー	床下～中心	2,300 2,500mm																																																																																																																						
表示	アッペネータ	床下～中心	1,300																																																																																																																						
	表示器	床下～中心	2,300																																																																																																																						
インターホン	壁付発信機	床下～中心	1,300																																																																																																																						
	ベル・ブザー・チャイム	床下～中心	2,300																																																																																																																						
	壁付インターホン	床下～中心	1,300																																																																																																																						
	壁位置ボックス (和室)	床下～中心	200																																																																																																																						
テレビ	位置 (身障者用)	床下～中心	1,100																																																																																																																						
	呼出しボタン (身障者用)	床下～中心	800～950 座座先端から後方へ100～200mm 2個目 (高700mm、便座先端から前方400mm)																																																																																																																						
	表示灯 (身障者用)	床下～中心	1,800																																																																																																																						
火災報知	機器収容箱	床下～中心	2,000																																																																																																																						
	直列ユニット	床下～中心	300																																																																																																																						
	直列ユニット (和室)	床下～中心	200																																																																																																																						
<p>特記</p>	<p>月 日</p>	<p>U 建築設計</p> <p>三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897</p> <p>一級建築士事務所 一級建築士第248160号</p> <p>登録番号 (1) 第2118号 内田 貴之</p>	<p>設計番号</p> <p>年月日</p> <p>縮尺</p> <p>津市サンヒルズ安濃ハーモニーホール</p> <p>舞台機構及び天井その他改修工事</p> <p>電気設備工事特記仕様書 (3)</p> <p>NO. E-03</p> <p>13</p> <p>原図: A2</p>																																																																																																																						



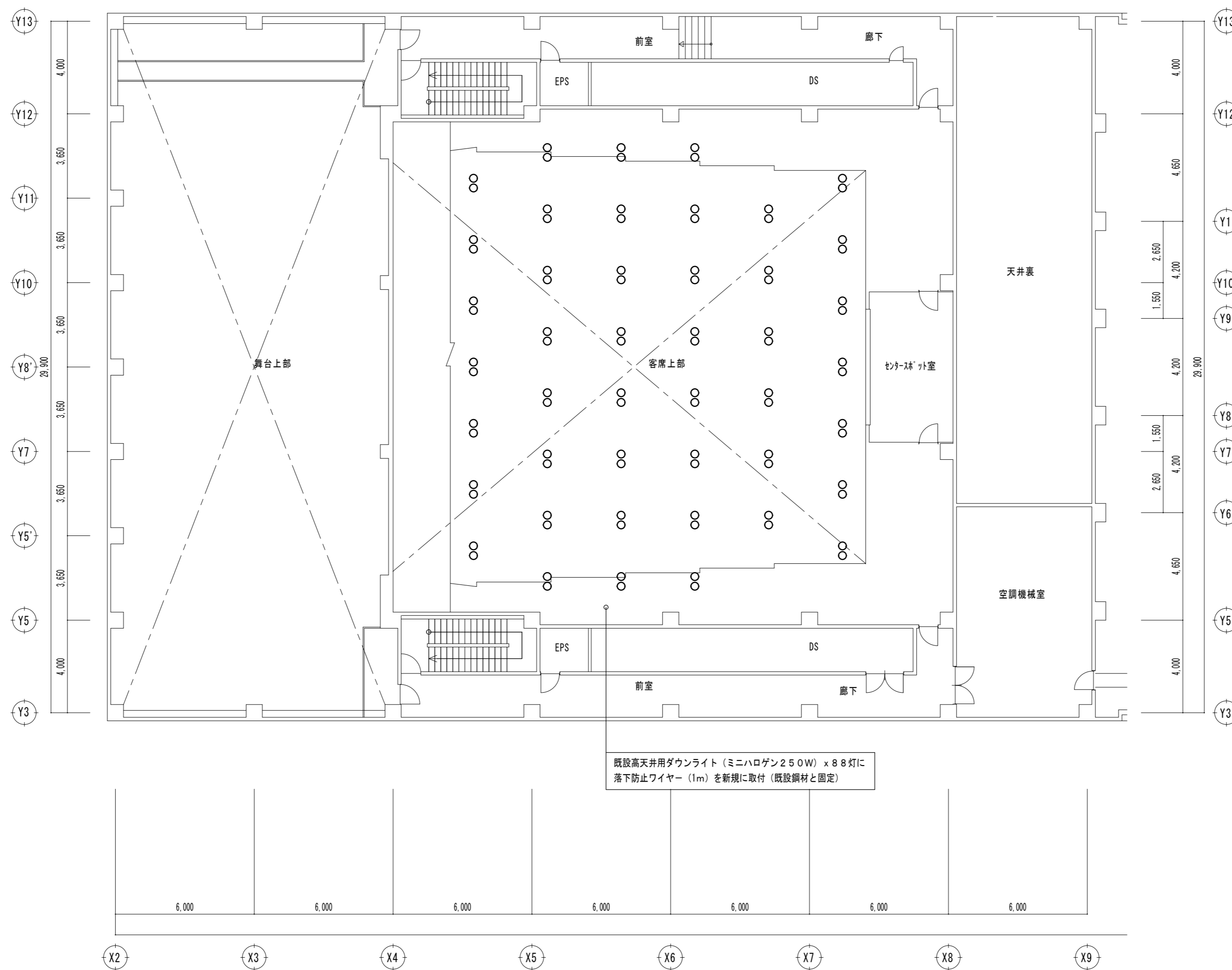
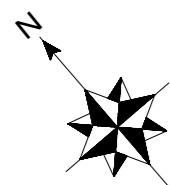
1階平面図 1/150

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃ハーモニーホール 舞台機構及び天井その他改修工事 電灯・ITV設備 1階平面図	NO. E-04 13 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/150		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					



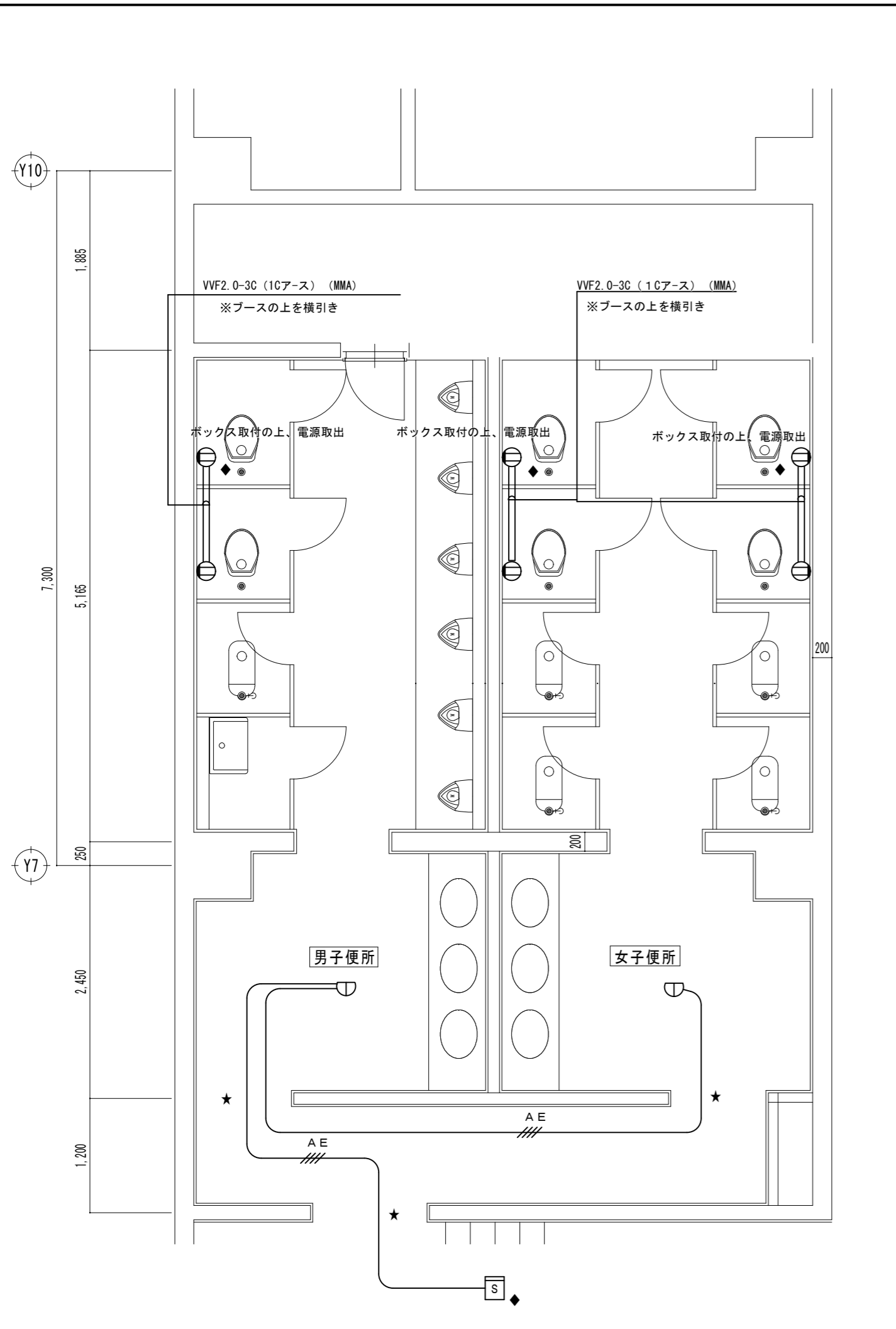
2階平面図 1/150

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃ハーモニーホール 舞台機構及び天井その他改修工事 ITV設備 ホール 2階平面図	NO. E-05 13 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/150		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					

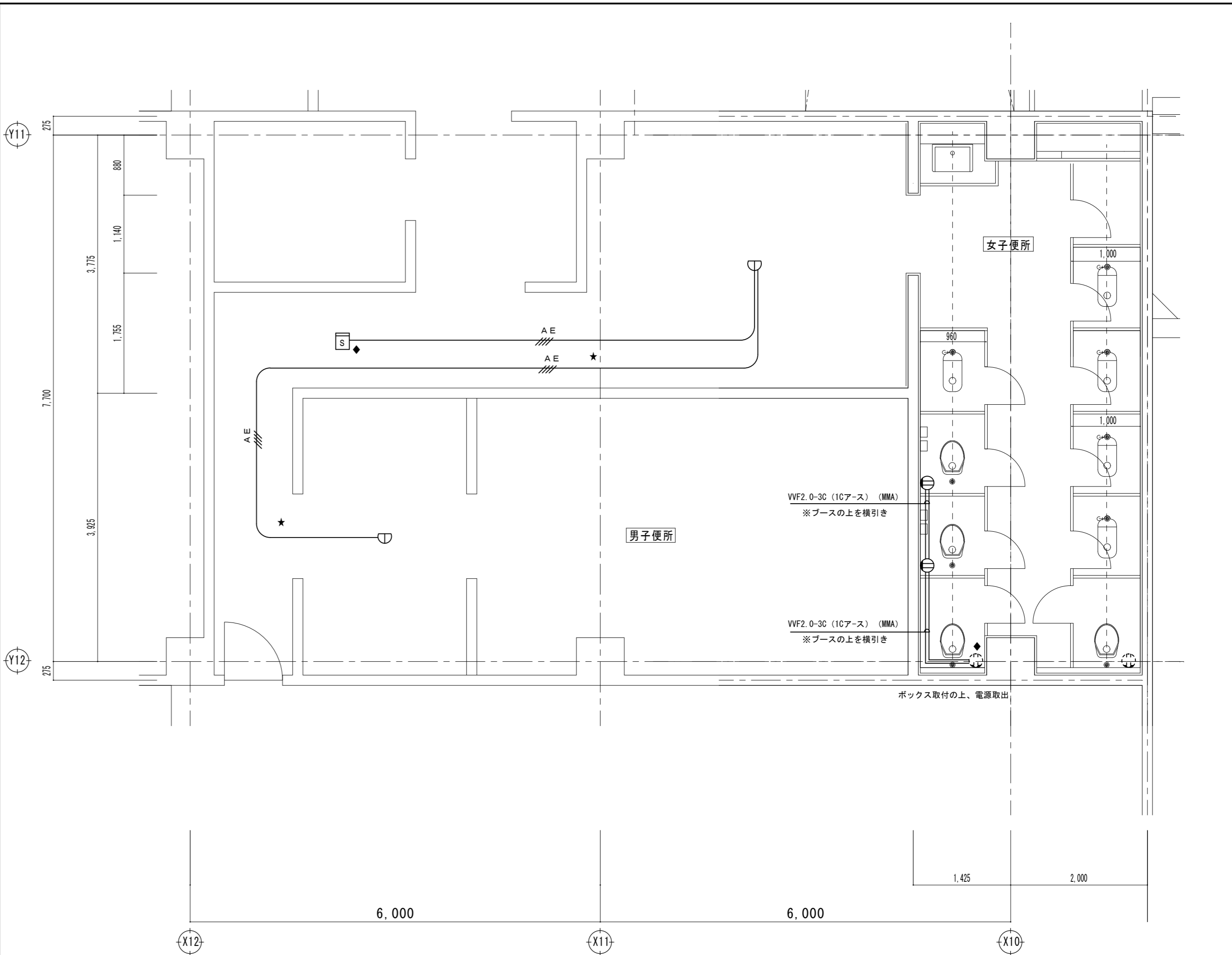


塔屋 1 階平面図 1/150

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃ハーモニーホール 舞台機構及び天井その他改修工事 電気設備 ホール 塔屋 1 階・塔屋 2 階平面図	NO. E-06 13 原図: A2
			三重県津市白塚町5188 TEL: 059-231-8893 FAX: 059-231-8897				1/150		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					



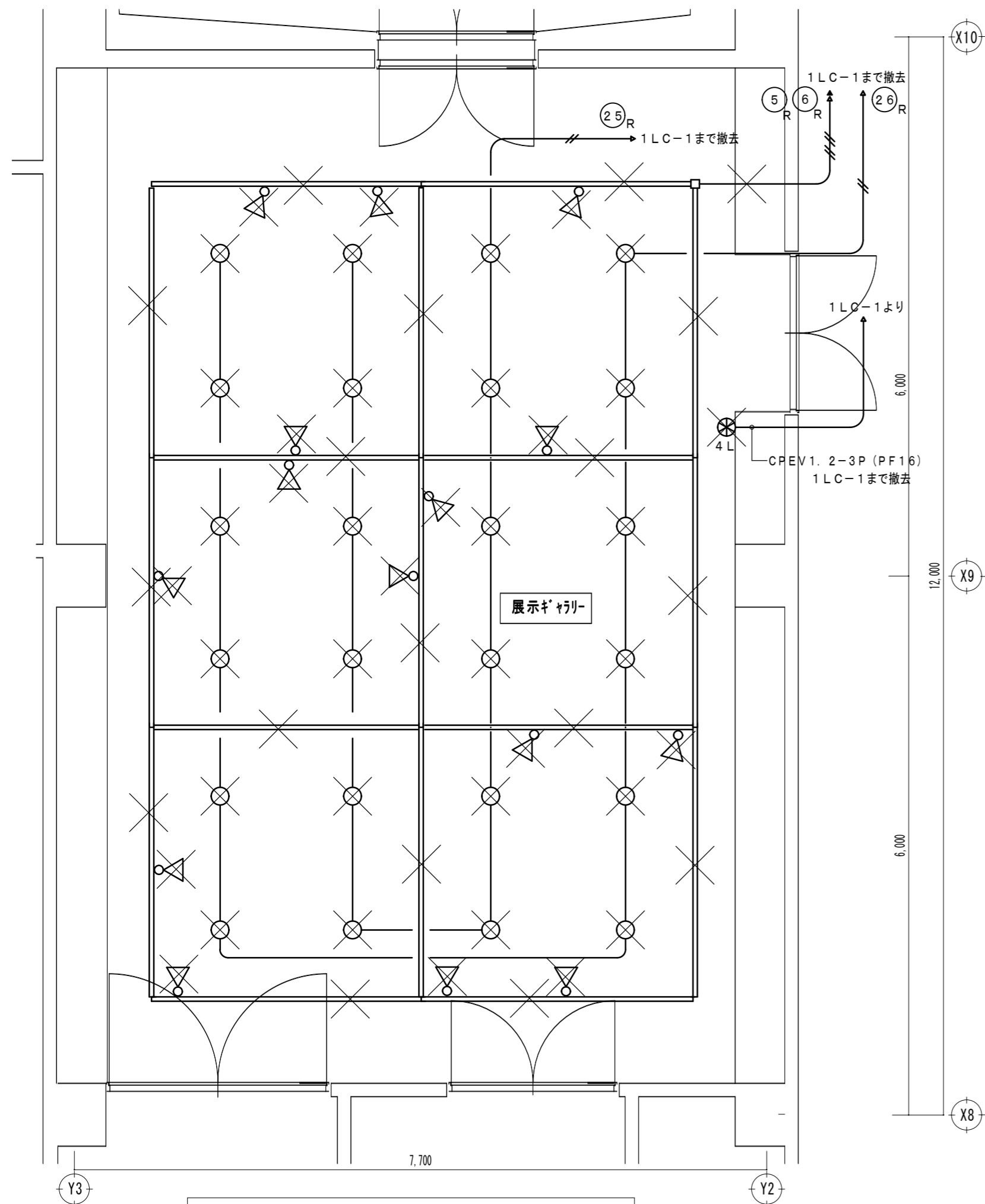
改修後 1階便所 平面詳細図 1/50



改修後 2階便所 平面詳細図 1/50

凡例	
	AE1. 2-4C 天井ころがし
	埋込コンセント 2P15A x 1ET
	天井埋込スピーカー
	光電式スポット型煙感知器 2種
	定温式スポット型熱感知器 防水1種
	一時取外し再取付を示す
	MMA 一種金属網び (メタルモール) A型
	壁貫通処理を示す

実線は新設を示す 点線は既存を示す



改修前 展示ギャラリー平面詳細図 1/50

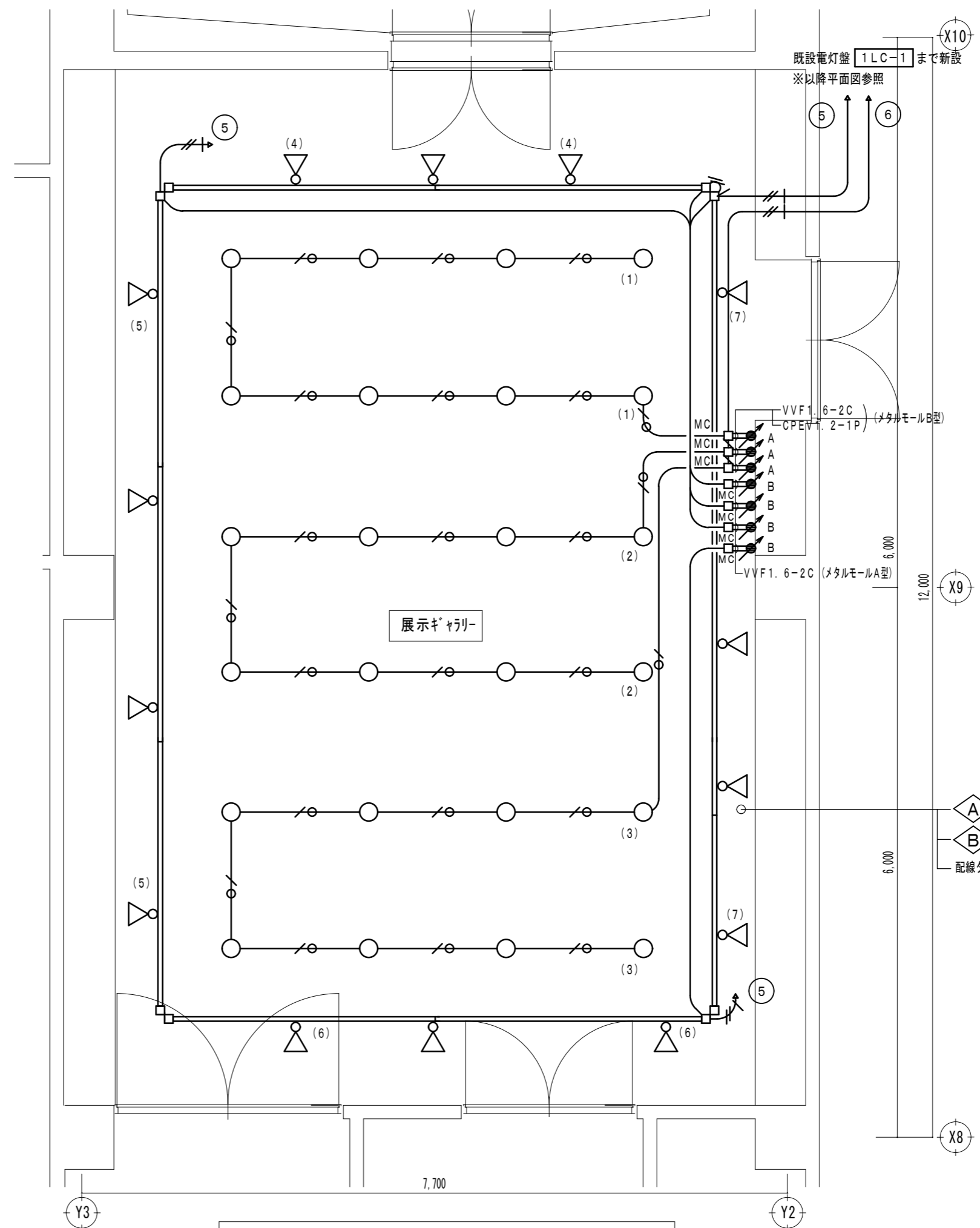
凡例

○	ダウンライト ミニハロゲン130W
△	配線ダクト用スポットライト ミニハロゲン85W
▬	配線ダクト 3m
⊗ 4L	リモコンスイッチ 4L
×	撤去を示す

記入なき配管配線は下記とする

▬	5. 5° x 2 (PF16)
▬	5. 5° x 4 (PF22)
▬	2. 0 x 2 (PF16)

配線配管は可能な限り分別し撤去すること



改修後 展示ギャラリー平面詳細図 1/50

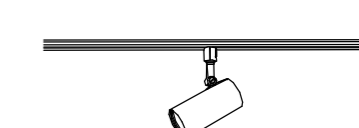
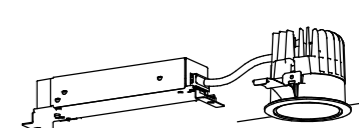
凡例

⚡ A	調光スイッチ LED用 信号機式 (参考型番 NQ21505)
⚡ B	調光スイッチ LED用 (参考型番 WTC57582W)
□ MC	メタルモールコーナボックス
□ MJ	メタルモールジャンクションボックス

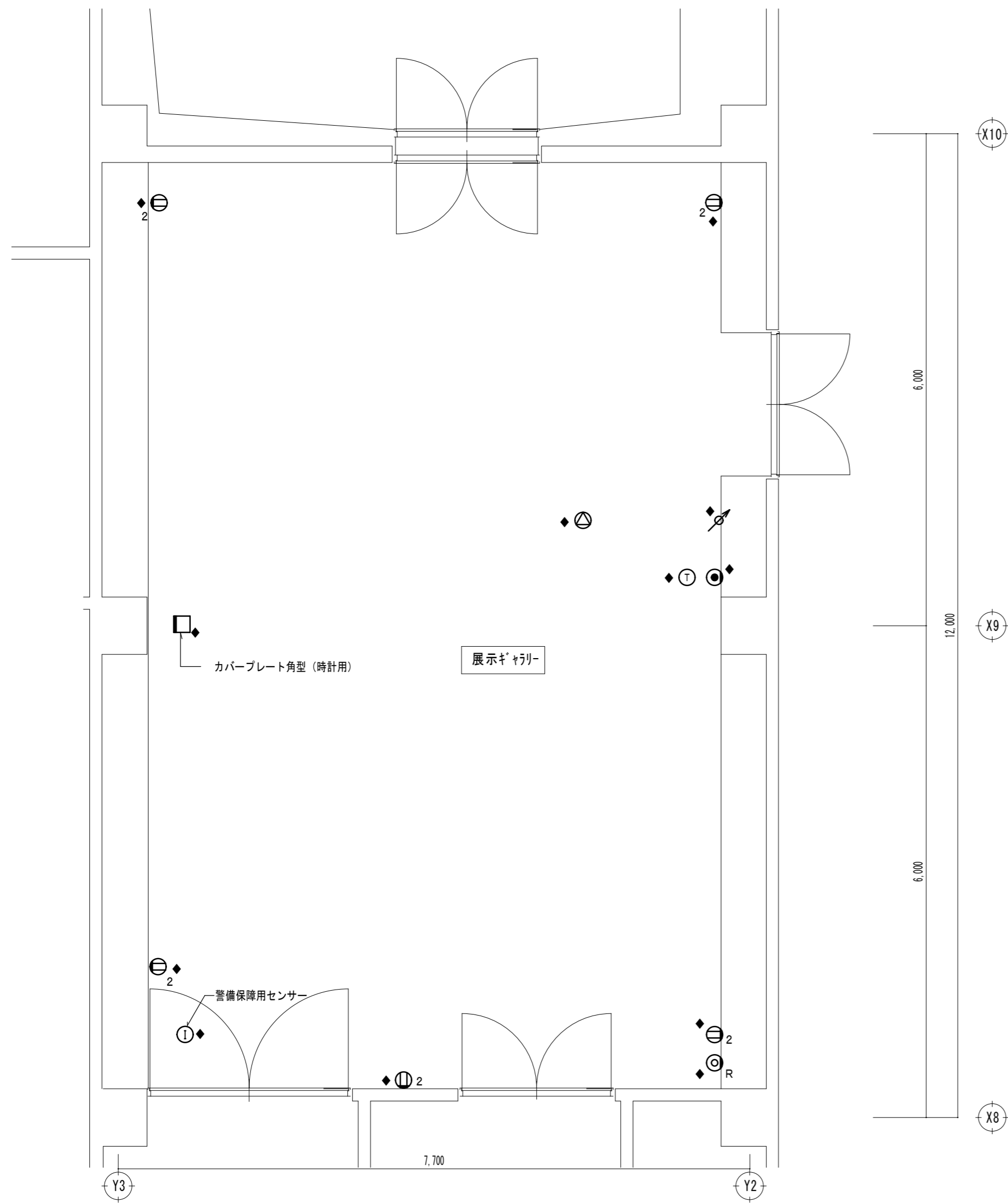
記入なき配管配線は下記とする

▬	VVF2. 0-3C (1Cアース) 天井ころがし
▬	VVF1. 6-2C 天井ころがし
▬	VVF1. 6-3C (1Cアース) 天井ころがし
▬	VVF1. 6-3C (1Cアース) + CPEV1. 2-1P 天井ころがし
▬	配線ダクト (黒色)

A	LEDダウンライト 黒色
	水銀灯100形灯具相当 電球色 電源ユニット共
B	LEDスポットライト 配線ダクト用 黒色
	LED100形 電球色 電源ユニット内蔵
	参考型番 LGB54398 LB1



A x 24
B x 14
配線ダクト3m (黒色) x 10本



改修後 展示ギャラリー平面詳細図 1/50

凡例

⊖ ₂	埋込コンセント 2P15A x 2	⊙	天井埋込スピーカー
⊙	電話受口	⚡	アッテネーター
①	電話機 壁掛型	□	ドーム型カメラ 埋込型
⊙ _R	直列ユニット 端末	◆	一時取り外しを示す

特記

月 日

U 建築設計

設計番号

年 月 日

縮尺

津市サンヒルズ安濃ハーモニーホール

NO.

三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897

1/50

舞台機構及び天井その他改修工事

E-09

一級建築士事務所 一級建築士第248160号

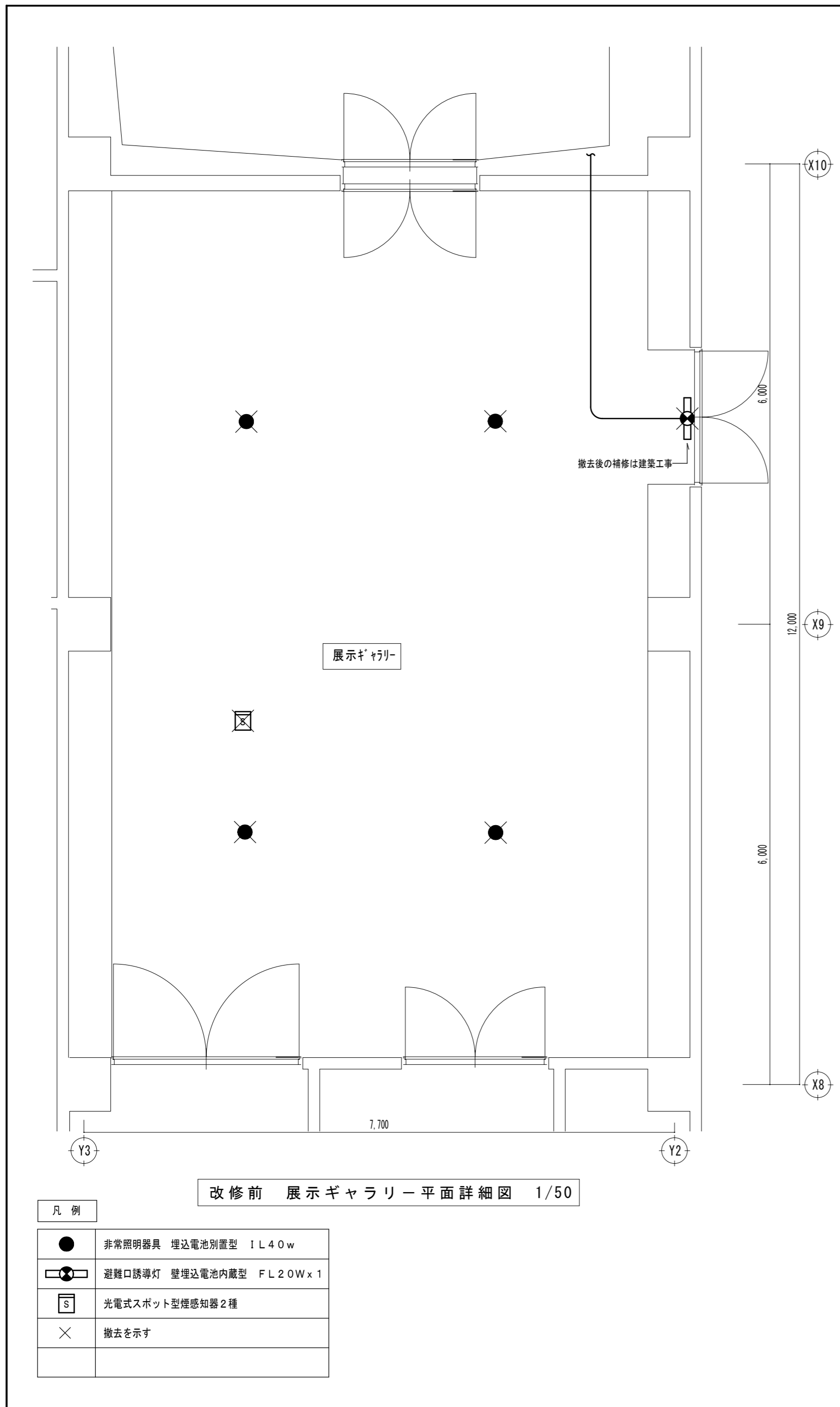
ハーモニーホール コンセント・弱電設備

13

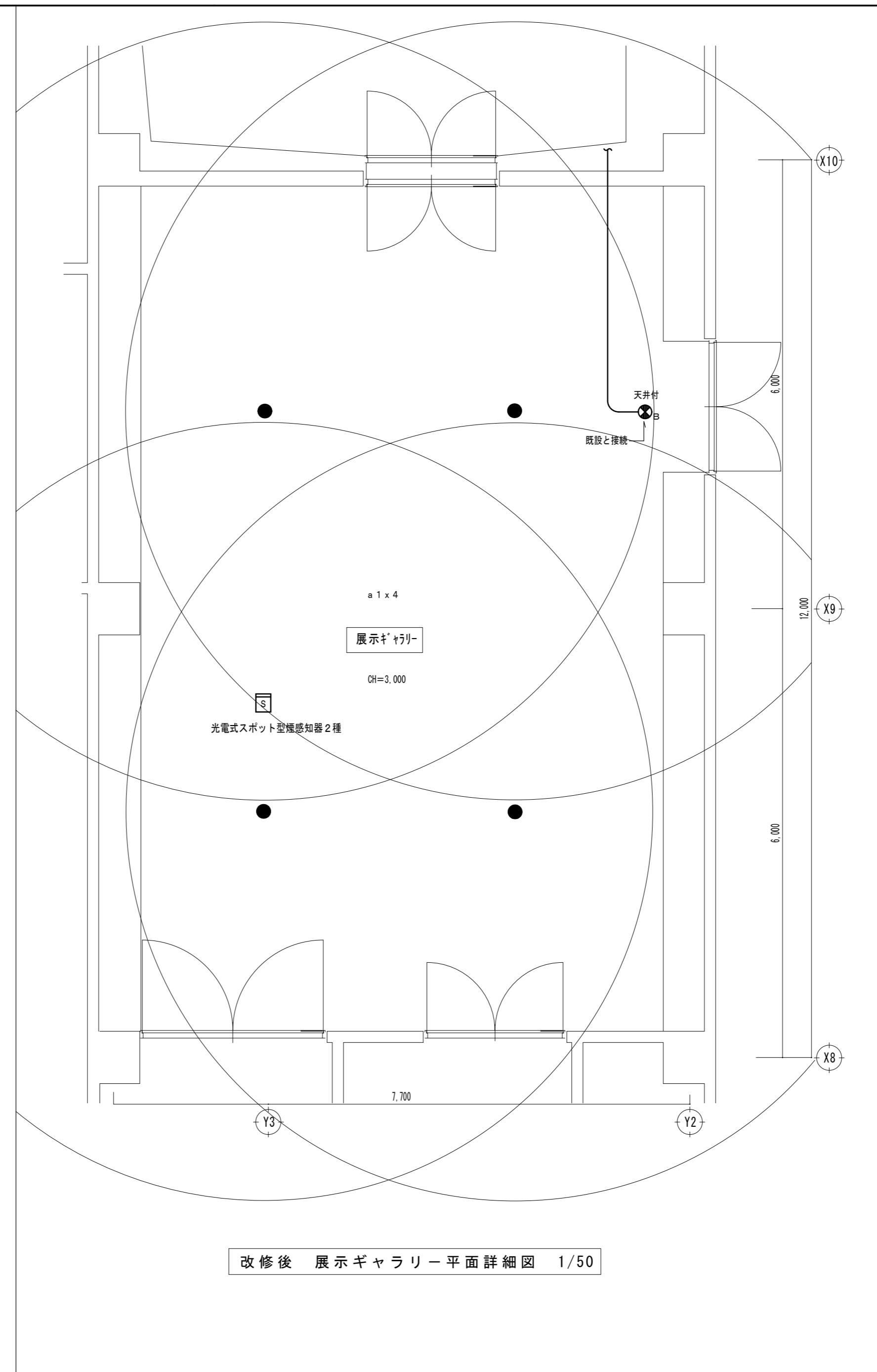
登録番号(1)第2118号 内田 貴之

展示ギャラリー (改修前後)

原図:A2



改修前 展示ギャラリー平面詳細図 1/50



改修後 展示ギャラリー平面詳細図 1/50

凡例

●	非常照明器具 埋込電池別置型 1L40w
⊗	避難口誘導灯 壁埋込電池内蔵型 FL20W x 1
Ⓢ	光電式スポット型煙感知器 2種
×	撤去を示す

● a 1 LED非常照明器具 電池別置型
ハロゲン電球50形 相当 黒色枠共

参考型番 NNF84605

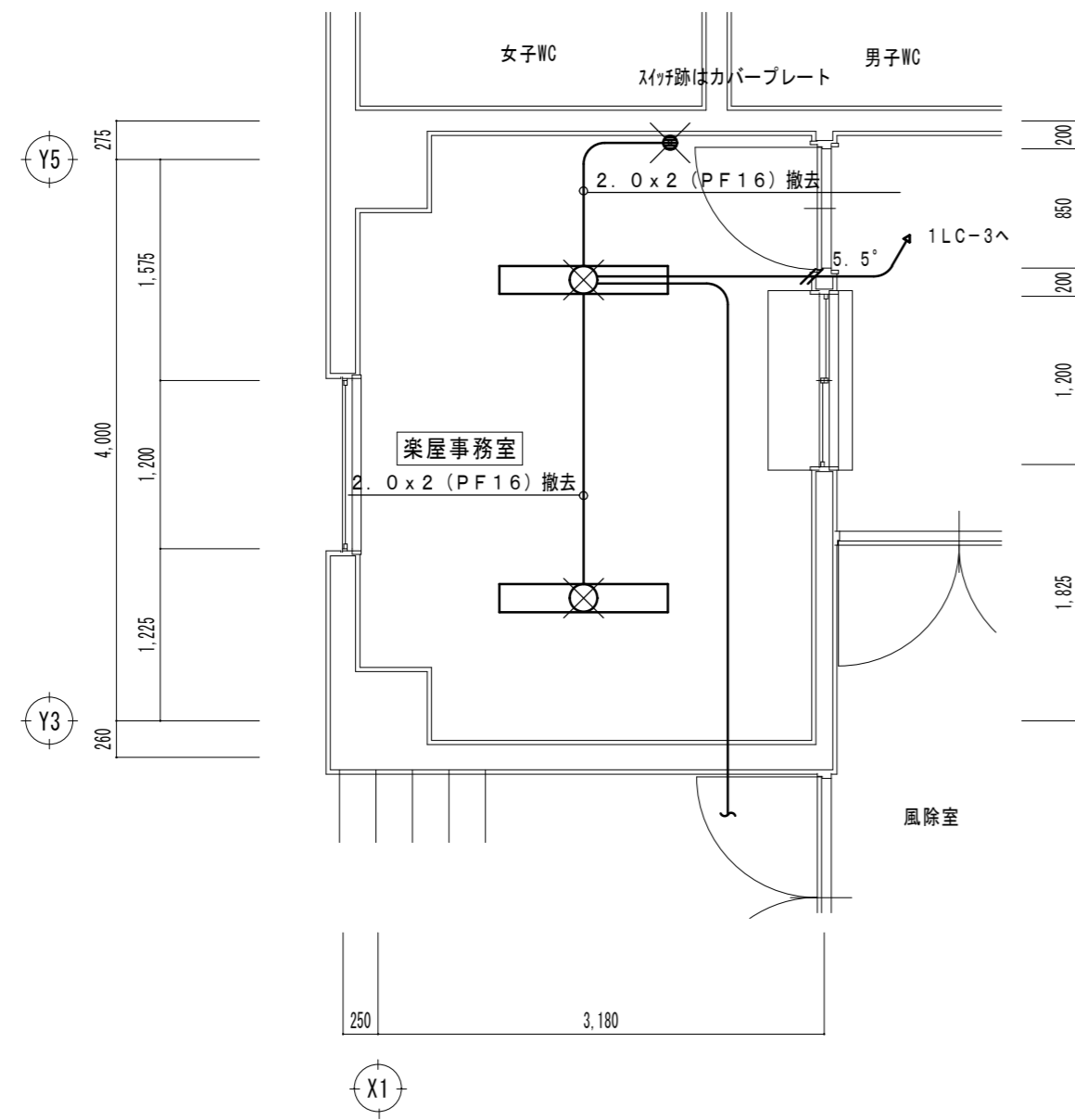
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	
単体配置	A1	5.0	5.1	5.2	5.2	5.1	4.9	4.4
直線配置	A2	12.1	12.9	13.3	13.9	14.4	14.5	14.1
四角配置	A4	10.1	10.9	11.4	12.3	13.8	14.5	14.1

⊗ B LED避難口誘導灯 BL級 黒色 電池内蔵型

公共施設型番: SH1-FBF20-BL 黒色枠共

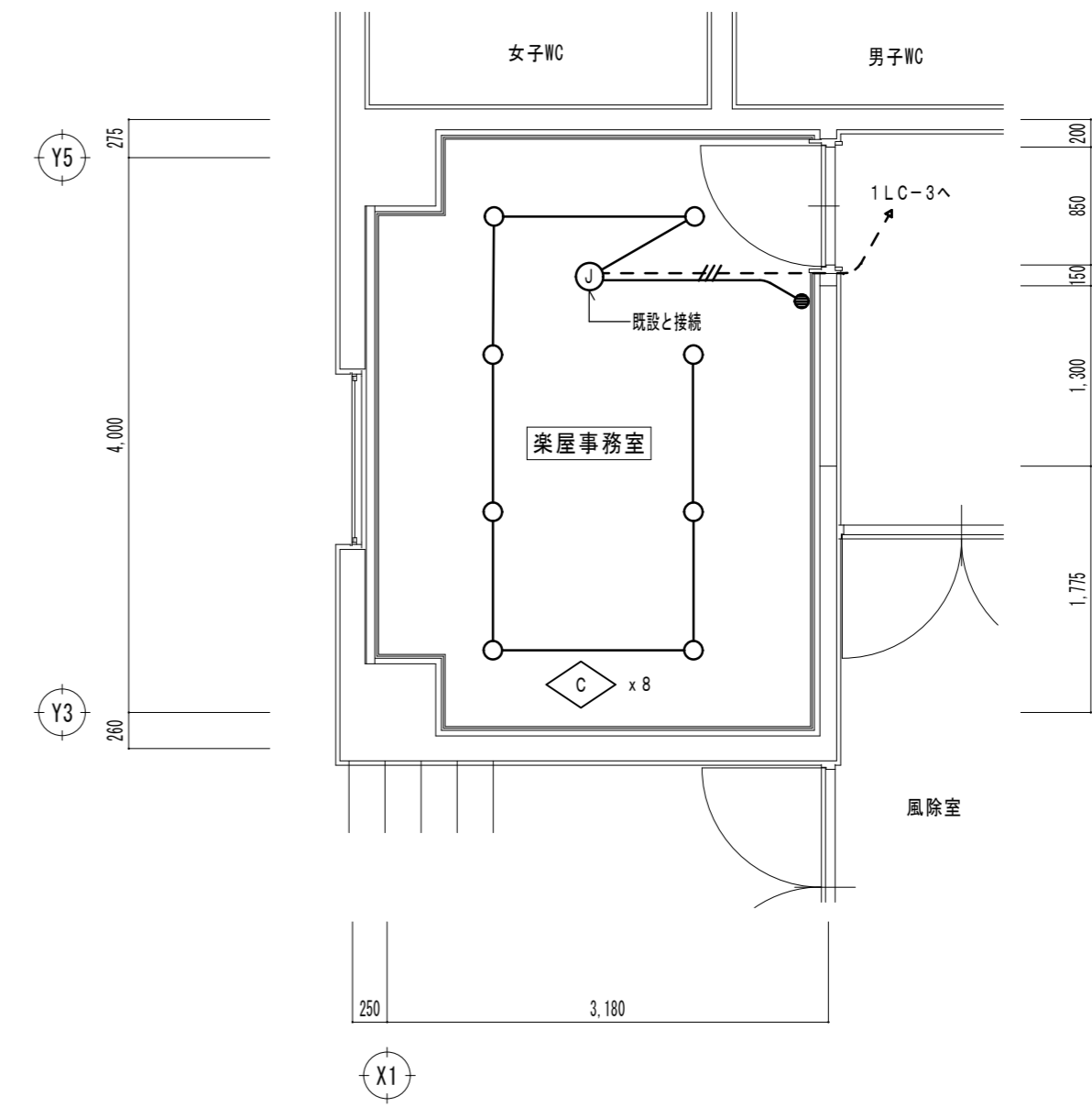
特記事項

1、凡例
実線は新設を示す
点線は既存のままを示す



改修前 楽屋事務所 平面詳細図 1/50

凡例	
○	照明器具 埋込型 FL40x2
●	埋込スイッチ IP15A
×	撤去を示す



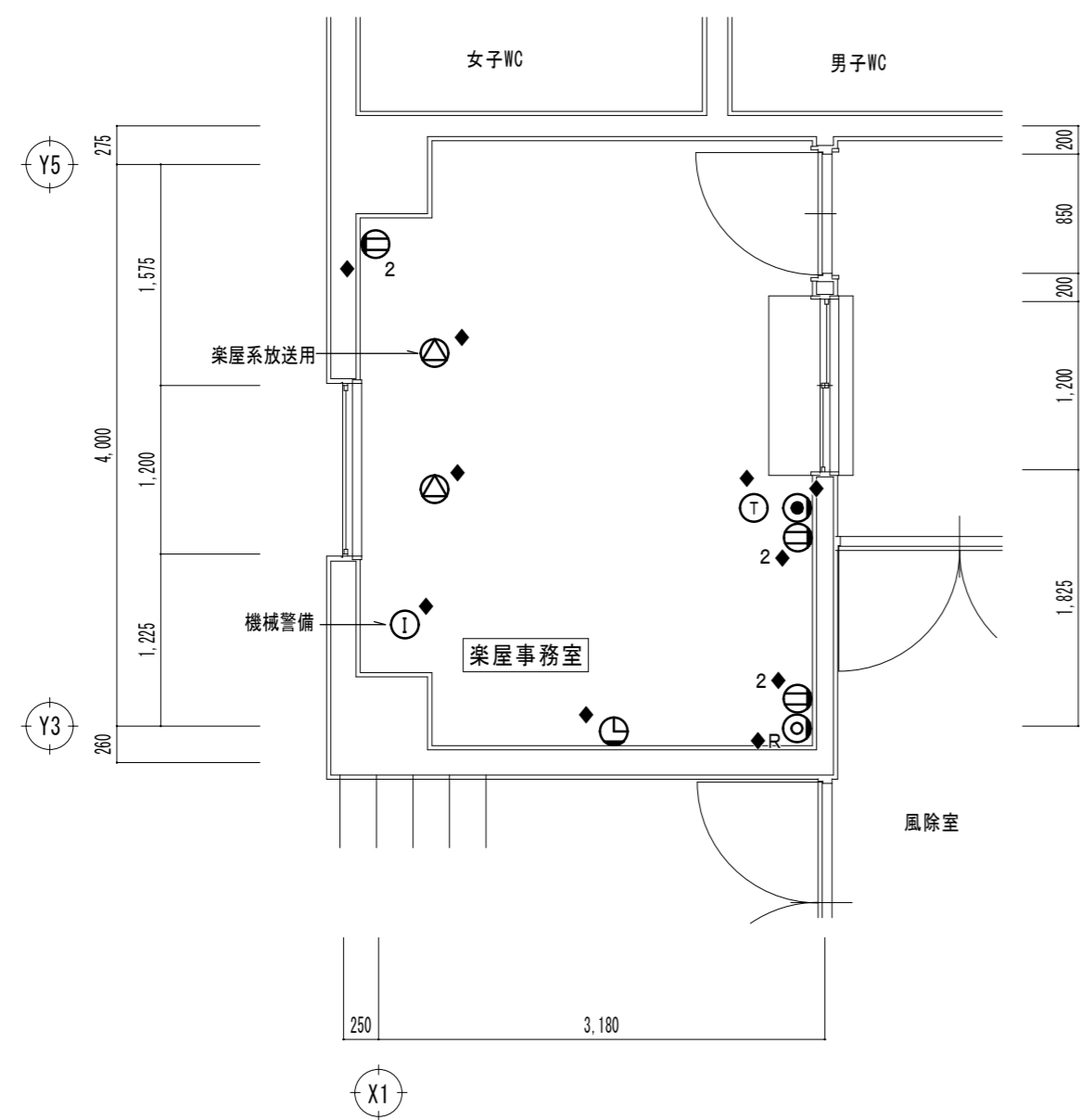
改修後 楽屋事務所 平面詳細図 1/50

◇ C	LEDダウンライト
	LED200形 FHT42W1灯具相当

公共型番 LRS1-1700LM

記入なき配管配線は下記とする	
—	VVF1.6-2C (PF16) ※二重天井内はケーブルところがしとする

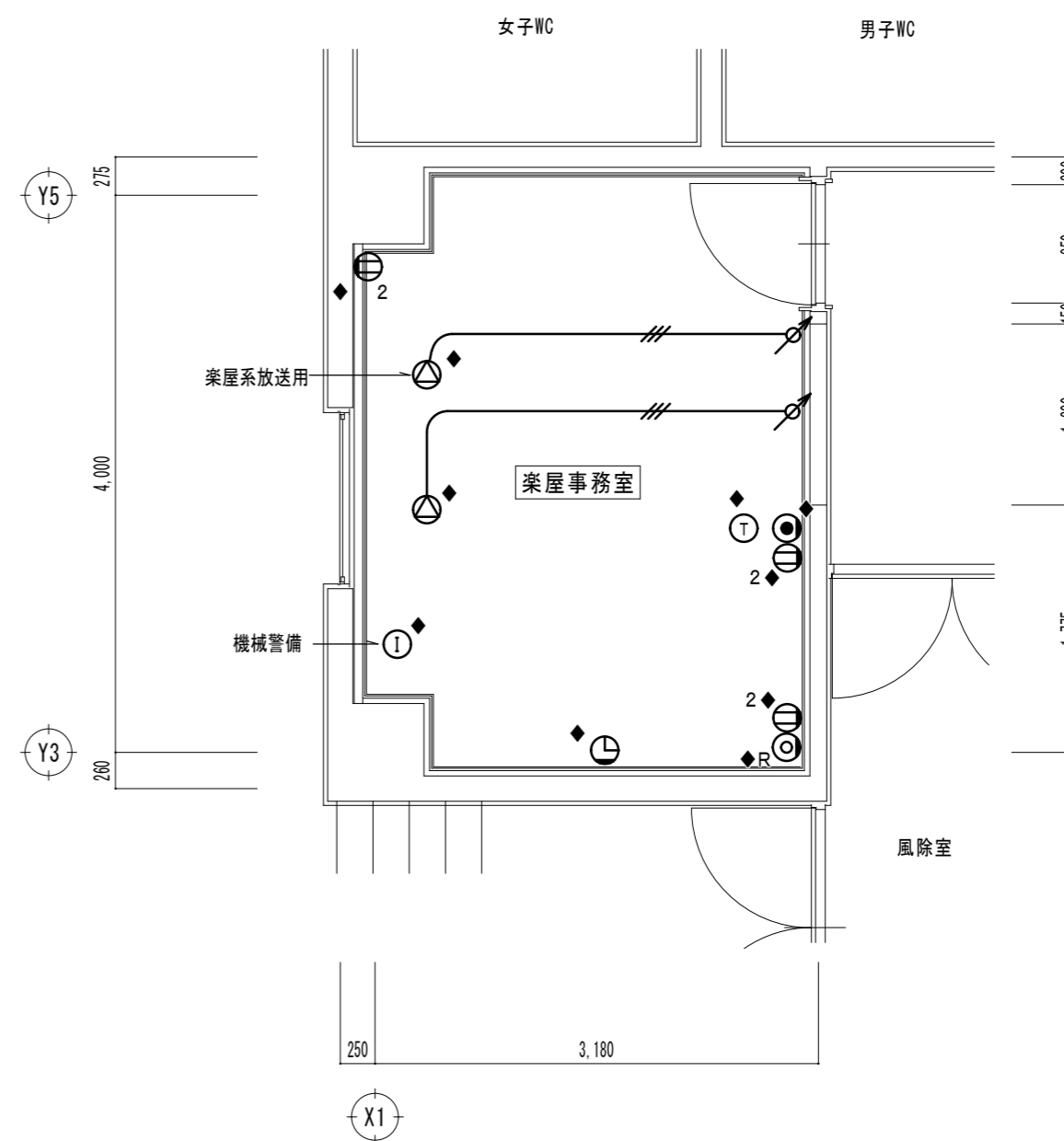
実線は新設を示す 点線は既存のままを示す



改修前 楽屋事務所 平面詳細図 1/50

凡例

⊖ ₂	埋込コンセント 2P15A x 2	⊗	天井埋込スピーカー
⊙	電話受口	⊕	電気子時計
①	電話機 壁掛型	◆	一時取外しを示す
⊙ _R	直列ユニット 端末		

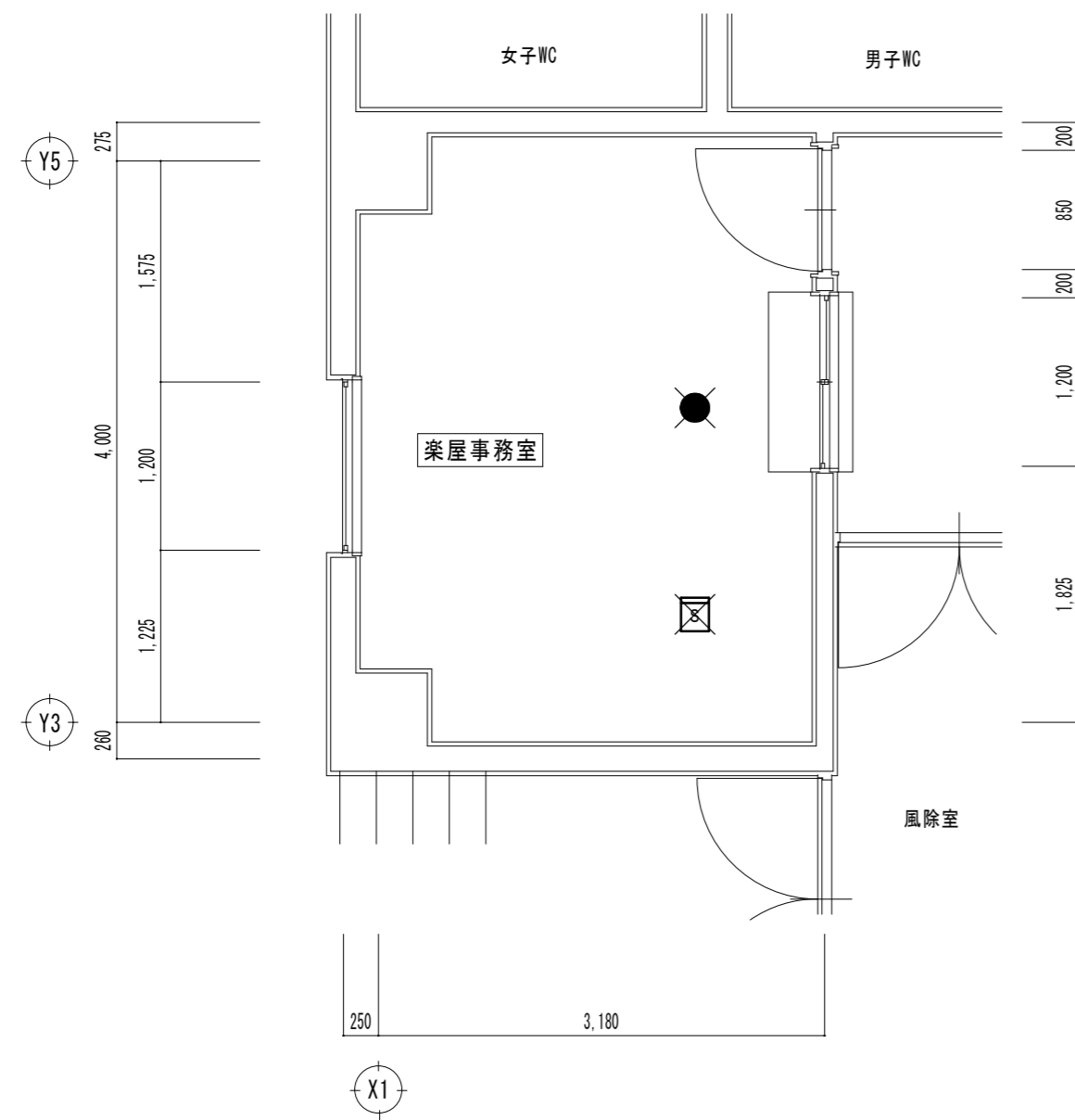


改修後 楽屋事務所 平面詳細図 1/50

凡例

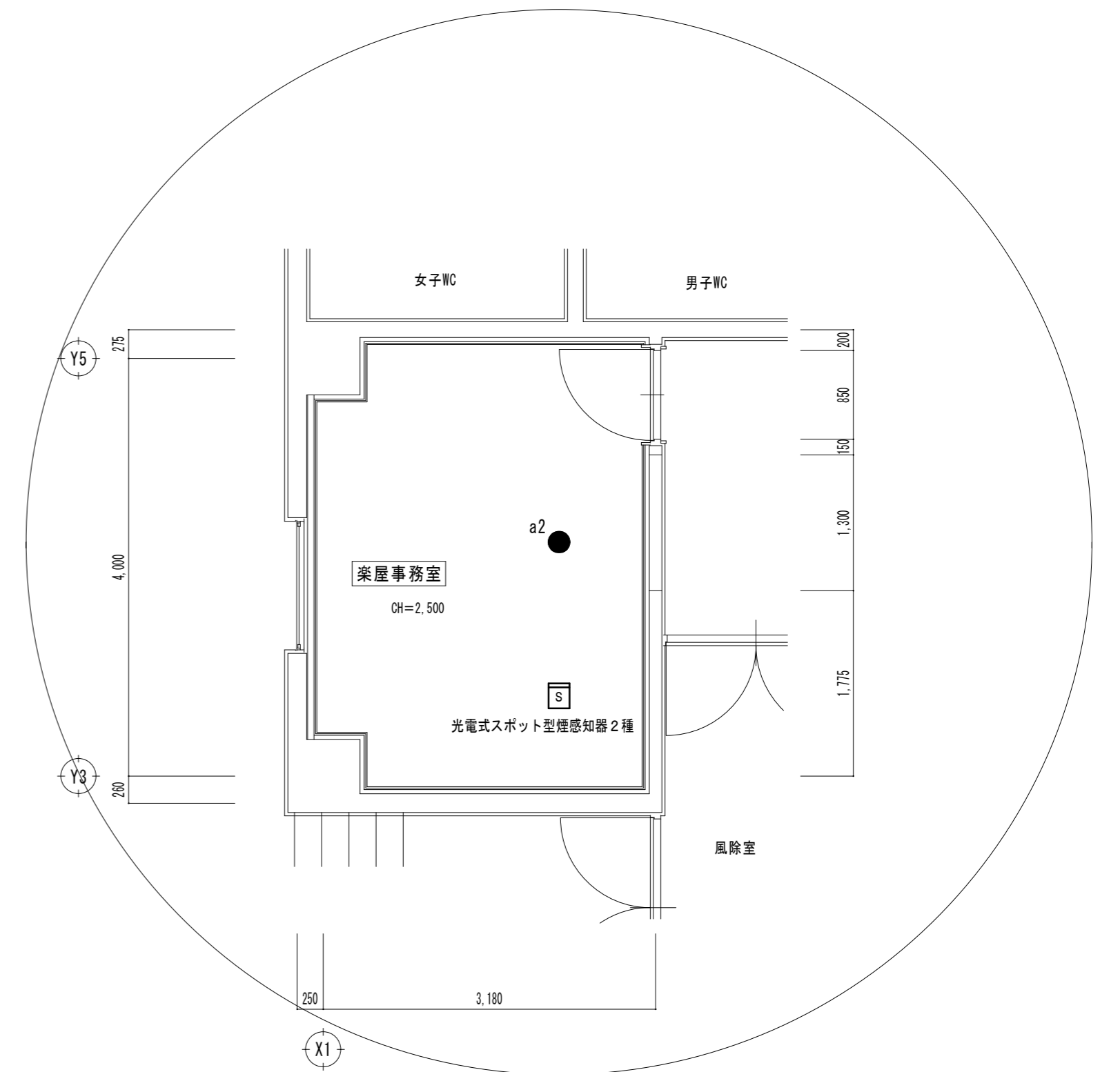
⊖ ₂	埋込コンセント 2P15A x 2	⊗	天井埋込スピーカー
⊙	電話受口	⊕	電気子時計
①	電話機 壁掛型	↗	アッテネータ
⊙ _R	直列ユニット 端末	◆	再取付を示す

— 特記事項 —
 1、記入なき配管配線は下記とする
 AE AE1. 2-3C (PF16)
 HP HP1. 2-3C (PF16)
 ※二重天井内はケーブルこがしとする
 2、凡例
 点線は既存のままを示す



改修前 楽屋事務所 平面詳細図 1/50

凡例	
●	非常照明器具 埋込電池別置型 1L40W
Ⓢ	光電式スポット型煙感知器 2種
×	撤去を示す



改修後 楽屋事務所 平面詳細図 1/50

● a2	LED非常灯	電池別置型							
	ハロゲン電球50形 相当								
公共施設型番: K0-LRS11-D10									
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m		
単体配置	A1	5.0	5.1	5.2	5.2	5.1	4.9	4.4	-
直線配置	A2	12.1	12.9	13.3	13.9	14.4	14.5	14.1	-
四角配置	A4	10.1	10.9	11.4	12.3	13.8	14.5	14.1	-
		-	-	-	-	-	-	-	-

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	- -	2m 以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下 100A以上	- -	1m 以下 2m以下
鉛管			1.5m以下
鋳鉄管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A~100A	125A~
鋳鉄管	-	-	-
ビニル管 耐火二層管 鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 液管の外径を基準とする。
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
 ステンレス鋼板 JIS G 4305
- 工法 アングルフランジ工法
 共板フランジ工法
 スライドオンフランジ工法
- 形鋼補強 山形鋼 JIS G 3101 SUS鋼材 JIS G 4317
- 丸ダクト スパイラルダクト
 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面内に明記すること。

■ グラスウール保温材 保温筒 JIS A 9504 2号 40K (屋内一般等) 保温板 JIS A 9504 2号 40K	
■ 給水管	■ 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 温水管
<input type="checkbox"/> 蒸気管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷媒管 <input type="checkbox"/>	
(屋外等)	
<input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 温水管 <input type="checkbox"/> 蒸気管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	
<input type="checkbox"/> 冷媒管 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

□ ロックウール保温材 保温板、保温帯、ブランケット (防火区画貫通部等) 1号JIS A 9504	
<input type="checkbox"/> 給水管 <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 温水管	
<input type="checkbox"/> 蒸気管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷媒管 <input type="checkbox"/> 消火管	

□ ポリスチレンフォーム保温材 保温筒 JIS A 9511 3号 (屋内一般等) 保温板 JIS A 9511 3号	
<input type="checkbox"/> 給水管 <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷水管 (2~4℃)	
<input type="checkbox"/> プライン管 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(屋外等)	
<input type="checkbox"/> 給水管 <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	
<input type="checkbox"/> プライン管 <input type="checkbox"/> 消火管 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

□ 調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種 (露出)	
<input type="checkbox"/> 給水管 <input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 通気管 <input type="checkbox"/> ドレン管	
<input type="checkbox"/> ガス管 <input type="checkbox"/> 消火管 <input type="checkbox"/> 油管 <input type="checkbox"/> 冷却水管	

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	-	200A~	-
膨張・温水・消火管	-	-	-	-	-
蒸気管	~25A	-	32~50A	65A~	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A~

・ ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
プライン管	-	-	-	~25A	32~80A	100A~

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	
25mm	ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンバー・エルボ 膨張タンク、銅板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンバー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部 (ロックウール)
75mm	煙導 (ロックウール)

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7mm角又は以上
天井内・P S内	7mm角又は以上	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7mm角又は以上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

- ※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ピット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法; 架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の外部露出は保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	#12F927464	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	#12F927464	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内	保温筒	鉄線	#12F927464	アルミガラスクロス仕上	
(温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	#12F927464	アルミガラスクロス仕上	
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	#12F927464	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	#12F927464	SUS鋼板仕上	

- ※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
 保温化粧ケース仕上 ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
銅板製タンク	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)
冷水・冷温水ヘッダ					
温水・膨張・還水貯湯タンク	紙	保温板	鉄線		SUS鋼板仕上 カラー鉄板 (屋内)
温水・蒸気ヘッダ熱交換器					

- ※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンバー・煙道 保温仕様

		1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板	
	機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、D S内	紙	アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温筒	鉄線	カラー鉄板	
	機械室	アルミガラスクロス化粧保温筒		アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋内隠蔽、多湿箇所	アルミガラスクロス化粧保温筒		アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋外露出、多湿箇所	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
サブライチャンバー		紙	保温板	ガラスクロス	銅亀甲金網	
消音チャンバー、エルボ		紙	保温板	ガラスクロス		
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス粘着テープ	
排煙ダクト円形	屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温筒		アルミガラスクロス粘着テープ		
煙道		ブランケット	鉄線	カラー鉄板		

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目16線径0.55による防錆処理を施した平ラズ0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用鉄素鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	調合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント
黒管	露出	調合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント

- ※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. SA 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
2. EA 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
3. RA 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
4. OA 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
- チャンバー内貼施工 内貼あり (mm) 内貼なし 図面による その他 ()

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (=2サイズUP) なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は銅板 (実管ダクト) とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き銅管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ポイドとする。紙ポイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
2) 配管途中、表所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
7) 機器・配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工管理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
8) 雨がかり部に取り付けるガラのチャンパーには、水抜きを設けること。
9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
・ 管は緩ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
・ 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
・ 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
・ 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒筋を使用する。
14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
15) 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
17) 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
18) 建設発生土は場外自由処分とすること。

特記

月	日

U 建築設計	
三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	
一級建築士事務所	一級建築士第248160号
登録番号(1)第2118号	内田 貴之

設計番号	年月日	縮尺
設計		1/50

津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事	N0.
機械設備工事特記仕様書 2	M-02 9

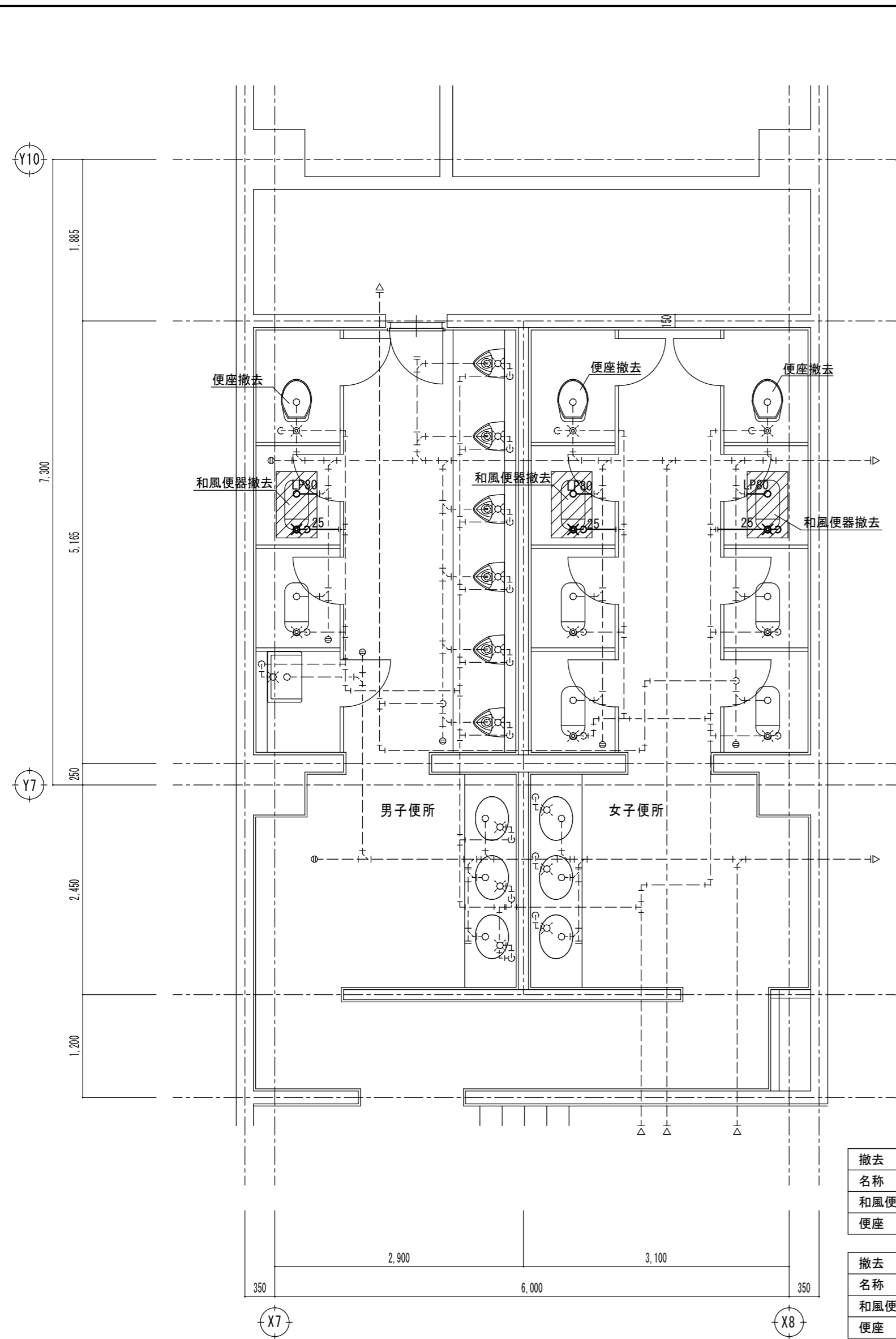
原図:A2

凡例			
図示記号	名称	図示記号	名称
—— —	給水管	⊙	排水金物
—— ——	給湯管	⊖	床上掃除口
—— —	排水管	⊗ ⊕	弁類
-----	通気管	EA	排気ダクト
—— G ——	ガス管	→ D ≡ →	屋外フード(排気)
⊗	水栓金具	⊗	天井換気扇
		⊗	壁付扇

衛生器具表						
名称	仕様・参考型番	ハーモニーホール				合計
		1階男子便所	1階女子便所	2階女子便所		
	LIXIL					
	TOTO					
洋風便器(リモテルタイプ)	C-P25, CF-T7114A, CW-PB11F-NE(温水洗浄便座), 他一式 CF-63HST(紙巻器)	CS464M, TV565CP, TCF585R(温水洗浄便座), 他一式 YH702(紙巻器)	1	2	2	5
温水洗浄便座	CW-PB11F-NE, 分岐金具 他一式	TCF585R 分岐金具 他一式	1	2	2	5

機器仕様					
記号	名称	設置場所	機器仕様	台数	備考・参考型番
B-2	ガス給湯器	屋上	屋外壁掛型 側出湯 循環ポンプ内蔵 能力: 50号 燃料: プロパンガス 循環ポンプ揚程: 3.6m 電源: 単相100V 97W+299W(凍結予防ヒーター) 付属品: リモコン 自立架台 架台カバー 他一式	1	GQ-C5032WZQ(ノーリツ)
ET-1	電気温水器	湯沸室	設置形式 屋内壁掛型 能力 20L 1.5KW	1	EWR20NN(イトミック)

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 凡例 機器仕様 衛生器具表	NO. M-03 9 原図: A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					



平面詳細図（改修前） 1/50

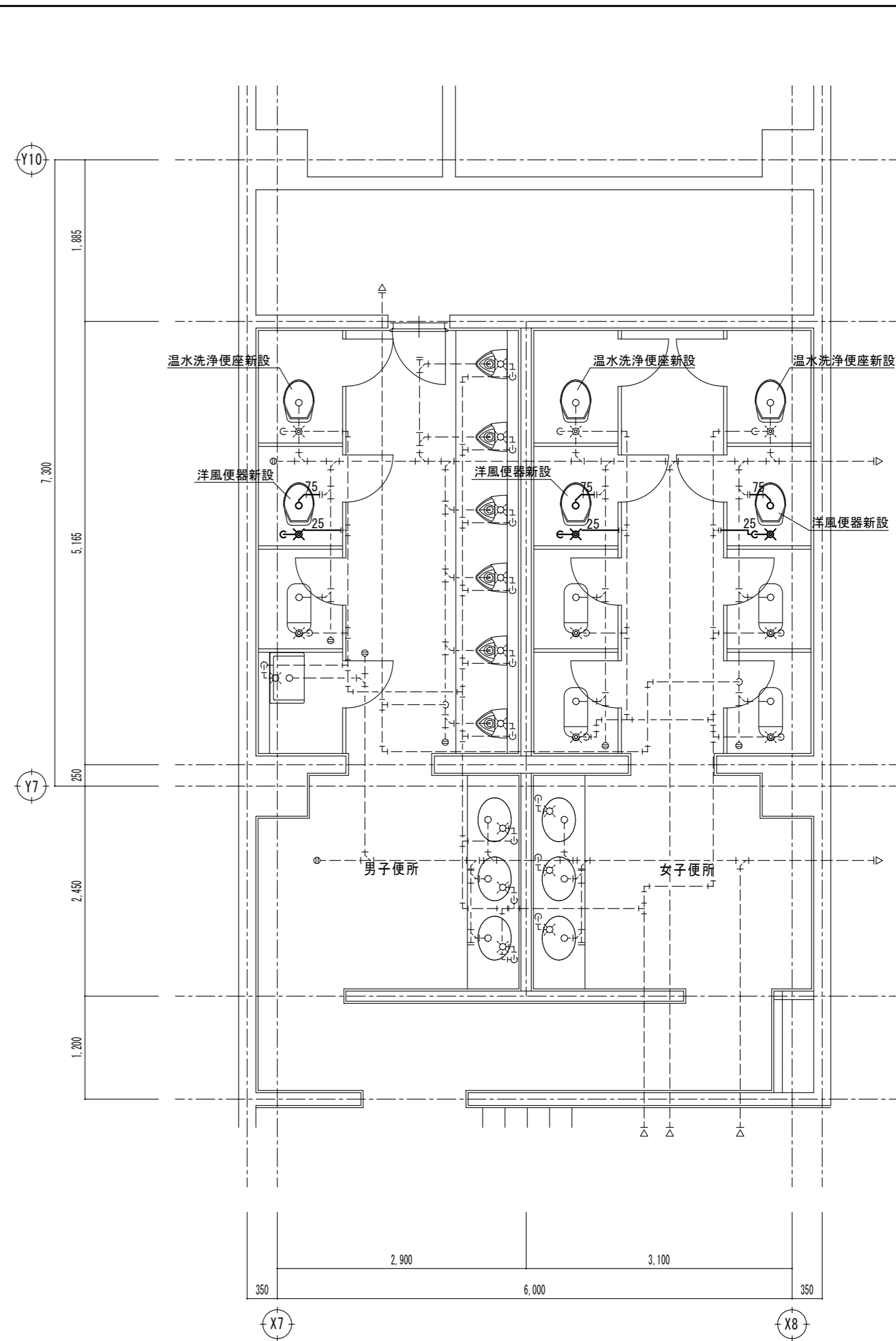
撤去 衛生器具表（男子便所）		
名称	仕様	数量
和風便器	FV 紙巻器	1
便座	普通便座	1

撤去 衛生器具表（女子便所）		
名称	仕様	数量
和風便器	FV 紙巻器	2
便座	普通便座	2

給排水衛生設備 撤去工事要領

- ・既設衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。
- ・壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

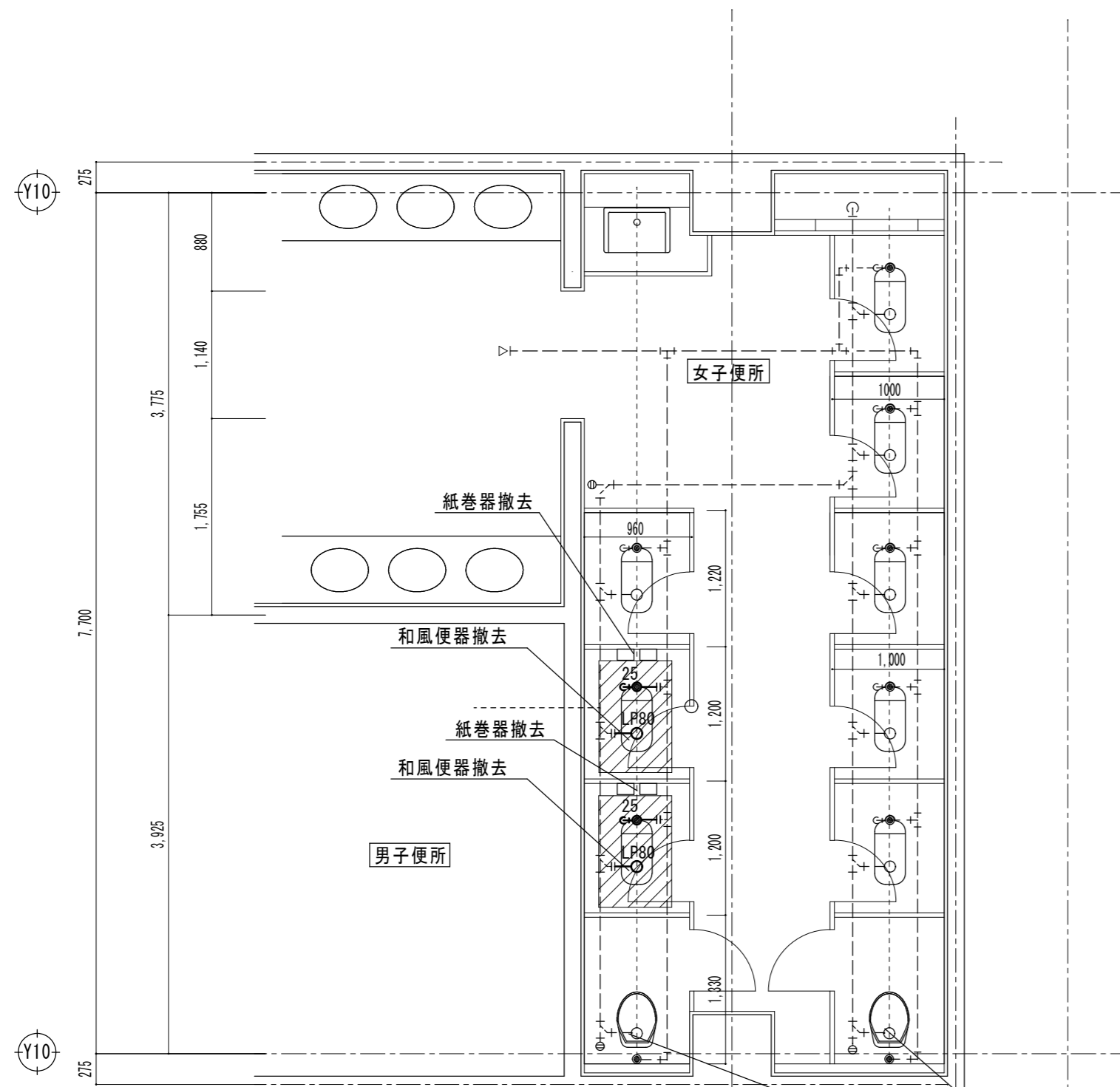


平面詳細図（改修後） 1/50

給排水衛生設備 新設工事要領

- ・衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。
- ・土間コンクリート復旧工事は建築工事。

- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。



撤去 衛生器具表 (女子便所)		
名称	仕様	数量
和風便器	FV 紙巻器	2
便座	普通便座	2

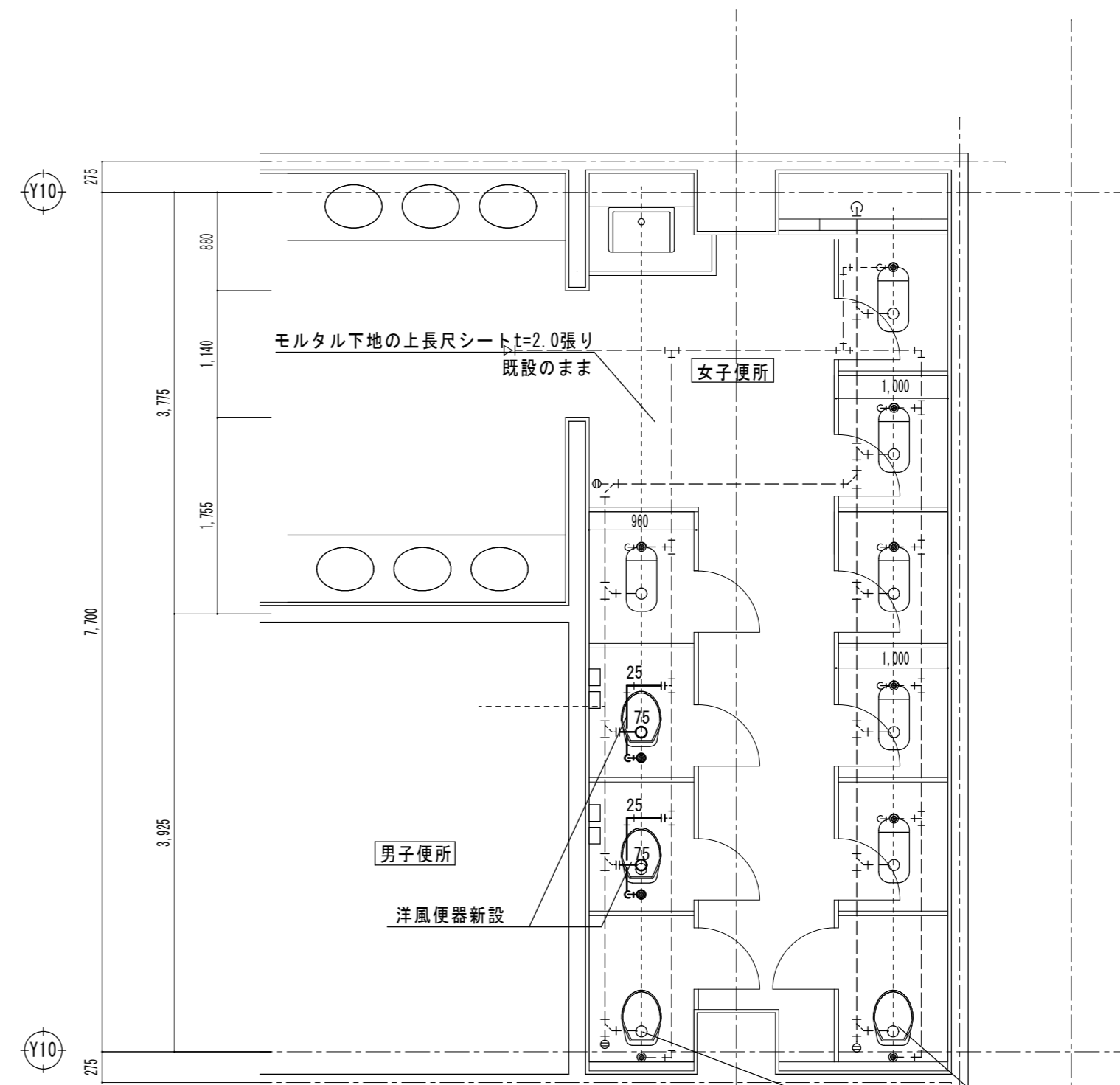
給排水衛生設備 撤去工事要領

- ・既設衛生器具、給排水管、付属金具等を撤去する。
- ・壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

配管切り離し部分
 現状維持部分
 配管撤去部分

- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

平面詳細図 (改修前) 1/50



給排水衛生設備 新設工事要領

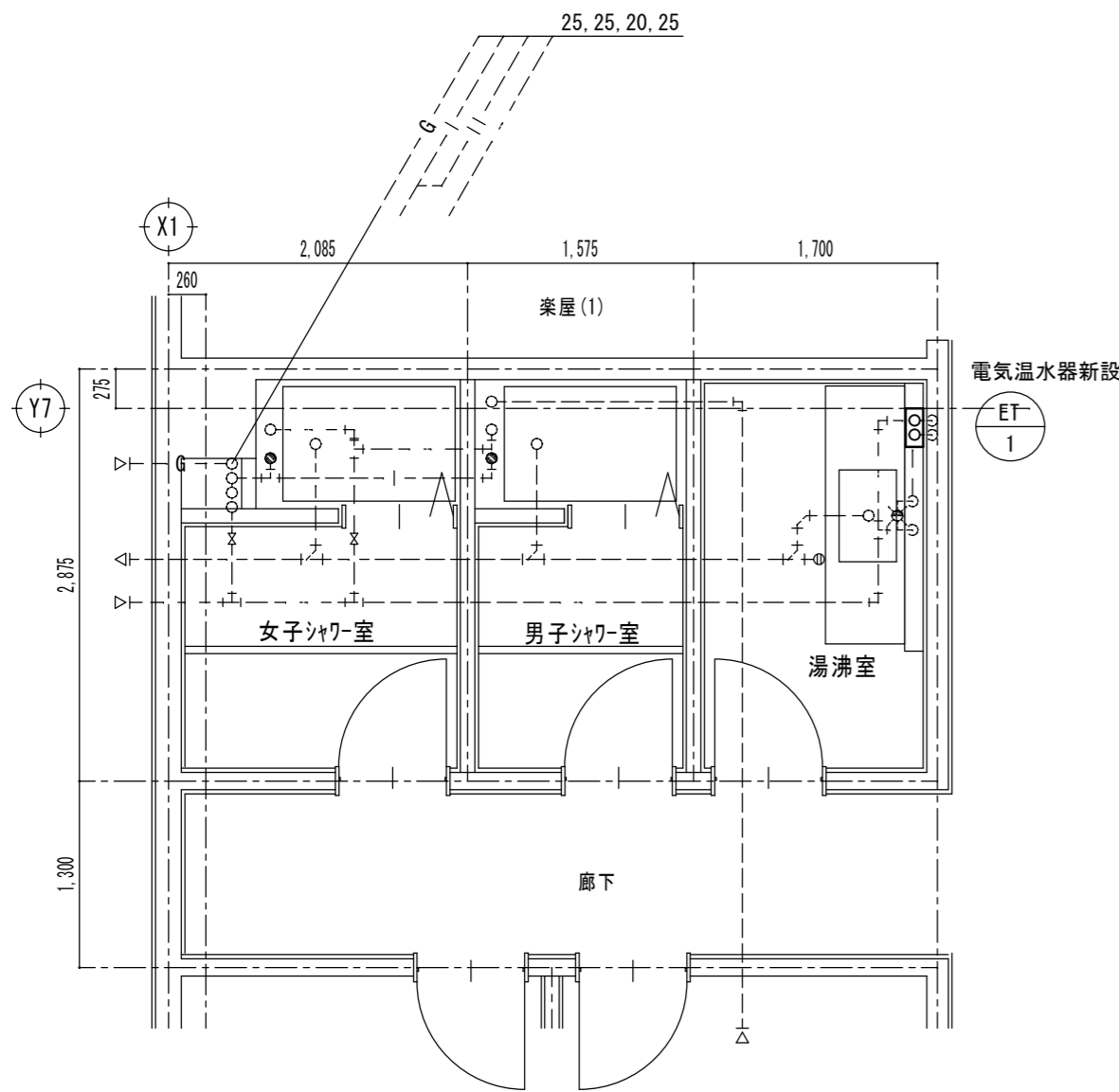
- ・衛生器具、給排水管、付属金具等を新設する。
- ・土間コンクリート復旧工事は建築工事。

既設配管部分
 既設管接続部分
 配管新設部分

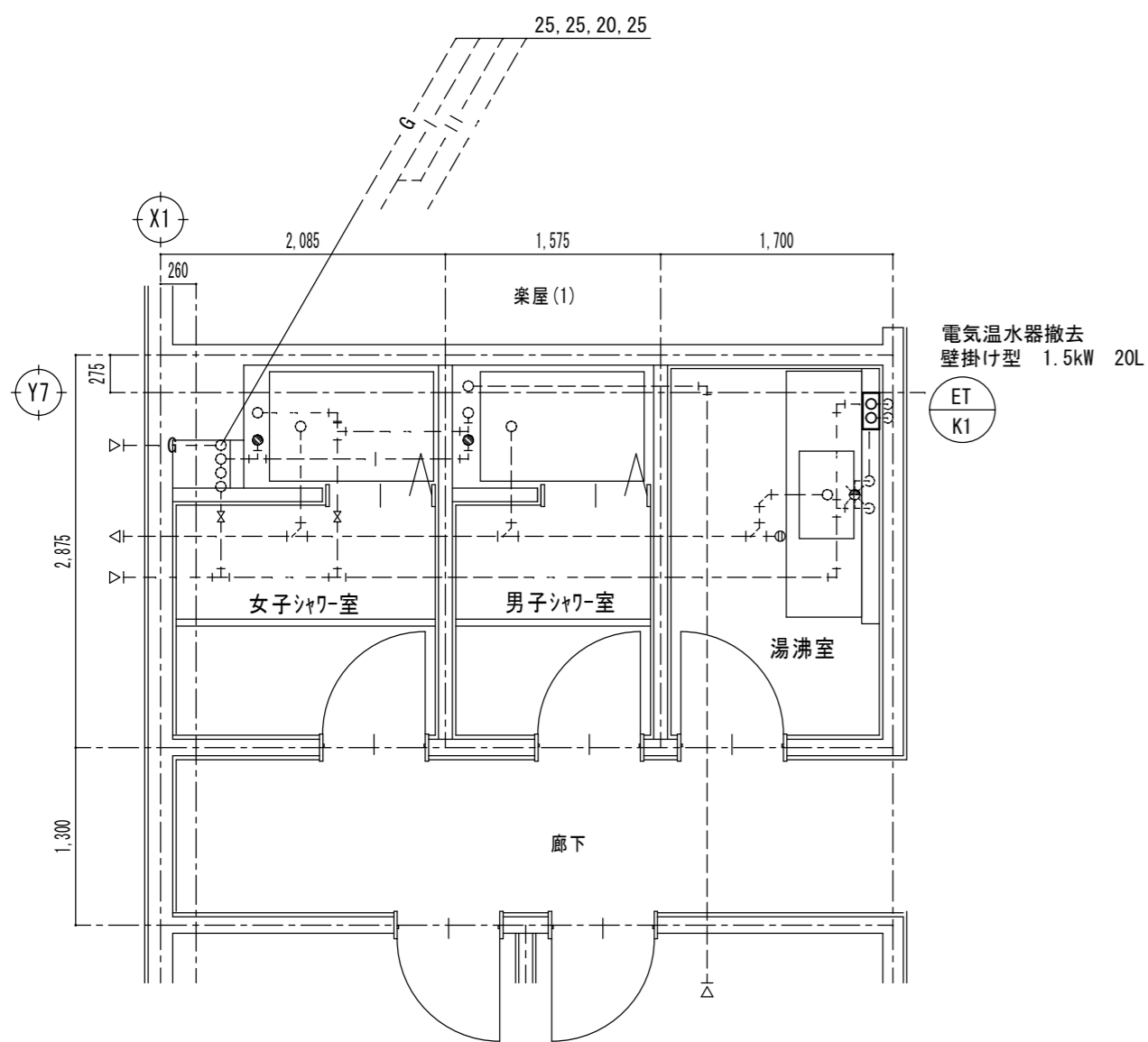
- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

平面詳細図 (改修後) 1/50

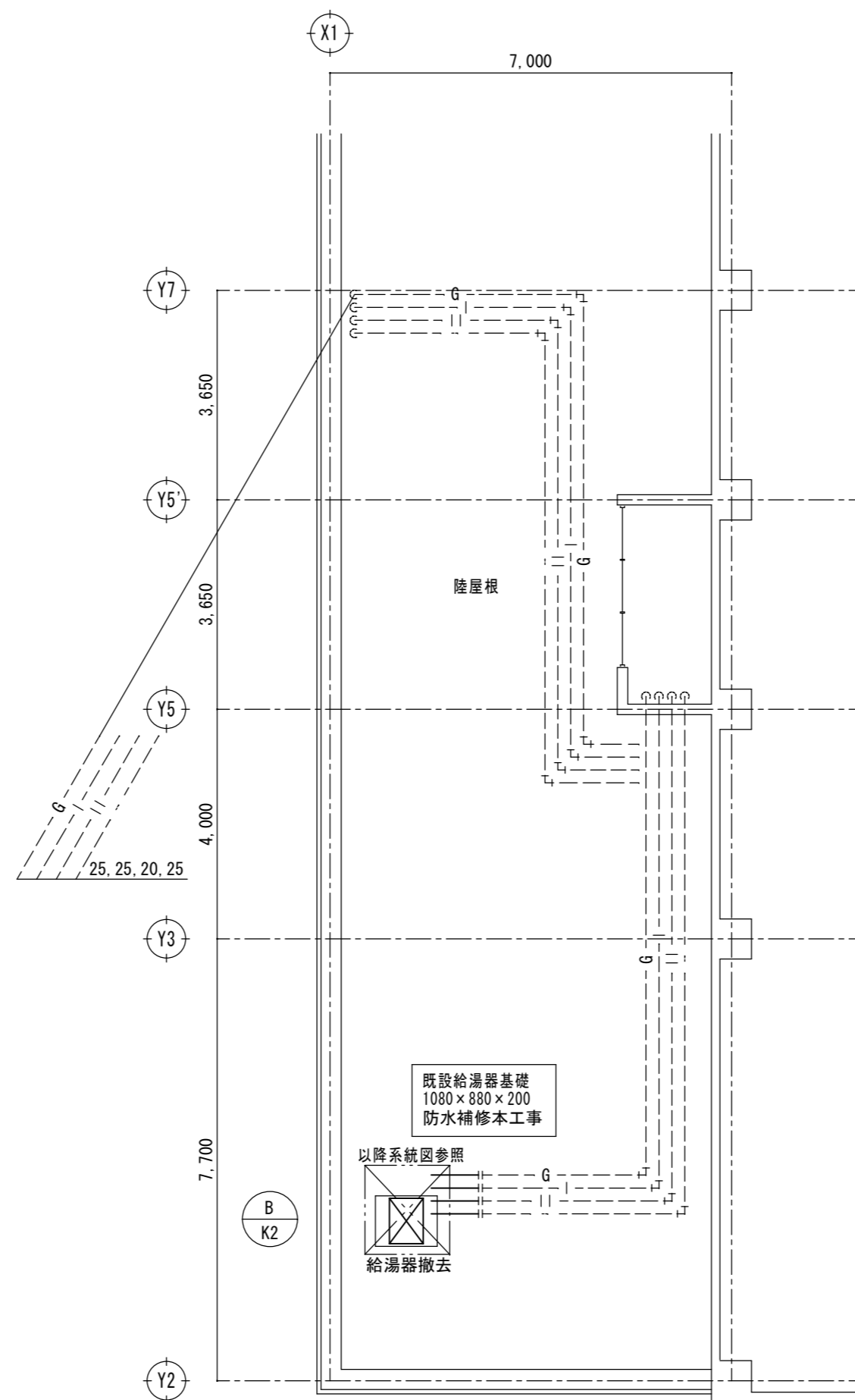
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺 1/50	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 給排水衛生設備 ハーモニーホール 2階便所平面詳細図 (改修前後)	NO. M-05 9 原図:A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897						
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					



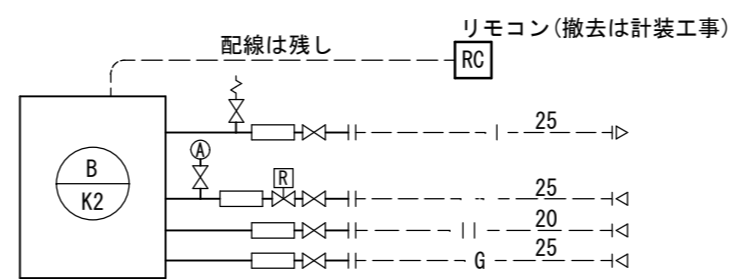
平面詳細図 (改修後) 1/50



平面詳細図 (改修前) 1/50

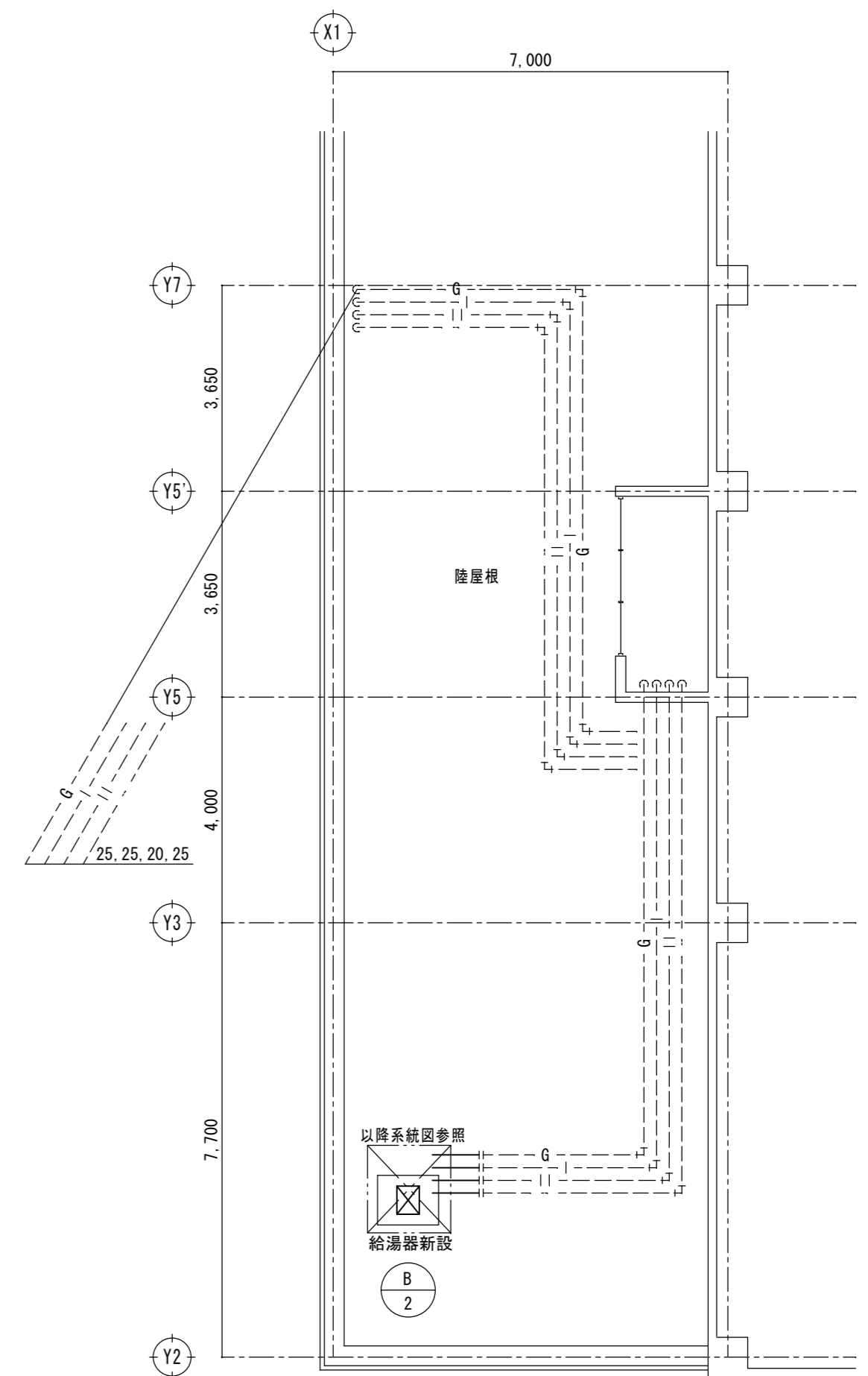


平面図 (改修前) 1/100

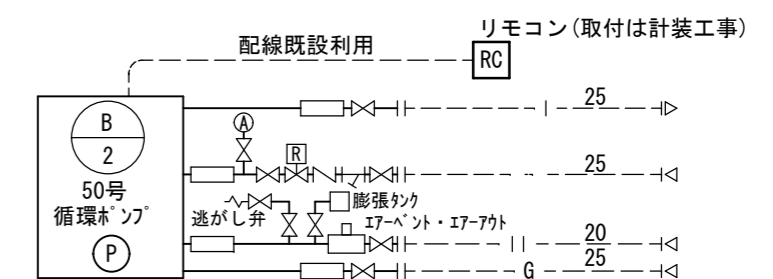


機器廻り配管系統図 (撤去)

(撤去) 機器仕様			
記号	仕様	その他	数量
B-K2	ガスボイラー 屋外据置型 即出湯ポンプ内蔵 定格出力: 70000kcal/h 瞬時最大出力: 140000kcal/h	給水 給湯 ガス	1



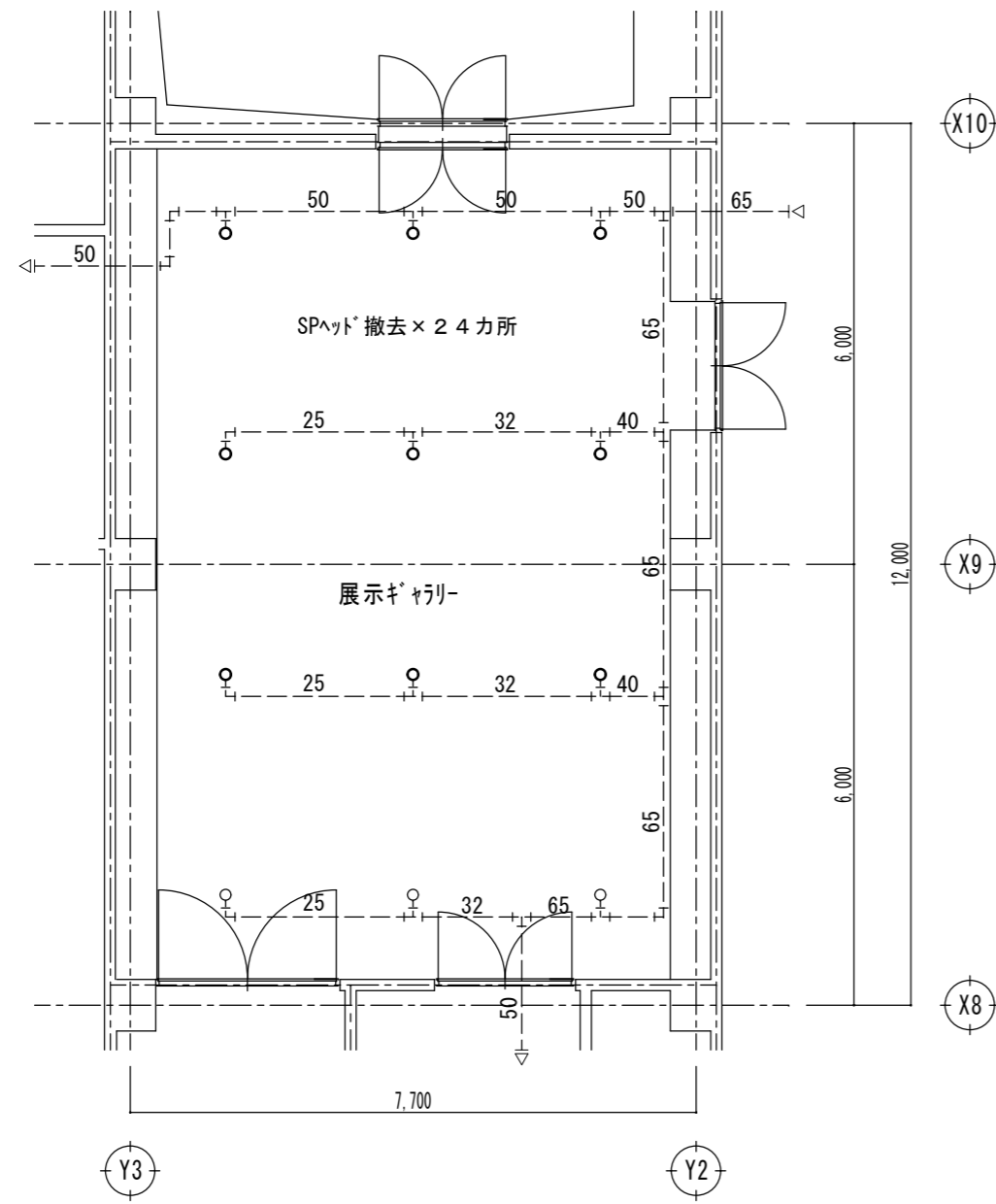
平面図 (改修後) 1/100



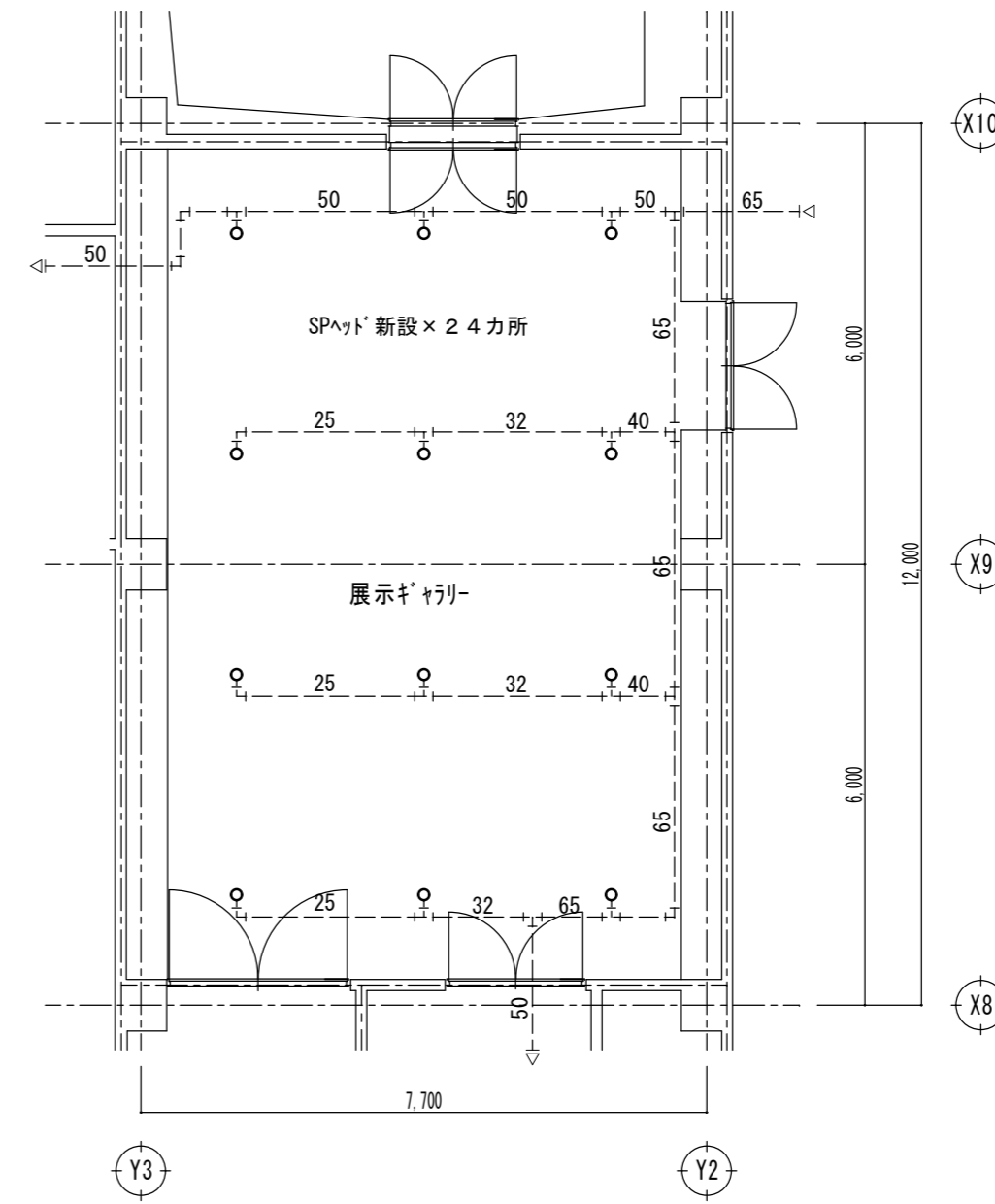
機器廻り配管系統図 (改設)

(改設) 機器仕様			
記号	仕様	その他	数量
B-2	ガス給湯器 屋外壁掛型 (据置台) 即出湯ポンプ内蔵 循環ポンプ 揚程: 3.5m 凍結防止ヒーター, 自立架台, リモコン	給水 給湯 ガス	1

展示ギャラリー 平面図 (改修前後)

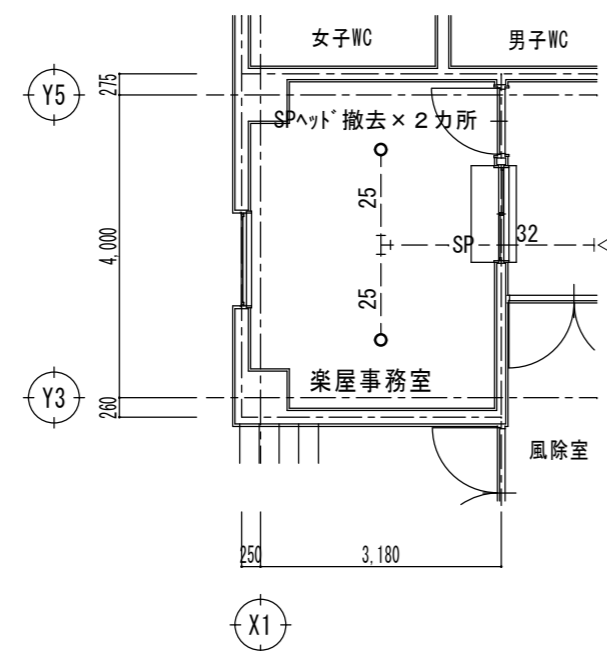


平面図 (改修前) 1/100

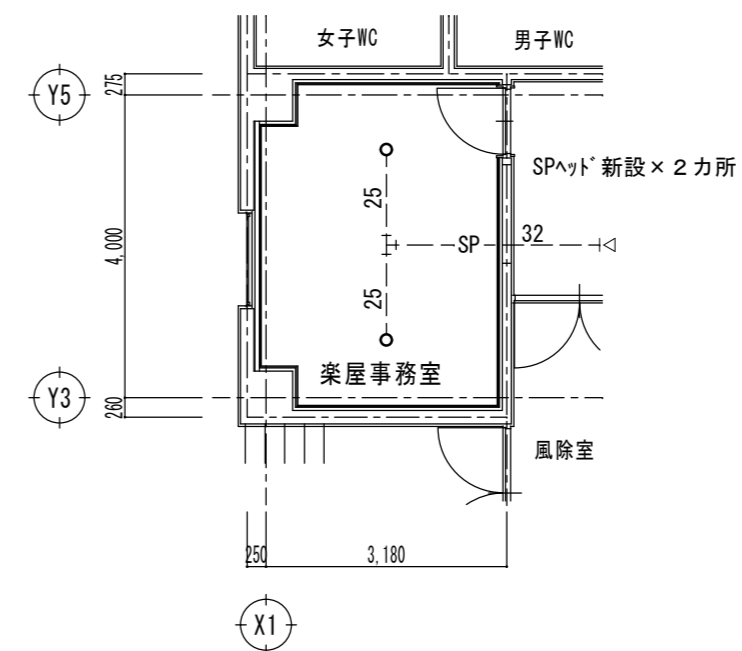


平面図 (改修後) 1/100

楽屋事務室 平面図 (改修前後)



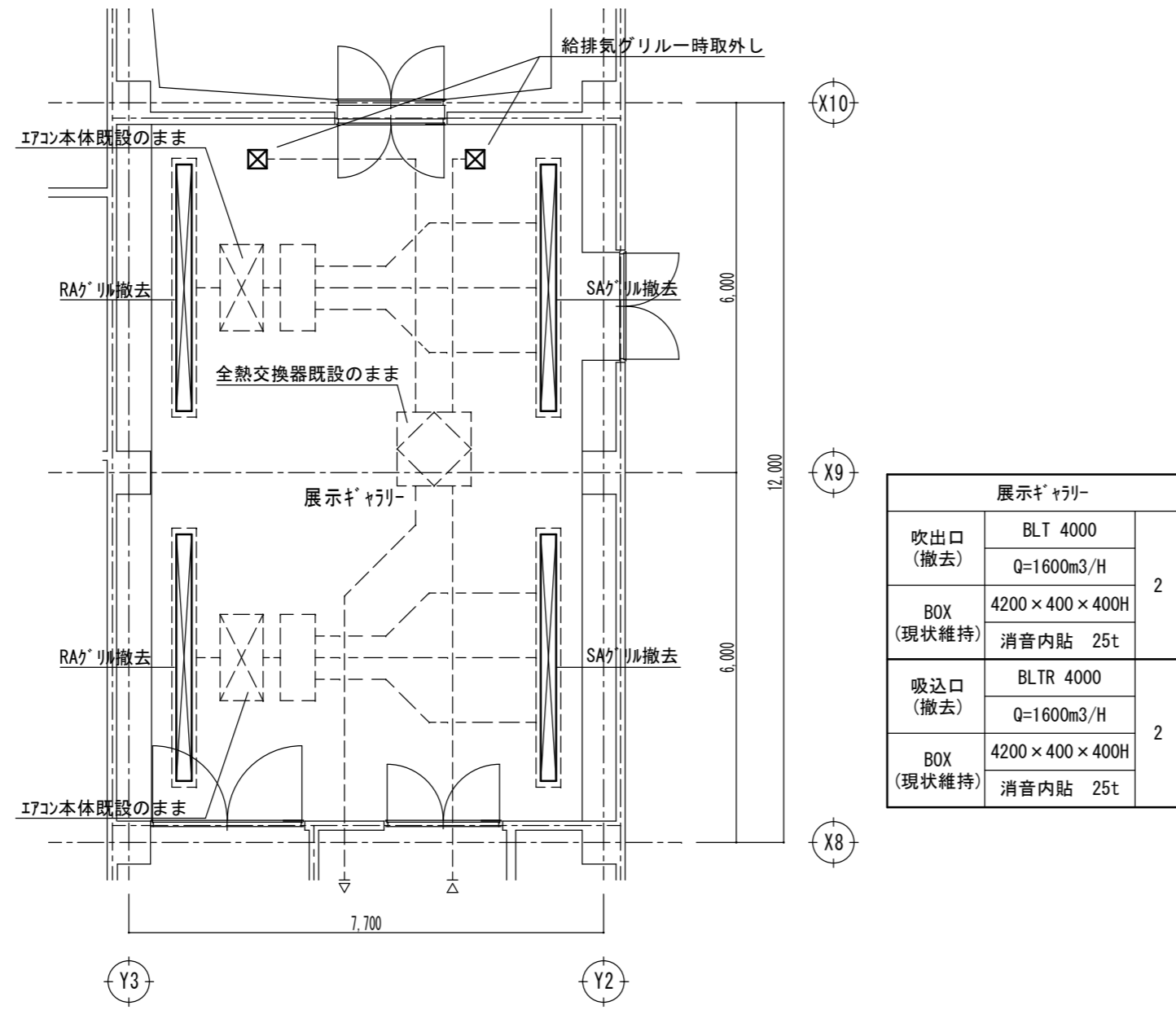
平面図 (改修前) 1/100



平面図 (改修後) 1/100

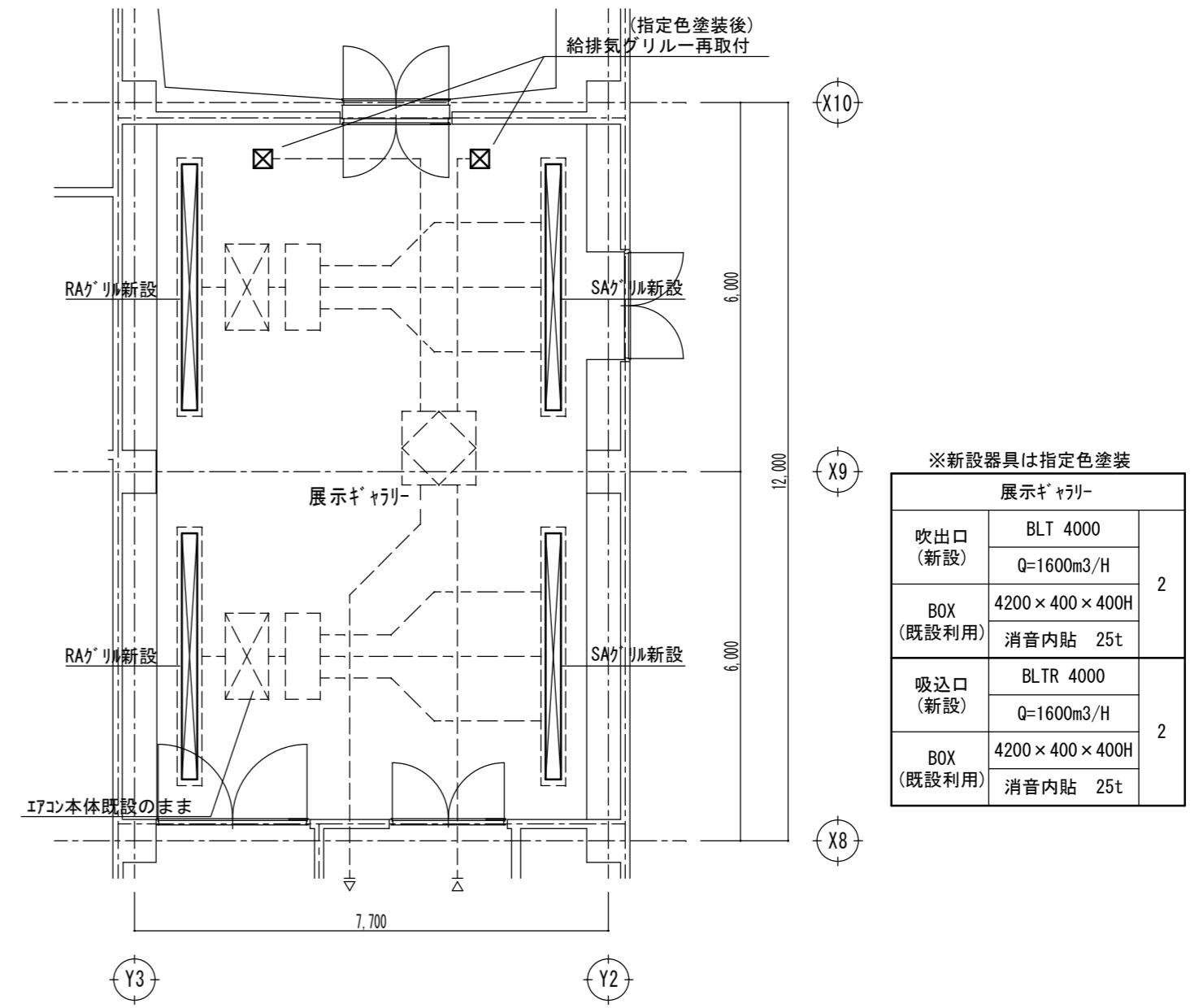
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 消火設備 ハーモニーホール 展示ギャラリー 楽屋事務室平面図 (改修前後)	N0.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/100		M-07
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				9
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				原図:A2	

展示ギャラリー 平面図 (改修前後)



展示ギャラリー		
吹出口 (撤去)	BLT 4000 Q=1600m ³ /H	2
BOX (現状維持)	4200×400×400H 消音内貼 25t	
吸込口 (撤去)	BLTR 4000 Q=1600m ³ /H	2
BOX (現状維持)	4200×400×400H 消音内貼 25t	

平面図 (改修前) 1/100

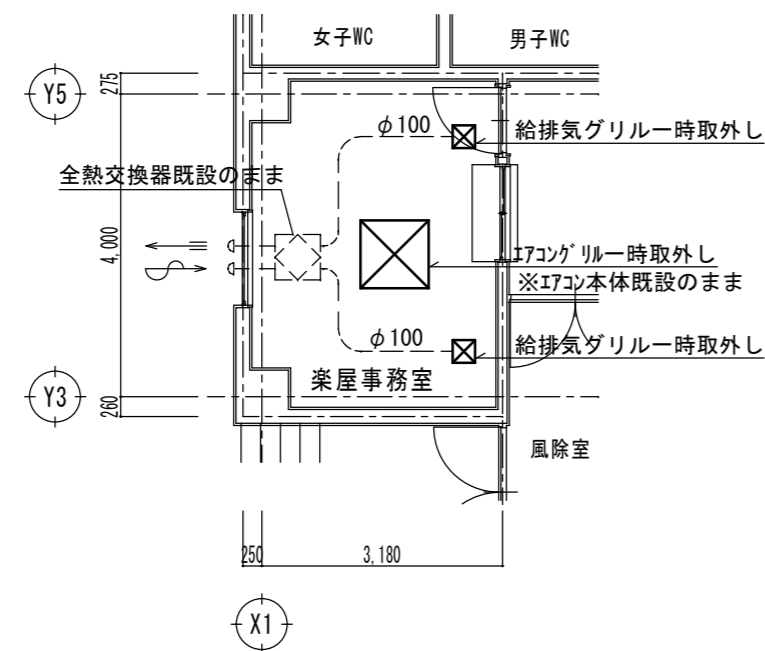


※新設器具は指定色塗装

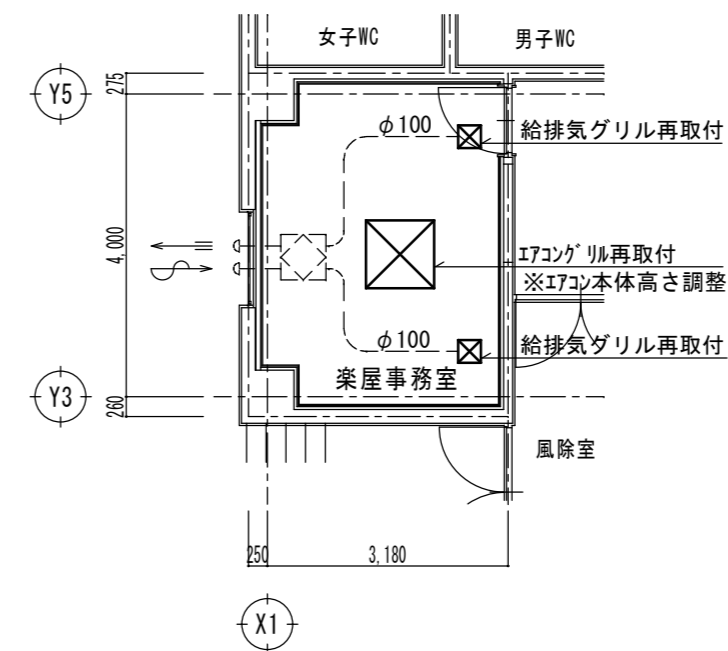
展示ギャラリー		
吹出口 (新設)	BLT 4000 Q=1600m ³ /H	2
BOX (既設利用)	4200×400×400H 消音内貼 25t	
吸込口 (新設)	BLTR 4000 Q=1600m ³ /H	2
BOX (既設利用)	4200×400×400H 消音内貼 25t	

平面図 (改修後) 1/100

楽屋事務室 平面図 (改修前後)



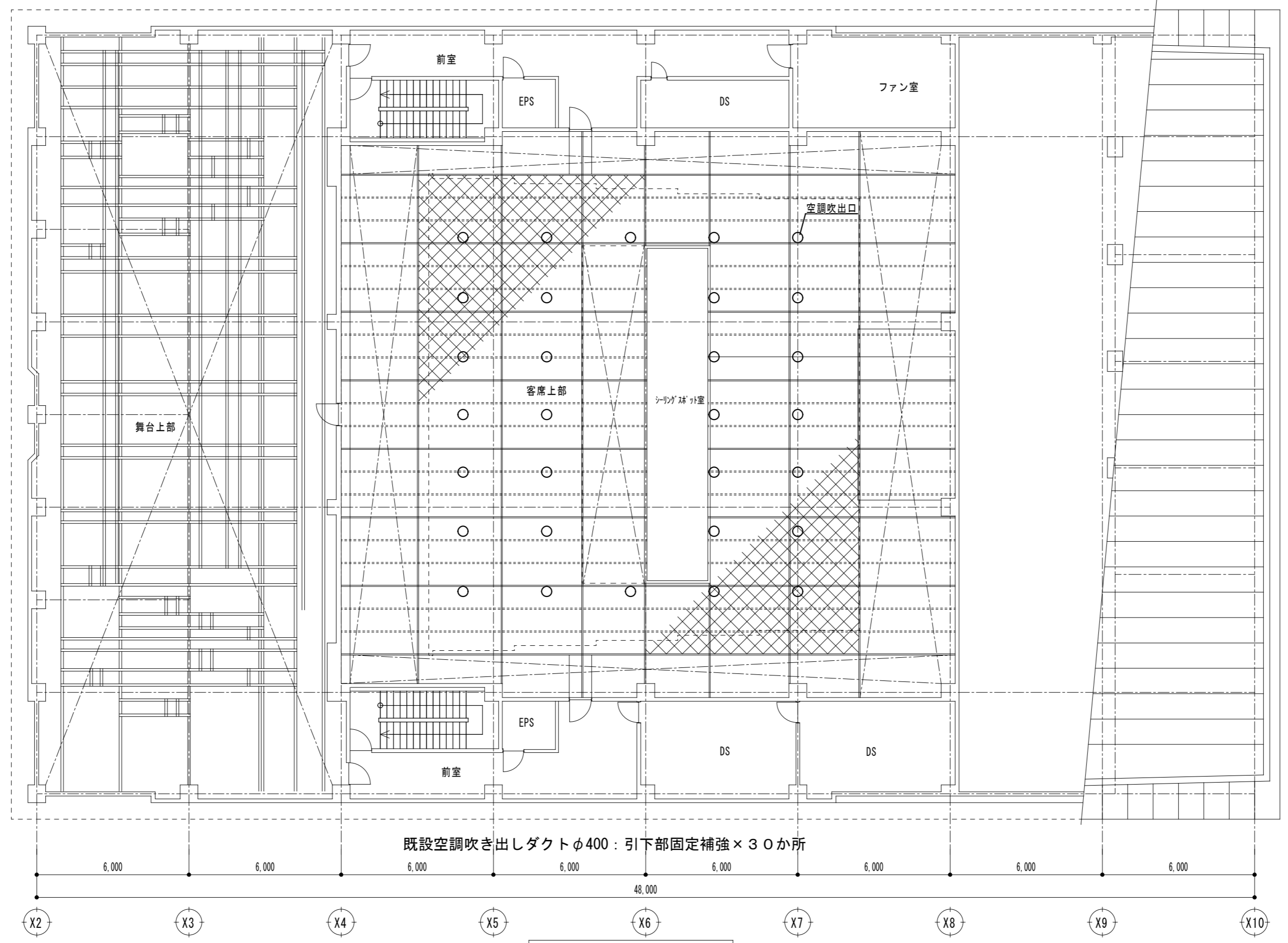
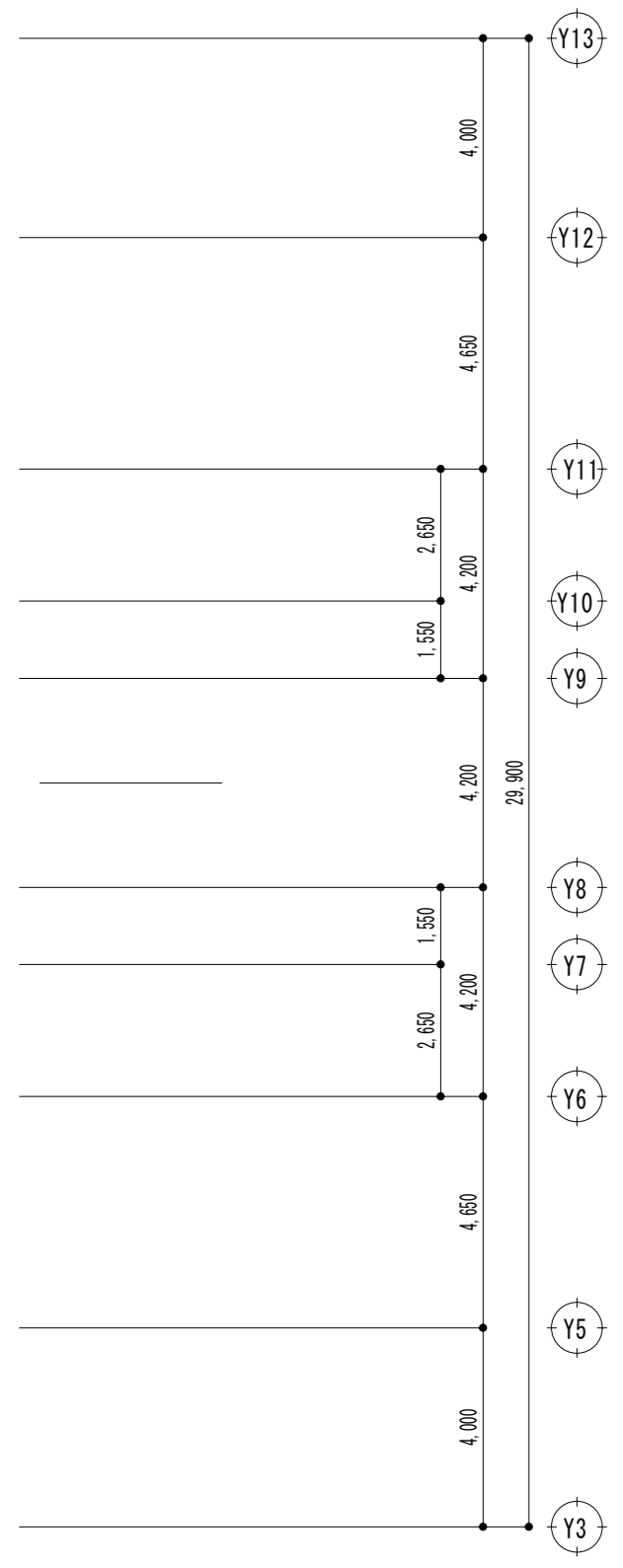
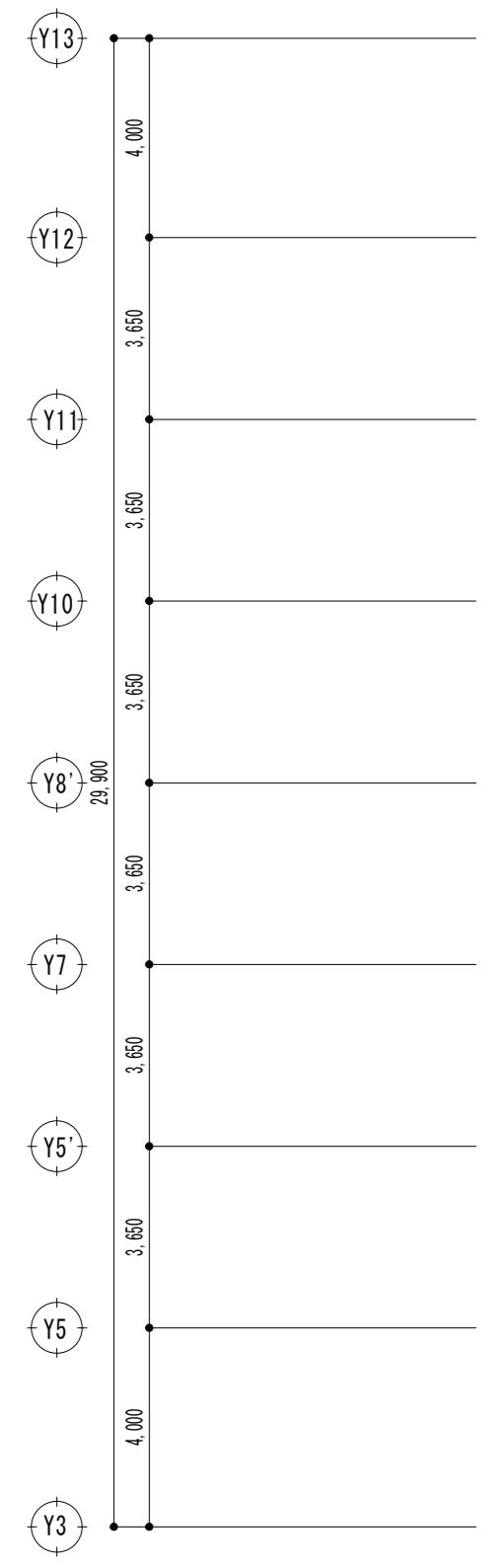
平面図 (改修前) 1/100



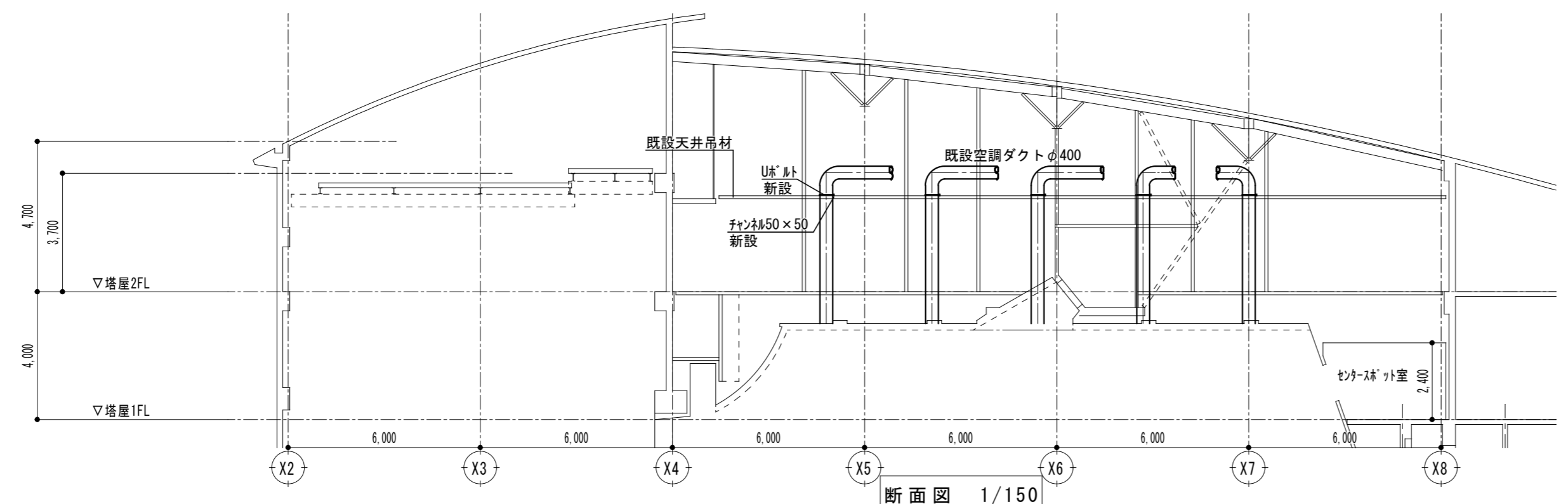
平面図 (改修後) 1/100

特記

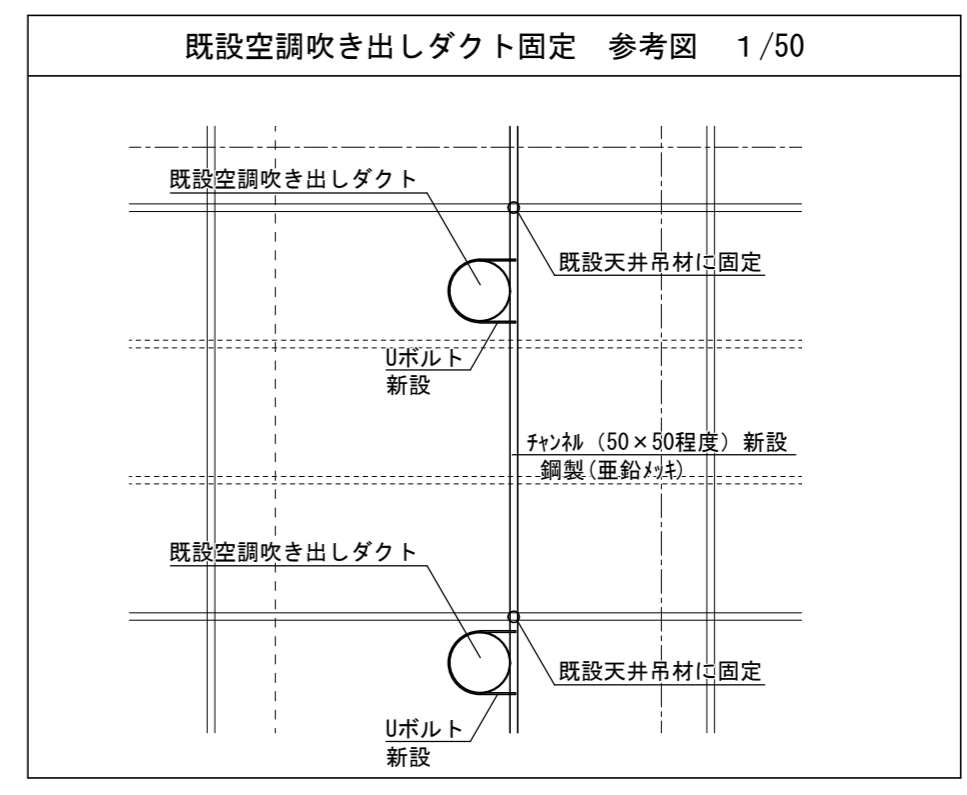
月	日	U 建築設計	設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事	N.O.
		三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897			1/100	空調設備 ハーモニーホール	M-08
		一級建築士事務所 一級建築士第248160号	設計		1/50	展示ギャラリー 楽屋事務室平面図 (改修前後)	9
		登録番号(1)第2118号 内田 貴之					原図:A2



塔屋 2 階平面図 1/150



断面図 1/150



既設空調吹き出しダクト固定 参考図 1/50

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃 ハーモニーホール舞台機構及び天井その他改修工事 空調設備 ハーモニーホール 塔屋 2 階 平面図 (ダクト補強)	NO. M-09 9 原図: A2
			三重県津市白塚町 5188 TEL: 059-231-8893 FAX: 059-231-8897				1/150, 1/50		
			一級建築士事務所		設計				
			登録番号 (1) 第 2118 号		内田 貴之				